4-135-410-**01**(1)

SONY

Flat Wide Display Monitor

取扱説明書 JP
Operating Instructions GB
Mode d'emploi FR
Bedienungsanleitung DE
Manual de instrucciones ES
Istruzioni per l'uso IT
使用说明书 CS

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示してあります。**この取扱説明書をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

GXD-L65H1

SONY®

GXD-L65H1

お問い合わせは
「ソニー業務用商品相談窓口のご案内」にある窓口へ

ソニー株式会社　　〒108-0075　東京都港区港南1-7-1

http://www.sony.net/

Sony Corporation Printed in Korea

安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品は、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあり、危険です。
事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

4～7ページの注意事項をよくお読みください。
8ページの「本機の性能を保持するために」もあわせてお読みください。

定期点検をする

長期間安全に使用していただくために、定期点検を実施することをおすすめします（有料）。点検の内容や費用については、ソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障したら使わない

すぐに、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

万一、異常が起きたら

・煙が出たら ・異常な音、においがしたら ・内部に水、異物が入ったら ・製品を落としたりキャビネットを破損したときは	➡	❶ ディスプレイの電源を切る。 ❷ ディスプレイの電源コードや接続コードを抜く。 ❸ お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に連絡する。

お客様へ

⚠警告

別冊の特約店様用設置説明書は、特約店様用に書かれたものです。お客様が特約店様用設置説明書に記載された設置や移動を行うと、事故などにより死亡や大けがにつながることがあります。お客様自身では、絶対に設置や移動をしないでください。
設置については必ずソニーのサービス窓口にご相談ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスＢ情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災や感電などにより死亡や大けがなど人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

注意

火災

感電

高温

行為を禁止する記号

禁止

分解禁止

水ぬれ禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

行為を指示する記号

指示

プラグをコンセントから抜く

アース線を接続せよ

目次

各部の名称と働き

接続

メニューの設定

ネットワーク機能

その他の情報

JP

下記の注意を守らないと、火災や感電により死亡や大けがにつながることがあります。

規定の電源電圧で使う

指示

この取扱説明書に記されている電源電圧でお使いください。
規定外の電源電圧での使用は、火災や感電の原因となります。

分解や改造をしない

分解禁止

分解や改造をすると、火災や感電、けがの原因となることがあります。
内部の点検や修理は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。

電源コードを傷つけない

禁止

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。次の項目を必ずお守りください。

- 設置時に、製品と壁やラック、棚などの間に、はさみ込まない。
- 電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- 熱器具に近づけたり、加熱したりしない。
- 電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に交換をご依頼ください。

内部に水や異物をいれない

禁止

水や異物が入ると火災や感電の原因となることがあります。
万一、水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り、電源コードや接続コードを抜いて、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

衝撃を与えない

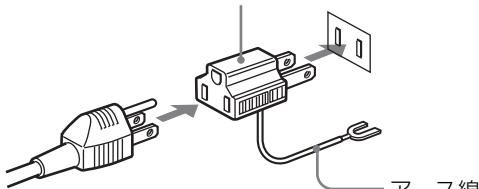
禁止

本機の前面にガラスを使用しているため、衝撃を与えるとガラスが割れ、けがの原因となることがあります。

安全アースを接続する

アース線を接続せよ

安全アースを接続しないと、感電の原因となることがあります。次の方法でアースを接続してください。

- 電源コンセントが3極の場合付属の電源コードを使用することで、安全アースが接続されます。
- 電源コンセントが2極の場合付属の3極→2極の変換プラグアダプターを使用し、変換プラグアダプターから出ている緑色のアースを、建物に備えられているアース端子に接続する。
- アース接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。

不明な点はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

高温部分に触れない

高温

機器を使用中または使用直後には上面や側面が高温になっているため、やけどをすることがあります。
使用中および電源を切るまたはスタンバイした状態から10分間は触れないでください。

⚠注意

下記の注意を守らないと、けがをしたり周辺の物品に損害を与えることがあります。

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれ手禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差しすると、感電の原因となることがあります。

接続の際は電源を切る

注意

電源コードや接続ケーブルを接続するときは、電源を切ってください。感電や故障の原因となることがあります。

指定された電源コード、接続ケーブルを使う

注意

付属の、あるいは取扱説明書に記されている電源コード、接続ケーブルを使わないと、感電や故障の原因となることがあります。
ほかの電源コードや接続ケーブルを使用する場合は、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

直射日光の当たる場所や熱器具の近くに設置・保管しない

禁止

内部の温度が上がり、火災や故障の原因となることがあります。

電源コードのプラグおよびコネクターは突き当たるまで差し込む

指示

まっすぐに突き当たるまで差し込まないと、火災や感電の原因となります。

お手入れの際は、電源を切って電源プラグを抜く

プラグを
コンセント
から抜く

電源を接続したままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。

人が通行するような場所に置かないコード類は正しく配置する

注意

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、十分注意して接続・配置してください。

コード類は正しく配置する

指示

電源コードや接続ケーブルは、足に引っかけると本機の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
十分注意して接続・配置してください。

変換プラグアダプターのアースキャップは幼児の手の届かないところに保管する

指示

万一、誤って飲み込んだときは、窒息する恐れがありますので、ただちに医師にご相談ください。

電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

下記の注意事項を守らないと、破裂・発熱・液漏れにより、死亡や大けがなどの人身事故になることがあります。

電池の液が漏れたときは

素手で液をさわらない

電池の液が目に入ったり、身体や衣服につくと、失明やけがが、皮膚の炎症の原因となることがあります。液の化学変化により、時間がたってから症状が現れることがあります。

必ず次の処理をする

液が目に入ったときは、目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときは、すぐにきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。

使用済みの電池は、地域のルールに従って処分してください。

電池を火の中に入れない、加熱・分解・改造・充電しない、水でぬらさない

破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。

電池は乳幼児の手の届かない所に置く

電池は飲み込むと、窒息や胃などへの障害の原因となることがあります。
万一、飲み込んだときは、ただちに医師に相談してください。

下記の注意事項を守らないと、破裂・液漏れにより、けがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

指定以外の電池を使わない、新しい電池と使用した電池または種類の違う電池を混ぜて使わない

電池の性能の違いにより、破裂したり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
マンガン電池をお使いください。
電池の品番を確かめ、お使いください。

＋と－の向きを正しく入れる

＋と－を逆に入れると、ショートして電池が発熱や破裂をしたり、液が漏れたりして、けがややけどの原因となることがあります。
機器の表示に合わせて、正しく入れてください。

使い切ったときや、長時間使用しないときは、電池を取り出す

電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けがややけどの原因となることがあります。

リモコンのフタを開けて使用しない

リモコンのフタを開けたまま使用すると、漏液、発熱、発火、破裂などの原因となることがあります。
マンガン電池を使用し、フタを閉めて使用してください。

その他の安全上のご注意

ご注意

アースの接続は、必ず電源プラグを電源コンセントへ接続する前に行ってください。アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源コンセントから抜いて行ってください。

ご注意

日本国内で使用する電源コードセットは、電気用品安全法で定める基準を満足した承認品が要求されます。ソニー推奨の電源コードセットをご使用ください。

警告

設置の際には、容易にアクセスできる固定配線内に専用遮断装置を設けるか、使用中に、容易に抜き差しできる、機器に近いコンセントに電源プラグを接続してください。
万一、異常が起きた際には、専用遮断装置を切るか、電源プラグを抜いてください。

JP

使用上のご注意（性能を保持するために）

お手入れのしかた

お手入れをする前に、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

画面のお手入れについて

ディスプレイの表面（保護パネル）が傷つくことがありますので、硬いものでこすったり、たたいたり、ものをぶつけたりしないでください。

また特殊な表面処理をしてあります。誤ったお手入れをした場合，性能を損なうことがありますので，以下のことをお守りください。

・スクリーン表面についた汚れは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布で軽く拭いてください。
・汚れがひどいときは、クリーニングクロスやメガネ拭きなどの柔らかい布に水を少し含ませて、拭きとってください。
・アルコールやベンジン、シンナー、酸性洗浄液、アルカリ性洗浄液、研磨剤入り洗浄剤、化学ぞうきんなどはスクリーン表面を傷めますので、絶対に使用しないでください。

外装のお手入れについて

・乾いた柔らかい布で軽く拭いてください。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤溶液を少し含ませた布で拭きとり、乾いた布でから拭きしてください。
・アルコールやベンジン、シンナー、殺虫剤をかけると、表面の仕上げを傷めたり、表示が消えてしまうことがあるので、使用しないでください。
・布にゴミが付着したまま強く拭いた場合、傷が付くことがあります。
・ゴムやビニール製品に長時間接触させると、変質したり、塗装がはげたりすることがあります。

液晶画面について

・液晶画面を太陽に向けたままにすると、液晶画面を傷めてしまいます。窓際や室外に置くときなどはご注意ください。
・液晶画面を強く押したり、ひっかいたり、上にものを置いたりしないでください。画面にムラが出たり、液晶パネルの故障の原因になります。
・寒い所でご使用になると、横縞が見えたり、画像が尾を引いて見えたり、画面が暗く見えたりすることがありますが、故障ではありません。温度が上がると元に戻ります。
・静止画を継続的に表示した場合、焼きつきや残像を生じることがあります。残像は時間の経過とともに元に戻ります。焼きつきが発生したときは、本機のスクリーンセーバー機能を使用するか、ビデオソフトなどの動きのある映像を映してください。焼きつきが軽度のときは、次第に目立たなくなることがありますが、一度発生した焼きつきは、完全には消えません。
・使用中に画面やキャビネット、フレームがあたたかくなることがありますが、故障ではありません。

液晶画面の輝点・滅点について

本機の液晶パネルは有効画素 99.99％以上の非常に精密度の高い技術で作られていますが、画面上に黒い点が現れたり（画素欠け）、常時点灯している輝点（赤、青、緑など）や滅点がある場合があります。また、液晶パネルの特性上、長期間ご使用の間に画素欠けが生じることもあります。これらの現象は故障ではありませんので、ご了承の上本機をお使いください。

ご使用について

・お使いになる前に、必ず動作確認を行ってください。故障その他に伴う営業上の機会損失等は保証期間中および保証期間経過後にかかわらず、補償はいたしかねますのでご了承ください。
・ほかの機器と組み合わせて設置する場合、各機器の設置位置などにより、リモコンの誤動作や映像の乱れ、雑音などが起こることがあります。この場合は、お買い上げ店、またはソニーのサービス窓口にご連絡ください。

設置環境に関するご注意

本機は国際的な防塵防滴規格 IEC60529 IP54 に適合しておりますので、粉塵やはねかけ水が発生するような厳しい設置環境でもご利用可能です。
IP 以降の数値が示す性能は下記の通りです。

防塵

IP5_ 粉塵に対して保護されている。

定義

粉塵の侵入を完全に妨げないが、機器の適切な作動を妨げたり安全を損なう程の量の粉塵が貫通してはならない。

防滴

IP_4　はねかけ水に対して保護されている。

定義

任意の角度から筐体に対してはねかけた水が有害な影響を及ぼしてはならない。

周囲に充分なスペースをとる

- 内部の温度上昇を防ぐため、密閉状態にならないようにディスプレイの周囲に少なくとも下図に示す距離をあけて、通風を確保してください。
- 周囲の温度は 0 ℃～ 35 ℃の範囲でご使用ください。天井付近に設置する場合、周囲の温度は室温より高くなることがありますのでご注意ください。
- 通電中は高温になる部分があり、やけどの原因となります。通電中やスタンバイにした直後は、本機の上面、後面には手を触れないでください。

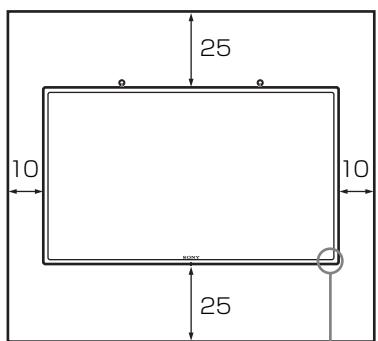
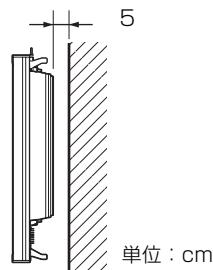
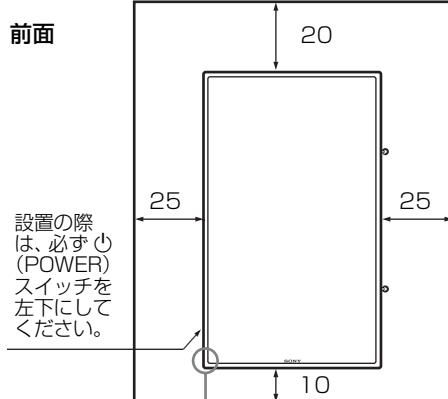
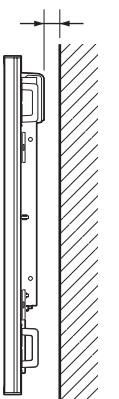
水平方向で使用する場合

前面

側面

垂直方向で使用する場合

前面

側面

高温多湿な場所に設置しない

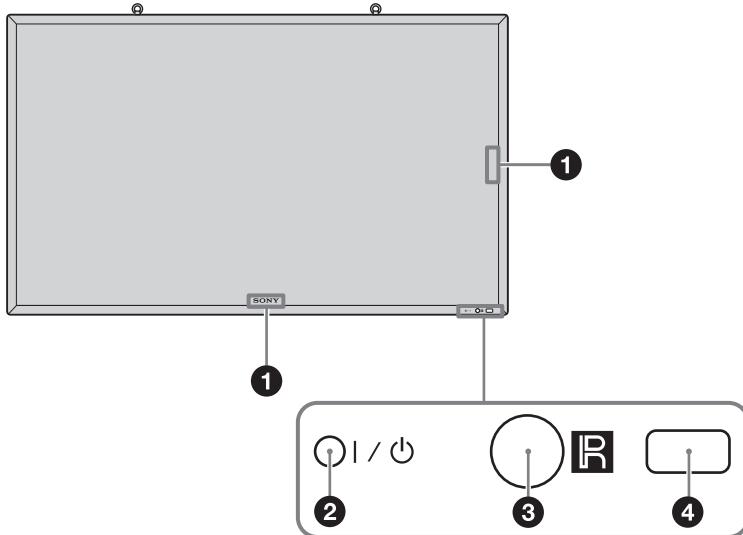
高温多湿でかつエアコンなどによる温度変化が急激な場合、ディスプレイ前面の保護ガラス内部に水蒸気による曇りを生じる場合があります。

明るさセンサーやリモコンセンサーをふさがない

明るさセンサーやリモコンセンサーの前にはものを置かないでください。
明るさ自動調整機能やリモコンが働かないことがあります。

JP

各部の名称と働き

前面

名称	説明
❶ ソニーロゴ	ソニーロゴが点灯します。 メニュー画面で、縦または横方向に点灯位置を変更することができます。 お買い上げ時は、縦横を自動で判別しロゴを点灯する設定になっています。34 ページの「ロゴ」をご覧ください。 **ご注意** 設置方向を変更しない場合は、「ロゴ」の「位置」を設置方向に合わせて「横位置」または「縦位置」に設定してください。振動や衝撃が加わった場合、設置方向を判別するセンサーが正しく働かないことがあります。
❷ I / ⏻（電源 / スタンバイ）インジケーター	・ 本機の電源を入れると緑色に点灯します。 ・ 本機がスタンバイ状態のとき、赤色に点灯します。また PC 入力のとき、パワーセービング状態になると、インジケーターがオレンジ色に点灯します。 I / ⏻ インジケーターが赤色で点滅したときは、41 ページをご覧ください。 **ご注意** 「マルチディスプレイ設定」の「LED」が「切」で、「ポジション設定」が右下以外の場合は、ディスプレイの電源が入っていてもインジケーターは緑点灯しません（無信号時 / 未対応信号時を除く）。
❸ 🅁リモコンセンサー	リモコンの受光部です。
❹ 明るさセンサー	画面の明るさを自動調整するためのセンサーです。34 ページをご覧ください。 **ご注意** 明るさセンサーの前に物を置かないでください。明るさ自動調整機能が正しく働かないことがあります。

後面

REMOTE
AUDIO
OUT
VIDEO
S VIDEO IN
IN
VIDEO
OUT
AUDIO IN
HD15(RGB/COMPONENT)
IN
AUDIO IN
OUT
DVI
AUDIO IN
IN
IN
AC IN
SPEAKER
R
L
MENU

JP

名称	説明
❶ REMOTE （10BASE-T/100BASE-TX）	本機を 10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブルでネットワークと接続します。PC からネットワーク経由でディスプレイのコントロールおよび各種設定ができます。 **ご注意** ・ LAN ケーブルご使用の際は、輻射ノイズによる誤動作を防ぐため、付属のケーブルを使用してください。 ・ 安全のために、周辺機器を接続する際は、過大電圧を持つ可能性があるコネクターをこの端子に接続しないでください。 接続については本書の指示に従ってください。 ・ 本端子を使用する際は、「ネットワークポート」の「本体」を選択してください。34 ページをご覧ください。
❷ AUDIO （ステレオミニジャック）	外部機器用音声モニター出力端子です。AUDIO 端子に入力した音声信号の、画面に表示されている信号の音声を出力します。2画面（P&P、PinP）のときは、アクティブ * 画面の音声信号を出力します。 **ご注意** ・「音質モード」、「スピーカー出力」の設定は反映されません。 ・ リモコンで設定した消音状態は反映されません。
❸ VIDEO	**S VIDEO IN**（ミニ DIN 4 ピン）：映像機器の S ビデオ信号出力端子と接続します。 **VIDEO IN**（BNC 型）：映像機器のビデオ信号出力端子と接続します。 **VIDEO OUT**（BNC 型）：映像機器のビデオ信号入力端子と接続します。VIDEO IN の映像を出力します。電源の入／切（スタンバイ含む）に関係なく出力します。 **AUDIO IN**（ステレオミニジャック）：映像機器の音声出力端子と接続します。
❹ HD15 (RGB/COMPONENT) （D-sub 15 ピン）	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN**：映像機器や PC のアナログ RGB 信号出力端子、またはコンポーネント信号出力端子と接続します。46 ページをご覧ください。 **AUDIO IN**：音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。 **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT**：映像機器や PC のアナログ RGB 信号入力端子、またはコンポーネント信号入力端子と接続します。46 ページをご覧ください。上記 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 端子から入力された信号を出力します。 **ご注意** ・ コンポーネント信号を入力する際は 13、14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。 ・ 本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が接続されていないときは、HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子からは出力されません。
❺ DVI （DVI-D 24 ピン）	**DVI IN**：映像機器や PC などのデジタル信号出力端子と接続します。HDCP のコンテンツ保護に対応しています。 **AUDIO IN**：音声信号を入力します。映像機器などの音声出力端子と接続します。
❻ HDMI IN	HDMI（High-Definition Multimedia Interface）端子は本機と HDMI 対応の音声／映像機器や PC とのインターフェースを提供します。高精細な映像と 2 チャンネルのデジタル音声をお楽しみいただけます。 接続された機器によって、音声／映像機器または PC の適切なモードが自動選択されます。 **ご注意** HDMI ケーブル（別売）は、必ず HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。ソニー製の HDMI ケーブル（ハイスピードタイプ）を推奨します。

名称	説明
❼ OPTION スロット（VIDEO/COM ポート）	映像信号および通信機能に対応したスロットです。オプションアダプター（BKM-FW シリーズなど）を装着すると、本機の機能を拡張することができます。19 ページをご覧ください。
❽ AC IN（電源入力）ソケット	付属の電源コードをこのソケットとコンセントに接続します。20 ページをご覧ください。 電源コードを接続すると、I / ⏻ インジケーターが赤色に点灯し、本機はスタンバイ状態になります。
❾ SPEAKER（スピーカー）端子	スピーカー SS-SPG02（別売）をこの端子に接続します。スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧の上、正しく接続してください。 また、スピーカーコードのまとめかたは、22 ページをご覧ください。
❿ ⏻(POWER）スイッチ	本機の電源を入 / 切（スタンバイ）します。
⓫ (RETURN）ボタン	ひとつ前のメニュー画面に戻るときに使用します。
⓬ ⊕(ENTER）ボタン	メニューで、設定した内容を確定するときに使用します。
⓭ −/+（音量調節 / カーソル移動）ボタン	スピーカーから出る音量を調節するときに使用します。また、メニューを表示しているときは、カーソルの移動や数値などの設定をするときに使用します。
⓮ MENU ボタン	画面にメニューを出すときに使用します。
⓯ (INPUT）ボタン	INPUT または OPTION 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。 → Sビデオ→ビデオ→HD15→DVI→HDMI→OPTION ─┐（先頭に戻る） の順に入力信号を切り換えます。 OPTION スロットに映像系のオプションアダプターがないときは、スキップします。
⓰ 温度センサー	周囲の温度を検知します。
⓱ スピーカー取り付け位置	専用スピーカー SS-SPG02 を取り付けます。
⓲ スタンド取り付け用穴	VESA 規格に準拠したネジ穴です。（ピッチ：600mm × 400mm,　ネジ：M6）
⓳ アイボルト	クレーンを使って本機を設置する場合に使用します。 設置を行った後は、ネジを緩めて取りはずしてください。
⓴ アイボルト取り付け位置（縦設置用）	本機を縦設置する場合は、アイボルトをこの位置に取り付けます。 アイボルトの取り付けはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。
㉑ ケーブルカバー	ケーブル類と端子カバーの隙間から水や粉塵が入るのを防ぐカバーです。 ケーブル類を接続するときに、ネジを緩めてはずしてください。
㉒ 端子カバー	端子部に水や粉塵が入るのを防ぐカバーです。 ケーブル類を接続するときに、ネジを緩めてはずしてください。

* 音声が出力され、入力の切り換えが可能な状態

JP

リモコン

ボタンの機能

❶ **POWER（電源）ON スイッチ**
押すと電源が入ります。

❷ **DVI ボタン**
DVI 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❸ **HDMI ボタン**
HDMI 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。

❹ **S VIDEO ボタン**
S VIDEO IN 端子に接続した映像機器からの入力信号を選びます。

❺ **VIDEO ボタン**
VIDEO IN 端子に接続した映像機器からの入力信号を選びます。

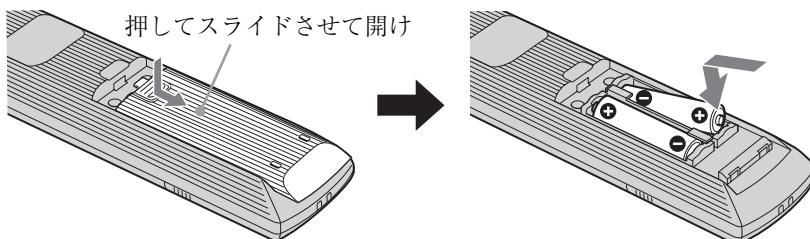
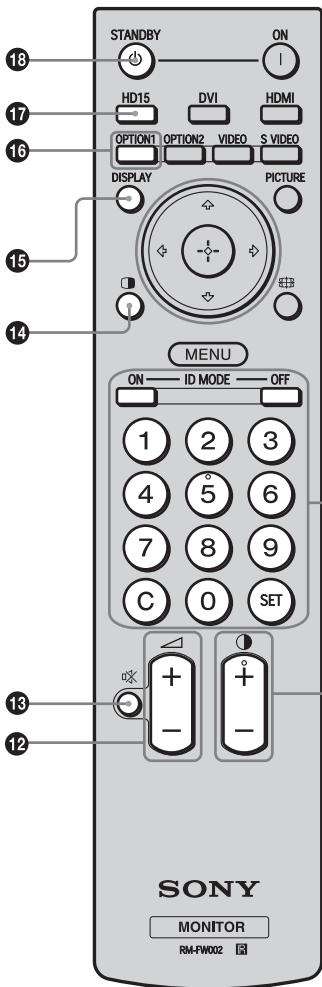
❻ **PICTURE ボタン**
「画質モード」を切り換えます。ボタンを押すごとに、「ダイナミック」、「スタンダード」、「カスタム」、「カンファレンス」、「TC Control」の順に切り換わります。

❼ **⇧/⇩/⇦/⇨/⊕ ボタン**
⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンでメニューのカーソルを移動させたり、数値などを設定します。⊕ ボタンを押すと、選んだメニューや設定した内容を確定します。
「2 画面」モードでは、2 画面設定を変更することができます。17 ページをご覧ください。

❽ **⊞ ボタン**
画面のアスペクト比を変更します。16 ページをご覧ください。

❾ **MENU ボタン**
画面にメニューを出すときに使用します。もう一度押すとメニューが消えます。23 ページをご覧ください。

ご注意

- 数字ボタンの「5」および ◑ ボタンには、凸部（突起）が付いています。操作の目印としてお使いください。
- 付属の単 3 形マンガン乾電池 2 本を、リモコンの電池挿入部内部の図を確認しながら、⊕ 極と ⊖ 極を正しく入れてください。
- 指定以外の電池に交換すると、破裂する危険があります。必ず指定の電池に交換してください。使用済みの電池は、国または地域の法令に従って処理してください。

❿ ID MODE（ON/0-9/SET/C/OFF）ボタン

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

・ ON ボタン：「インデックス番号」を画面上に表示します。
・ 0-9 ボタン：操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力します。
・ SET ボタン：入力した「インデックス番号」を設定します。
・ C ボタン：入力した「インデックス番号」をクリアします。
・ OFF ボタン：通常の画面に戻ります。

18 ページをご覧ください。

⓫ ◑ +/– ボタン

画像のコントラストを調整します。

⓬ ◿ +/– ボタン

音量を調整します。

⓭ 🔇 ボタン

音を消します。もう一度押すと、音が出ます。

⓮ ◨ ボタン

「2 画面」モードを切り換えます。ボタンを押すごとに、「P&P」、「PinP」、1 画面の順に切り換わります。17 ページをご覧ください。

⓯ DISPLAY ボタン

現在選択されている入力、入力されている信号の種類および「アスペクト」設定を画面に表示します。もう一度押すと表示は消えます。表示された状態でしばらくたつと自動的に表示は消えます。

⓰ OPTION 1 ボタン

オプションアダプターを装着した際、そこに接続した機器からの入力信号を選びます。

装着したオプションアダプターに入力が複数ある場合は、ボタンを押すたびに入力が切り換わります。

⓱ HD15 ボタン

HD15 (RGB/COMPONENT) 端子に接続した機器からの入力信号を選びます。メニューの設定により RGB 信号かコンポーネント信号の自動選択またはマニュアル選択ができます。

⓲ STANDBY ボタン

押すとスタンバイ状態になります。

ご注意

本機では OPTION 2ボタンは使用しません。

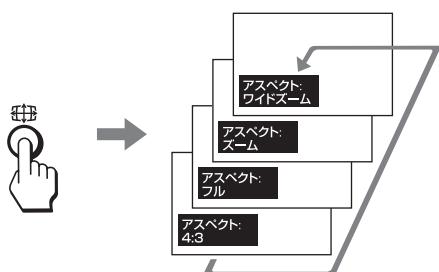
JP

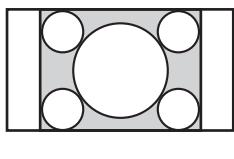
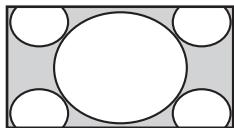
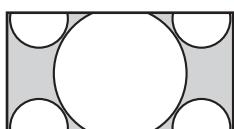
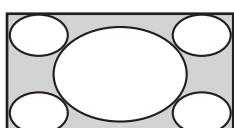
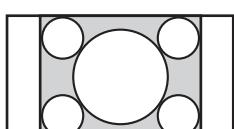
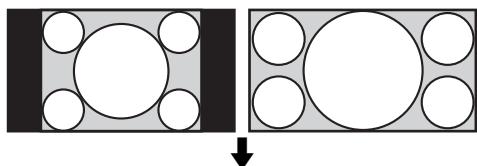
リモコンの特別ボタン

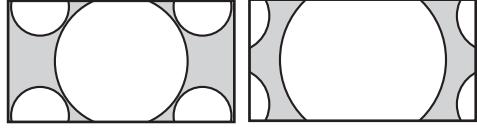
ワイド切換を使う

画面のアスペクト比を変更することができます。

ちょっと一言

「画面」メニューからも「アスペクト」を設定することができます。30、31 ページをご覧ください。

ビデオ、DVD などの映像機器からの入力の場合（PC 入力以外）

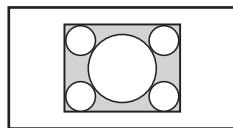
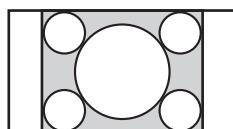
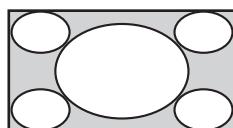
4:3 の映像ソース

ワイドズーム

ズーム

フル

4:3

16:9 の映像ソース

ワイドズーム

ズーム

フル

4:3

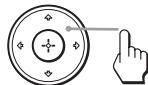
PC 入力の場合

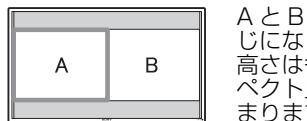
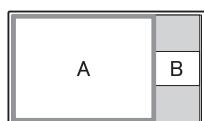
以下のイラストは解像度 800 × 600 の入力を行った場合です。

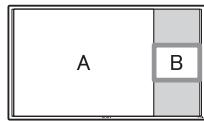
リアル

フル 1

フル 2

ご注意

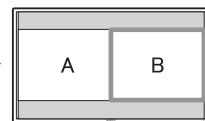
パネル解像度（1,920 × 1,080）より高い解像度の信号を入力した場合、リアルはフル 1 と同じように表示します。

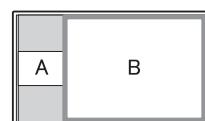
2 画面設定を使う

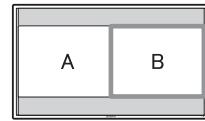
PC とビデオなど、ふたつの異なる信号の映像を、並べて表示します。またアクティブな画面の入れ換えや、画面の大きさのバランスも自由に変えられます。
また「画面」メニューからも「2 画面設定」を設定することができます。
28 ページをご覧ください。

アクティブな画面を示すカーソル

P&P の場合

A と B の横幅は同じになります。
高さは各画像のアスペクト比によって決まります。

⇦ ボタンを押す

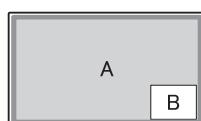
A の横幅は B の横幅より大きくなります。
A のアスペクト比が 4:3 なら、A の高さはパネルのサイズと等しくなります。

⇨ ボタンを押す

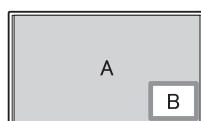
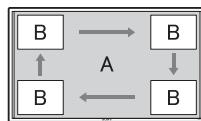
右側の B がアクティブな画像となります。

⇨ ボタンを押す

A と B の横幅は同じになります。
高さは各画像のアスペクト比によって決まります。

⇨ ボタンを押す

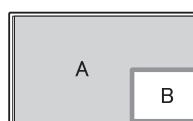
B の横幅は A の横幅より大きくなります。
B のアスペクト比が 4:3 なら、B の高さはパネルのサイズと等しくなります。

⇩ ボタンを押す

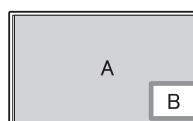
右側の B がアクティブな画像のまま、小さくなります。

PinP の場合

主画面 (A) の中に副画面 (B) が表示されます。

⇦/⇨ ボタンを押す

副画面 (B) がアクティブな画像となります。

⊕ ボタンを押す

副画面 (B) の位置が移動します。

⇧ ボタンを押す

副画面 (B) の画面が大きくなります。

⇩ ボタンを押す

副画面 (B) の画面が小さくなります。

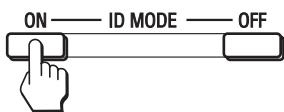
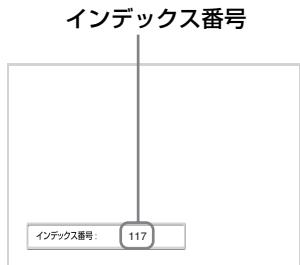
ちょっと一言

- アクティブな画面を示すカーソルは、5 秒たつと表示が消えます。
- 画面の大きさは 15 段階で変えられます。（P&P の場合）

ID MODE ボタンを使う

複数のディスプレイを使用しているとき、「インデックス番号」を指定して、特定のディスプレイのみを操作することができます。

1 ON ボタンを押す。

「インデックス番号」が、画面左下のメニューに黒い文字で表示されます（「インデックス番号」は、1 から 255 の範囲で、あらかじめ各ディスプレイに設定されています）。

2 リモコンの 0 から 9 のボタンで、操作したいディスプレイの「インデックス番号」を入力する。

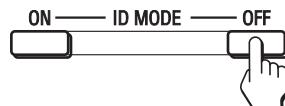
すべてのディスプレイの「インデックス番号」の右に、入力した数字が表示されます。

3 SET ボタンを押す。

選択したディスプレイの文字が緑色に変わり、その他のディスプレイの文字は赤色に変わります。

これで特定のディスプレイ（文字が緑色に変わったディスプレイ）のみを操作できます（POWER（電源）ON スイッチ、STANDBY ボタン、および ID MODE-OFF ボタンの操作だけは、ほかのディスプレイにも有効です）。

4 設定変更などの操作が終了したら、OFF ボタンを押す。

ディスプレイは通常の画面に戻ります。

インデックス番号を訂正するには

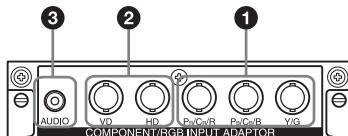
C ボタンを押して、現在入力されている「インデックス番号」を消去します。手順 **2** に戻り、新しい「インデックス番号」を入力します。

ちょっと一言

ディスプレイの「インデックス番号」を変更するには、32 ページの「コントロール設定」の「インデックス番号」をご覧ください。

オプションアダプター

本機側面にある OPTION スロット ❼（13 ページ）の端子部はスロットイン方式になっていて、以下のオプションアダプター（別売）に付け換えることができます。
各アダプターの取り付けかたについては、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。
機能拡張用オプションアダプターについては、それぞれの取扱説明書も合わせてご覧ください。

コンポーネント /RGB 入力アダプター BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R 映像入力端子（BNC 型）：**映像機器や PC のコンポーネント信号出力端子またはアナログ RGB 信号出力端子と接続します。

❷ **HD, VD 同期信号入力端子（BNC 型）：**PC の同期信号出力端子と接続します。

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は HD, VD に同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

❸ **AUDIO（音声入力）端子（ステレオミニジャック）：**音声信号を入力します。映像機器や PC の音声出力端子と接続します。

HDMI 入力アダプター BKM-FW15

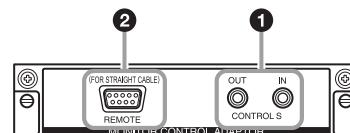
高精細な映像と 2 チャンネルのデジタル音声をお楽しみいただけます。
接続された機器によって、音声／映像機器または PC の適切なモードが自動選択されます。

ご注意

HDMI ケーブル（別売）は、必ず HDMI ロゴの付いたケーブルをご使用ください。ソニー製の HDMI ケーブル（ハイスピードタイプ）を推奨します。

HD-SDI/SDI 入力アダプター BKM-FW16

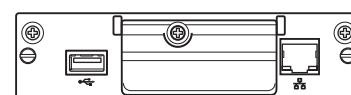
映像機器の HD-SDI 信号出力端子と接続します。

モニターコントロールアダプター BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT（ミニジャック）：**ディスプレイを含む他機器の CONTROL S 端子に接続すると、1 台のリモコンで複数の機器を操作できます。CONTROL S OUT 端子とほかの機器の CONTROL S IN 端子、CONTROL S IN 端子とほかの機器の CONTROL S OUT 端子を接続します。

❷ **REMOTE（D-sub 9 ピン）：**RS-232C プロトコルを使って本機を遠隔操作するときに使います。詳しくはお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

ご注意

- REMOTE 端子は本機側面にある REMOTE 端子 (LAN) ❶（12 ページ）と併用することはできません。
- REMOTE 端子を使用する際は、「ネットワークポート」の「Option」を選択してください（34 ページ）。

ストリーミングレシーバーアダプター BKM-FW50

本アダプターによって、本ディスプレイを電子看板（デジタルサイネージ）として活用できます。
指定のデータ形式の動画、静止画、BGM が含まれた記録メディアを差し込むだけで再生が簡単にできます。また、遠隔地にある PC からネットワークを利用してディスプレイへ映像を表示することもできます。

ご注意

別途コンパクトフラッシュが必要です。

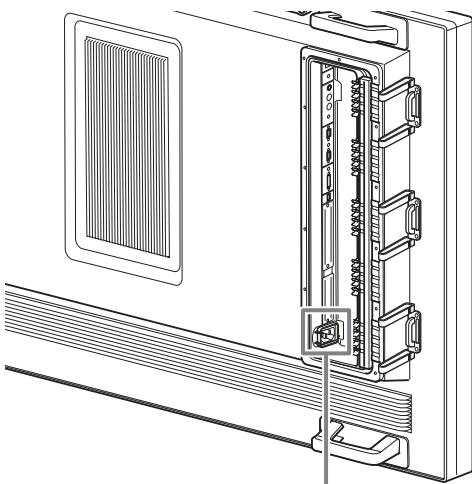
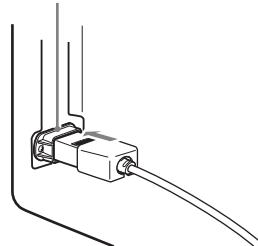
JP

・コンパクトフラッシュ（CompactFlash）は、米国 SanDisk Corporation の登録商標です。

接続上のご注意

- 各機器の電源を切ってから接続を行ってください。
- 接続ケーブルはそれぞれの端子の形状に合った正しいものをお選びください。
- 接続ケーブルは端子にしっかり差し込んでください。接続が悪いとノイズの原因となります。
- ケーブルを抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。決してケーブルそのものを引っ張らないでください。
- 接続の詳細については、各機器の取扱説明書をご覧ください。
- 電源コードのプラグは、AC IN ソケットに、まっすぐ突き当たるまで差し込んでください。
- 付属の AC プラグホルダーは、使用する電源コードのプラグが確実に固定できる方を選んでお使いください。

電源コードとケーブル類の接続

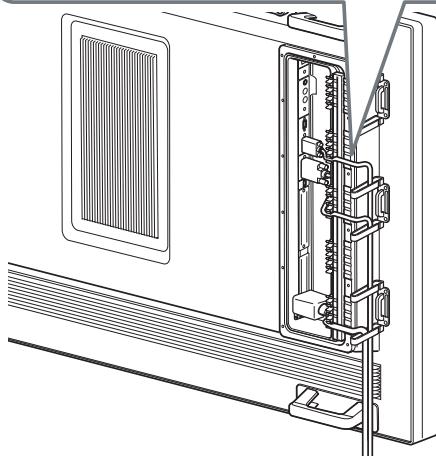
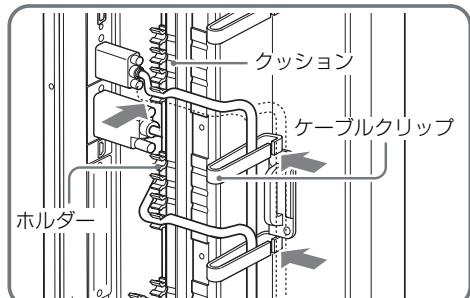
1 電源コードを AC IN ソケットに差し込み、AC プラグホルダー（付属）を電源コードに取り付ける。

2 AC プラグホルダーをスライドさせて、本体側の AC IN ソケットカバーにはめ込む。

電源コードをはずすには

AC プラグホルダーのつめをはさみ、ロックを解除してからプラグをつかみ、電源コードをはずしてください。

3 ケーブル類を端子に接続し、電源コードとケーブル類を固定する。

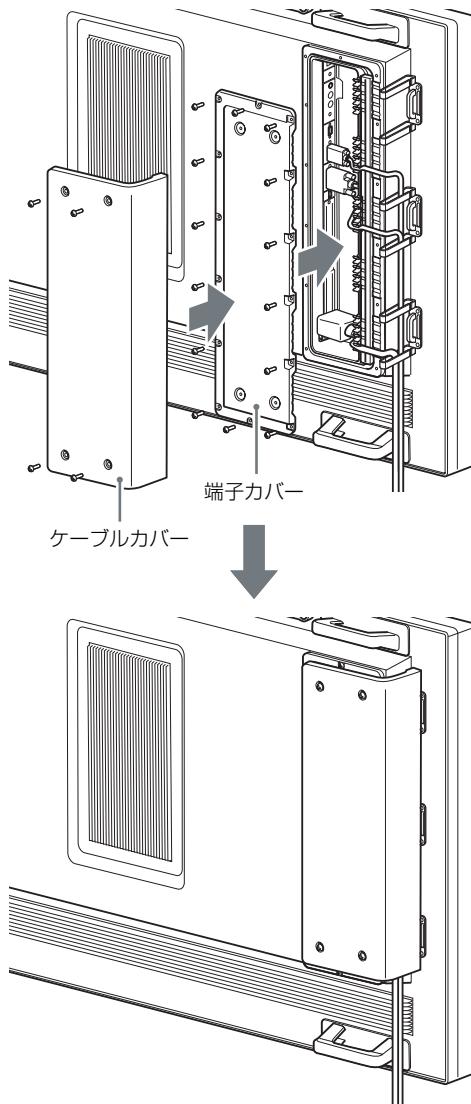
ホルダーやクッションの凹部を使い、クッションに対して直交するように挟み込み、ケーブルクリップで固定してください。

ご注意

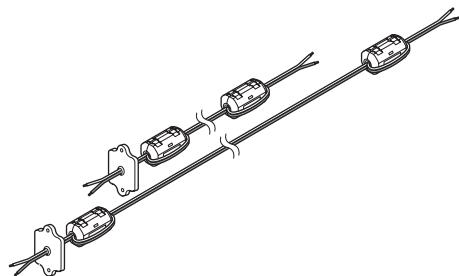
スピーカー（別売）をご使用になる場合は、続けてスピーカーの接続を行ってください。

4 端子カバーとケーブルカバーをディスプレイに取り付ける。

IP54 規格の適合を必要とする場所でご使用の場合は、必ず端子カバーとケーブルカバーを取り付けてください。

ご注意

カバーを固定する際は、ネジを均等に締め付けてください。電動ドライバーを使用する場合、締め付けトルクは 0.8 N・m ～ 1.0 N・m (8 kgf・cm ～ 10 kgf・cm) の間で設定してください。

スピーカーの接続

スピーカー SS-SPG02（別売）を接続します。接続には、スピーカーに付属されている以下のスピーカーコードを使用してください。

スピーカーコード（端子カバーあり）

- スピーカーコードは左右で長さが異なります。短いほうが左スピーカー用、長いほうが右スピーカー用です。スピーカー後面のラベル表示を確認のうえ正しく接続してください。
- IP54 規格の適合を必要とする場所でご使用の場合は、必ず端子カバーを取り付けてください。
- スピーカーの接続について詳しくは、スピーカーに付属の取扱説明書をご覧ください。また、スピーカーコードのまとめかたは、22 ページをご覧ください。

ご注意

本機を縦方向に設置してご使用の場合、スピーカーは IP54 規格に適合しません。

ケーブルを処理する

本体に装着されているケーブルホルダーを使って、ケーブル類をすっきりとまとめることができます。

メニュー一覧

1 MENU ボタンを押す。

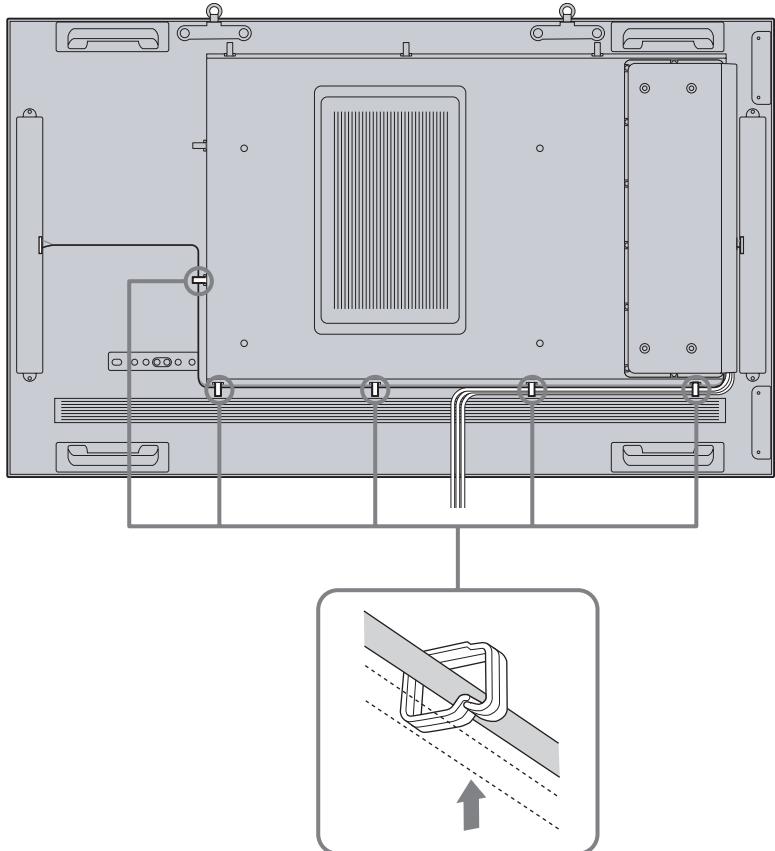
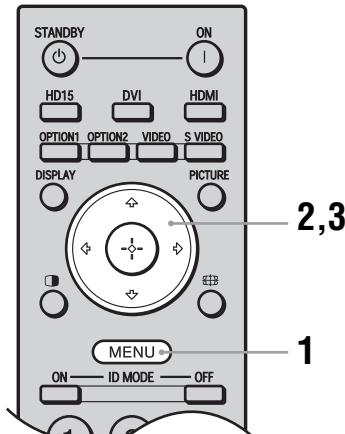
2 ⇧/⇩ ボタンで設定したいメニューのアイコンを選ぶ。

3 ⊕ ボタンまたは ⇨ ボタンを押す。

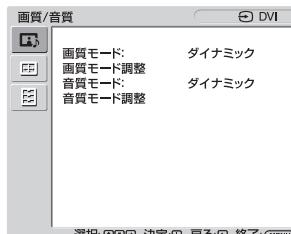
メニューの操作を終了するには、MENU ボタンを押します。

メニュー表示の言語を変更する

メニュー表示とメッセージの言語を、「English」、「Français」、「Deutsch」、「Español」、「Italiano」、「日本語」から選びます。
初期設定では「English」（英語）に設定されています。
32 ページをご覧ください。

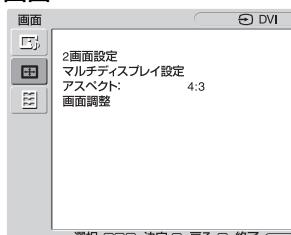
JP

メニュー画面から以下の項目を設定することができます。

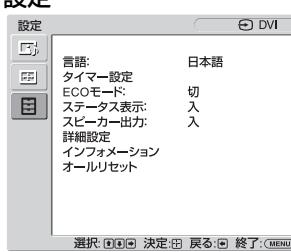
メニュー画面 / **設定 / 変更できる項目**

画質 / 音質

画質モード：（24、26 ページ）
画質モード調整（24、26 ページ）
音質モード：（25、27 ページ）
音質モード調整（25、27 ページ）

ご注意

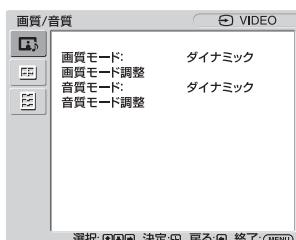
信号が無入力の時は「画質モード」と「画質モード調整」の設定 / 変更はできません。

画面

2 画面設定（28、31 ページ）
マルチディスプレイ設定（29、31 ページ）
アスペクト：（30、31 ページ）
画面調整（30、31 ページ）

設定

言語：（32 ページ）
タイマー設定 (32 ページ)
ECO モード：（32 ページ）
ステータス表示：（32 ページ）
スピーカー出力：（32 ページ）
詳細設定（32 ページ）
インフォメーション（35 ページ）
オールリセット（35 ページ）

* メニュー画面の下の行に表示されているアイコンは、設定項目によっては、働かないことがあります。

画質 / 音質メニュー

ビデオ入力の場合

項目を選んで設定を変えるには、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します。
設定を確定するには ⊕ ボタンを押します。
「画質 / 音質」メニューには、以下の項目が含まれます。

画質モード

「ダイナミック」: 映像の輪郭を強調しコントラストを最大限に上げます。
「スタンダード」: 標準的な設定です。
「カスタム」: お好みに合わせて細かく調整できます。
「カンファレンス」: 蛍光灯下でのビデオ会議に適した画質になります。
「TC Control」: 設定は「ダイナミック」と共通です。加えて「True Color Control」機能（後述）が使用可能となります。

ちょっと一言

リモコンの PICTURE ボタンでも「画質モード」の設定を切り換えることができます。

ご注意

・「カンファレンス」は、ご使用の環境やビデオ会議システムによっては効果が少ない場合があります。その場合は画質調整をしたり、他の「画質モード」の設定に切り換えるなどしてください。
・「TC Control」においては「明るさ強調」は Off で固定です。

画質モード調整

「バックライト」: 液晶画面の明るさを調整します。
「コントラスト」: コントラストの強弱を調整します。
「明るさ」: 映像の明るさを調整します。
「色の濃さ」: 色の濃淡を調整します。
「色あい」: 映像の色調を調整します。
「シャープネス」: 映像の輪郭の強弱を調整します。
「NR」: 接続した機器からのノイズを軽減します。「切」、「低」、「中」、「高」から強弱を設定することができます。
「シネモーション」:「自動」を選ぶと、映画の映像素材を検知し、リバース 3-2 プルダウンまたはリバース 2-2 プルダウン処理によって画面表示を自動的に最適化します。
動画がより鮮明かつ自然に見えます。「切」を選ぶと、この検知を行いません。
「ダイナミックピクチャー」:「入」を選ぶと白をより白く、黒をより黒くしてコントラストを強めます。
「ガンマ補正」: 映像の明暗部分のバランスを調整することができます。「高」、「中」、「低」、「DICOM GSDF Sim.」から強弱を設定することができます。

ご注意

・「ガンマ補正」は、「画質モード」が「カンファレンス」時は設定できません。
・「DICOM GSDF Sim.」は DVI、HDMI 入力の時のみ設定できます。
医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）規格のグレースケール標準関数(GSDF) に基づいたガンマ設定です。但し、本設定は参考用であり、医療診断には使えません。

「色温度」: お好みに合わせて、白色の色調を調整できます。工場出荷時は初期値が各色温度に調整されています。
　「高」: 青みがかった白色になります。
　「中」: 中間の白色になります。

「低」：赤みがかった白色になります。
「カスタム」：上記より広い範囲で白色の色調を調整し設定することができます。

ちょっと一言

色調調整画面で「標準」を選択すると工場出荷時の設定に戻すことができます。

「明るさ強調」：明るさを強調した画質になります。

ご注意

- 「明るさ強調」は、「画質モード」が「ダイナミック」の時のみ設定できます。
- 「明るさ強調」を「入」にしたときは、「バックライト」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」の設定は変更できません。
- 「明るさ強調」が「入」、「バックライト」が「最大」で、なおかつ「ECO モード」が「切」のときに輝度が最大となります。

「True Color Control」：赤、緑、黄、青の４色それぞれについて色合いと鮮やかさを調整することで、画像の中の特定の色を強調することができます。
調整したい色を選択すると、現在の画像でどの部分が調整されようとしているのかを視認した後、ダイアログボックス上のマトリクスでその色を調整することができます。

ご注意

- この項目は「画質モード」が「TC Control」の場合に調整することができます。
- 画面モード時は、この設定を行うことはできません。たとえ 1 画面時に設定しても、「2 画面モード時」には反映されない場合があります。

「標準」：「画質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意

- 入力信号がビデオまたは S ビデオで、映像信号のカラー方式が NTSC でない場合、「色あい」は調整できません。
- 「画質モード」が「カンファレンス」または「TC Control」の場合「ダイナミックピクチャー」は調整できません。
- それぞれの「画質モード」で設定や調整を行うことができますが、「バックライト」「NR」「シネモーション」はすべての画質モードで共通となります。
- 2 画面モード時には「ダイナミックピクチャー」および「シネモーション」は機能しません。

音質モード

各種「音質モード」によって、スピーカー SS-SPG02（別売）から出力される音声を調整できます。
「ダイナミック」：高音と低音を強調します。
「スタンダード」：標準的な設定です。
「カスタム」：お好みに合わせて細かく調整できます。

音質モード調整

「高音」：高音の強弱を調整します。
「低音」：低音の強弱を調整します。
「バランス」：スピーカーの左右出力バランスを調整します。
「サラウンド」：映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。
「切」：サラウンド出力をしません。
「ホール」：映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にします。
「シミュレート」：通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高めます。
「標準」：「音質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

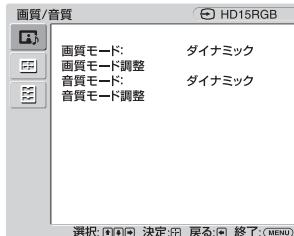
ちょっと一言

- それぞれの「画質モード」ごとに、「画質モード調整」（「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」など）を設定することができます。
- 「音質モード」で「カスタム」を選択しているときは、「音質モード調整」（「高音」、「低音」）を設定することができます。

ご注意

「2 画面」モード時は、アクティブな画面の「画質／音質」メニューのみを調整します。

JP

PC 入力の場合

入力を PC 入力に切り換えた場合、PC 用の「画質 / 音質」メニューとなります。
PC 用の「画質 / 音質」メニューには、以下の項目が含まれます。

画質モード

「ダイナミック」: 映像の輪郭を強調しコントラストを最大限に上げます。
「スタンダード」: 標準的な設定です。
「カスタム」: お好みに合わせて細かく調整できます。
「カンファレンス」: 蛍光灯下でのビデオ会議に適した画質になります。
「TC Control」: 設定は「ダイナミック」と共通です。加えて「True Color Control」機能（後述）が使用可能となります。

ちょっと一言

リモコンの PICTURE ボタンでも「画質モード」の設定を切り換えることができます。

ご注意

- 「カンファレンス」は、ご使用の環境やビデオ会議システムによっては効果が少ない場合があります。その場合は画質調整をしたり、他の「画質モード」の設定に切り換えるなどしてください。
- 「TC Control」においては「明るさ強調」は Off で固定です。

画質モード調整

「バックライト」: 液晶画面の明るさを調整します。
「コントラスト」: コントラストの強弱を調整します。
「明るさ」: 映像の明るさを調整します。
「ガンマ補正」: 映像の明暗部分のバランスを調整することができます。
「高」、「中」、「低」、「DICOM GSDF Sim.」から強弱を設定することができます。

ご注意

- 「ガンマ補正」は、「画質モード」が「カンファレンス」時は設定できません。
- 「DICOM GSDF Sim.」は DVI、HDMI 入力の時のみ設定できます。
  医療におけるデジタル画像と通信（DICOM）規格のグレースケール標準関数（GSDF) に基づいたガンマ設定です。但し、本設定は参考用であり、医療診断には使えません。

「色温度」: お好みに合わせて、白色の色調を調整できます。工場出荷時は初期値が各色温度に調整されています。

「高」: 青みがかった白色になります。
「中」: 中間の白色になります。
「低」: 赤みがかった白色になります。
「カスタム」: 上記より広い範囲で白色の色調を調整し設定することができます。

ちょっと一言

色調調整画面で「標準」を選択すると工場出荷時の設定に戻すことができます。

「明るさ強調」: 明るさを強調した画質になります。

ご注意

- 「明るさ強調」は、「画質モード」が「ダイナミック」の時のみ設定できます。
- 「明るさ強調」を「入」にしたときは、「バックライト」、「コントラスト」、「明るさ」、「色温度」の設定は変更できません。
- 「明るさ強調」が「入」、「バックライト」が「最大」で、なおかつ「ECO モード」が「切」のときに輝度が最大となります。

「True Color Control」: 赤、緑、黄、青の４色それぞれについて色合いと鮮やかさを調整することで、画像の中の特定の色を強調したりすることができます。

調整したい色を選択すると、現在の画像でどの部分が調整されようとしているのかを視認した後、ダイアログボックス上のマトリクスでその色を調整することができます。

ご注意
- この項目は「画質モード」が「TC Control」の場合に調整することができます。
- 画面モード時は、この設定を行うことはできません。たとえ 1 画面時に設定しても、「2 画面モード」時には反映されない場合があります。

「標準」：「画質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意
それぞれの「画質モード」で設定や調整を行うことができますが、「バックライト」はすべての画質モードで共通となります。

音質モード

各種「音質モード」によって、スピーカー SS-SPG02（別売）から出力される音声を調整できます。
「ダイナミック」：高音と低音を強調します。
「スタンダード」：標準的な設定です。
「カスタム」：お好みに合わせて細かく調整できます。

音質モード調整

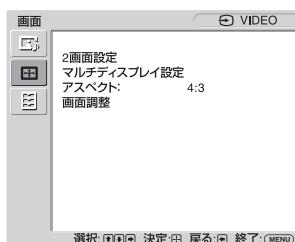
「高音」：高音の強弱を調整します。
「低音」：低音の強弱を調整します。
「バランス」：スピーカーの左右出力バランスを調整します。
「サラウンド」：映像の種類に合わせて、サラウンドモードを選ぶことができます。
　「切」：サラウンド出力をしません。
　「ホール」：映画や音楽などのステレオ音声をより臨場感のある音にします。
　「シミュレート」：通常の放送やニュース番組のモノラル音声を擬似的にステレオ音声にして臨場感を高めます。
「標準」：「音質モード調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ちょっと一言
- それぞれの「画質モード」ごとに、「画質モード調整」（「コントラスト」、「明るさ」、「色の濃さ」など）を設定することができます。
- 「音質モード」で「カスタム」を選択しているときは、「音質モード調整」（「高音」、「低音」）を設定することができます。

ご注意
- 「色の濃さ」、「色あい」、「シャープネス」、「NR」、「シネモーション」、「ダイナミックピクチャー」は、PC 入力時は調整できません。
- 「2 画面」モード時は、アクティブな画面の「画質／音質」メニューのみを調整します。

JP

画面メニュー

ビデオ入力の場合

項目を選んで設定を変えるには、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します。
設定を確定するには ⊕ ボタンを押します。
「画面」メニューには、以下の項目が含まれます。

2 画面設定

PC とビデオなど、ふたつの異なる信号の映像を、並べて表示します。
「2 画面」
　「切」：「2 画面」機能を解除します。
　「P&P」：ふたつの映像を同時に並べて表示します。
　「PinP」：ふたつの映像を主画面の中に副画面として表示します。

P&P の場合

「操作画面」：操作する画面を選びます。
　「左操作」：左の画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「右操作」：右の画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「画面入替」：左右の画面を入れ換えます。
「画面サイズ」：左右の画面の大きさのバランスを調整します。⇦/⇨ ボタンを押しながら調整し、⊕ ボタンを押して決定します。（17 ページ）

PinP の場合

「操作画面」：操作する画面を選びます。
　「主操作」：主画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「副操作」：副画面がアクティブとなり、操作可能になります。
　「画面入替」：主画面と副画面を入れ替えます。

「画面サイズ」：副画面の大きさを設定します。「大」、「小」のどちらかを選びます。
「画面位置」：副画面を表示させたい位置を設定します。⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンで選び、⊕ ボタンで設定します。

ご注意

・「2 画面」モード時は、「画質モード」と「音質モード」は主画面の設定が反映されます。
・「2 画面」モード時は、アスペクト設定の変更ができません。「2 画面」モード選択直前のアスペクトで表示します。

利用可能な 2 画面の組み合わせ

		Sビデオ	ビデオ	RGB/YUV		DVI	HDMI	OPTION			
				RGB	コンポーネント			RGB	コンポーネント	HDMI	HD-SDI/SDI
Sビデオ				○	○	○	○	○	○	○	○
ビデオ				○	○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○	○		○[2]	○	○
	コンポーネント	○	○			○	○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○			○	○		
HDMI		○	○	○	○			○	○		

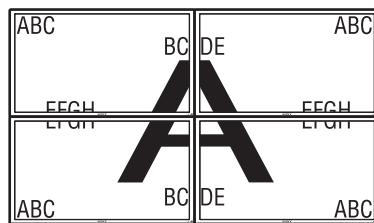
[1]「RGB/YUV」の「本体」が「YUV」、「Option」が「RGB」に設定されている場合に対応します。
[2]「RGB/YUV」の「本体」が「RGB」、「Option」が「YUV」に設定されている場合に対応します。

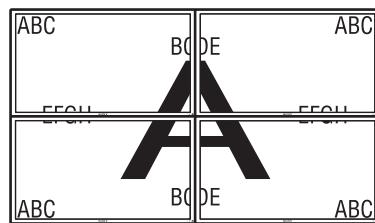
ちょっと一言
BKM-FW50 は 2 画面時において上記表の RGB 出力として扱われます。

JP

マルチディスプレイ設定

本機を複数台接続して、ビデオウォールを構成するための設定をします。
「マルチディスプレイ」
　「切」：1 画面表示になります。
　「2 × 2」/「3 × 3」/「4 × 4」：本機を縦横それぞれに２、３、４台と複数台接続する場合に設定します。
　「1 × 2」/「1 × 3」/「1 × 4」：本機を横に２、３、４台と複数台接続する場合に設定します。
　「2 × 1」/「3 × 1」/「4 × 1」：本機を縦に２、３、４台と複数台接続する場合に設定します。
「ポジション設定」：個々のディスプレイの画面位置を、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンで選びます。⊕ ボタンで位置を確定します。
「出画形式」：図にある 2 種類の映像出力形式から選びます。いずれかの形式を選択することにより、水平・垂直位置を手動で調整しなくても、最適な映像出力が得られます。「タイル」または「ウィンドウ」を選んでください。

「タイル」

それぞれの画面に、映像信号を完全に表示します。

「ウィンドウ」

ひとつの大きな映像を、複数の画面で自然に表示します。
映像信号の一部は、ベゼルの後ろに隠れます。

「LED」：「入」を選ぶと、本機前面の | / ⏻ インジケーター（10 ページ）が点灯しつづけます。「切」を選ぶと、消灯します。

ご注意

・「マルチディスプレイ」は、ビデオ入力の場合は現在の「アスペクト」を極力維持した映像を、PC 入力の場合は「アスペクト」の「フル 2」の映像を表示することができます。
・「2 画面」機能を使用していないときにのみ、「マルチディスプレイ設定」を設定することができます。
・「ポジション設定」を右下に設定すると、「LED」を「切」にしても、| / ⏻ インジケーターが緑色に点灯します。インジケーターは、無信号時 / 未対応信号時も含め、ディスプレイがオフ（スタンバイ）時、異常検出時、スリープ状態時にも点灯します。

アスペクト

「ワイドズーム」：ゆがみを最低限に抑えて映像を拡大し、画面いっぱいに表示します。
「ズーム」：アスペクト比を保ったまま、映像を拡大します。16 ページをご覧ください。
「フル」：4:3 の映像ソース（標準画質）を水平方向に拡大し、画面いっぱいに表示します。16:9 の映像ソース（高画質）の場合は、そのままのアスペクト比で表示します。
「4:3」：すべての映像ソースを 4:3 のアスペクト比で表示します。

ちょっと一言

・ リモコンの ⊞ ボタンでも「アスペクト」の設定を切り換えることができます。
・ 映画などの DVD 映像で、黒帯のある映像を画面いっぱいに映して楽しみたいときは、「ズーム」を選んでください。

ご注意

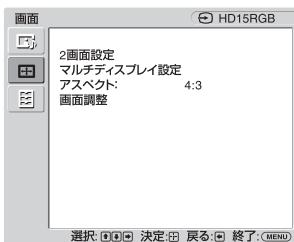
・「2 画面」モード時は、アスペクト設定の変更ができません。「2 画面」モード選択直前のアスペクトで表示します。
・「マルチディスプレイ」使用時は、「アスペクト」は設定できません。
・ 本機を営利目的、または公衆に視聴させることを目的として喫茶店、ホテルなどに置き、ワイド切換機能等を利用して画面の圧縮や引き伸ばし等を行いますと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意願います。
・ 本機は、各種のワイド切換機能を備えています。テレビ番組などソフトの映像比率と異なるモードを選択されますと、オリジナルの映像とは見え方に差が出ます。この点にご留意の上、ワイド切換をお選びください。

画面調整

「水平サイズ」：映像の左右の大きさを調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「水平位置」：映像の左右の位置を調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「垂直サイズ」：映像の上下の大きさを調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「垂直位置」：映像の上下の位置を調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「標準」：「画面調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意

・「画面調整」は、「2 画面」機能使用時は設定できません。
・ 現在の入力が無信号の場合、「画面」メニューの項目は「2 画面設定」と「マルチディスプレイ設定」を除いて、すべて選択不可能となります。

PC 入力の場合

入力を PC 入力に切り換えた場合、PC 用の「画面」メニューとなります。
PC 用の「画面」メニューには、以下の項目が含まれます。

2 画面設定

ビデオ入力時の「2 画面設定」（28 ページ）をご覧ください。

マルチディスプレイ設定

ビデオ入力時の「マルチディスプレイ設定」（29 ページ）をご覧ください。

アスペクト

「フル 1」：アスペクト比を保ったまま、映像を画面垂直方向いっぱいに拡大します。映像の周囲に黒い帯が出ることがあります。
「フル 2」：映像を画面いっぱいに拡大します。
「リアル」：映像を元のままのドット数で表示します。

ご注意

- 「2 画面」モード時は、アスペクト設定の変更ができません。「2 画面」モード選択直前のアスペクトで表示します。
- 「マルチディスプレイ」使用時は、「アスペクト」は設定できません。
- パネル解像度（1,920 × 1,080）より高い解像度の信号を入力した場合、「リアル」は「フル 1」と同じように表示します。

画面調整

「自動調整」：「実行」を選ぶと接続した PC からの入力信号を受けたとき、自動的に映像の位置や位相を調整します。入力信号の種類によっては、「自動調整」がうまく働かないことがあります。その場合は、下記の項目を手動で調整してください。
「画位相」：画面がちらちらしているとき、位相を調整します。
「ドットピッチ」：映像におかしな縞模様が出るとき、ピッチを調整します。

ご注意

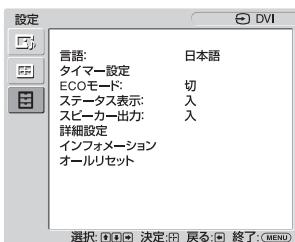
- 「自動調整」、「画位相」、「ドットピッチ」は DVI や HDMI などのデジタル信号を入力した場合は選択できません。
- 「自動調整」を行うときは全体が明るい画像を表示してください。映像の位置が正しく調整されない場合があります。

「水平サイズ」：映像の左右の大きさを調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。

「水平位置」：映像の左右の位置を調整します。⇦/⇨ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「垂直サイズ」：映像の上下の大きさを調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「垂直位置」：映像の上下の位置を調整します。⇧/⇩ ボタンと ⊕ ボタンで調整結果を確定します。
「標準」：「画面調整」のすべての設定項目を初期設定に戻します。

ご注意

現在の入力が無信号の場合、「画面」メニューの項目は「2 画面設定」と「マルチディスプレイ設定」を除いて、すべて選択不可能となります。

JP

設定メニュー

項目を選んで設定を変えるには、⇧/⇩/⇦/⇨ ボタンを押します。
設定を確定するには ⊕ ボタンを押します。
「設定」メニューには、以下の項目が含まれます。

言語

メニュー表示の言語を、「English」、「Français」、「Deutsch」、「Español」、「Italiano」、「日本語」の中から選びます。

タイマー設定

時刻合わせ、内蔵時計の表示、およびあらかじめ決めた時間に自動で電源を入 / 切するタイマー機能の設定をすることができます。
「時刻設定」: 年月日と時刻を設定します。
　「日付設定」: 年月日を設定します。曜日は自動的に設定されます。
　「時間設定」: 時刻を設定します。
「時計表示」:「入」を選ぶと、リモコンのディスプレイボタンを押したときに設定された現在時刻を表示します。
「電源タイマー」: 自動的に電源を入 / 切する時間を設定します。

ご注意

時刻が大幅にずれたりするときは、内蔵電池の消耗が考えられます。お買い上げ店またはソニーのサービス窓口に電池の交換をご依頼ください（有料）。

ECO モード

「切」: 省電力機能を使用しません。
「低」/「高」: バックライトの明るさを変化させて、消費電力を減らします。

ステータス表示

「入」を選ぶと、電源を入れたときに入力信号と「アスペクト」の情報が、画面に約 5 秒間表示されます。また、入力信号を切り換えると、入力信号の情報が約 5 秒間表示されます。「切」を選ぶと、情報は表示されません。

ちょっと一言

リモコンの DISPLAY ボタンで、「ステータス表示」の設定にかかわらず入力信号と「アスペクト」の情報を表示させることができます。

スピーカー出力

「入」: スピーカーから音声を出力します。
「切」: スピーカーから音声を出力しません。

詳細設定

「コントロール設定」: 本機およびリモコンの操作に関する設定を行います。
　「インデックス番号」: 必要に応じて、本機のインデックス番号を変更します。⇧/⇩ ボタンでインデックス番号を設定し、⊕（ENTER）ボタンで決定します。

ご注意

「インデックス番号」を設定するときは、本機のボタンをご使用ください。リモコンでは設定できません。

　「コントロールモード」
　　「本体＋リモコン」: 本機のボタンおよびリモコンで、本機を操作できます。
　　「本体のみ」: リモコンでの操作を無効にします。本機のボタンでのみ、本機の設定をすることができます。
　　「リモコンのみ」: リモコンだけで操作したいときに、本機の操作を無効にします。リモコンでのみ、本機の設定をすることができます。

ご注意

この項目を設定するとき、リモコンからか本体からかによって選べるモードが異なります。リモコンの ⊕ ボタンで設定するときは、「本体＋リモコン」か「リモコンのみ」を選べます。本機の⊕（ENTER）ボタンで設定するときは、「本体＋リモコン」か「本体のみ」を選べます。

「自動画面調整」

「入」：各入力信号ごとに調整値（サイズ、位置など）を保存でき、最後の調整値が自動的に適用されます。

「切」：入力信号を切り換えても自動調整されず、初期設定が適用されます。

ご注意

「自動画面調整」の機能は RGB 入力時のみ動作します。

「オートシャットオフ」

「入」：ビデオ入力、S ビデオ入力に無信号の状態が約 5 分続くと、本機は自動的にスタンバイ状態になります。また DVI 入力、HDMI 入力、HD15（RGB/ コンポーネント）入力に無信号の状態が約 30 秒続くと、自動的にパワーセービング状態になります。

「切」：各入力に無信号の状態が続いても、本機の電源は切れません。

ちょっと一言

- スタンバイ状態のときは ⏻（POWER）スイッチまたはリモコンの POWER ON スイッチを押すと、電源が入ります。またパワーセービング状態のときは、信号が入力されると自動的に電源が入ります。
- 「オンスクリーンロゴ」を「入」に設定しているときやスクリーンセーバー機能を動作させているとき、2 画面設定がされているときは、本機能は無効となります。

「オーバースキャン」：オーバースキャンとジャストスキャンのどちらで画像を表示するかを設定します。

「自動」：DTV と判断できる信号を自動でオーバースキャンして表示します。

「入」：オーバースキャンして画像を表示します。

「切」：ジャストスキャンして画像を表示します。

ご注意

DTV 信号でオーバースキャンを「切」に設定すると、入力信号の画面表示が PC 信号の画面表示のようになるものがあります。

例　480P　→　720 × 480/60

「同期モード」：HD15（RGB/COMPONENT）IN 端子の 13 番ピンに入力される信号によって、モードを設定します。

「同期信号」：水平同期信号またはコンポジット同期信号が入力される場合に選択します。

「映像信号」：映像信号が入力される場合に選択します。

ご注意

- 「同期モード」は、HD15 にアナログ RGB 信号が入力時のみ有効です。
- コンポジット同期の信号レベルによっては正しく画像が表示されない場合があります。その際は、「同期モード」の設定を変更してください。
- 「同期信号」しか選べない入力があります。この場合は水平・垂直同期信号を 13、14 ピンに入力してください。
- オプションボード入力では、「同期モード」の設定はできません。
- 「同期モード」で「映像信号」を選択した場合、設定できる信号は、575/50i、480/60i のみです。
- 「同期モード」で「映像信号」を選択した場合、2 画面への切り換えはできません。

「RGB/YUV」

「本体」/「Option」：本体の HD15 (RGB/COMPONENT) およびオプションボードの 5BNC (RGB/COMPONENT) 端子に接続された映像機器や PC の信号の種類を設定します。

「自動」：アナログ RGB またはコンポーネント信号を自動的に選別します。

「RGB 」：アナログ RGB 信号入力の場合に選択します。

JP

「**YUV**」**:** コンポーネント信号入力の場合に選択します。

ご注意

コンポジット同期で RGB 信号を入力するときは「RGB」を選択してください。

ちょっと一言

利用可能な 2 画面の組み合わせについては、29 ページをご覧ください。

「**カラー方式**」**:**「自動」、「NTSC」、「NTSC4.43」、「PAL」、「PAL-M」、「PAL-N」、「PAL60」から映像信号のカラー方式を設定します。「自動」を選ぶと、カラー方式が自動的に設定されます。

ご注意

「カラー方式」は、PC 入力時は設定できません。

「**RGB 信号**」**:** HD15、DVI、HDMI 各入力端子に 1280 × 768/60、720 × 480/60 の RGB 信号が入力されたときに Video 信号として動作するか、PC 信号として動作するかを選択します。

「**スクリーンセーバー**」**:** 画面の焼きつきや残像の発生を補正したり、軽減させるために設定します。

「**オールホワイト**」**:** 全白画面を表示します。(約 30 分で自動的に終了し、スタンバイ状態に移行します。)

「**スウィープ**」**:** 白いバーが画面上をスクロールします。

「**スタンバイ**」**:**「タイマー設定」で指定した時間、スタンバイ状態（10 ページ）でスクリーンセーバーを行います。(スクリーンセーバー中、画面は表示されません。) 終了後、通常のスタンバイ状態に移行します。

「**ロゴ**」**:** 本機前面のソニーロゴが点灯します。

「**位置**」**:**「自動」、「横位置」、「縦位置」から本機の設置方法を設定することにより、常に画面下側のロゴを点灯させることができます。「自動」を選ぶと横位置または縦位置を自動的に選別します。

「**イルミネーション**」**:** ロゴを点灯させないときは「切」を選びます。「低」、「高」から明るさを選びます。

「**オンスクリーンロゴ**」

「**入**」**:** 信号が入力されていないときにモデル名ロゴが表示されます。

「**切**」**:** 信号が入力されていないときにモデル名ロゴが表示されません。

「**ネットワークポート**」**:** 本機を遠隔操作する場合のポートを設定します。

「**切**」**:** ネットワークポートを使用しない場合に設定します。スタンバイ時の消費電力を抑えることができます。

「**Option**」**:** OPTION スロットの REMOTE 端子や LAN 端子に接続した PC でディスプレイの各種設定を行います。(38 ページ)

「**本体**」**:** 本機の REMOTE（LAN）端子に接続した PC で、ディスプレイの各種設定を行います。(38 ページ)

ちょっと一言

OPTION スロットに BKM-FW50 を装着した場合は、自動的に「Option」に設定されます。

「**IP Address Setup**」**:** 本機やオプションアダプターの REMOTE（LAN）端子と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器とが通信できるように IP アドレスを設定します。

「**Speed Setup**」**:** 本機やオプションアダプターの REMOTE（LAN）端子と、LAN ケーブルで接続された PC などの機器との間の通信速度を設定します。

ちょっと一言

「IP Address Setup」と「Speed Setup」の詳しい設定方法は "ネットワーク機能を使う準備をする"（36 ページ）をご覧ください。

「**パワーオンディレイ**」**:** パワーオンに移行するまでの時間を調整します。Off、1 ～ 120 秒で設定できます。複数台をつないだ場合の電源設備への急激な負荷変動を抑制します。

「**明るさセンサー**」

「入」: 周囲の明るさに合わせて、画面の明るさを自動調整します。

「切」: 画面の明るさを自動調整しません。

インフォメーション	「日付」、「機種名」、「シリアル番号」、「累積通電時間」、「ソフトウェアバージョン」、および「IP Address」を表示します。オプションアダプター BKM-FW50 を装着している場合は「Player IP Address」（静止画、動画再生機能用の IP Address）も表示されます。詳しくは BKM-FW50 の取扱説明書をご覧ください。
オールリセット	すべての調整値、設定値を工場出荷時の状態に戻します。 **ご注意** 「インフォメーション」に含まれる内容と、「インデックス番号」はリセットされません。

JP

ネットワーク機能を使う準備をする

使用上のご注意

- 本機のソフトウェアの仕様は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- アプリケーションソフトウェアは、この取扱説明書の画面と一部異なる場合があります。
- 安全のために該当ポートには過電圧が加わる恐れのないネットワークに接続してください。
- このマニュアルに記載されている操作方法は、下記の環境下でのみ動作を保証しています。

  オペレーティングシステム：

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  ブラウザー：

  Microsoft Internet Explorer 6.0 以上
- ネットワーク上の安全のために、ユーザー名とパスワードを設定して使用することを推奨します。設定方法について詳しくは"Setup画面"（39 ページ）をご覧ください。
  セキュリティーの設定については、ネットワーク管理者にお尋ねください。

IP アドレスを設定する

本機は、10BASE-T/100BASE-TX の LAN ケーブルでネットワークに接続することができます。
本機を LAN に接続して使用するときは、次のどちらかの方法で本機の IP アドレスを設定します。IP アドレスの割り当てについては、サーバーの管理者にお問い合わせください。

- 固定の IP アドレスを本機に設定する
  通常はこの方法で使用することを推奨します。工場出荷時には自動取得になっておりますのでご注意ください。
- IP アドレスを自動取得する
  本機を接続するネットワーク上に DHCP サーバーがある場合に、本機の IP アドレスを DHCP サーバーから自動的に取得して使用することもできます。この場合、本機を取り付けたディスプレイの電源を入れるたび IP アドレスが変わる場合があるのでご注意ください。

IP アドレスを設定する前に、本機に LAN ケーブルでネットワークに接続し、電源を入れて 30 秒ほど待ってから設定を開始してください。

固定の IP アドレスを本機に設定する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「詳細設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「IP Address Setup」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

5 「Manual」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

6 「IP Address」、「Subnet Mask」、「Default Gateway」、「Primary DNS」、「Secondary DNS」の中から設定する項目を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

7 本機の ⇧/⇩ ボタンまたはリモコンの数字ボタンで、最初の枠に 3 桁の値（0 ～ 255）を入力し、⊕ ボタンまたは ⇨ ボタンを押す。

8 4 つの枠にそれぞれ 3 桁の値(0 ～ 255)を入力し、⊕ ボタンを押す。手順 6 に戻り ⇧/⇩ ボタンで次に設定したい項目を選び、⊕ ボタンを押す。

9 設定したいすべての項目に値を入力したら、⇧/⇩ ボタンで「Execute」を選び、⊕ ボタンを押す。

「Execute」を選んで、⊕ ボタンを押すと、IP アドレスが手動で設定されます。
「Cancel」を選ぶと、変更前の設定に戻ります。

IP アドレスを自動取得する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「詳細設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「IP Address Setup」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

5 「DHCP」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

「Execute」を選ぶと、自動的に IP アドレスを設定します。
「Cancel」を選ぶと、実行されません。

ご注意

IP アドレスが正しく設定されていないと、原因に応じて、次のようなエラーコードが表示されます。
Error 1：通信エラー
Error 2：IP アドレスがほかで使われている
Error 3：IP アドレスの設定不備
Error 4：Gateway address の設定不備
Error 5：Primary DNS の設定不備
Error 6：Secondary DNS の設定不備
Error 7：Subnet mask の設定不備

自動取得した IP アドレスを確認する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「インフォメーション」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「IP Address」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

現在取得されている IP アドレスが表示されます。

ちょっと一言

IP アドレスが正常に取得できなかったときは、前回正常に取得できた IP アドレスが「インフォメーション」や「IP Address Setup」の「Manual」に表示されます。

通信速度を設定する

1 MENU ボタンを押してメインメニューを表示させる。

2 「設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

3 「詳細設定」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

4 「Speed Setup」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

5 「Auto」、「10Mbps Half」、「10Mbps Full」、「100Mbps Half」、「100Mbps Full」の中から設定する通信速度を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押す。

「Auto」を選ぶとネットワーク構成に適切な通信速度が自動的に設定されます。

6 「Execute」を ⇧/⇩ ボタンで選び、⊕ ボタンを押すと、設定が反映されます。

JP

PCで操作する

ディスプレイをコントロールする

PCの画面上でディスプレイの各種設定ができます。
本機、PC、ルーターまたはハブがネットワークケーブルで接続されていることを確認し、ディスプレイとPC、ルーターまたはハブの電源を入れてください。
ディスプレイコントロール画面は、機能別にInformation画面、Configure画面、Control画面、Setup画面の4画面を表示できます。

◆ボタンの働きについて詳しくは、ディスプレイ各機能の説明をご覧ください。

1 PCのブラウザー（Internet Explorer 6.0以上）を起動する。

2 アドレスに前ページで設定したIPアドレスを「http://xxx.xxx.xxx.xxx」と入力し、キーボードのEnterキーを押す。

ユーザー名とパスワードが設定されていると、Network Password（ネットワークパスワード）入力画面が表示されます。設定したユーザー名とパスワードを入力してから、次の手順に進んでください。

3 画面上部の機能タブをクリックして表示したい画面を選ぶ。

各画面の設定項目

本機のLAN機能を使用した場合

Information画面

Model Name（モデル名）やSerial No.（シリアル番号）などのディスプレイの情報や、POWER（電源）やINPUT（入力信号）などのディスプレイの現在の状態などを表示します。
この画面は確認のみで、設定の変更はできません。

Configure画面

Timer（タイマー）

タイマーを設定します。
設定後「Apply」をクリックします。

Screen Saver（スクリーンセーバー）

スクリーンセーバーを設定します。
設定後「Apply」をクリックします。

Picture and Picture（2画面）

2画面の設定をします。
設定後「Apply」をクリックします。

ご注意

「Timer」の設定を行うときは、あらかじめSetup画面（39ページ）で時刻の設定をしておいてください。

Control画面

POWER（電源）

ディスプレイの電源の入/切を切り換えます。

INPUT（入力切換）

入力信号を切り換えます。

PICTURE MODE（ピクチャーモード）

ピクチャーモードを切り換えます。

ASPECT（アスペクト）

画面の縦横比を切り換えます。

Contrast（コントラスト）+/– ボタン

コントラストを調整します。

Brightness（ブライトネス）+/– ボタン

画像の明るさを調整します。

Chroma（色の濃さ）+/– ボタン

色の濃さを調整します。

Phase（色あい）+/– ボタン

色あいを調整します。

Reset（リセット）ボタン

「Contrast（コントラスト）」から「Phase（色あい）」の設定値を出荷状態に戻します。

ご注意

・ 入力信号がビデオまたはSビデオで、映像信号のカラー方式がNTSCでない場合、「Phase」は調整できません。

・「Chroma」、「Phase」は、PC 入力時は調整できません。
・「 ASPECT 」における「 Normal 」はビデオ入力時の「 4：3 」、PC 入力時の「リアル」にあたります。

Setup 画面

Network Password（ネットワークパスワード）を設定するための画面が表示されます。お買い上げ時は、次のように設定されています。

Name： root
Password：pudadm

各画面で入力した情報、変更した設定などは、各画面下方の「Apply」をクリックすると反映されます。
特殊文字、日本語は使用できません。

Owner Information

Owner（所有者）

所有者の情報を入力します。

Display Location（ディスプレイ設置場所）

ディスプレイの Location（設置場所）を入力します。

ご注意

入力する文字列にスペースは使用しないでください。ファイル名が正しく表示されないことがあります。

Memo（メモ）

メモを入力しておくことができます。

Time

Time（時刻）

時刻、年、月、日を入力設定します。

Network

Internet Protocol (TCP/IP)（インターネットプロトコル）

「Specify an IP address （IP アドレスを手動で設定する）」を選び、各数値を設定します。
「Obtain an IP address (DHCP) （IP アドレスを自動的に設定する）」を選び、DHCP サーバーから IP アドレスを自動取得することもできます。この場合、本機の電源を入れるたびに IP アドレスが変わることがあるのでご注意ください。

ご注意

ディスプレイのメニューからも設定できます。詳しくは「IP Address Setup」（34 ページ）をご覧ください。

Password（パスワード）

管理者、ユーザーそれぞれに名前とパスワードを設定できます。管理者の名前は「root」に固定されています。
最大入力文字数は、それぞれ 8 文字です。

ユーザー名とパスワードを設定すると、本機のディスプレイコントロール画面を呼び出したときに、Network Password（ネットワークパスワード）入力画面が表示されるようになります。ネットワーク上の安全のために、ユーザー名とパスワードを設定して使用することを推奨します。

Mail Report（メールレポートの設定）

Error Report（エラーレポート）

ディスプレイの機能にエラーが発生した場合、すぐにメールで通知します（エラー通知）。

Status Report（ステータスレポート）

設定したインターバルで設定時刻の Display の status をメールでレポートできます。

Address（送信先）

各テキストボックスに送信先のメールアドレスを入力します。同時に 4 か所に送信できます。
各アドレスの最大入力文字数は 64 文字です。

Mail Account（メールアカウント）

Mail Address（メールアドレス）：

割り当てられたメールアドレスを入力します。
最大入力文字数は 64 文字です。

Outgoing Mail Server (SMTP) （送信メールサーバー）：

メールサーバーのアドレスを設定します。
最大入力文字数は 64 文字です。

Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP)（メール送信に POP 認証が必要）：

SMTP サーバーに接続する際に POP 認証を行う必要がある場合、チェックボックスをチェックしてください。

Incoming Mail Server (POP3)（受信メールサーバー）：

「POP before SMTP」での POP 認証に使用する POP3 サーバーのアドレスを入力します。

Account Name（アカウント名）：

メールアカウントを入力します。

Password（パスワード）：

メールパスワードを入力します。

Send Test Mail（テストメール送信）：

指定したアドレスにメールが送信されるかどうか、テストメールを送信することができます。チェックボックスをチェックして「Apply」をクリックすると送信されます。

ご注意

以下の項目が設定されていないか、設定が正しくない場合には、エラーメッセージが表示され、テストメールは送信できません。

JP

・ 送信先のアドレス
・ メールアカウントのメールアドレスと送信メールサーバー（SMTP）

Advanced （高度な設定）

ネットワーク上で各種アプリケーションを利用可能にする高度な設定を行います。ご利用のアプリケーションの設定要求とあわせてご確認ください。

Advertisement

ネットワーク上での Advertisement、Broadcast の設定を行います。

ID Talk

ID Talk の設定を行います。ID Talk とは、ネットワーク経由で本機を操作するためのプロトコルです。ID Talk によって、色温度やガンマなどさまざまな調整や設定ができるようになります。
使用可能な ID Talk コマンドについて詳しくはサービスセンターにお問い合わせください。

SNMP

本機は SNMP に対応したネットワーク機器です。標準 MIB-II の他に、ソニーの Enterprise MIB に対応しています。この画面では、SNMP（Simple Network Management Protocol）に関する設定を行います。
使用可能な SNMP コマンドについて詳しくはサービスセンターにお問い合わせください。

初期化するには

「Setup」画面で入力した設定値を初期化するには、「オールリセット」で初期設定に戻し、再度ネットワークの設定を行ってください。

故障かな？と思ったら

I / ⏻ インジケーターが赤く点滅していないか確認する。

点滅している場合

自己診断機能が働いています。

1 I / ⏻ インジケーターの点滅回数および消灯時間をはかる。
たとえば、2 回点滅→ 3 秒消灯→ 2 回点滅となります。

2 本機の ⏻（POWER）スイッチを押して電源を切り、電源コードを抜く。
お買い上げ店またはソニーサービス窓口にインジケーターの点滅状態（点滅回数および消灯時間）をお知らせください。

点滅していない場合

1 以下の表の項目を点検する。

2 それでも正常に動作しないときは、お買い上げ店またはソニーサービス窓口に修理を依頼する。

JP

こんなときは	原因と対処のしかた
本機の電源スイッチおよびコントロールボタンが働かない。	・「コントロール設定」を確認してください（32 ページ）。
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子から映像信号が出力されない。	・本機がスタンバイ状態のときや AC 電源が Off しているときは HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 端子から出力されません。
BKM-FW16 の HD-SDI OUT 端子から信号が出力されない。	・本機がスタンバイ状態や AC 電源が Off しているときは HD-SDI OUT 端子から出力されません。
画像が出ない。	
画像が出ない。	・映像機器と本機の接続を確認してください。 ・「RGB/YUV」の設定を確認してください（33 ページ）。 ・本機の INPUT ボタンまたはリモコンで入力を切り換えてみてください（13、14 ページ）。
本機の電源が自動的に切れる。	・「タイマー設定」が有効になっていないか確認してください（32 ページ）。 ・「オートシャットオフ」が「入」になっていないか確認してください（33 ページ）。 ・周囲温度が 35 度以上になっていないか確認してください。
画像が見にくい。	
色がつかない / 画像が暗い / 画像が明るすぎる / 色がおかしい / 画像が徐々に暗くなる / 画像に横方向のノイズが走る	・PICTURE ボタンを押してご希望の「画質モード」に切り換えてください（14 ページ）。 ・「画質 / 音質」メニューで「画質モード」の項目を調整してください（24、26 ページ）。 ・接続ケーブルの状態を点検してください。 ・周囲温度が 35 度以上になっていないか確認してください。 ・「ECO モード」の設定を確認してください（32 ページ）。 ・VIDEO OUT 端子に映像機器をつながない場合はビデオケーブル、変換用コネクター等をつながないでください。終端されずに映像が白浮きします。 ・「明るさセンサー」の設定を確認してください（34 ページ）
画面全体が緑や紫になっている	・「RGB/YUV」の設定を間違えていないか確認してください（33 ページ）。

こんなときは	原因と対処のしかた
音が出ない / 音にノイズが混じる。	
画像は表示されているが、音声が出ない。	・音量を確認してください。 ・リモコンの🔇または◿ ＋を押して「消音」を画面から消してください（15 ページ）。 ・「スピーカー出力」の設定を確認してください（32 ページ）。
リモコンが動かない。	・電池の＋ / －が正しく挿入されているか確認してください。もしくは電池を交換してください。 ・リモコンを本機のリモコンセンサーに向けてください。 ・リモコンセンサーのまわりに障害物を置かないようにしてください。 ・「コントロール設定」を確認してください（32 ページ）。 ・CONTROL S IN 端子（BKM-FW21 別売）にケーブルが接続されていないか確認してください。本機が CONTROL S 接続によって制御されているとき、リモコンはご使用になれません。 ・蛍光灯によってリモコンの操作に障害が出る場合があります。蛍光灯を消してみてください。
ネットワークに接続できない。	・REMOTE 端子にケーブルを奥までしっかり差し込んでください。 ・PC のネットワーク設定を確認してください。 ・「設定」メニューの「オールリセット」で初期設定に戻し、再度ネットワークの設定を行ってください。 ・「ネットワークポート」の設定を確認してください（34 ページ）。
ディスプレイコントロール画面（本機の GUI が表示される Web 画面）が表示されない。	・ブラウザーで Web ページの更新を行ってください。 ・IP アドレスが正しいか確認してください。 ・ブラウザーは Internet Explorer 6.0 以上を使用してください。 ・ブラウザーのキャッシュをクリアしてください。

入力信号一覧表

PC 信号

	解像度	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac[b)] 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD) *	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29.8	60
16	848 × 480@75 Hz (CVT)	37.7	75
17	848 × 480@85 Hz (CVT)	43.0	85
18	1280 × 720@60 Hz (CVT)	44.8	60
19	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47.8	60
20	1280 × 768@75 Hz (CVT)	60.3	75
21	1280 × 960@60 Hz (CVT)	59.7	60
22	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47.7	60
23	800 × 600@60 Hz (CVT)	37.4	60
24	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47.8	60
25	1280 × 1024@60 Hz (CVT)	63.7	60
26	1400 × 1050@60 Hz (CVT) *	65.3	60
27	1600 × 1200@60 Hz (CVT) *	74.5	60
28	1920 ×1080@60Hz	66.6	60
29	1920 ×1200@60Hz	74.0	60

TV/ ビデオ信号

	解像度	利用可能な入力				
		ビデオ	コンポーネント / RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24PsF		○			

a) VGA は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
b) Mac（Macintosh）は Apple Inc. の登録商標です。
c) VESA は Video Electronics Standards Association の登録商標です。
d) VESA Coordinated Video Timing

ご注意

- HDTV 信号を入力する場合、同期信号は 3 値同期信号を HD15（RGB/COMPONENT）IN 端子（D-sub 15 ピンコネクター）の 2 番ピンに入力してください。
- 本機で DVD 信号を入力した場合、画像の色を薄く感じたら、「画質 / 音質」メニューの「色の濃さ」でお好みの色の濃さに調整してください。
- 位相を再調整すると解像度が低下します。
- Mac の信号は、デジタル RGB 信号入力では、保証されません。
- ＊の信号は、デジタル RGB 信号入力端子に入力できません。
- カラーバーストのないビデオ信号は保証されません。

JP

入力信号 / ディスプレイ設定情報の画面表示

画面表示	意味
640 × 480 / 60（例）	PC 信号が入力されています。
480 / 60I （例）	コンポーネント信号が入力されています。
NTSC（例）	ビデオ信号が入力されています。
標準信号ではありません。	標準信号でない信号が入力されています。
信号がありません。	入力信号がありません。
HD15	HD15 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「自動」に設定されています。
HD15 RGB	HD15 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「RGB」に設定されています。
HD15 Component	HD15 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「YUV」に設定されています。
DVI	DVI 入力が選択されています。
HDMI	HDMI 入力が選択されています。
Video	コンポジットビデオが選択されています。
S Video	S ビデオが選択されています。
Option	Option 入力が選択されています。「RGB/YUV」は「自動」に設定されています。
Option RGB	Option 入力のアナログ RGB が選択されています。
Option Component	Option 入力のコンポーネントビデオが選択されています。
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	Option 入力の HDMI 1 または HDMI 2 が選択されています。
Option HD SDI	Option 入力の HD SDI が選択されています。

仕様

映像処理系

パネル方式　a-Si：TFT Active Matrix LCD Panel
解像度　1,920 ドット（水平）× 1,080 ライン（垂直）
サンプリング周波数
　13.5 MHz ～ 162 MHz
カラー方式　NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
入力信号　43 ページをご覧ください。
ピクセルピッチ　0.744（水平）× 0.744（垂直）mm
有効表示寸法　1,428.5（水平）× 803.5（垂直）mm
画面サイズ　64.5（V）型（対角 1,639 mm）

入出力

REMOTE　ネットワーク端子
　(10BASE-T/100BASE-TX)
AUDIO　ステレオミニジャック（× 1）
　500 mVrms、ハイインピーダンス
VIDEO　S VIDEO IN
　ミニ DIN4 ピン（× 1）
　Y（輝度）：1 Vp-p ± 2 dB 同期負、75 Ω 終端
　C（クロマ）：バースト 0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC）、75 Ω 終端
　バースト 0.3 Vp-p ± 2 dB（PAL）、75 Ω 終端
　VIDEO IN BNC 型（× 1）
　コンポジットビデオ 1 Vp-p ± 2 dB 同期負、75 Ω 自動終端
　VIDEO OUT BNC 型（× 1）
　ループスルー
　AUDIO IN
　ステレオミニジャック (× 1)
　500mVrms、ハイインピーダンス
HD15（RGB/COMPONENT）
　HD15（RGB/COMPONENT）IN
　D-sub 15 ピン（凹）（× 1）
　46 ページをご覧ください。
　HD15（RGB/COMPONENT）OUT
　D-sub 15 ピン（凹）（× 1）
　46 ページをご覧ください。
　AUDIO IN
　ステレオミニジャック（× 1）
　500 mVrms、ハイインピーダンス
DVI　DVI IN
　(DVI 規格 1.0 準拠)
　AUDIO IN
　ステレオミニジャック（× 1）
　500 mVrms、ハイインピーダンス
HDMI IN　HDMI（1080p）
SPEAKER　スピーカー出力（L/R）
　6Ω 7W + 7W

その他

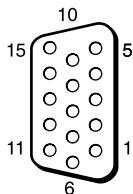
電源 AC　100 V ～ 240 V、50/60 Hz、5.5 A（最大）
消費電力　540 W（最大）
動作条件　温度：0 ～ 35 ℃
　湿度：20 ～ 90%
　（結露のないこと）
保存・輸送条件　温度：－ 10 ～＋ 40 ℃
　湿度：20 ～ 90%
　（結露のないこと）
外形寸法　1,557 × 931 × 183 mm
　（幅 / 高さ / 奥行き、最大突起部含まず）
質量　約 94 kg
付属品　電源コード（1）
　LAN ケーブル（1）
　AC プラグホルダー（2）
　変換プラグアダプター (1)
　リモコン RM-FW002（1）
　単 3 形マンガン乾電池（2）
　取扱説明書（1）
　特約店様用設置説明書（1）
　保証書（ソニー業務用商品相談窓口のご案内）（1）

別売アクセサリー
　スピーカー SS-SPG02
　機能拡張用オプションアダプター
　BKM-FW シリーズ

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

JP

ピン配列

HD15（RGB/COMPONENT）端子（D-sub 15 ピン）

ピン No.	信号
1	赤映像信号または C_R/P_R 信号
2	緑映像信号または Y 信号
3	青映像信号または C_B/P_B 信号
4	接地 (GND)
5	接地 (GND)
6	赤接地 (GND)
7	緑接地 (GND)
8	青接地 (GND)
9	未使用
10	接地 (GND)
11	接地 (GND)
12	SDA
13	水平同期信号、コンポジット同期信号またはコンポジットビデオ信号 (同期信号として)
14	垂直同期信号
15	SCL

ご注意

コンポーネント信号を入力する際は 13、14 ピンに同期信号を入力しないでください。画像が正しく表示されない場合があります。

安全規格　　電安法、VCCI クラス B
本機は「JIS C 61000-3-2 適合品」です。
JIS C 61000-3-2 適合品とは、日本工業規格「電磁両立性 - 第 3-2 部：限度値 - 高調波電流発生限度値（1 相当たりの入力電流が 20 A 以下の機器）」に基づき、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製品です。

索引

JP

R

S

T

V

WARNING

Owner's Record

The model and serial numbers are located on the rear. Record the model and serial numbers in the spaces provided below. Refer to these numbers whenever you call upon your Sony dealer regarding this product.

Model No.______ Serial No.______

To avoid electrical shock, do not open the cabinet. Refer servicing to qualified personnel only.

THIS APPARATUS MUST BE EARTHED.

On transportation

When you carry the display unit, hold the unit itself, not the speakers. If you fail to do so, the speakers may come out of the unit and the unit may fall. This can cause injury.

WARNING

When installing the unit, incorporate a readily accessible disconnect device in the fixed wiring, or connect the power plug to an easily accessible socket-outlet near the unit.
If a fault should occur during operation of the unit, operate the disconnect device to switch the power supply off, or disconnect the power plug.

For customers in the U.S.A.

If you have any questions about this product, you may call; Sony Customer Information Services Center 1-800-222-7669 or http://www.sony.com/

Declaration of Conformity

Trade Name:	SONY
Model:	GXD-L65H1
Responsible Party:	Sony Electronics Inc.
Address:	16530 Via Esprillo, San Diego, CA 92127 U.S.A.
Telephone Number:	858-942-2230

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses, and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

You are cautioned that any changes or modifications not expressly approved in this manual could void your authority to operate this equipment.
All interface cables used to connect peripherals must be shielded in order to comply with the limits for a digital device pursuant to Subpart B of Part 15 of FCC Rules.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR USA ONLY.
If used in USA, use the UL LISTED power cord specified below.
DO NOT USE ANY OTHER POWER CORD.

Plug Cap	Parallel blade with ground pin (NEMA 5-15P Configuration)
Cord	Type SJT or SVT, three 16 or 18 AWG wires
Length	Minimum 1.5m (4 ft .11in.), Less than 2.5 m (8 ft. 3 in.)
Rating	Minimum 6A, 125V

Using this unit at a voltage other than 120V may require the use of a different line cord or attachment plug, or both.
To reduce the risk of fire or electric shock, refer servicing to qualified service personnel.

The socket-outlet should be installed near the equipment and be easily accessible.

For the customers in Europe

The manufacturer of this product is Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
The Authorized Representative for EMC and product safety is Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Germany. For any service or guarantee matters please refer to the addresses given in separate service or guarantee documents.

WARNING: THIS WARNING IS APPLICABLE FOR OTHER COUNTRIES.

1. Use the approved Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug with earthing-contacts that conforms to the safety regulations of each country if applicable.
2. Use the Power Cord (3-core mains lead) / Appliance Connector / Plug conforming to the proper ratings (Voltage, Ampere).

If you have questions on the use of the above Power Cord / Appliance Connector / Plug, please consult a qualified service personnel.

GB

For kundene i Norge

Dette utstyret kan kobles til et IT-strømfordelingssystem.

Table of Contents

Introduction

Location and Function of Parts and Controls

GB

Connections

Using the Settings

Network Functions

Other Information

Precautions

Warning

- The additional Installation Manual for Dealers is written for dealers.
  If customers perform the installation or movement described in this manual, an accident may occur, causing serious injury. Never install or move it by yourself. For installation, be sure to consult with a Sony dealer.
- Do not install the unit in a location near heat sources such as radiators or air ducts, or in a place subject to direct sunlight, excessive dust, mechanical vibration or shock.
- When you install multiple equipment with the unit, the following problems, such as malfunction of the remote control, noisy picture, noisy sound, may occur depending on the position of the unit and other equipment.

On safety

- A nameplate indicating operating voltage, power consumption, etc. is located on the rear of the unit.
- Should any solid object or liquid fall into the cabinet, unplug the unit and have it checked by qualified personnel before operating it any further.
- Unplug the unit from the wall outlet if it is not to be used for several days or more.
- To disconnect the AC power cord, pull it out by grasping the plug. Never pull the cord itself.

Cleaning

Be sure to unplug the power cord before cleaning the display.

On cleaning the display

Do not allow hard objects to scrape, or pound the display screen surface (protective Panel), or allow objects to hit the screen surface because that can damage the screen surface. The display screen has a special surface treatment.
Follow the instructions below to prevent impair performance because of improper handling when cleaning.

- Gently remove any dust from the screen surface with a soft cloth. A cleaning cloth or cloth for wiping glasses is preferred.
- If it is excessively dirty, clean the screen surface with a soft cleaning cloth slightly dampened with water.
- Never use alcohol, benzine, thinner, acid or alkaline cleaning solvent, abrasive cleaners, or chemically-treated cloths because they will damage the screen surface.

Cleaning the cabinet

- Gently wipe off stains using a dry, soft cloth. Wipe off grimy stains using a cloth slightly moistened with a mild detergent, then wipe the area again using a dry, soft cloth.
- Do not use alcohol, benzine, thinner or insecticide. Doing so may damage the finish of the surface or remove the markings on the unit.
- There is a danger that the screen will be damaged if wiped with a cloth that is dirty.
- Allowing the unit to come into prolonged contact with rubber or plastic products may alter the unit or cause the protective coating to come off.

On the LCD panel

- Keeping the LCD panel facing toward the sun for a long time will damage the panel. Take this into account when you install the unit outdoor or by a window.
- Do not forcefully press or scratch the LCD screen. Do not place objects on the screen. Doing so may disrupt the display or damage the LCD screen.
- You may find that the screen is showing horizontal stripes or that it has afterimage. The screen may also look darker when using the unit in a cool environment. These do not indicate a screen malfunction. The screen will return to normal when the ambient temperature is higher.
- If a static image is displayed for a long time, screen burn or a residual image may occur. A residual image will disappear over time. If ghosting occurs, use the screensaver function, or use some kind of video or imaging software to provide constant movement on the screen. If light ghosting (image burn-in) occurs,it may become less conspicuous, but once burn-in occurs, it will never completely disappear.
- The panel surface, cabinet or frame may warm up during use.This does not a problem.

Bright spots and dark spots on the LCD screen

Although the LCD screen is manufactured by high technology with an effective resolution of at least 99.99%, it may show dark spots (pixel defects) or bright spots (red, blue, green, etc.) that are continuously lit or flashing. These are phenomenon of LCD screens that generated sometimes by pixel defects. These may occur after the device has been used for an extended period of time.
These are not screen malfunctions.

On use of display

- Always verify that the unit is operating properly before use. SONY WILL NOT BE LIABLE FOR DAMAGES OF ANY KIND INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, COMPENSATION OR REIMBURSEMENT ON ACCOUNT OF THE LOSS OF PRESENT OR PROSPECTIVE PROFITS DUE TO FAILURE OF THIS UNIT, EITHER DURING THE WARRANTY PERIOD OR AFTER EXPIRATION OF THE WARRANTY, OR FOR ANY OTHER REASON WHATSOEVER.
- Leaving this unit in an unventilated location will prevent it from cooling. The unit will retain its heat. This can be a cause of fires or damage to the unit. Avoid leaving the unit where cannot cool properly.

On repacking

Do not throw away the carton and packing materials.
They make an ideal container in which to transport the unit. When shipping the unit, repack it as illustrated on the carton.

If you have any questions on this unit, contact your authorized Sony dealers.

For the State of California, USA only

Perchlorate Material – special handling may apply,
See www.dtsc.ca.gov/hazardouswaste/perchlorate
Perchlorate Material : Lithium battery contains perchlorate.

For the customers in the USA

Lamp in this product contains mercury. Disposal of these materials may be regulated due to environmental considerations. For disposal or recycling information, please contact your local authorities or the Electronic Industries Alliance (www.eiae.org).

For the customers in Taiwan only

廢電池請回收

GB

Precautions on installation environment

This display conforms to international dust and splash proof standard IEC60529 IP54 and so can be used in a location where a lot of dust particles or splashing water may be produced.
The performance indicated by the digits after IP is shown below.

Dust proof

IP5_ Protected against dust.

Definition

Entry of dust is not entirely prevented, but it must not enter in sufficient quantity to interfere with the safe and proper operation of the equipment.

Splash proof

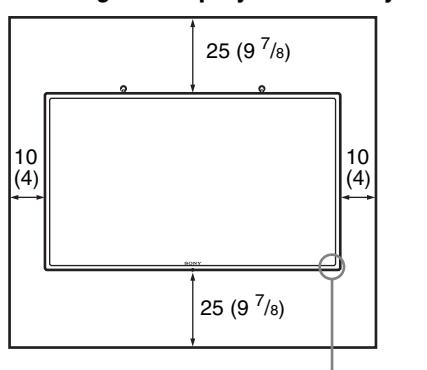
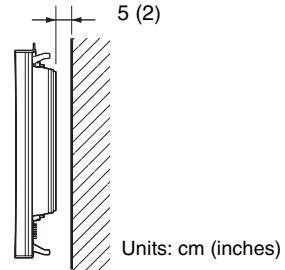
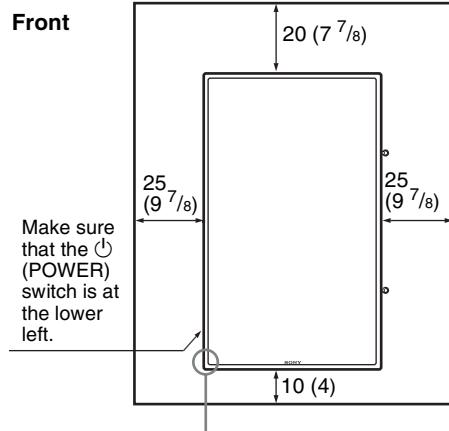
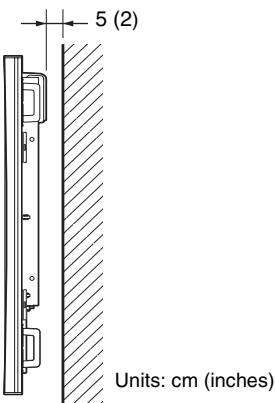
IP_4 Protected against splashing water.

Definition

Water splashing against the enclosure from any direction shall have no harmful effect.

Provide an ample amount of space around the display

- To prevent internal heat buildup from sealing off the display, make sure to ensure proper ventilation by leaving open the minimum amount of space around the display, as illustrated below.
- The ambient temperature must be 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F). Be careful when installing the display near a ceiling. The temperature there can become much higher than the normal, lower-level room temperature.
- While the display is on, a certain amount of heat builds up inside. This can cause burns. Avoid touching the top or rear of the display when it is powered on or just after it has entered standby mode.

When mounting the display horizontally

When mounting the display vertically

Avoid high temperatures and high humidity

If this unit might be exposed to high temperatures or high humidity when in use, or where the temperature can change rapidly because of air conditioning or the like, condensation may form inside the protective glass of the display monitor.

Do not block the light sensor or remote control sensor

Do not place anything in front of the light sensor or remote control sensor.
Doing so may prevent the automatic brightness adjustment function or the remote control from working.

Front

GB

Parts	Description
❶ Sony logo	The Sony logo lights up. On the menu screen, you can change the logo position in a vertical or horizontal direction. When this unit is purchased, the position is automatically detected and the logo set to light up. See “Logo” on page 33. **Note** If you will not change the installation orientation, set “Position” of “Logo” to “Landscape” or “Portrait” as appropriate. The orientation sensor may not work correctly if subjected to vibration or shock.
❷ I / ⏻ (Power/Stand by) indicator	• Lights up in green when the display is switched on. • Lights up in red when the display is in standby mode. Lights up in orange when the display enters the power saving mode while a signal is input from a PC. When the I / ⏻ indicator blinks in red, see page 40. **Note** When the “LED” option in the “Multi Display” settings is set to “Off” and the “Position” option is not set to the right-bottom, the indicator does not light up in green even when the display is turned on, except for the case of no signal or an unsupported signal.
❸ Remote control sensor	Remote control light receptor.
❹ Light Sensor	This is the sensor for automatically adjusting the brightness of the screen. See page 34. **Note** Do not place any object in front of the light sensor. Doing so may prevent the automatic brightness adjustment function from working.

Rear

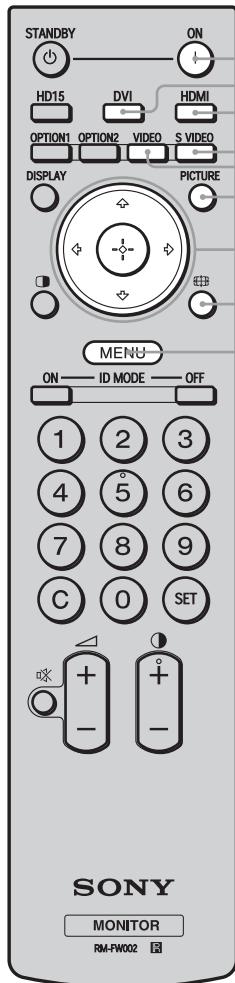
REMOTE
AUDIO
OUT
VIDEO
S VIDEO IN
IN
VIDEO
OUT
AUDIO IN
HD15(RGB/COMPONENT)
IN
AUDIO IN
OUT
DVI
AUDIO IN
IN
IN
AC IN
SPEAKER
R
L
MENU

Parts	Description
❶ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Serves to connect the display to a network, using a 10BASE-T/100BASE-TX LAN cable. You can assign various settings and control the display via the network from a PC. **Cautions** • When you connect the LAN cable of the unit to peripheral device, use the supplied cable to prevent malfunction due to radiation noise. • For safety, do not connect the connector for peripheral device wiring that might have excessive voltage to this port. Follow the instructions for this port. **Note** When using this connector, select "Display" in "Network Port". See page 33.
❷ **AUDIO** (Stereo mini jack)	This is the audio monitor output terminal for external devices. Outputs an audio of the signal currently indicated on the screen. Outputs an audio signal corresponding to the active* picture while in the "P&P" or "PinP" mode. **Note** • Settings assigned in "Sound Mode" or "Speaker Out" will not be reflected. • The noise reduction status set by the remote control is not reflected.
❸ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (Mini DIN 4-pin): Connects to the S Video output of a piece of video equipment. **VIDEO IN** (BNC): Connects to the video output of a piece of video equipment. **VIDEO OUT** (BNC): Connects to the video input of a piece of video equipment. Pictures input from VIDEO IN will be output. Output regardless of whether the power is on or off (including standby). **AUDIO IN** (Stereo mini jack): Connects to the audio output of a piece of video equipment.
❹ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub 15-pin)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** Connects to the analog RGB signal or component signal output of a piece of video equipment or PC. See page 45. **AUDIO IN:** Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment or PC. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** Connects to the analog RGB signal or component signal input of a piece of video equipment or PC. See page 45. Signals input from the HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector above will be output. **Notes** • When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly. • When the display is not connected to an AC power or is in the standby mode, no signal is output from the HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.
❺ **DVI** (DVI-D 24-pin)	**DVI IN:** Connects to the digital signal output terminal of the video equipment or PC. Supports HDCP copy protection. **AUDIO IN:** Inputs an audio signal. Connects to the audio signal output of a piece of video equipment, etc.
❻ **HDMI IN**	HDMI (High-Definition Multimedia Interface) provides an interface between the display and any HDMI-equipped audio/video equipment, as well as PC. You can enjoy enhanced or high-definition video, and two-channel digital audio. The appropriate mode for a piece of audio/video equipment or PC is automatically selected in accordance with the connected equipment. **Note** Be sure to use only an HDMI cable (not supplied) that bears the HDMI logo. We recommend that you use a Sony HDMI cable (high speed type).
❼ **OPTION** slot (VIDEO/COM port)	This slot supports video signals and communication functions. Attach an optional adaptor (the BKM-FW series) in this slot to extend monitor functions. See page 18.

Parts	Description
❽ **AC IN** socket	Connect the supplied AC power cord to this socket and to a wall outlet. See page 19. Once you connect the AC power cord, the ❘/⏻ indicator lights up in red and the display goes into the standby mode.
❾ **SPEAKER** socket	Connect the speakers SS-SPG02 (not supplied) to this socket. For more details on connecting the speakers, see the instruction manual that came with the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 21.
❿ ⏻ **(POWER)** switch	Switches the display on or off (standby).
⓫ **(RETURN)** button	This returns to the preceding menu screen.
⓬ **(ENTER)** button	Press to set your choice.
⓭ **–/+** (volume/cursor) button	Press to control speaker volume. When the menu is displayed, press to move the cursor or set a value. Press to set your choice.
⓮ **MENU** button	Press to show menus.
⓯ **(INPUT)** button	Press to select a signal to be input from the INPUT or OPTION connector. The signal to be input switches as follows each time you press the INPUT button. → S Video → Video → HD15 → DVI → HDMI → OPTION ┐ When an optional adaptor supporting the video signal is not installed in the OPTION slot, OPTION will be skipped.
⓰ Temperature sensor	Detects the ambient temperature.
⓱ Speaker installation positions	Attach the dedicated speakers SS-SPG02.
⓲ Stand installation holes	Screw holes conforming to VESA standard. (Pitch: 600mm × 400mm, Screw: M6)
⓳ Eye-bolt	This is used when installing the display with a crane. After installation, the screws are undone and the eye-bolt removed.
⓴ Eye-bolt fitting position (for vertical installation)	When installing the display vertically, the eye-bolt is fitted in this position. Request your dealer or Sony service center to fit the eye-bolt.
㉑ Cable cover	This cover prevents water and dust from entering the gap between the cables and terminal cover. When connecting cables, loosen the screws and remove the cable cover.
㉒ Terminal cover	This cover prevents water and dust from entering the terminal area. When connecting cables, loosen the screws and remove the terminal cover.

* The status when the sound is output and the input signal can be switched.

Remote Control

Button Description

❶ **POWER ON switch**

Press to turn the display on.

❷ **DVI button**

Press to select the signal input to the DVI port.

❸ **HDMI button**

Press to select the signal input to the HDMI port.

❹ **S VIDEO button**

Press to select the signal input to the S VIDEO IN connector from a piece of video equipment.

❺ **VIDEO button**

Press to select the signal input to the VIDEO IN connector from a piece of video equipment.

❻ **PICTURE button**

Selects "Picture Mode". Each press toggles between "Vivid", "Standard", "Custom", "Conference", and "TC Control".

❼ **⇧/⇩/⇦/⇨/⊕ buttons**

The ⇧/⇩/⇦/⇨ buttons move the menu cursor and set values, etc.
Pressing ⊕ sets the selected menu or setting items.
In the "PAP" mode, you can switch the Picture and Picture setting. See page 16.

❽ **⊞ button**

Press to change the aspect ratio. See page 15.

❾ **MENU button**

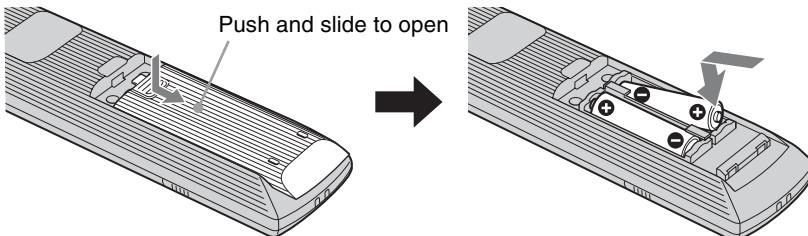
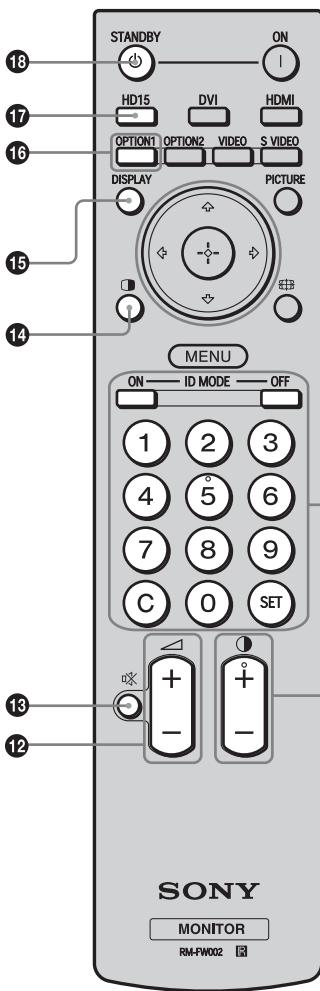
Press to show menus. Press again to hide them. See page 22.

GB

Notes

- The 5 button and ◑ button have a tactile dot. Use the tactile dot as a reference when operating the display.
- Insert two size AA (R6) manganese batteries (supplied) by matching the ⊕ and ⊖ on the batteries to the diagram inside the remote control's battery compartment.

Caution

Danger of explosion if battery is incorrectly replaced. Replace only with the same or equivalent type recommended by the manufacturer. When you dispose of the battery, you must obey the law in the relative area or country.

❿ ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF) buttons

You can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

- ON button: Press to show the "Index Number" on the screen.
- 0-9 button: Press to enter the "Index Number" of the display you want to operate.
- SET button: Press to set the input "Index Number".
- C button: Press to clear the input "Index Number".
- OFF button: Press to return to the normal mode.

See page 17.

⓫ ◑ +/– button

Adjusts the picture (contrast) level.

⓬ ◿ +/– button

Press to adjust the volume.

⓭ 🔇 button

Press to mute the sound. Press again to restore sound.

⓮ ◨ button

Selects the "PAP" (Picture And Picture) mode. Each press toggles between "P&P", "PinP" and the single-screen picture. See page 16.

⓯ DISPLAY button

Press to display the currently selected input, the type of the input signal and the "Aspect" setting on the screen. Press again to hide them. If this displayed information is left undisturbed for a short time, it will disappear automatically.

⓰ OPTION 1 button

When an optional adaptor is installed, selects an input signal from the equipment connected to the optional adaptor.
If the installed optional adaptor has multiple input connectors, each press of the button toggles between the input signals.

⓱ HD15 button

Press to select the input signal of the HD15 (RGB/COMPONENT) connector. The RGB signal or component signal is selected automatically or manually in accordance with the menu settings.

⓲ STANDBY button

Press to change the display to the standby mode.

Note

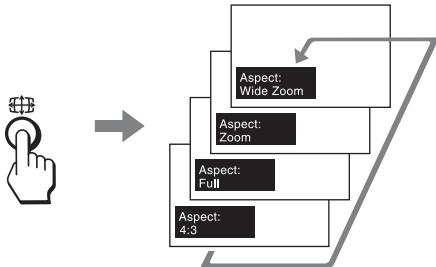
You cannot use the OPTION 2 button on this display.

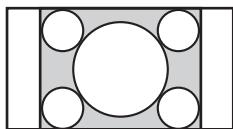
Special Buttons on the Remote Control

Using the Wide Mode

You can change the aspect ratio of the screen.

Tip

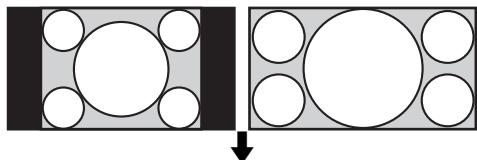
You can also access the “Aspect” settings in the “Screen” settings. See page 29, 30.

For input from video equipment such as Video, DVD, etc. (other than PC input)

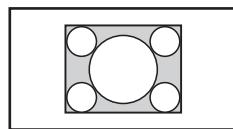
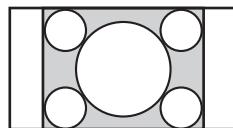
4:3 Original Source

16:9 Original source

Wide Zoom

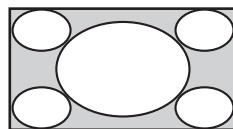
Zoom

Full

4:3

For PC Input

Illustrations below indicate the input resolution of 800×600

Real

Full 1

Full 2

Note

If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of Real is the same as Full 1.

GB

Using the PAP Setting

You can show two pictures from different signal sources, such as a PC and a video, side by side.
You can also swap the active pictures, or change the balance of picture sizes.
You can also access the “PAP Setting” in the “Screen” settings. See page 27.

For P&P

For PinP

Press ⇧ button.

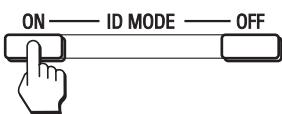
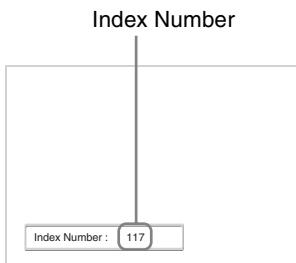
Tips

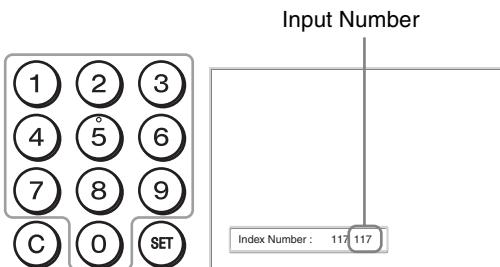
- The cursor indicating the active picture will disappear after 5 seconds.
- The picture can be adjusted to 15 sizes. (For P&P)

Using the ID MODE button

You can operate a specific display without affecting other displays installed at the same time.

1 Press **ON** button.

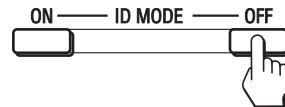
Display's "Index Number" appears in black characters on the lower left menu on the screen. (Every display is allocated an individual preset "Index Number" from 1 to 255.)

2 Input the "Index Number" of the display you want to operate using the 0 - 9 buttons on the remote control.

The input number appears right next to the "Index Number" of each display.

3 Press **SET** button.

The characters on the selected display change to green while the others change to red.

You can operate the specified display indicated with green characters only.
Only the operation of POWER ON switch and STANDBY/ID MODE-OFF button is effective to other displays, as well.

4 When all of the setting changes have been completed, press **OFF** button.

The display returns to the normal screen.

To correct the Index Number

Press the C button to clear the current input "Index Number". Return to Step 2, and input a new "Index Number".

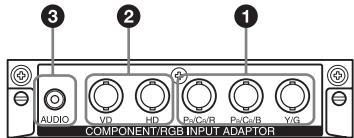
Tip

To change the "Index Number" of the display, see "Index Number" in "Control Setting" on page 31.

GB

Optional Adaptors

The terminal of the OPTION slot ❼ (page 11) on the side of the equipment is a slot-in type. It can be switched to the following optional adapter (not supplied).
For details on installation, consult your Sony dealers.
For details on the optional adaptors for system expansion, see each instruction manual with this manual.

COMPONENT/RGB INPUT Adaptor BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)**: Connects to the analog RGB signal or component signal output of a piece of video equipment or PC.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: Connects to the synchronization signal output of a PC.

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to the HD and VD connectors. If you do so, the picture may not be displayed properly.

❸ **AUDIO** (Stereo mini jack): Inputs an audio signal. Connects to the audio output of a piece of video equipment or PC.

HDMI INPUT Adaptor BKM-FW15

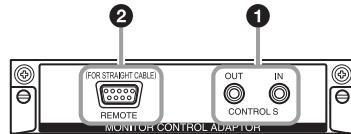
You can enjoy enhanced or high-definition video, and two-channel digital audio.
The appropriate mode for a piece of audio/video equipment or PC is automatically selected in accordance with the connected equipment.

Note

Be sure to use only an HDMI cable (not supplied) that bears the HDMI logo. We recommend that you use a Sony HDMI cable (high speed type).

HD-SDI/SDI INPUT Adaptor BKM-FW16

Connects to the HD-SDI signal output of a piece of video equipment.

MONITOR CONTROL Adaptor BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (Mini jack): You can control pieces of multiple equipment with a single remote control when the display is connected to the CONTROL S connector of the video equipment or another display. Connect the CONTROL S OUT connector on this adaptor to the CONTROL S IN connector of the other equipment, and connect the CONTROL S IN connector on this adaptor to the CONTROL S OUT connector of the other equipment.

❷ **REMOTE** (D-sub 9-pin): This connector allows remote control of the display using the RS-232C protocol. For details, contact your authorized Sony dealers.

Notes

- The REMOTE connector and the REMOTE (LAN) connector ❶ (page 11) on the side of the equipment cannot be used at the same time.
- When using the REMOTE connector, select “Option” in “Network Port”. (page 33)

STREAMING RECEIVER Adaptor BKM-FW50

This adaptor enables you to use this display for digital signage.
You can easily play back movies, still images or background music in designated data formats by just inserting a recording media. You can also use a network to view images from a remote computer on the display.

Note

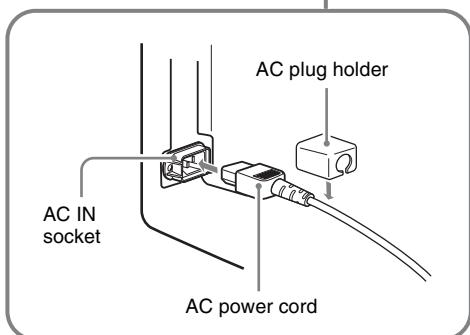
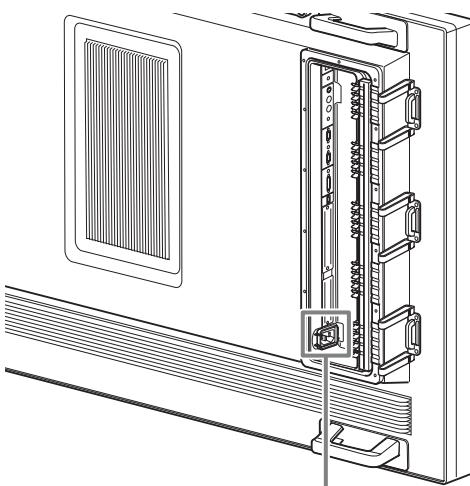
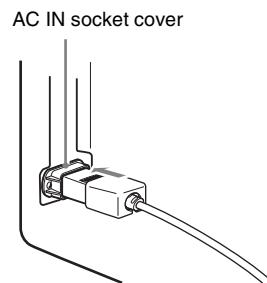
CompactFlash is required.

- CompactFlash is the registered trademark of SanDisk Corporation in the United States of America.

Before you start

- First make sure that the power of each piece of equipment is turned off.
- Use cables suitable for the equipment to be connected.
- Connect the cables, fully inserting them into the connectors or jacks. A loose connection may cause hum and other noise.
- To disconnect the cable, pull it out by grasping the plug. Never pull the cable itself.
- See the instruction manual of the equipment to be connected, too.
- Insert the plug securely into the AC IN socket.
- Use one of the two AC plug holders (supplied) to securely hold the AC plug.

Connecting the AC Power Cord and Cables

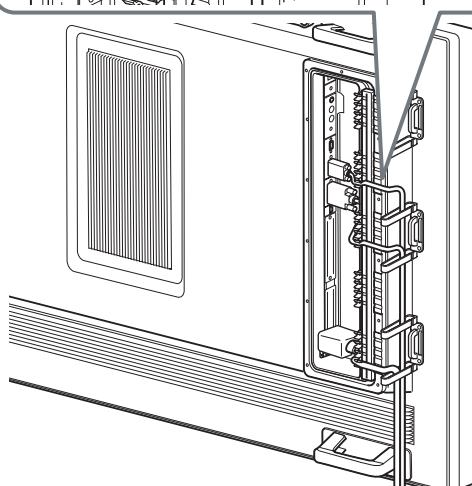
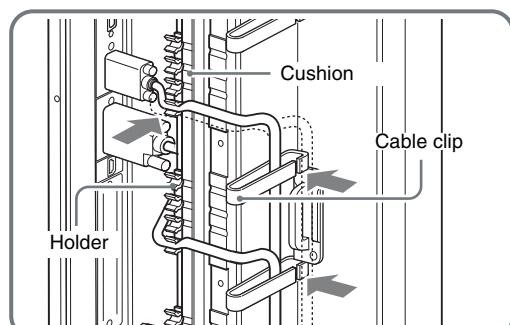
1 Plug the AC power cord into the AC IN socket. Then, attach the AC plug holder (supplied) to the AC power cord.

2 Slide the AC plug holder over the cord until it connects to the AC IN socket cover.

To remove the AC power cord

After squeezing the AC plug holder and freeing it, grasp the plug and pull out the AC power cord.

3 Connect the cables to the terminals and secure the AC power cord and cables.

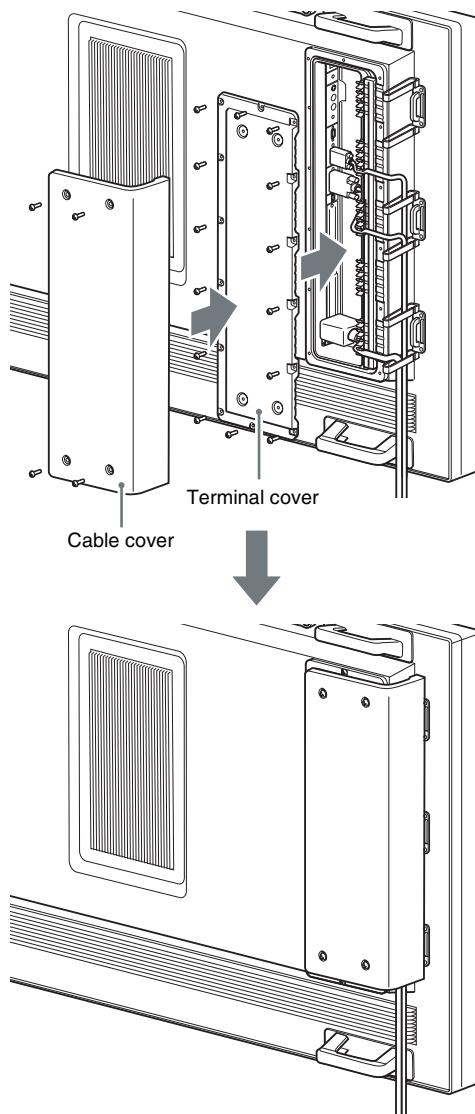
Using the grooves in the holder and cushion, push the cables in at right angles to the cushion and secure them with the cable clip.

Note

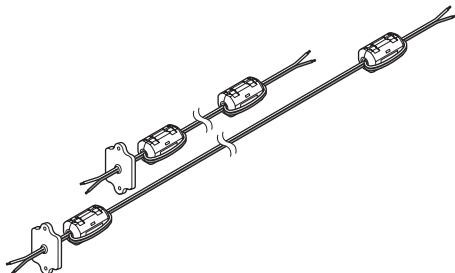
If using speakers (not supplied), continue by connecting them.

4 Attach the terminal cover and cable cover to the display.

When using in a location that requires compliance with international standard IP54, always attach the terminal cover and cable cover.

Note

When securing the cover, tighten the screws evenly. If using an electric screwdriver, set the torque within the range of 0.8 N·m to 1.0 N·m (8 kg·cm to 10 kgf·cm).

Connecting the Speakers

Connect SS-SPG02 speakers (not supplied). To connect, use the following speaker cords included with the speakers.

Speaker cord (with terminal cover)

- The lengths of the left and right speaker cords are different. The shorter cord is for the left speaker and the longer cord is for the right speaker. Check the labels on the back of the speakers in order to connect them correctly.
- When using in a location that requires compliance with international standard IP54, always attach the terminal cover.
- For more details on connecting the speakers, see the instruction manual that came with the speakers. For details on how to route the speaker cords, see page 21.

Note

When setting the display vertically, the speaker does not comply with international standard IP54.

Cable Management

You can neatly bundle the cables using the cable holders fitted to the display.

GB

Overview of the Menus

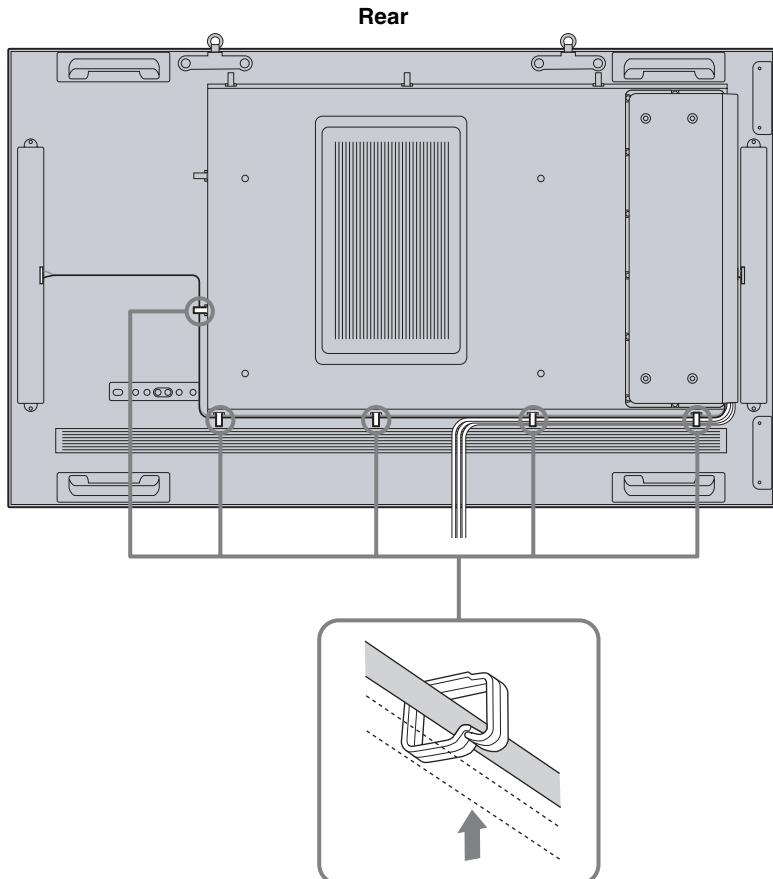
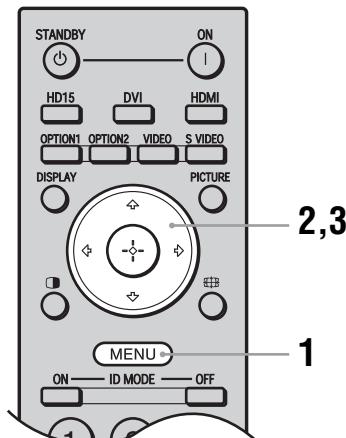
1 Press MENU button.

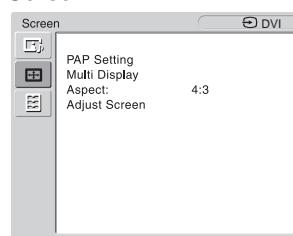
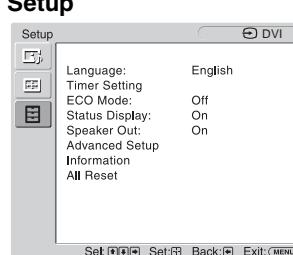
2 Press ⇧/⇩ to highlight the desired menu icon.

3 Press ⊕ or ⇨.

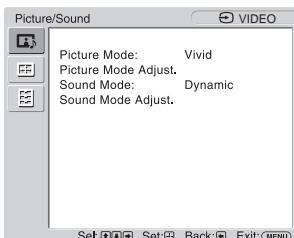
To exit the menu, press MENU button.

To change the on-screen language

Select the desired language for on-screen settings and messages from “English”, “Français”, “Deutsch”, “Español”, “Italiano” or “日本語”.
“English” (English) is set for the default setting.
See page 31.

The settings provide you access to the following features:

Settings	Allows you to set/change
Picture/Sound	Picture Mode: (page 23, 25) Picture Mode Adjust. (page 23, 25) Sound Mode: (page 24, 26) Sound Mode Adjust. (page 24, 26) **Note** You cannot set or change “Picture Mode” or “Picture Mode Adjust.” when there is no signal input.
Screen	PAP Setting (page 27, 30) Multi Display (page 28, 30) Aspect: (page 29, 30) Adjust Screen (page 29, 30)
Setup	Language: (page 31) Timer Setting (page 31) ECO Mode: (page 31) Status Display: (page 31) Speaker Out: (page 31) Advanced Setup (page 31) Information (page 34) All Reset (page 34)

* Menu icons displayed at the bottom of the screen may not work, depending on the settings.

Picture/Sound Settings

For Video Input

To highlight an option and to change settings, press ⇧/⇩/⇦/⇨.
Press ⊕ to confirm the selection.
The "Picture/Sound" settings include the following options:

Picture Mode

"Vivid": Select for enhanced picture contrast and sharpness.
"Standard": Select for standard picture settings.
"Custom": Allows you to store preferred settings.
"Conference": Adjusts the picture quality for video conferencing under fluorescent lights.
"TC Control": The setting is common with "Vivid". In addition, you can use the "True Color Control" function (after-mentioned).

Tip

To change from one "Picture Mode" option to another, you can also use PICTURE on the remote control instead.

Notes

- "Conference" may not be effective depending on the environment or the video conference system under use. In this case, adjust the picture quality, switch to other settings of "Picture Mode", etc.
- In "TC Control", "Brightness Boost" is fixed to Off.

GB

Picture Mode Adjust.

"Backlight": Adjusts to brighten or darken the screen.
"Contrast": Adjusts picture contrast.
"Brightness": Adjusts to brighten or darken the picture.
"Chroma": Adjusts to increase or decrease color intensity.
"Phase": Adjusts the color tones of the picture.
"Sharpness": Adjusts to sharpen or soften the picture.
"Noise Reduction": Select to reduce the noise level of connected equipment. Select from "Off", "Low", "Mid", "High" to set the noise level.
"CineMotion": Select "Auto" to optimize the screen display automatically detecting film content and applying a reverse 3-2 pull down or 2-2 pull down process. Moving picture will appear clearer and more natural looking. Select "Off" to disable the detection.
"Dynamic Picture": Select "On" to enhance contrast by making white brighter and black darker.
"Gamma Correct": Balances the light and dark portions of pictures. Select from "High", "Mid", "Low", "DICOM GSDF Sim." to make settings.

Notes

- You cannot set "Gamma Correct" when "Picture Mode" is set to "Conference".
- "DICOM GSDF Sim." can only be set when there is a DVI or HDMI input.
  Gamma setting is simulated by the Grayscale Standard Display Function (GSDF) of the Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM) standards. However, this setting is for reference only and cannot be used for medical diagnosis.

"Color Temp.": White tone can be adjusted to suit your preference. The factory default settings are adjusted to color temperature.
  "Cool": Select to give the white colors a blue tint.
  "Neutral": Select to give the white colors a neutral tint.
  "Warm": Select to give the white colors a red tint.
  "Custom": Enables a broader range of white tone to be set than above.

Tip

Restores the default settings by selecting "Reset" on the tone adjusting screen.

"Brightness Boost": Emphasizes the brightness of the image.

Notes

- You can only set "Brightness Boost" when "Picture Mode" is set to "Vivid".
- When "Brightness Boost" is set to "On", you cannot adjust the "Backlight", "Contrast", "Brightness" or "Color Temp." settings.
- When "Brightness Boost" is set to "On", "Backlight" is set to "Max" and "ECO Mode" is switched "Off", the brightness is at its maximum.

"True Color Control": You can adjust the details of hue and saturation for each of 4 colors : red, green, yellow, blue, and you can highlight specific colors in the image. Select the color which you want to adjust, and you can check and see which part of current image will be adjusted. Then you can adjust it using the matrix dialog.

Notes

- This option can be adjusted when "Picture Mode" is set to "TC Control".
- In "PAP" mode, you cannot select this option. Even if you select this option in the single-picture screen, the setting of this option may not be applied in the "PAP" mode

"Reset": Resets all settings of "Picture Mode Adjust." to default settings.

Notes

- "Phase" is not available when the input is Video or S Video and the color system of video signal is not NTSC.
- "Dynamic Picture" is not available when "Picture Mode" is set to "Conference" or "TC Control."
- You can make settings and adjustments for each "Picture Mode" but "Backlight," "Noise Reduction" and "CineMotion" settings are common for all "Picture Mode."
- "Dynamic Picture" and "CineMotion" do not function in PAP mode.

Sound Mode

You can adjust the sound output from the speakers SS-SPG02 (not supplied) with various "Sound Mode" settings.

"Dynamic": Select to enhance treble and bass.
"Standard": Flat setting.
"Custom": Allows you to store preferred settings.

Sound Mode Adjust.

"Treble": Adjusts to increase or decrease higher-pitched sounds.
"Bass": Adjusts to increase or decrease lower-pitched sounds.
"Balance": Adjusts to emphasize left or right speaker balance.
"Surround": Select the surround mode according to the type of picture.

- **"Off":** No surround output.
- **"Hall":** When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.
- **"Simul.":** When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.

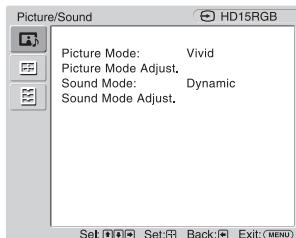
"Reset": Resets all settings of "Sound Mode Adjust." to default settings.

Tips

- You can alter the "Picture Mode Adjust." settings ("Contrast", "Brightness", "Chroma ", etc.) for each "Picture Mode".
- You can adjust the "Sound Mode Adjust." settings ("Treble" and "Bass") when the "Sound Mode" is set to "Custom".

Note

In the "PAP" mode, only "Picture/Sound" settings for the active picture can be adjusted.

For PC Input

When input is switched to a PC input source, the "Picture/Sound" settings specific to PC input are applied.
The "Picture/Sound" settings for a PC include the following options:

Picture Mode

"Vivid": Select for enhanced picture contrast and sharpness.
"Standard": Select for standard picture settings.
"Custom": Allows you to store preferred settings.
"Conference": Adjusts the picture quality for video conferencing under fluorescent lights.
"TC Control": The setting is common with "Vivid". In addition, you can use the "True Color Control" function (after-mentioned).

Tip

To change from one "Picture Mode" option to another, you can also use PICTURE on the remote control instead.

Notes

- "Conference" may not be effective depending on the environment or the video conference system under use. In this case, adjust the picture quality, switch to other settings of "Picture Mode", etc.
- In "TC Control", "Brightness Boost" is fixed to Off.

Picture Mode Adjust.

"Backlight": Adjusts to brighten or darken the screen.
"Contrast": Adjusts picture contrast.
"Brightness": Adjusts to brighten or darken the picture.
"Gamma Correct": Balances the light and dark portions of pictures. Select from "High", "Mid", "Low", "DICOM GSDF Sim." to make settings.

Notes

- You cannot set "Gamma Correct" when "Picture Mode" is set to "Conference".
- "DICOM GSDF Sim."can only be set when there is a DVI or HDMI input.
  Gamma setting is simulated by the Grayscale Standard Display Function (GSDF) of the Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM) standards. However, this setting is for reference only and cannot be used for medical diagnosis.

"Color Temp.": White tone can be adjusted to suit your preference. The factory default settings are adjusted to color temperature.

"Cool": Select to give the white colors a blue tint.
"Neutral": Select to give the white colors a neutral tint.
"Warm": Select to give the white colors a red tint.
"Custom": Enables a broader range of white tone to be set than above.

Tip

Restores the default settings by selecting "Reset" on the tone adjusting screen.

"Brightness Boost": Emphasizes the brightness of the image.

Notes

- You can only set "Brightness Boost" when "Picture Mode" is set to "Vivid".
- When "Brightness Boost" is set to "On", you cannot adjust the "Backlight", "Contrast", "Brightness" or "Color Temp." settings.
- When "Brightness Boost" is set to "On", "Backlight" is set to "Max" and "ECO Mode" is switched "Off", the brightness is at its maximum.

"True Color Control": You can adjust the details of hue and saturation for each of 4 colors : red, green, yellow, blue, and you can highlight specific colors in the image. Select the color which you want to adjust, and you can check and see which part of current image will be adjusted. Then you can adjust it using the matrix dialog.

Notes

- This option can be adjusted when “Picture Mode” is set to “TC Control”.
- In “PAP” mode, you cannot select this option. Even if you select this option in the single-picture screen, the setting of this option may not be applied in the “PAP” mode

“Reset”: Resets all settings of “Picture Mode Adjust.” to default settings.

Note

You can make settings and adjustments for each “Picture Mode” but “Backlight” is common for all “Picture Mode.”

Sound Mode

You can adjust the sound output from the speakers SS-SPG02 (not supplied) with various “Sound Mode” settings.
“Dynamic”: Select to enhance treble and bass.
“Standard”: Flat setting.
“Custom”: Allows you to store preferred settings.

Sound Mode Adjust.

“Treble”: Adjusts to increase or decrease higher-pitched sounds.
“Bass”: Adjusts to increase or decrease lower-pitched sounds.
“Balance”: Adjusts to emphasize left or right speaker balance.
“Surround”: Select the surround mode according to the type of picture.
“Off”: No surround output.
“Hall”: When desiring to give the stereo sound of movies or music programs a greater sense of presence.
“Simul.”: When desiring to give ordinary monaural programs or news telecasts an enhanced sense of presence using simulated stereo sound.
“Reset”: Resets all settings of “Sound Mode Adjust.” to default settings.

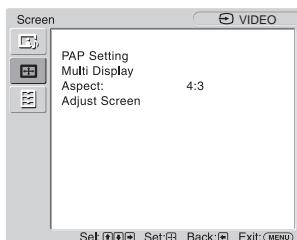
Tips

- You can alter the “Picture Mode Adjust.” settings (“Contrast”, “Brightness”, “Chroma ”, etc.) for each “Picture Mode”.
- You can adjust the “Sound Mode Adjust.” settings (“Treble” and “Bass”) when the “Sound Mode” is set to “Custom”.

Notes

- “Chroma”, “Phase”, “Sharpness”, “Noise Reduction”, “CineMotion”, and “Dynamic Picture” are not available for PC input.
- In the “PAP” mode, only “Picture/Sound” settings for the active picture can be adjusted.

Screen Settings

For Video Input

To highlight an option and to change settings, press ⇧/⇩/⇦/⇨.
Press ⊕ to confirm the selection.
The "Screen" settings include the following options:

PAP Setting

Allows you to show two pictures from different signal sources, such as a PC and a video, side by side.
"**PAP**"

"Off": Disables "PAP" function.
"P&P": Shows two pictures side by side at the same time.
"PinP": Displays two pictures as the inset picture within the main picture.

GB

For P&P

"Active Picture": Selects the screen to operate.

"Left": You can activate the left picture to operate it.
"Right": You can activate the right picture to operate it.
"Swap": Swaps the two pictures side by side.

"Picture Size": Adjusts the balance between two pictures side by side. Adjust the balance by pressing ⇦ or ⇨ button, and then press ⊕ button to set the adjustment. (page 16)

For PinP

"Active Picture": Selects the screen to operate.

"Main": You can activate the main picture to operate it.
"Sub": You can activate the inset picture to operate it.
"Swap": Swaps the main and the inset pictures.

"Picture Size": Adjusts the size of the inset picture. Select from "Large" or "Small".
"Picture Position": Adjusts the position of the inset picture with ⇧/⇩/⇦/⇨, then press ⊕.

Notes

- In "PAP" mode, "Picture Mode" and "Sound Mode" are reflected in the main picture settings.
- You cannot change the aspect ratio in the "PAP" mode. The picture is displayed in the last aspect ratio used prior to selecting "PAP" mode.

Available combination of two pictures

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	HDMI	OPTION			
				RGB	Component			RGB	Component	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○	○		○[2]	○	○
	Component	○	○			○	○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○			○	○		
HDMI		○	○	○	○			○	○		

1) Supported when “Display” is set to “YUV” or when “Option” is set to “RGB” in “RGB/YUV”.
2) Supported when “Display” is set to “RGB” or when “Option” is set to “YUV” in “RGB/YUV”.

Tip

Output from BKM-FW50 is considered as RGB output shown in the table in the “PAP” mode.

Multi Display

Allows you to make settings for connecting multiple displays to form a video wall.

“Multi Display”

“Off”: Uses a single screen.

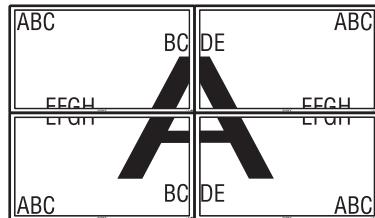
“2×2”/“3×3”/“4×4”: Sets to connect multiple displays such as 2, 3 or 4 displays both vertically and horizontally.

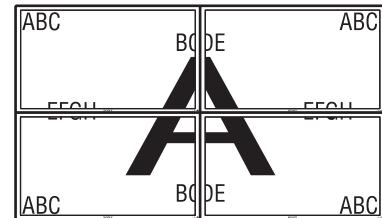
“1×2”/“1×3”/“1×4”: Sets to connect multiple displays such as 2, 3 or 4 displays horizontally.

“2×1”/“3×1”/“4×1”: Sets to connect multiple displays such as 2, 3 or 4 displays vertically.

“Position”: Select the position of each display in the arrangement of the video wall with ⇧/⇩/⇦/⇨. Press ⊕ to set the position.

“Output Format”: Selection of two picture output formats will be available as shown in the figures. By simply selecting either format, suitable picture output will be available without manually adjusting the horizontal and vertical shift. Select either “Tiles” or “Window”.

“Tiles”

To show full signal on each display.

“Window”

To show one large picture with multi display naturally.
Part of the signal will go behind the bezel area.

"LED": "On" makes the I / ⏻ indicator on the front panel (page 9) to be continually turned on, and "Off" makes the I / ⏻ indicator on the front panel to be continually turned off.

Notes

- "Multi Display" can display an enlarged picture keeping the current "Aspect" setting as much as possible for video input, and can display an enlarged picture of which "Aspect" is set to "Full 2" for PC input.
- You can set the "Multi Display" only when the "PAP" function is disabled.
- When "Position" is set to the right-bottom, the I / ⏻ indicator lights up even if "LED" is set to "Off". The indicator also lights up even when the display is off (standby), errors are detected, or the display is in sleep mode including the case of no signal or unsupported signal.

Aspect

"Wide Zoom": Select to enlarge to fill screen with minimum distortion.
"Zoom": Select to enlarge the original picture without distorting the aspect ratio. See page 15.
"Full": Select to enlarge the original picture horizontally to fill the screen when the original source is 4:3 (Standard definition source). When the original source is 16:9 (High definition source), select this mode to display 16:9 picture in original size.
"4:3": Select to display all the pictures in original size to 4:3 aspect ratio..

Tips

- To change from one "Aspect" option to another, you can also use ⊞ on the remote control.
- Select "Zoom" to display movies and other DVD content with black bands, using the entire viewable area of the screen.

Notes

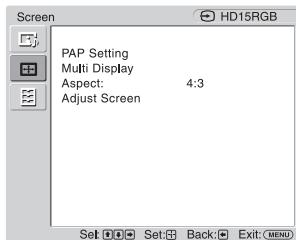
- You cannot change the aspect ratio in the "PAP" mode. The picture is displayed in the last aspect ratio used prior to selecting "PAP" mode.
- You cannot set the "Aspect" while using the "Multi Display" function.

Adjust Screen

"H Size": Allows you to adjust the size of the picture horizontally. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"H Shift": Allows you to move the position of the picture left and right in the window. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"V Size": Allows you to adjust the size of the picture vertically. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"V Shift": Allows you to move the position of the picture up and down in the window. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"Reset": Resets all settings of "Adjust Screen" to default settings.

Notes

- "Adjust Screen" is not available while using the "PAP" function.
- If there is no signal currently being input, none of the "Screen" settings options, except for "PAP Setting" and "Multi Display" can be selected.

GB

For PC Input

When input is switched to PC input source, the "Screen" settings specific for PC input are applied. The "Screen" settings for a PC include the following options:

PAP Setting

See "PAP Setting" for video input (page 27).

Multi Display

See "Multi Display" for video input (page 28).

Aspect

"Full 1": Select to enlarge the picture to fill the display area in the vertical direction, keeping its original horizontal-to-vertical aspect ratio. A black frame will appear on the surrounding of the picture.
"Full 2": Select to enlarge the picture to fill the display area.
"Real": Select to display the picture in its original number of dots.

Notes

- You cannot change the aspect ratio in the "PAP" mode. The picture is displayed in the last aspect ratio used prior to selecting "PAP" mode.
- You cannot set the "Aspect" while using the "Multi Display" function.
- If the input resolution is higher than the panel resolution (1,920 × 1,080), the display of "Real" is the same as "Full 1".

Adjust Screen

"Auto Adjustment": Select "OK" to automatically adjust the display position and phase of the picture when the display receives an input signal from the connected PC. Note that "Auto Adjustment" may not work well with certain input signals. In such cases, manually adjust the options below.
"Phase": Select to adjust the phase when the screen flickers.
"Pitch": Select to adjust the pitch when the picture has unwanted vertical stripes.

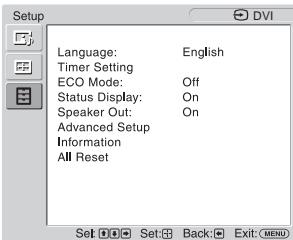
Notes

- "Auto Adjustment," "Phase," "Pitch" are not available when digital signal such as DVI or HDMI is input.
- When performing "Auto Adjustment", display an image that is bright all over. If you do not, the position of the picture may be incorrectly adjusted.

"H Size": Allows you to adjust the size of the picture horizontally. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"H Shift": Allows you to move the position of the picture left and right in the window. Press ⇦/⇨ and press ⊕ to choose a correction.
"V Size": Allows you to adjust the size of the picture vertically. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"V Shift": Allows you to move the position of the picture up and down in the window. Press ⇧/⇩ and press ⊕ to choose a correction.
"Reset": Resets all settings of "Adjust Screen" to default settings.

Note

If there is no signal currently being input, none of the "Screen" settings options, except for "PAP Setting" and "Multi Display" can be selected.

Setup Settings

To highlight an option and to change settings, press ⇧/⇩/⇦/⇨.
Press ⊕ to confirm the selection.
The "Setup" settings include the following options:

Language

Select to display all on-screen settings in your language of choice: "English", "Français", "Deutsch", "Español", "Italiano" or "日本語".

Timer Setting

You can adjust time, display the built-in clock, or set the timer to make the display power on/off at a predetermined time.
"Clock Set": Sets the day of the week and the hour of the day.
"Date Set": Sets the date (year, month, date). The day is automatically set.
"Time Set": Sets the time.
"Clock Display": Displays the currently set time on the screen when set to "On," by pressing the display button on the remote control.
"On/Off Timer": Sets the day of the week and the hour of the day.

Note

If the built-in clock tends to lose time, the internal battery may be exhausted. Please contact your authorized Sony dealer to have the battery replaced.

ECO Mode

"Off": Select to view picture without the benefit of power saving.
"Low"/"High": Select to change brightness of the backlight and reduce power consumption.

Status Display

"On" makes input signal and "Aspect" information appear on the screen for about 5 seconds when the display is turned on, and the input signal information appear for about 5 seconds when the input signal is switched, while "Off" disables display of status information.

Tip

You can display the input signal and "Aspect" information by using DISPLAY on the remote control regardless of the "Status Display" setting.

Speaker Out

"On": Enables sound to be emitted from the speakers.
"Off": Disables sound to be emitted from the speakers.

Advanced Setup

"Control Setting": This menu is used for settings of operation of the display and the remote control.
"Index Number": You can change the index number of the display if necessary. Select to set the index number of the display with ⇧/⇩ and press ⊕ (ENTER) to confirm the setting.

Note

When you set the "Index Number", use the buttons on the display. The "Index Number" cannot be set with the remote control.

"Control Mode"
"Display+Remote": You can operate the display with the control buttons on the display and the remote control.
"Display Only": Disables the remote control function. You can make settings for the display only using the control buttons on the display.
"Remote Only": Disables the controls on the display. You can make settings for the display only using the remote control.

GB

Note

When this item is operated, the available modes will differ depending on whether you select by the remote control or the display. When setting this item with ⊕ on the remote control, you can select only "Display+Remote" or "Remote Only". When setting this item with ⊕ (ENTER) on the display, you can select only "Display+Remote" or "Display Only".

"Auto Screen Adjust"

"On": The settings such as picture size and position are saved for each input signal, and the last settings are automatically applied each time the input signals are switched.
"Off": The "Auto Screen Adjust" is disabled even when input signals are switched and the default settings are applied.

Note

The "Auto Screen Adjust" function only works during RGB input.

"Auto Shut Off":

"On": The display automatically enters the standby mode when a signal is not input to the Video or S Video input connectors for more than about 5 minutes. The display automatically enters the power saving mode when a signal is not input to the DVI, HDMI or HD15 (RGB/Component) input connectors for more than about 30 seconds.
"Off": The display is not turned off automatically even when no signal is input to any connector.

Tips

- While in the standby mode, press the ⏻ (POWER) switch on the display or the POWER ON switch on the remote control to turn the display on. In the power saving mode, the display is turned on automatically when a signal is input.
- This function is not available when "On-Screen Logo" is set to "On", the screensaver function is activated, or PAP is selected.

"Overscan": Selects whether to display images with overscan or justscan.

"Auto": Switches automatically signal image which are supposed to be DTV to image with overscan.
"On": Displays image with overscan.
"Off": Displays image with justscan.

Note

If "Overscan" is set to "Off," DTV signal image may be displayed like PC signal display.
Example: 480P → 720 × 480/60

"Sync Mode": Sets the mode according to the signal input at pin 13 of the HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector.

"H/Comp": Select when a horizontal synchronous signal or a composite synchronous signal is input.
"Video": Select when a video signal is input.

Notes

- "Sync Mode" is available only when analog RGB signal is input to HD15 connector.
- Depending on the level of the composite synchronous signal, the image may not be displayed correctly. In this case, change the "Sync Mode" setting.
- There are some inputs for which only synchronizing signals can be selected. In this case, input horizontal/vertical synchronization signals through the pin 13 or 14 of the connectors.
- Sync Mode settings cannot be carried out for the input through the optional adaptors.
- When "Video" is selected in "Sync Mode", you can only set the 575/50i and 480/60i signals.
- When you select the video signal for the synchronous mode setting, you cannot use the PAP function.

“RGB/YUV”

“Display”/“Option”: Sets the type of signal for a video device or PC connected to the HD15 (RGB/COMPONENT) terminal of the display or the 5BNC (RGB/COMPONENT) terminal of an optional adaptor.

“Auto”: Select to choose either an analog RGB input signal or a component input signal from a connected equipment.

“RGB”: Select to choose an analog RGB input signal from a connected equipment.

“YUV”: Select to choose a component input signal from a connected equipment.

Note

Select “RGB” to input RGB signals using a composite synchronous signal.

Tip

For the available combination of two pictures, see page 28.

“Color System”: Select the color system of video signals from “Auto”, “NTSC”, “NTSC4.43”, “PAL”, “PAL-M”, “PAL-N” or “PAL60”. Select “Auto” to set the color system automatically.

Note

“Color System” is not available for PC input.

“RGB Signal”: When a HD15, DVI or HDMI input terminal 1280 × 768/60 or 720 × 480/60 RGB signal is input, this selects whether it works as a video signal or a PC signal.

“Screen Saver”: This is a setting to prevent or reduce screen burn or after-image that can occur by long periods of screen display of the same image.

“All White”: Displays an all white screen. (Stops automatically after about 30 minutes and the display enters standby mode.)

“Sweep”: Scrolls a white bar over the screen.

“Standby”: The screensaver operates in standby (page 9) for the time specified in “Timer Setting.” (The display is blank during screensaver operation.) When the screensaver ends, normal standby mode is resumed.

“Logo”: The Sony logo on the front of the unit lights.

“Position”: The logo can be constantly lit at the bottom side of the screen by setting the setup method of the equipment from “Auto,” “Landscape,” and “Portrait.” If “Auto” is selected, Landscape or Portrait will automatically be selected.

“Illumination”: Select “Off” to have the logo extinguished. Select “Low” and “High” for the brightness.

“On-Screen Logo”

“On”: The model name logo is displayed when the signal is not inputted.

“Off”: The model name logo is not displayed when the signal is not inputted.

“Network Port”: Sets the network port to operate the display by remote control.

“Off”: Select when not using the network port. The power consumption during standby mode can be reduced.

“Option”: Allows you to make settings of the display from a PC connected to the REMOTE connector or the LAN connector of the OPTION slot. (page 37)

“Display”: Allows you to make settings of the display from a PC connected to the REMOTE (LAN) connector of the display. (page 37)

Tip

When a BKM-FW50 adaptor is inserted in the OPTION slot, “Network Port” is automatically set to “Option”.

“IP Address Setup”: Sets an IP address to enable communication speed between the REMOTE (LAN) connector of the display or the optional adaptor and the equipment such as a PC connected with the LAN cable.

“Speed Setup”: Sets a communication speed between the REMOTE (LAN) connector of the display or the optional adaptor and the equipment such as a PC connected with the LAN cable.

Tip

For details on how to make the settings of “IP Address Setup” and “Speed Setup”, see the section of “Preparations for Using the Network Functions” (page 35).

	"Power On Delay": Adjusts the time until power-on. Sets to Off, and 1 to 120 seconds. This suppresses a sudden load fluctuation to the power equipment when multiple units are connected. **"Light Sensor"** **"On":** Screen brightness is automatically adjusted to suit the ambient brightness. **"Off":** Screen brightness is not automatically adjusted.
Information	Displays the "Date", "Model Name", "Serial Number", "Operation Time", "Software Version" and "IP Address" of your display. When the optional adapter BKM-FW50 is mounted, "Player IP Address" (IP address for still image and movie playback function) is displayed. For details, see the instruction manual of the BKM-FW50.
All Reset	Resets all adjustments and settings to factory settings. **Note** The items included in the "Information" option and the "Index Number" will not be reset.

Preparations for Using the Network Functions

Precautions

- The software specifications of this display are subject to change for improvements without notice.
- Screens shown by application software may differ slightly from the illustrations shown in this manual.
- For safety, connect the port of this display only to a network where there is no danger of excessive voltage or voltage surges.
- The steps described in this manual are guaranteed only for use under the following environment conditions.

  Operating system:
  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Browser:
  Microsoft Internet Explorer 6.0 or later
- To ensure security on the network, setting a user name and password is recommended. For information on how to make these settings, see the section “Setup screen” (page 38).

  For security settings, refer to your network administrator.

Setting an IP address

The display can be connected to a network with 10BASE-T/100BASE-TX LAN cable.
When connected to a LAN, the IP addresses of the display can be set using one of the following two methods. Consult your network administrator regarding details about IP address selection.

- Assigning a fixed IP address to the display
  Normally this method should be used. Note that in factory setting, the display is set to obtain an IP address automatically.
- Automatically obtaining an IP address
  If the network to which the display is connected has a DHCP server, you can have the DHCP server automatically assign an IP address. Note that in this case the IP address may change every time the display in which the display is installed is turned on.

Before setting the IP address, connect the LAN cable to the display to establish the network. After about 30 seconds, turn on the display, and then start making the desired settings.

- Microsoft and Windows are registered trademarks of Microsoft Corporation in the United States of America and/or other countries.
- All other product names, company names, etc. mentioned in this manual are trademarks or registered trademarks of their respective owners.

Assigning a fixed IP address to the display

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Advanced Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “IP Address Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
5. Select “Manual” with ⇧/⇩ and press ⊕.
6. Select an desired item to set from “IP Address”, “Subnet Mask”, “Default Gateway”, “Primary DNS”, “Secondary DNS” with ⇧/⇩ and press ⊕.
7. Set the three digit value (0 to 255) for each of the four box with ⇧/⇩ on the display or numeric keys on the remote control and press ⊕ or ⇨.
8. Set the three digit value (0 to 255) for each of the four boxes and press ⊕. Repeat the same procedure as step 6 and select the next desired item to set with ⇧/⇩ and press ⊕.
9. After values are set for all the desired items, select “Execute” with ⇧/⇩, then press ⊕.

Select “Execute” and press ⊕. An IP address is set manually.
When “Cancel” is selected, the setting will return to the original setting.

Automatically obtaining an IP address

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Advanced Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “IP Address Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
5. Select “DHCP” with ⇧/⇩ and press ⊕.

Select “Execute” and press ⊕. An IP address is automatically set.
When “Cancel” is selected, the setting will not be executed.

Note

When an IP address is not set properly, the following error codes will be displayed in accordance with the error cause.
Error 1: Communication error
Error 2: The specified IP address is already used for other equipment
Error 3: IP address error
Error 4: Gateway address error
Error 5: Primary DNS address error
Error 6: Secondary DNS address error
Error 7: Subnet mask error

Checking the automatically assigned IP address

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Information” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “IP Address” with ⇧/⇩ and press ⊕.

The IP address currently acquired is displayed.

Tip

When an IP address cannot be acquired properly, the previously acquired IP address is shown in “Information” and in “Manual” of “IP Address Setup”.

Setting a communication speed

1. Press MENU to bring up the main menu.
2. Select “Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
3. Select “Advanced Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
4. Select “Speed Setup” with ⇧/⇩ and press ⊕.
5. Select a desired communication speed to set from “Auto”, “10Mbps Half”, “10Mbps Full”, “100Mbps Half”, or “100Mbps Full” with ⇧/⇩ and press ⊕.

When “Auto” is selected, a communication speed appropriate for your network configuration is automatically set.

6. Select “Execute” with ⇧/⇩ and press ⊕ to reflect the setting.

PC Operation

Controlling the display

You can make various display settings on the screen of the PC.
Make sure that the display, PC, and router or hub are properly connected with the network cable. Then turn on power to the display, the PC, and the router or hub.
There are four display screens, divided by function: Information screen, Configure screen, Control screen, and Setup screen.
For details on the functions of buttons, see instructions for each function of the display.

1. Start the browser of the PC (Internet Explorer 6.0 or later).
2. Enter the IP address that was assigned to the display in the previous page as "http://xxx.xxx.xxx.xxx", then press the ENTER key on the keyboard.
   When a user name and password have been set, the "Network Password" screen appears. Enter the user name and password that were set, and then proceed to the next step.
3. Click the function tab at the top of the screen and select the desired screen.

Setting items on respective screens

When using the LAN function of the display

Information screen

This screen shows the model name, serial number and other display information, as well as the power status and the input signal selection.
The screen is for information only. There are no items that can be set.

Configure screen

Timer
Lets you make settings for the timer function.
Click "Apply" when done.

Screen Saver
Lets you make settings for the screensaver function.
Click "Apply" when done.

Picture and Picture
Lets you make settings for the Picture and Picture function.
Click "Apply" when done.

GB

Note

Before setting the "Timer" function, make sure to configure the time setting on the Setup screen (page 38).

Control screen

POWER
Switches the display on or off.

INPUT
Lets you select the input signal.

PICTURE MODE
Lets you select the picture mode.

ASPECT
Lets you switch the aspect ratio of the image.

Contrast +/- buttons
Adjust the screen contrast.

Brightness +/- buttons
Adjust the picture brightness.

Chroma +/- buttons
Adjust the color intensity.

Phase +/- buttons
Adjust the color balance.

Reset button
Resets the settings from "Contrast" to "Phase" to their factory default values.

Notes

- If the input signal is Video or S Video and the color system of the video signal is not NTSC, "Phase" is not available.
- "Chroma" and "Phase" are not available for PC input.
- "Normal" at the ASPECT setting corresponds to "4:3" for video input or "Real" for PC input.

Setup screen

This screen lets you set up the Network Password. The factory default settings are as follows:

Name: root
Password: pudadm

After you have made any changes or entered information, click "Apply" at the bottom of each screen to enable the settings.
Special characters cannot be used in the text fields.

Owner Information

Owner
Enter owner information here.

Display Location
Enter information about the display installation location here.

Note

Do not use spaces when entering the information. Doing so may cause the file name to display incorrectly.

Memo
You can enter auxiliary information here.

Time

Time
Enter the time, year, month, and day.

Network

Internet Protocol (TCP/IP)
Select "Specify an IP address" to enter each value in the IP address's numeric string.
Select "Obtain an IP address (DHCP)" to acquire an IP address automatically from the DHCP server. Note that in this case the IP address may change every time the display in which the display is installed is turned on.

Note

The IP address can be set from the menu of the display. For details, see "IP Address Setup" (page 33).

Password
The administrator and user name and password information can be entered here. The administrator name is fixed to "root".
Each can be a maximum of 8 characters long.
Once a user name and password are set, the "Network Password" screen appears whenever the display control screen of the display is called up. To ensure security on the network, setting a user name and password is recommended.

Mail Report

Error Report
When a display function error has occurred, an error report is immediately sent by e-mail (error notification).

Status Report
The status of the display can be reported via email according to the selected time interval.

Address
Enter the target e-mail address here. Up to four addresses can be specified, for simultaneous sending of an error report. The maximum length for each address is 64 characters.

Mail Account

Mail Address:
Enter the allocated mail address here.
The maximum length for the address is 64 characters.
Outgoing Mail Server (SMTP):
Enter the mail server address here.
The maximum length for the address is 64 characters.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP):
If POP authentication is required when connecting to the SMTP server, select this check box.
Incoming Mail Server (POP3):
When POP authentication is used for the "POP before SMTP" setting, enter the POP3 server address here.
Account Name:
Enter the mail account name here.
Password:
Enter the mail password here.
Send Test Mail:
To test whether mail can be sent successfully to the specified address(es), select this check box and click "Apply". A test mail will be sent.

Note

If any of the following items is not set or not set correctly, an error message appears, and test mail cannot be sent:

- Target address
- Mail account address and mail server address (SMTP)

Advanced
Gives access to advanced settings to enable use of various applications on the network. Make the settings as required by the respective application.

Advertisement
Lets you make settings for the Advertisement and Broadcast functions on the network.

ID Talk
Lets you make settings for the ID Talk function. ID Talk is a protocol that allows network-based control of the display. Controlled items includes various settings and adjustments such as color temperature and gamma. For information about supported ID Talk commands, contact your local Sony dealer.

SNMP
The display is a network equipment which supports SNMP (Simple Network Management Protocol). Besides standard MIB-II, Sony Enterprise MIB is also supported. This screen allows making settings for SNMP.
For information about supported SNMP commands, contact your local Sony dealer.

Returning to default settings
To reset all settings made on the "Setup" screen to the factory default condition, reset to the default settings by assigning the "All Reset" setting, and then assign the appropriate settings of the network again.

Troubleshooting

Check whether the I / ⏻ indicator is flashing red.

When it is flashing

The self-diagnosis function is activated.

1 Check how many times the I / ⏻ indicator flashes and how long it stops flashing.
  For example, the indicator flashes 2 times, stops flashing for 3 seconds, and flashes 2 times.
2 Press ⏻ (POWER) switch on the display to switch off the power, then disconnect the power cord.
  Inform your dealer or Sony service center of how the indicator flashes (the number of flashes and the duration of light out).

When it is not flashing

1 Check the items in the table below.
2 If the problem still persists, have your display serviced by qualified personnel

Problem	Possible Remedies
The power switch and control buttons on the display do not work.	• Check "Control Setting" (page 31).
No video signal is output from the HD15 (RGB/COMPONENT) OUT terminal.	• There is no HD15 (RGB/COMPONENT) OUT output when this device is in standby status or the AC power supply is switched off.
No signal is output from the HD-SDI OUT terminal of the BKM-FW16.	• There is no HD-SDI OUT output when this device is in standby status or the AC power supply is switched off.
No picture.	
No picture.	• Check the connection between the video equipment and the display. • Check the settings of "RGB/YUV" (page 33). • Try switching input using the INPUT button of the display, or the remote control (page 12, 13).
The display turns off automatically.	• Check if "Timer Setting" is activated (page 31). • Check if the "Auto Shut Off" function is set to "On" (page 32). • Check if the room temperature is above 35°C.
Poor picture.	
No color/Dark picture/The picture is too bright/Color is not correct/The picture gradually becomes dark/Horizontal noise appears on the picture	• Press PICTURE to select the desired "Picture Mode" (page 13). • Adjust the "Picture Mode" options in the "Picture/Sound" settings (page 23, 25). • Check the condition of the signal cable. • Check if the room temperature is above 35°C. • Check the settings in "ECO mode." (page 31) • When not connecting a video device, do not connect a video cable or conversion connector to the VIDEO OUT terminal. The white areas of the image will be too bright due to the display signal not being terminated. • Check the "Light Sensor" setting. See page 34.
The whole screen is tinged green or purple.	• Check whether the "RGB/YUV" settings are incorrect (page 33).

Problem	Possible Remedies
No sound/Noisy sound.	
Picture displayed, no sound.	• Check the volume control. • Press 🔇 on the remote control or ◿ + so that Muting disappears from the screen (page 14). • Check “Speaker Out” settings (page 31).
Remote control does not operate.	• Check the polarity of the batteries or replace the batteries. • Point the remote control at the remote control sensor of the display. • Keep the remote control sensor area clear from obstacles. • Check “Control Setting” (page 31). • Check whether a cable is connected to the CONTROL S IN connector (BKM-FW21 not supplied). The remote control cannot be used while the display is controlled via a CONTROL S connection. • Fluorescent lamps can interfere with remote control operation; try turning off the fluorescent lamps.
Cannot connect to the network.	• Plug the cable firmly into the REMOTE connector. • Check the network settings of the PC. • Reset to the default settings by assigning the “All Reset” setting on the “Setup” setting menu, and then assign the appropriate settings of the network again. • Check the settings in “Network Port.” (page 33)
The display control screen (the Web screen displaying the display’s GUI) does not appear.	• Click the refresh or reload button on your Web browser. • Make sure the IP address is correct. • Use Internet Explorer 6.0 or later. • Clear the browser cache.

Input Signal Reference Chart

PC signals

	Resolution	horizontal frequency (kHz)	vertical frequency (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac[b)] 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29.8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37.7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43.0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44.8	60
19	1280 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60.3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59.7	60
22	1360 × 768@60Hz (CVT)	47.7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37.4	60
24	1024 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63.7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT)*	65.3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT)*	74.5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66.6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74.0	60

TV/Video signals

	Resolution	Available Inputs				
		Video	Component/RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24PsF		○			

a) VGA is a registered trademark of International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) Macintosh is a trademark of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.
c) VESA is a registered trademark of the Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing

Notes

- For HDTV signals, input the tri-level sync signal to the 2nd pin of HD15 (RGB/COMPONENT) IN connector.
- If colors appear too light after input of a DVD signal to the display, adjust “Chroma” in the “Picture/Sound” settings.
- When the phase is readjusted, the resolution will be reduced.
- The signals from the Macintosh computer will not be guaranteed for recognizing the digital RGB input.
- You cannot input the signal indicated with * to DVI IN.
- Video signals without color burst signal are not guaranteed.

Actual on-screen display of the input signal and the display's status

On-screen display	Significance
640 × 480 / 60 (e.g.)	The selected input signal is a PC signal.
480 / 60I (e.g.)	The selected input signal is component video.
NTSC (e.g.)	The selected input signal is video signal.
Not Supported Signal	The selected input signal is non-supported signal.
No Signal	There is no input signal.
HD15	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "Auto".
HD15 RGB	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "RGB".
HD15 Component	The selected input is HD15. "RGB/YUV" is set to "YUV".
DVI	The selected input signal is DVI.
HDMI	The selected input signal is HDMI.
Video	The Composite Video signal is selected.
S Video	The S video signal is selected.
Option	Option input is selected. "RGB/ YUV" is set to "Auto".
Option RGB	The analogue RGB signal of Option input is selected.
Option Component	The component video signal of Option input is selected.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	The HDMI 1 or HDMI 2 signal of Option input is selected.
Option HD SDI	The HD SDI signal of Option input is selected.

GB

Specifications

Video processing

Panel system: a-Si TFT Active Matrix LCD Panel
Display resolution: 1,920 dots (horizontal) × 1,080 lines (vertical)
Sampling rate: 13.5 MHz to 162 MHz
Color system: NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Input signal: See page 42.
Pixel pitch: 0.744 (horizontal × 0.744 (vertical) mm ($^1/_{32}$ × $^1/_{32}$ inches)
Picture size: 1,428.5 (horizontal) × 803.5 (vertical) mm (56 $^1/_4$ × 31 $^3/_4$ inches)
Panel size: 64.5-inch (diagonal 1,639 mm)

Inputs and Outputs

REMOTE Network port (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Stereo mini jack (× 1)
500 mVrms, high impedance

VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN 4pin (× 1)
Y (luminance): 1 Vp-p ± 2 dB sync negative, 75 ohms terminated
C (chrominance): Burst
0.286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), 75 ohms terminated
Burst 0.3 Vp-p ± 2 dB (PAL), 75 ohms terminated
VIDEO IN BNC (× 1)
Composite video, 1 Vp-p ± 2 dB sync negative, 75 ohms (automatic termination)
VIDEO OUT BNC (× 1) Loop-through
AUDIO IN
Stereo mini jack (× 1)
500 mVrms, high impedance

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub 15-pin (female) (× 1) (See page 45.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub 15-pin (female)(× 1)
(See page 45)
AUDIO IN
Stereo mini jack (× 1)
500 mVrms, high impedance

DVI DVI IN
(DVI Specification Rev. 1.0 compliant)
AUDIO IN
Stereo minijack (× 1)
500 mVrms, high impedance

HDMI IN HDMI (1080p)

SPEAKER Speaker output (L/R)
6 ohms 7W + 7W

General

Power requirements
100 V to 240 V AC, 50/60 Hz, 5.5 A (Maximum)

Power consumption
540 W (Maximum)

Operating conditions
Temperature: 0 °C to 35 °C (32 °F to 95 °F)
Humidity: 20% to 90% (no condensation)

Storing/transporting conditions
Temperature: –10 °C to +40 °C (14 °F to 104 °F)
Humidity: 20% to 90% (no condensation)

Dimensions: 1,557 × 931 × 183 mm (61 $^3/_8$ × 36 $^3/_4$ × 7 $^1/_4$ inches) (w/h/d, excluding projections)

Mass: Approx. 94 kg (207.2 lb.)

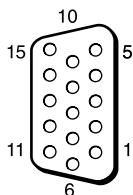
Supplied accessories
AC power cord (1)
LAN cable (1) 1-834-812-11 (SONY)
AC plug holder (2)
Remote Control RM-FW002 (1)
Size AA (R6) manganese batteries (2)
Operating instructions (1)
Installation Manual for Dealers (1)

Optional accessories
Speakers SS-SPG02
Optional adaptors for system expansion, BKM-FW series

Safety regulations
UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Design and specifications are subject to change without notice.

Pin assignment

HD15 RGB/COMPONENT connector (D-sub 15-pin)

Pin No.	Signal
1	Red video or C_R/P_R
2	Green video or Y
3	Blue video or C_B/P_B
4	Ground
5	Ground
6	Red ground
7	Green ground
8	Blue ground
9	Not used
10	Ground
11	Ground
12	SDA
13	H sync, Composite sync or Composite Video (as sync signal)
14	V sync
15	SCL

Note

When inputting a component signal, be sure not to input sync signals to pins 13 and 14. If you do so, the picture may not be displayed properly.

GB

Index

AVERTISSEMENT

Afin d'écarter tout risque d'électrocution, garder le coffret fermé. Ne confier l'entretien de l'appareil qu'à un personnel qualifié.

AVERTISSEMENT

CET APPAREIL DOIT ÊTRE RELIÉ À LA TERRE.

Transport

Lorsque que vous transportez l'écran, tenez le par l'appareil lui-même et non par les haut parleurs. Dans le cas contraire, ces derniers peuvent se détacher et l'appareil risque de tomber. Ceci pourrait entraîner des blessures.

AVERTISSEMENT

Lors de l'installation de l'appareil, incorporer un dispositif de coupure dans le câblage fixe ou brancher la fiche d'alimentation dans une prise murale facilement accessible proche de l'appareil. En cas de problème lors du fonctionnement de l'appareil, enclencher le dispositif de coupure d'alimentation ou débrancher la fiche d'alimentation.

La prise doit être près de l'appareil et facile d'accès.

Pour les clients en Europe

Le fabricant de ce produit est Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japon.
Le représentant autorisé pour EMC et la sécurité des produits est Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Allemagne. Pour toute question concernant le service ou la garantie, veuillez consulter les adresses indiquées dans les documents de service ou de garantie séparés.

AVERTISSEMENT

1. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des contacts de mise à la terre conformes à la réglementation de sécurité locale applicable.
2. Utilisez un cordon d'alimentation (câble secteur à 3 fils)/fiche femelle/fiche mâle avec des caractéristiques nominales (tension, ampérage) appropriées.

Pour toute question sur l'utilisation du cordon d'alimentation/fiche femelle/fiche mâle ci-dessus, consultez un technicien du service après-vente qualifié.

Table des matières

Introduction

Emplacement et fonction des pièces et commandes

FR

Raccordements

Utilisation des réglages

Fonctions réseau

Informations supplémentaires

Précautions

Avertissement

- Le Manuel d'installation destiné aux revendeurs est fourni en supplément.
  Il y a risque d'accident et de grave blessure si le client tente d'effectuer lui-même l'installation ou le déplacement décrit dans ce manuel. Vous ne devez pas effectuer l'installation ni le déplacement vous-même. Pour l'installation ou le déplacement, informez-vous auprès d'un revendeur Sony.
- N'installez pas l'appareil à proximité de sources de chaleur, comme un radiateur ou une bouche d'air chaud, ni dans un endroit exposé aux rayons directs du soleil, à de la poussière excessive, à des vibrations ou à des chocs mécaniques.
- Lorsque vous installez plusieurs équipements avec l'appareil, des problèmes peuvent survenir selon leur position les uns par rapport aux autres, tels qu'un mauvais fonctionnement de la télécommande, l'apparition de parasites à l'écran ou sonores.

Sécurité

- Une plaque signalétique indiquant la tension de service, la consommation électrique, etc., est située à l'arrière de l'appareil.
- Si des solides ou des liquides pénètrent à l'intérieur du châssis, débranchez le moniteur et faites-le vérifier par un technicien qualifié avant de le remettre en service.
- Débranchez le cordon de la prise murale si vous prévoyez de ne pas utiliser le moniteur pendant quelques jours.
- Pour débrancher le cordon d'alimentation secteur, tirez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le cordon lui-même.

Nettoyage

Veillez à débrancher le cordon d'alimentation avant de nettoyer l'écran.

Nettoyage de l'écran

Ne laissez pas d'objets durs frotter ou cogner la surface de l'écran (écran de protection) ou d'objets entrer en contact avec la surface de l'écran car cela risquerait de l'endommager.
La surface de l'écran a bénéficié d'un traitement spécial. Suivez les instructions ci-dessous afin d'éviter tout dysfonctionnement résultant d'une mauvaise manipulation lors du nettoyage de l'écran.

- Nettoyez la surface de l'écran à l'aide d'un chiffon doux afin de le dépoussiérer. Il est conseillé d'utiliser un chiffon de nettoyage ou un chiffon à lunettes.
- Si l'écran est excessivement sale, nettoyez-le à l'aide d'un chiffon de nettoyage légèrement humidifié avec de l'eau.
- N'utilisez jamais d'alcool, d'essence, de dissolvant, de détergent acide ou alcalin, de produits nettoyants abrasifs ou de chiffons traités chimiquement car cela risquerait d'endommager la surface de l'écran.

Nettoyage du châssis

- Eliminez doucement les taches à l'aide d'un chiffon doux et sec. Eliminez les taches tenaces avec un chiffon légèrement imprégné d'une solution détergente neutre, puis essuyez de nouveau la zone avec un chiffon doux et sec.
- N'utilisez pas d'alcool, d'essence, de dissolvant ou d'insecticide. Cela risquerait d'endommager le fini de la surface ou d'effacer les inscriptions sur l'appareil.
- Le nettoyage de l'écran avec un chiffon sale risque de l'endommager.
- Ne laissez pas l'appareil en contact prolongé avec des produits en caoutchouc ou en plastique car cela risquerait de l'endommager ou de détériorer le revêtement de protection.

Ecran LCD

- L'exposition de l'écran LCD au soleil pendant une période prolongée risque de l'endommager. Veillez à prendre en compte cette contrainte lorsque vous utilisez l'appareil à l'extérieur ou à proximité d'une fenêtre.
- N'exercez pas de pression sur l'écran LCD et ne l'éraflez pas. Ne posez pas d'objets sur l'écran. Cela risquerait de perturber l'affichage ou d'endommager l'écran LCD.
- Des lignes horizontales ou une image rémanente peuvent apparaître sur l'écran. Par temps très froid, l'écran risque également de paraître plus sombre. Il ne s'agit pas d'un problème de fonctionnement. L'écran redevient normal lorsque la température augmente.
- Si une image fixe reste longtemps affichée, des brûlures d'écran ou une image résiduelle peuvent apparaître. L'image résiduelle disparaît à long terme. Si une image fantôme apparaît, utilisez la fonction d'économiseur d'écran ou un logiciel vidéo ou de traitement des images pour obtenir un mouvement permanent sur l'écran. Si une image fantôme légère (image imprimée) se produit, elle peut s'atténuer mais ce phénomène ne disparaît jamais complètement.
- La surface du panneau, le coffret et le châssis peuvent chauffer durant l'emploi. C'est normal.

Points lumineux et points sombres sur l'écran LCD

Bien que l'écran LCD soit le produit d'une haute technologie et se caractérise par une résolution d'au moins 99,99%, il se peut que des points noirs (pixels défectueux) ou lumineux (rouges, bleus, verts, etc.) soient éclairés ou clignotent continuellement. Ces phénomènes communs aux écrans LCD sont générés par des défauts de pixels. Ils peuvent survenir après une utilisation prolongée de l'appareil.
Ils ne s'agit en aucun cas d'une défectuosité.

Emploi de l’écran

- Vérifiez toujours que l’appareil fonctionne correctement avant l’utilisation. Sony n’assumera pas de responsabilité pour les dommages de quelque sorte qu’ils soient, incluant mais ne se limitant pas à la compensation ou au remboursement, à cause de la perte de profits actuels ou futurs suite à la défaillance de cet appareil, que ce soit pendant la période de garantie ou après son expiration, ou pour toute autre raison quelle qu’elle soit.
- Si vous placez l’appareil dans un endroit mal aéré, cela empêchera son refroidissement. L’appareil conservera sa chaleur. Ceci pourrait provoquer des incendies ou endommager l’appareil. Evitez de placer l’appareil dans un endroit où il ne serait pas correctement ventilé.

Remballage

Conservez le carton ainsi que les matériaux d’emballage. Vous pourriez en avoir de nouveau besoin pour transporter l’appareil ultérieurement. Lors du transport de l’appareil, remballez-le comme illustré sur le carton.

Pour toute question au sujet de cet appareil, consultez un distributeur Sony agréé.

Précautions concernant l'emplacement

Cet écran est conforme à la norme internationale IEC60529 IP54 garantissant l'étanchéité à la poussière et aux éclaboussures et peut-être utilisé à un endroit exposé à une grande quantité de poussière et aux éclaboussures d'eau.
Les chiffres après IP indiquent le degré d'étanchéité, comme mentionné ci-dessous.

Étanchéité à la poussière

IP5_ Protégé contre la poussière.

Définition

L'étanchéité n'est pas totale, mais la poussière pénétrant dans l'appareil ne pose pas problème, ni du point de vue du fonctionnement ni du point de vue de la sécurité.

Étanchéité à l'eau

IP_4 Protégé contre les éclaboussures d'eau.

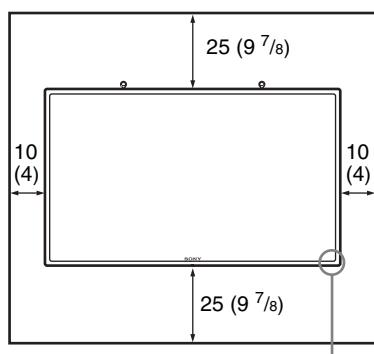
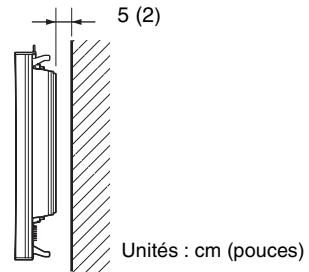
Définition

Les éclaboussures d'eau contre le coffret de quelque direction qu'elles proviennent n'ont pas d'effet néfaste.

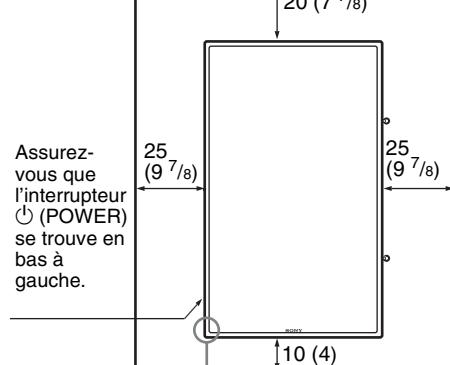
Laissez un espace suffisant autour de l'écran.

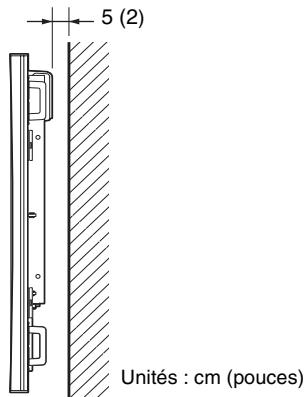
- Veillez à assurer une ventilation adaptée en laissant un espace suffisant autour de l'écran comme illustré ci-dessous afin d'éviter toute surchauffe interne.
- La température ambiante ne doit pas aller au-delà de 0 °C à 35 °C (32 °F à 95 °F). Faites attention lorsque vous installez l'écran à proximité d'un plafond. La température peut largement y dépasser la température ambiante normale mesurée à un niveau inférieur.
- Lorsque l'écran est sous tension, il chauffe à l'intérieur. Ceci peut provoquer des brûlures. Evitez de toucher le dessus ou l'arrière de l'écran lorsqu'il est sous tension ou juste après qu'il soit passé en mode de veille.

Montage horizontal de l'écran

Avant

Capteur de lumière/Capteur de télécommande

Côté

Montage vertical de l'écran

Avant

Capteur de lumière/Capteur de télécommande

Côté

Évitez toute exposition à des températures et à une humidité élevées

Si cet appareil devait être exposé à une température ou à une humidité élevée lorsqu'il fonctionne, ou si la température devait changer rapidement, par exemple sous l'effet d'un climatiseur, de la condensation peut se former derrière la vitre protégeant l'écran.

Ne bloquez pas le capteur de lumière ni le capteur de télécommande.

Ne posez rien devant le capteur de lumière ou le capteur de télécommande.
Sinon, le réglage automatique de luminosité ou la télécommande ne fonctionneront pas normalement.

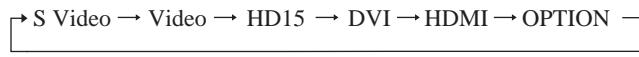
Avant

Pièces	Description
❶ Logo Sony	Le logo Sony s'allume. Sur l'écran de menu, vous pouvez changer la position du logo pour qu'il apparaisse dans le sens vertical ou horizontal. La position du logo a été réglée en usine pour être détectée automatiquement et le logo pour s'afficher. Reportez-vous à la section « Logo » à la page 31. **Remarque** Si vous voulez changer l'orientation du logo, spécifiez « Paysage » ou « Portrait » comme « Position » du « Logo », selon le cas. Le détecteur d'orientation peut ne pas fonctionner correctement s'il est soumis à des vibrations ou à des chocs.
❷ Témoin I / ⏻ (Alimentation/Veille)	• S'allume en vert lors de la mise sous tension de l'écran. • S'allume en rouge lorsque l'écran est en mode de veille. S'allume en orange lorsque l'écran passe en mode d'économie d'énergie alors qu'il reçoit un signal provenant d'un ordinateur. Si le témoin I / ⏻ clignote en rouge, voir page 38. **Remarque** Lorsque l'option « LED » des réglages « Affichage multiple » est réglée sur « Non » et l'option « Position » n'est pas réglée sur la position inférieure droite, le témoin ne s'allume pas en vert même si l'écran est allumé, sauf si aucun signal ou un signal non pris en charge est reçu.
❸ Capteur de télécommande	Reçoit les rayons infrarouges de la télécommande.
❹ Capteur de lumière	Ce capteur est utilisé pour le réglage automatique de la luminosité de l'écran. Reportez-vous à la page 32. **Remarque** Ne posez aucun objet devant le capteur de lumière. Le réglage automatique de lumière risquerait de ne pas fonctionner.

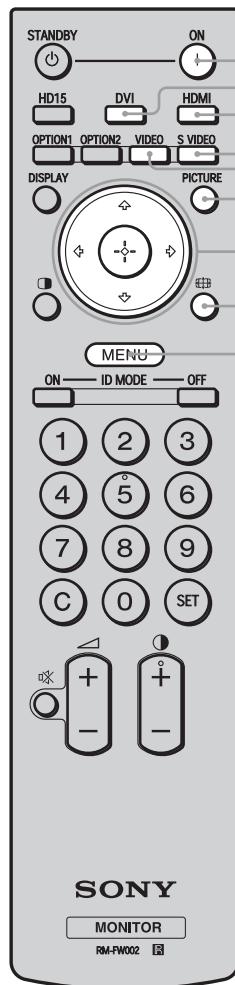
Arrière

REMOTE
AUDIO
OUT
VIDEO
S VIDEO IN
IN
VIDEO
OUT
AUDIO IN
HD15(RGB/COMPONENT)
IN
AUDIO IN
OUT
DVI
AUDIO IN
IN
IN
AC IN
SPEAKER
R
L
MENU

Pièces	Description
❶ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Permet de raccorder l'écran à un réseau à l'aide d'un câble LAN 10BASE-T/100BASE-TX. Vous pouvez affecter différents réglages et contrôler l'écran via le réseau à partir d'un ordinateur. **Attention** • Lors de la connexion du câble LAN de l'appareil au périphérique, utilisez le câble fourni afin d'empêcher tout dysfonctionnement dû au bruit de rayonnement. • Par mesure de sécurité, ne raccordez pas le connecteur pour le câblage de périphériques pouvant avoir une tension excessive à ce port. Suivez les instructions pour ce port. **Remarque** Lorsque vous utilisez ce connecteur, sélectionnez « Écran » dans « Port réseau ». Reportez-vous à la page 31.
❷ **AUDIO** (mini-prise stéréo)	C'est la prise de sortie audio de l'écran à raccorder à des périphériques externes. Émet le son du signal indiqué à l'écran. Émet le son correspondant à l'image active* en mode « P&P » ou « PinP ». **Remarque** • Les réglages définis dans « Mode du son » ou « Sortie haut-p. » ne sont pas pris en compte. • La réduction de bruit activée par la télécommande n'est pas prise en compte.
❸ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (mini DIN à 4 broches) : se raccorde à la sortie S Video d'un module d'équipement vidéo. **VIDEO IN** (BNC) : se raccorde à la sortie vidéo d'un module d'équipement vidéo. **VIDEO OUT** (BNC) : se raccorde à l'entrée vidéo d'un module d'équipement vidéo. Les images provenant de VIDEO IN sont reproduites. La sortie est indépendante de la mise sous ou hors tension (veille comprise). **AUDIO IN** (mini-prise stéréo) : se raccorde à la sortie audio d'un module d'équipement vidéo.
❹ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub à 15 broches)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** Se raccorde à la sortie du signal analogique RVB ou du signal à composantes d'un appareil vidéo ou d'un ordinateur. Voir page 43. **AUDIO IN:** Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo ou d'un ordinateur. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** se raccorde à l'entrée du signal analogique RVB ou du signal à composantes d'un appareil vidéo ou d'un ordinateur. Voir page 43. Les signaux reçus par le connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN ci-dessus sont restitués. **Remarque** • Lors de la transmission d'un signal composante, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux broches 13 et 14. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement. • Si l'écran n'est pas raccordé à l'alimentation secteur ou s'il est en mode de veille, aucun signal n'est reproduit via le connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.
❺ **DVI** (DVI-D à 24 broches)	**DVI IN:** se raccorde à la prise de sortie du signal numérique de l'appareil vidéo ou de l'ordinateur. Prend en charge la protection contre la copie HDCP. **AUDIO IN:** Permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie du signal audio d'un module d'équipement vidéo, etc.
❻ **HDMI IN**	HDMI (High-Definition Multimedia Interface) fournit une interface entre l'écran et un ordinateur, ou tout appareil audio/vidéo compatible HDMI. Vous pouvez bénéficier de vidéos à définition améliorée ou haute définition et d'un son numérique deux canaux. Le mode approprié pour un module d'équipement audio/vidéo ou pour un ordinateur est automatiquement sélectionné selon l'équipement raccordé. **Remarque** Veillez à utiliser uniquement un câble HDMI (non fourni) portant le logo HDMI. Nous vous recommandons d'utiliser un cable HDMI Sony (de type haut débit).

Pièces	Description
❼ Emplacement **OPTION** (port VIDEO/COM)	Cet emplacement prend en charge les signaux vidéo et la fonction communication. Insérez un adaptateur en option (de la série BKM-FW) dans cet emplacement pour accroître les fonctions de votre écran. Voir page 16.
❽Prise **AC IN**	Raccordez le cordon d'alimentation secteur fourni à cette prise et à une prise murale. Voir page 17. Une fois le cordon d'alimentation raccordé, le témoin I / ⏻ s'allume en rouge et l'écran se met en veille.
❾Prise **SPEAKER**	Raccordez les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à la prise. Pour plus de détails sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, voir page 19.
❿ ⏻ Interrupteur **(POWER)**	Permet de mettre l'écran sous tension ou hors tension (veille).
⓫ Touche ↶ **(RETURN)**	Permet de revenir à l'écran de menu précédent.
⓬ Touche ⊕ **(ENTER)**	Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.
⓭ Touche **–/+** (volume/ curseur)	Appuyez sur cette touche pour commander le volume des enceintes. Lorsque le menu est affiché, appuyez sur cette touche pour déplacer le curseur ou définir une valeur. Appuyez sur cette touche pour valider votre choix.
⓮ Touche **MENU**	Appuyez sur cette touche pour afficher les menus.
⓯ ⇥ Touche **(INPUT)**	Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal devant être transmis par le connecteur INPUT ou OPTION. Le signal est commuté comme suit chaque fois que vous appuyez sur la touche INPUT. → S Video → Video → HD15 → DVI → HDMI → OPTION ─┐ (retour au début) Si l'adaptateur en option, prenant en charge le signal vidéo, n'est pas inséré dans l'emplacement OPTION, OPTION n'est pas disponible.
⓰ Capteur de température	Détecte la température ambiante.
⓱ Positions d'installation des enceintes	Raccordez les enceintes spécifiées SS-SPG02.
⓲ Trous d'installation du support	Trous pour vis conformes à la norme VESA. (Espacement : 600 mm × 400 mm, vis : M6)
⓳ Boulons à œillet	Ces boulons sont utilisés lors de l'installation à l'aide d'une grue. Après l'installation, les vis sont desserrées et les boulons à œillet retirés.
⓴ Position des boulons à œillet (pour une installation verticale)	Pour installer verticalement l'écran, fixez les boulons à oeillet à ces positions. Demandez à votre revendeur ou à un service après-vente Sony de fixer les boulons à oeillet.
㉑ Cache-câbles	Le cache-câbles empêche l'eau et la poussière de pénétrer entre les câbles et le cache-bornes. Pour raccorder les câbles, desserrez les vis et déposer le cache-câbles.
㉒ Cache-bornes	Le cache-bornes empêche l'eau et la poussière de pénétrer dans le logement des bornes. Pour raccorder les câbles, desserrez les vis et déposer le cache-bornes.

* Vous pouvez permuter le signal d'entrée et l'état qui correspond à la reproduction du son.

Télécommande

Description des touches

❶ Interrupteur POWER ON

Appuyez sur cet interrupteur pour mettre l'écran sous tension.

❷ Touche DVI

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal transmis à la prise DVI.

❸ Touche HDMI

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal transmis à la prise HDMI.

❹ Touche S VIDEO

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal transmis au connecteur S VIDEO IN par un appareil vidéo.

❺ Touche VIDEO

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal transmis au connecteur VIDEO IN par un appareil vidéo.

❻ Touche PICTURE

Permet de sélectionner le « Mode de l'image ». Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre « Éclatant », « Standard », « Personnalisé », « Conférence » et « TC Control ».

❼ Touches ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕

Les touches ⇧/⇩/⇦/⇨ permettent de déplacer le curseur du menu et d'effectuer les réglages, etc. Appuyez sur ⊕ pour valider le menu ou le réglage sélectionné.

En mode « PAP », vous pouvez changer le réglage Picture and Picture. Voir page 14.

❽ Touche ⊞

Appuyez sur cette touche pour modifier le format de l'écran. Voir page 13.

❾ Touche MENU

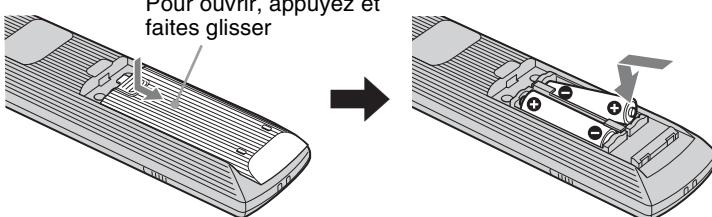
Appuyez sur cette touche pour afficher les menus. Appuyez de nouveau pour les masquer. Voir page 20.

FR

Remarques

- Les touches 5 et ◑ sont dotées d'un point tactile. Utilisez le point tactile comme repère lors de l'utilisation de l'écran.
- Introduisez deux piles au manganèse AA (R6) (fournies) en faisant correspondre la polarité ⊕ et ⊖ des piles avec celle du logement des piles.

Attention

Il y a danger d'explosion s'il y a remplacement incorrect de la batterie. Remplacer uniquement avec une batterie du même type ou d'un type équivalent recommandé par le constructeur. Lorsque vous mettez la batterie au rebut, vous devez respecter la législation en vigueur dans le pays ou la région où vous vous trouvez.

❿ Touches ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Vous pouvez faire fonctionner un écran particulier sans affecter d'autres écrans installés en même temps.

- Touche ON : appuyez sur cette touche pour afficher le « Numéro d'index » à l'écran.
- Touches 0 à 9 : appuyez sur ces touches pour saisir le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez utiliser.
- Touche SET : appuyez sur cette touche pour valider le « Numéro d'index » saisi.
- Touche C : appuyez sur cette touche pour effacer le « Numéro d'index » saisi.
- Touche OFF : appuyez sur cette touche pour revenir en mode normal.

Voir page 15.

⓫ Touche ◑+/–

Permet de régler le niveau de l'image (contraste).

⓬ Touche ◿ +/–

Appuyez sur cette touche pour régler le volume.

⓭ Touche 🔇

Appuyez sur cette touche pour couper le son. Appuyez de nouveau pour rétablir le son.

⓮ Touche ◨

Permet de sélectionner le mode « PAP » (Image et Image). Chaque pression sur cette touche permet de basculer entre « P&P », « PinP » et l'écran à une image. Reportez-vous à la page 14.

⓯ Touche DISPLAY

Appuyez sur cette touche pour afficher l'entrée actuellement sélectionnée ainsi que le type du signal d'entrée et le réglage « Format » à l'écran. Appuyez de nouveau pour les masquer. Après être restées affichées pendant quelques instants, les informations disparaissent automatiquement.

⓰ Touche OPTION 1

Si un adaptateur en option est installé, cette touche permet de sélectionner le signal d'entrée d'un appareil raccordé à l'adaptateur en option.
Si l'adaptateur en option que vous avez installé possède plusieurs connecteurs d'entrée, à chaque pression sur la touche le signal d'entrée change.

⓱ Touche HD15

Appuyez sur cette touche pour sélectionner le signal d'entrée du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT). Le signal RVB ou le signal à composantes est sélectionné automatiquement ou manuellement selon les réglages du menu.

⓲ Touche STANDBY

Appuyez sur cette touche pour mettre l'écran en mode de veille.

Remarque

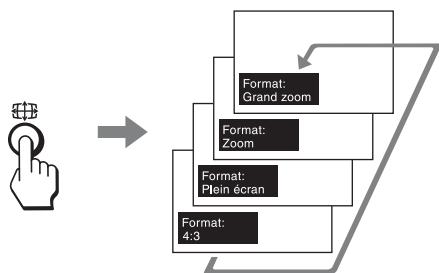
Vous ne pouvez pas utiliser la touche OPTION 2 de cet écran

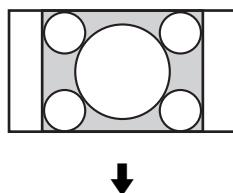
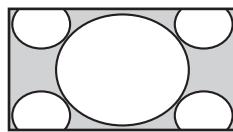
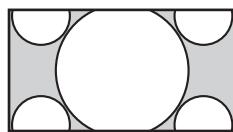
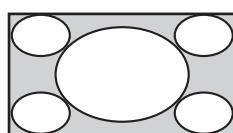
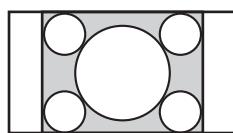
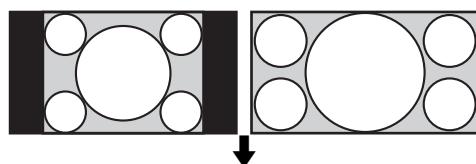
Touches spéciales de la télécommande

Utilisation du Mode cinéma

Vous pouvez changer le format de l'écran.

Conseil

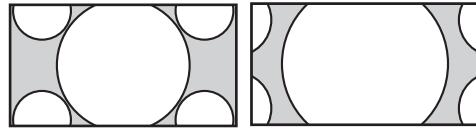
Vous pouvez également accéder aux réglages « Format » dans les réglages « Écran ». Voir page 27, 28.

Pour un signal provenant d'un appareil vidéo tel qu'un magnétoscope, un lecteur DVD, etc. (autre qu'un signal d'ordinateur)

Source d'origine 4:3

Grand zoom

Zoom

Plein écran

4:3

Source d'origine 16:9

Grand zoom

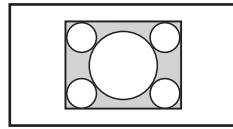
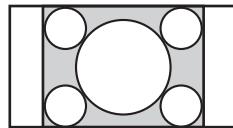
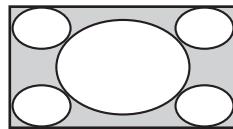
Zoom

Plein

4:3

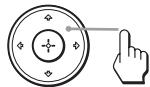
FR

Pour un signal d'ordinateur

Les illustrations ci-dessous indiquent la résolution pour un signal 800×600

Réel

Plein écran 1

Plein écran 2

Remarque

Si la résolution du signal est supérieure à la résolution de l'écran (1 920 × 1 080), l'affichage sera identique avec Réel et Plein écran 1.

Utilisation du réglage PAP

Vous pouvez afficher deux images provenant de deux sources de signaux différentes, telles qu'un ordinateur et un appareil vidéo, côte à côte.
Vous pouvez aussi permuter les images actives ou rééquilibrer les formats d'image.
Vous pouvez également accéder à l'option « Réglage PAP » dans les réglages « Écran ». Voir page 25.

Curseur signalant l'image active

Pour P&P

Pour PinP

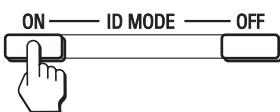
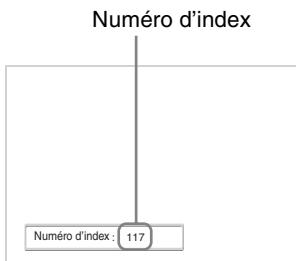
Conseils

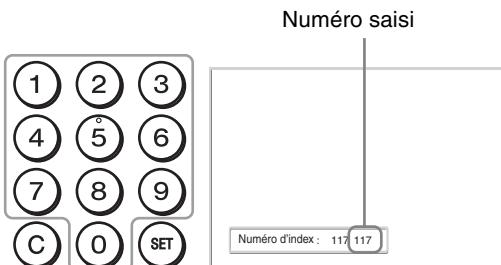
- Le curseur désignant l'image active disparaît après 5 secondes.
- L'image peut être ajustée sur 15 tailles. (Pour P&P)

Utilisation de la touche ID MODE

Vous pouvez faire fonctionner un écran particulier sans affecter d'autres écrans installés en même temps.

1 Appuyez sur la touche **ON**.

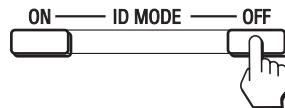
Le « Numéro d'index » de l'écran s'affiche en caractères noirs dans le menu inférieur gauche de l'écran. (Chaque écran possède un « Numéro d'index » individuel fixe compris entre 1 et 255.)

2 Saisissez le « Numéro d'index » de l'écran que vous souhaitez faire fonctionner à l'aide des touches 0 à 9 de la télécommande.

Le numéro saisi apparaît à droite du « Numéro d'index » de chaque écran.

3 Appuyez sur la touche **SET**.

Les caractères sur l'écran sélectionné deviennent verts, tandis que les autres deviennent rouges.

Vous pouvez faire fonctionner l'écran particulier repéré par les caractères verts uniquement. Seuls l'interrupteur POWER ON et la touche STANDBY/ID MODE-OFF fonctionnent également avec d'autres écrans.

4 Lorsque toutes les modifications de réglages sont terminées, appuyez sur la touche **OFF**.

L'affichage revient à l'écran normal.

Correction du Numéro d'index

Appuyez sur la touche C pour effacer le « Numéro d'index » saisi. Retournez à l'étape 2, puis saisissez un nouveau « Numéro d'index ».

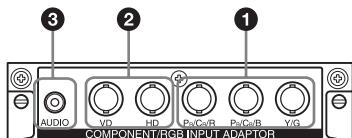
Conseil

Pour modifier le « Numéro d'index » de l'écran, reportez-vous à « Numéro d'index » dans « Réglage commande », page 29.

FR

Adaptateurs en option

La prise de l'emplacement OPTION ❼ (page 10) située sur le côté de l'appareil est de type enfichable. Elle peut être raccordée à l'adaptateur en option suivant (non fourni).
Pour plus de détails sur l'installation, consultez votre revendeur Sony.
Pour plus de détails sur les adaptateurs en option permettant d'accroître les possibilités du système, reportez-vous aux autres modes d'emploi fournis avec ce manuel.

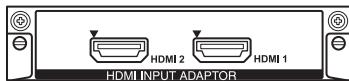
Adaptateur COMPONENT/RGB INPUT BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)** : se raccorde à la sortie du signal analogique RVB ou du signal à composantes d'un appareil vidéo ou d'un ordinateur.

❷ **HD, VD IN (BNC)** : se raccorde à la sortie du signal de synchronisation d'un ordinateur.

Remarque

Lors de la transmission d'un signal à composantes, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux connecteurs HD et VD. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

❸ **AUDIO** (mini-prise stéréo) : permet de recevoir un signal audio. Se raccorde à la sortie audio d'un appareil vidéo ou d'un ordinateur.

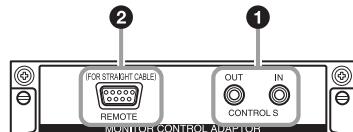
Adaptateur HDMI INPUT BKM-FW15

Vous pouvez bénéficier de vidéos à définition améliorée ou haute définition et d'un son numérique deux canaux.
Le mode approprié pour un module d'équipement audio/vidéo ou pour un ordinateur est automatiquement sélectionné selon l'équipement raccordé.

Remarque

Veillez à utiliser uniquement un câble HDMI (non fourni) portant le logo HDMI. Nous vous recommandons d'utiliser un cable HDMI Sony (de type haut débit).

Adaptateur HD-SDI/SDI INPUT BKM-FW16

Se raccorde à la sortie du signal HD-SDI d'un appareil vidéo.

Adaptateur MONITOR CONTROL BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (mini-prise) : vous pouvez commander plusieurs appareils avec une seule télécommande lorsque l'écran est raccordé au connecteur CONTROL S d'un appareil vidéo ou d'un autre écran. Raccordez le connecteur CONTROL S OUT de cet adaptateur au connecteur CONTROL S IN de l'autre appareil, puis raccordez le connecteur CONTROL S IN de cet adaptateur au connecteur CONTROL S OUT de l'autre appareil.

❷ **REMOTE** (D-sub à 9 broches) : ce connecteur permet de commander l'écran à l'aide du protocole RS-232C. Pour plus de détails, contactez votre revendeur Sony agréé.

Remarques

- Vous ne pouvez pas utiliser simultanément le connecteur REMOTE et le connecteur REMOTE (LAN) ❶ (page 9) situés sur le côté de l'équipement.
- Lorsque vous utilisez le connecteur REMOTE, sélectionnez « Option » dans « Port réseau ». (page 31)

Adaptateur STREAMING RECEIVER BKM-FW50

Cet adaptateur permet d'utiliser cet écran comme écran interactif.
Vous pouvez facilement reproduire des films, des images fixes ou de la musique de fond dans les formats numériques désignés en insérant simplement un média enregistré. Vous pouvez aussi utiliser un réseau pour afficher les images d'un ordinateur sur cet écran.

Remarque

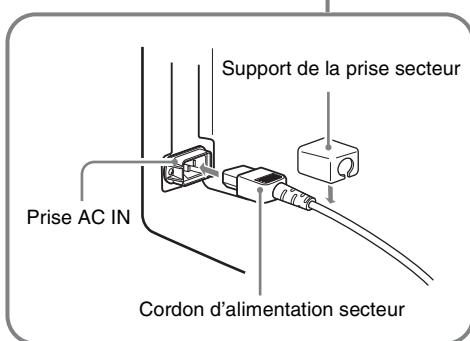
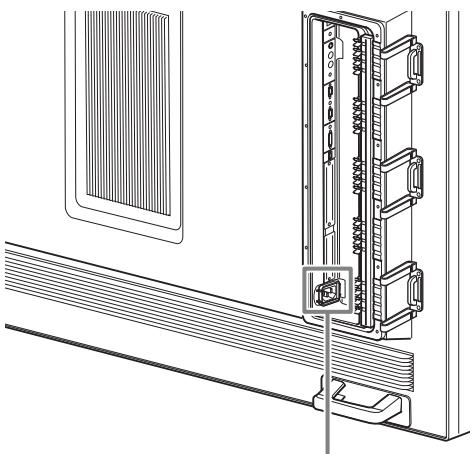
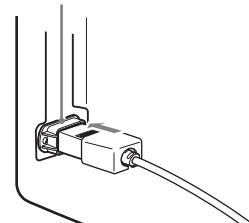
Une CompactFlash est nécessaire.

- CompactFlash est une marque commerciale de SanDisk Corporation déposée aux États-Unis d'Amérique.

Avant de commencer

- Assurez-vous dans un premier temps que tous les appareils sont hors tension.
- Utilisez des câbles adaptés aux appareils à raccorder.
- Insérez les câbles à fond dans les connecteurs ou les prises. Une connexion lâche risque de provoquer du souffle ou d'autres parasites.
- Pour débrancher le câble, saisissez-le par la fiche. Ne tirez jamais sur le câble lui-même.
- Consultez également le mode d'emploi de l'appareil à raccorder.
- Insérez bien la fiche dans la prise AC IN.
- Utilisez l'un des deux supports de la fiche secteur (fournis) pour maintenir la fiche secteur en place.

Raccordement du cordon d'alimentation secteur et des câbles

1 Branchez le cordon d'alimentation secteur sur la prise AC IN. Fixez ensuite le support de la prise secteur (fourni) au cordon d'alimentation secteur.

2 Faites glisser le support de la prise secteur par-dessus le cordon jusqu'à ce qu'il s'enclenche dans le logement de la prise AC IN.

Retrait du cordon d'alimentation secteur

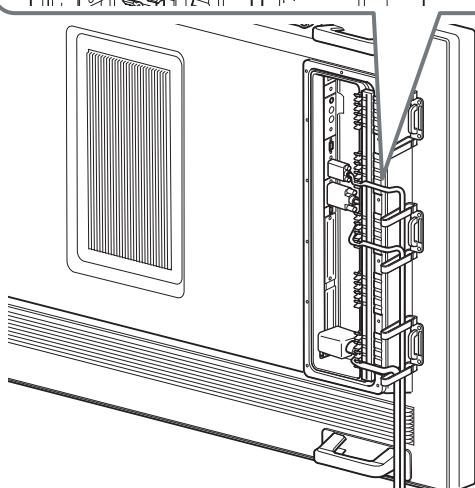
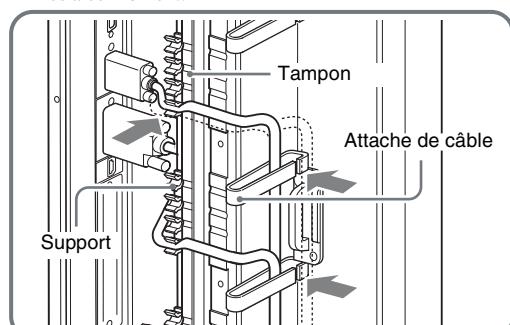
Après avoir exercé une pression sur le support de la fiche secteur pour le libérer, saisissez la fiche et tirez le cordon d'alimentation secteur.

3 Raccordez les câbles aux prises et fixez le cordon d'alimentation secteur et les câbles.

Poussez les câbles à angles droits sur le tampon en utilisant les rainures du support et le tampon et fixez-les avec l'attache prévue.

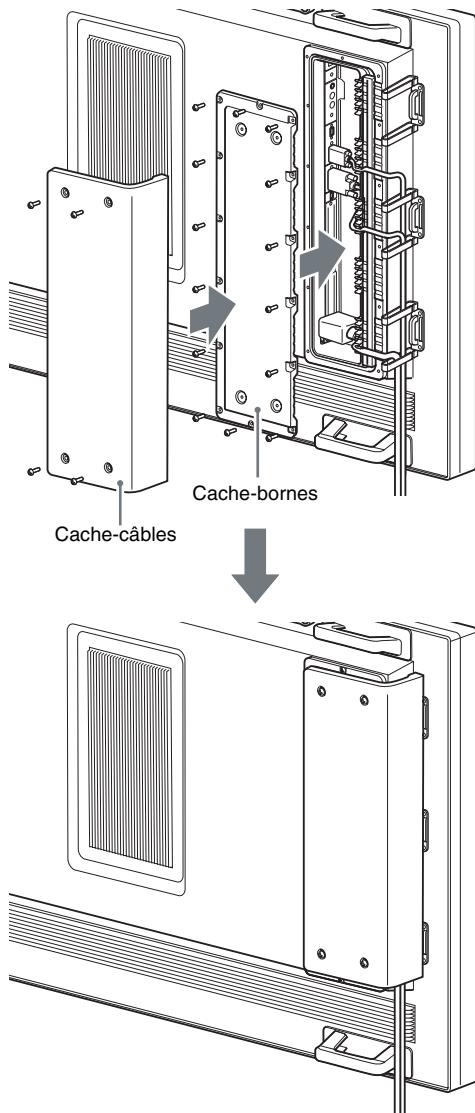
Remarque

Si vous utilisez des enceintes (non fournies), raccordez-les à ce moment.

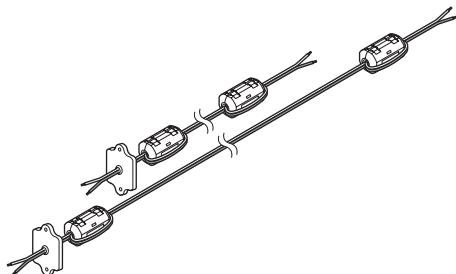
FR

4 Rattachez le cache-bornes et le cache-câbles à l'écran.

Si vous utilisez l'écran dans un pays où le standard international IP54 est exigé, rattachez toujours le cache-borne et le cache-câbles.

Remarque

Lorsque vous fixez le cache, serrez les vis de manière uniforme. Si vous utilisez un tournevis électrique, réglez le couple de serrage entre 0,8 N·m et 1,0 N·m (8 kgf·cm et 10 kgf·cm).

Raccordement des enceintes

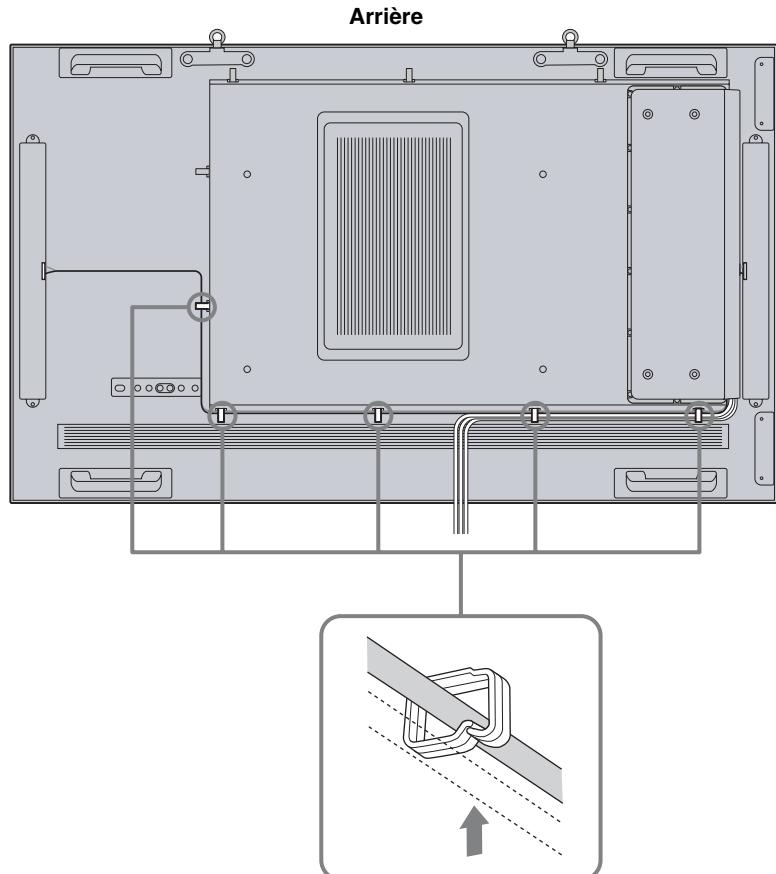
Raccordez des enceintes SS-SPG02 (non fournies). Pour ce faire, utilisez les cordons d'enceintes suivants fournis avec les enceintes.

Cordon d'enceinte (avec cache-bornes)

- Les longueurs des cordons gauche et droit sont différentes. Le cordon le plus court est pour l'enceinte gauche et le cordon le plus long pour l'enceinte droite. Vérifiez les étiquettes à l'arrière des enceintes pour raccorder les cordons correctement.
- Si vous utilisez l'écran dans un pays où le standard international IP54 est exigé, rattachez toujours le cache-bornes.
- Pour plus de détails sur le raccordement des enceintes, reportez-vous à leur mode d'emploi. Pour plus de détails sur le cheminement des cordons d'enceintes, reportez-vous à la page 19.

Remarque

Lorsque l'écran est suspendu à la verticale, les haut-parleurs ne sont pas conformes à la norme internationale IP54.

Rangement des câbles

Vous pouvez rassembler les câbles à l'aide des brides de câbles rattachées à l'écran.

FR

Description générale des menus

1 Appuyez sur la touche MENU.

2 Appuyez sur ⇧/⇩ pour sélectionner l'icône du menu de votre choix.

3 Appuyez sur ⊕ ou ⇨.

Pour quitter le menu, appuyez sur la touche MENU.

Pour modifier la langue d'affichage à l'écran

Sélectionnez la langue souhaitée pour l'affichage des messages et des réglages parmi les langues suivantes : « English », « Français », « Deutsch », « Español », « Italiano » ou « 日本語 ».
« English » (anglais) est la langue par défaut.
Voir page 29.

Les réglages permettent d'accéder aux fonctions suivantes :

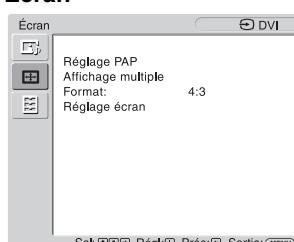
Réglages	Réglages/modifications disponibles

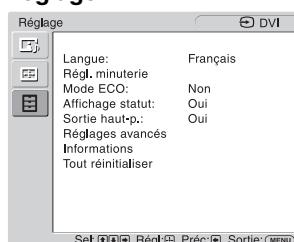
Image/Son

Mode de l'image: (page 21, 23)
Réglage mode image (page 21, 23)
Mode du son: (page 22, 24)
Réglage mode son (page 22, 24)

Remarque

Vous ne pouvez pas régler ni changer « Mode de l'image » ou « Réglage mode image » si aucun signal n'est reçu.

Écran

Réglage PAP (page 25, 28)
Affichage multiple (page 26, 28)
Format: (page 27, 28)
Réglage écran (page 27, 28)

Réglage

Langue: (page 29)
Régl. minuterie (page 29)
Mode ECO: (page 29)
Affichage statut: (page 29)
Sortie haut-p.: (page 29)
Réglages avancés (page 29)
Informations (page 32)
Tout réinitialiser (page 32)

* Il est possible que les icônes de menu affichées en bas de l'écran ne fonctionnent pas selon les réglages.

Réglages Image/Son

Pour l'entrée vidéo

Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur ⇧/⇩/⇦/⇨.
Appuyez sur ⊕ pour valider votre choix.
Les réglages « Image/Son » comprennent les options suivantes :

Mode de l'image

« Éclatant » : pour sélectionner un réglage maximal des contrastes et de la netteté de l'image.
« Standard »: pour sélectionner un réglage moyen de l'image.
« Personnalisé » : à utiliser pour mémoriser vos réglages favoris.
« Conférence »: à utiliser pour régler la qualité de l'image des vidéos conférence sous un éclairage fluorescent.
« TC Control »: Ce réglage est commun avec l'option « Éclatant ». Vous pouvez également utiliser la fonction « True Color Control » (voir ci-après).

Conseil

Pour passer de l'option « Mode de l'image » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche PICTURE de la télécommande.

Remarques

- « Conférence » risque de ne pas être opérante, selon l'environnement ou le système de conférence vidéo utilisé. Dans ce cas, réglez la qualité de l'image, basculez vers l'autre réglage de « Mode de l'image », etc.
- Dans « TC Control », « Plus lumineux » est réglé sur Non.

Réglage mode image

« Rétro-éclairage » : à utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'écran.
« Contraste » : à utiliser pour ajuster le contraste de l'image.
« Luminosité » : à utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'image.
« Chrominance » : à utiliser pour augmenter ou diminuer l'intensité des couleurs.
« Phase » : à utiliser pour ajuster les tons des couleurs de l'image.
« Netteté » : à utiliser pour augmenter ou diminuer la netteté de l'image.
« Réduction du bruit » : à utiliser pour réduire le niveau de bruit de l'appareil raccordé. Vous avez le choix entre les valeurs suivantes pour le niveau de bruit : « Non », « Bas », « Moyen », « Haut ».
« CineMotion » : sélectionnez « Automatique » pour optimiser la lecture de l'image filmée qui est automatiquement détectée et ajustée selon un processus d'ajustement inversé de l'image 3-2 ou 2-2. Les images dynamiques apparaîtront alors plus nettes et naturelles. Sélectionnez « Non » pour désactiver la détection.
« Image Dynamique » : sélectionnez « Oui » pour améliorer le contraste en rendant le blanc plus lumineux et le noir plus sombre.
« Correct. Gamma » : équilibre automatiquement les parties claires et sombres de l'image. Vous avez le choix entre les valeurs « Haut », « Moyen », « Bas » et « DICOM GSDF Sim. ».

Remarques

- Vous ne pouvez pas régler « Correct. Gamma » lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « Conférence ».
- « DICOM GSDF Sim. » ne peut être réglé que s'il existe une entrée DVI ou HDMI. Le réglage Gamma est simulé par la fonction d'affichage normalisé des nuances de gris (GSDF) des normes d'imagerie et de communications en médecine (DICOM). Toutefois, ce réglage ne sert qu'à titre de référence et ne peut pas être utilisé pour le diagnosctic médical.

« Temp. couleur »: à utiliser pour ajuster le ton du blanc selon ses préférences. Par défaut, il est ajusté selon la température de couleur.
- **« Froide » :** à sélectionner pour donner une teinte bleuâtre aux couleurs blanches.
- **« Neutre » :** à sélectionner pour donner une teinte neutre aux couleurs blanches.
- **« Chaude » :** à sélectionner pour donner une teinte rougeâtre aux couleurs blanches.
- **« Personnalisé » :** permet d'obtenir une gamme des blancs plus large que celles mentionnées ci-dessus.

FR

Conseil
Les réglages par défaut peuvent être rétablis en sélectionnant « Réinitialiser » sur l'écran de réglage des tons.

« Plus lumineux » : accentue la luminosité de l'image.

Remarques

- Vous ne pouvez régler que « Plus lumineux » lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « Éclatant ».
- Lorsque « Plus lumineux » a pour réglage « On », vous ne pouvez pas régler « Rétro-éclairage », « Contraste », « Luminosité » ou « Temp. couleur ».
- La luminosité est optimale, lorsque « Plus lumineux » a pour réglage « On », « Rétro-éclairage » a pour réglage « Max » et « Mode ECO » est commuté sur « Non ».

« True Color Control » : à utiliser pour régler la teinte et la saturation de chacune de ces quatre couleurs : rouge, vert, jaune et bleu. Vous pouvez également sélectionner des couleurs spécifiques de l'image.
En sélectionnant la couleur à régler, vous pourrez vérifier quelle partie de l'image sera modifiée. Vous pouvez ensuite régler la couleur choisie en utilisant la matrice couleur.

Remarques

- Cette option peut être réglée lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « TC Control ».
- En mode « PAP », cette option ne peut pas être sélectionnée. Même si vous sélectionnez cette option sur l'écran à une image, il est possible que le réglage de cette option ne soit pas appliqué en mode « PAP ».

« Réinitialiser » : à utiliser pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode image » à leur valeur par défaut.

Remarques

- « Phase » n'est pas disponible si l'entrée vidéo ou S-vidéo est sélectionnée et si le système couleurs du signal vidéo n'est pas NTSC.
- « Image Dynamique » ne peut pas être sélectionné lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « Conférence » ou « TC Control ».
- Vous pouvez effectuer des réglages et des ajustements pour chaque « Mode de l'image » mais les réglages « Rétro-éclairage », « Réduction du bruit » et « CineMotion » sont communs à tous les « Mode de l'image ».
- « Image Dynamique » et « CineMotion » ne fonctionnent pas en mode PAP.

Mode du son

Vous pouvez régler le son reproduit par les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à l'aide des différents réglages du « Mode du son ».
« Dynamique » : à sélectionner pour augmenter les aigus et les graves.
« Standard » : réglage plat.
« Personnalisé » : à utiliser pour mémoriser vos réglages favoris.

Réglage mode son

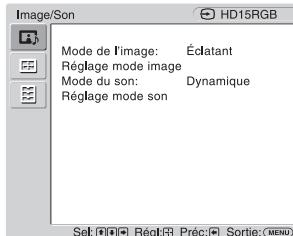
« Aigu » : à utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus aigus.
« Grave » : à utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus graves.
« Balance » : à utiliser pour accentuer la balance de l'enceinte droite ou gauche.
« Surround » : sélectionnez le mode ambiophonique selon le type d'image.
« Non » : aucune sortie surround.
« Hall » : lorsque vous souhaitez donner une sensation d'enveloppement au son stéréo de vos films et programmes musicaux.
« Simul. » : lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou des actualités télévisées à l'aide d'un son stéréo simulé.
« Réinitialiser » : à utiliser pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode son » à leur valeur par défaut.

Conseils

- Vous pouvez modifier les réglages de « Réglage mode image » (« Contraste », « Luminosité », « Chrominance », etc.) pour chaque « Mode de l'image ».
- Vous pouvez modifier les réglages de « Réglage mode son » (« Aigu » et « Grave ») lorsque le « Mode du son » a pour réglage « Personnalisé ».

Remarque

En mode « PAP », seuls les « Image/Son » de l'image active peuvent être réglés.

Pour un signal d'ordinateur

Lorsque l'entrée est commutée sur une source d'entrée de l'ordinateur, les réglages « Image/Son » spécifiques à l'entrée de l'ordinateur sont appliqués. Les réglages « Image/Son » pour l'ordinateur incluent les options suivantes :

Mode de l'image

« Éclatant » : pour sélectionner un réglage maximal des contrastes et de la netteté de l'image.
« Standard »: pour sélectionner un réglage moyen de l'image.
« Personnalisé » : à utiliser pour mémoriser vos réglages favoris.
« Conférence » : à utiliser pour régler la qualité de l'image des vidéos conférence sous un éclairage fluorescent.
« TC Control » : Ce réglage est commun avec l'option « Éclatant ». Vous pouvez également utiliser la fonction « True Color Control » (voir ci-après).

Conseil

Pour passer de l'option « Mode de l'image » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche PICTURE de la télécommande.

Remarques

- « Conférence » risque de ne pas être opérante, selon l'environnement ou le système de conférence vidéo utilisé. Dans ce cas, réglez la qualité de l'image, basculez vers l'autre réglage de « Mode de l'image », etc.
- Dans « TC Control », « Plus lumineux » est réglé sur Non.

FR

Réglage mode image

« Rétro-éclairage » : à utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'écran.
« Contraste » : à utiliser pour ajuster le contraste de l'image.
« Luminosité » : à utiliser pour augmenter ou diminuer la luminosité de l'image.
« Correct. Gamma » : équilibre automatiquement les parties claires et sombres de l'image. Vous avez le choix entre les valeurs « Haut », « Moyen », « Bas » et « DICOM GSDF Sim. ».

Remarques

- Vous ne pouvez pas régler « Correct. Gamma » lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « Conférence ».
- « DICOM GSDF Sim. » ne peut être réglé que s'il existe une entrée DVI ou HDMI. Le réglage Gamma est simulé par la fonction d'affichage normalisé des nuances de gris (GSDF) des normes d'imagerie et de communications en médecine (DICOM). Toutefois, ce réglage ne sert qu'à titre de référence et ne peut pas être utilisé pour le diagnosctic médical.

« Temp. couleur » : à utiliser pour ajuster le ton du blanc selon ses préférences. Par défaut, il est ajusté selon la température de couleur.

« Froide » : à sélectionner pour donner une teinte bleuâtre aux couleurs blanches.
« Neutre » : à sélectionner pour donner une teinte neutre aux couleurs blanches.
« Chaude » : à sélectionner pour donner une teinte rougeâtre aux couleurs blanches.
« Personnalisé » : permet d'obtenir une gamme des blancs plus large que celles mentionnées ci-dessus.

Conseil

Les réglages par défaut peuvent être rétablis en sélectionnant « Réinitialiser » sur l'écran de réglage des tons.

« Plus lumineux » : accentue la luminosité de l'image.

Remarques

- Vous ne pouvez régler que « Plus lumineux » lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « Éclatant ».
- Lorsque « Plus lumineux » a pour réglage « On », vous ne pouvez pas régler « Rétro-éclairage », « Contraste », « Luminosité » ou « Temp. couleur ».
- La luminosité est optimale, lorsque « Plus lumineux » a pour réglage « On », « Rétro-éclairage » a pour réglage « Max » et « Mode ECO » est commuté sur « Non ».

« True Color Control » : à utiliser pour régler la teinte et la saturation de chacune de ces quatre couleurs : rouge, vert, jaune et bleu. Vous pouvez également sélectionner des couleurs spécifiques de l'image.
En sélectionnant la couleur à régler, vous pourrez vérifier quelle partie de l'image sera modifiée. Vous pouvez ensuite régler la couleur choisie en utilisant la matrice couleur.

Remarques

- Cette option peut être réglée lorsque le « Mode de l'image » a pour réglage « TC Control ».
- En mode « PAP », cette option ne peut pas être sélectionnée. Même si vous sélectionnez cette option sur l'écran à une image, il est possible que le réglage de cette option ne soit pas appliqué en mode « PAP ».

« Réinitialiser » : à utiliser pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode image » à leur valeur par défaut.

Remarque

Vous pouvez effectuer des réglages et des ajustements pour chaque « Mode de l'image » mais « Rétro-éclairage » est commun à tous les « Mode de l'image ».

Mode du son

Vous pouvez régler le son reproduit par les enceintes SS-SPG02 (non fournies) à l'aide des différents réglages du « Mode du son ».
« Dynamique » : à sélectionner pour augmenter les aigus et les graves.
« Standard » : réglage plat.
« Personnalisé » : à utiliser pour mémoriser vos réglages favoris.

Réglage mode son

« Aigu » : à utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus aigus.
« Grave » : à utiliser pour augmenter ou réduire le niveau des sons plus graves.
« Balance » : à utiliser pour accentuer la balance de l'enceinte droite ou gauche.
« Surround » : sélectionnez le mode ambiophonique selon le type d'image.
- **« Non » :** aucune sortie surround.
- **« Hall » :** lorsque vous souhaitez donner une sensation d'enveloppement au son stéréo de vos films et programmes musicaux.
- **« Simul. » :** lorsque vous souhaitez augmenter la présence audio de vos programmes mono ordinaires ou des actualités télévisées à l'aide d'un son stéréo simulé.

« Réinitialiser » : à utiliser pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage mode son » à leur valeur par défaut.

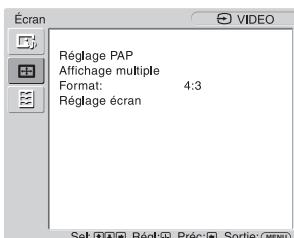
Conseils

- Vous pouvez modifier les réglages de « Réglage mode image » (« Contraste », « Luminosité », « Chrominance », etc.) pour chaque « Mode de l'image ».
- Vous pouvez modifier les réglages de « Réglage mode son » (« Aigu » et « Grave ») lorsque le « Mode du son » a pour réglage « Personnalisé ».

Remarques

- Les réglages « Chrominance », « Phase », « Netteté », « Réduction du bruit », « CineMotion » et « Image Dynamique » ne sont pas disponibles pour l'entrée provenant de l'ordinateur.
- En mode « PAP », seuls l'image et le son de l'image active peuvent être réglés.

Réglages Écran

Pour l'entrée vidéo

Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur ⇧/⇩/⇦/⇨.
Appuyez sur ⊕ pour valider votre choix.
Les réglages « Écran » comprennent les options suivantes :

Réglage PAP

Vous pouvez afficher deux images provenant de deux sources de signaux différentes, telles qu'un ordinateur et un équipement vidéo, côte à côte.

« PAP »

« Non » : Désactive la fonction « PAP ».
« P&P » : affiche deux images simultanément côte à côte.
« PinP » : affiche deux images, l'une étant incrustée dans l'image principale.

Pour P&P

« Image active » : sélectionnez l'écran à utiliser.

« Gauche » : à utiliser pour activer l'image de gauche et l'afficher.
« Droite » : à utiliser pour activer l'image de droite et l'afficher.
« Échanger » : à utiliser pour échanger les deux images côte à côte.

« Taille image » : à utiliser pour réajuster les deux images côte à côte. Réajustez les images en appuyant sur la touche ⇦ ou ⇨, puis appuyez sur la touche ⊕ pour valider votre réglage. (page 14)

Pour PinP

« Image active » : sélectionnez l'écran à utiliser.

« Principal » : à utiliser pour activer l'image principale et l'afficher.
« Sous » : à utiliser pour activer l'image incrustée et l'afficher.
« Échanger » : à utiliser pour échanger l'image principale et l'image incrustée.

« Taille image » : à utiliser pour régler la taille de l'image incrustée. Vous avez le choix entre « Grand » et « Petit ».

« Position de l'image » : à utiliser pour régler la position de l'image incrustée à l'aide des touches ⇧/⇩/⇦/⇨, puis de la touche ⊕.

Remarques

- En mode « PAP », les réglages du « Mode de l'image » et « Mode du son » se répercutent sur les réglages de l'image principale.
- Vous ne pouvez pas modifier le format en mode « PAP ». L'image est affichée au dernier format utilisé avant la sélection du mode « PAP ».

FR

Combinaisons de deux images disponibles

		S Vidéo	Vidéo	RGB/YUV		DVI	HDMI	OPTION			
				RGB	Composantes			RGB	Composantes	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Vidéo				○	○	○	○	○	○	○	○
Vidéo				○	○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○	○		○[2]	○	○
	Composantes	○	○			○	○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○			○	○		
HDMI		○	○	○	○			○	○		

1) Pris en charge lorsque « Écran » est réglé sur « YUV » ou lorsque « Option » est réglé sur « RGB » dans « RGB/YUV ».
2) Pris en charge lorsque « Écran » est réglé sur « RGB » ou lorsque « Option » est réglé sur « YUV » dans « RGB/YUV ».

Conseil
En mode « PAP », les images provenant du BKM-FW50 sont considérées comme celles de la sortie RGB indiquée dans le tableau.

Affichage multiple

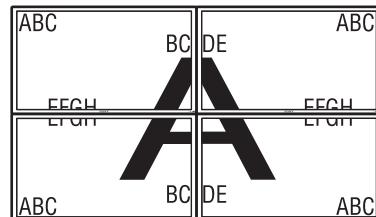
Permet d'effectuer des réglages pour raccorder plusieurs écrans afin de former un mur vidéo.

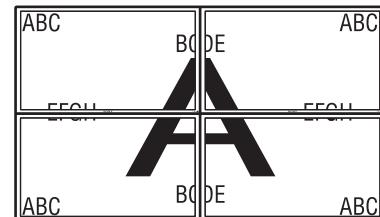
« Affichage multiple »

« Non » : utilise un seul écran.
« 2×2 »/« 3×3 »/« 4×4 » : pour raccorder plusieurs écrans (2, 3 ou 4) verticalement ou horizontalement.
« 1×2 »/« 1×3 »/« 1×4 » : pour raccorder plusieurs écrans (2, 3 ou 4) horizontalement.
« 2×1 »/« 3×1 »/« 4×1 » : pour raccorder plusieurs écrans (2, 3 ou 4) verticalement.

« Position » : pour sélectionner la position de chaque écran dans la disposition du mur vidéo à l'aide des touches ⇧/⇩/⇦/⇨. Appuyez sur ⊕ pour sélectionner la position.

« Format de sortie » : la sélection des deux formats de sortie de l'image est possible comme indiqué ci-dessous. En sélectionnant simplement l'un des formats, une image appropriée sera émise sans qu'il soit nécessaire de régler manuellement la position horizontale ou verticale. Sélectionnez « Tuiles » ou « Fenêtre ».

« Tuiles »

Pour afficher un signal complet sur chaque écran.

« Fenêtre »

Pour afficher une grande image sur plusieurs écrans de façon naturelle.
Une partie du signal disparaît derrière l'encadrement.

« LED » : avec « Oui », le témoin I / ⏻ sur le panneau avant (page 7) est allumé en continu et avec « Non », le témoin I / ⏻ sur le panneau avant est éteint en continu.

Remarques

- L'option « Affichage multiple » permet d'afficher une image agrandie en gardant le réglage « Format » sélectionné pour une entrée vidéo, dans la mesure du possible, et permet d'afficher une image agrandie avec l'option « Format » réglée sur « Plein écran 2 » pour l'entrée de l'ordinateur.
- Vous pouvez régler « Affichage multiple » uniquement si la fonction « PAP » est désactivée.
- Si l'option « Position » est réglée sur le bas à droite, le témoin I / ⏻ s'allume même si l'option « LED » est réglée sur « Non ». Le témoin s'allume également même si l'écran est éteint (en veille), les erreurs sont détectées ou l'écran est en mode sommeil, ce qui inclut l'absence de signaux ou des signaux non pris en charge.

Format

« Grand zoom » : sélectionnez pour agrandir l'image en plein écran avec un minimum de distorsions.
« Zoom » : sélectionnez pour agrandir l'image d'origine sans générer de distorsions du format de l'image.
Voir page 13.
« Plein écran » : sélectionnez pour agrandir horizontalement l'image d'origine en plein écran si la source d'origine est 4:3 (source en définition standard). Si la source d'origine est 16:9 (source en Haute Définition), sélectionnez ce mode pour afficher l'image 16:9 dans son format d'origine.
« 4:3 » : sélectionnez pour afficher toutes les images dans leur taille d'origine au format 4:3.

Conseils

- Pour passer de l'option « Format » à une autre, vous pouvez également utiliser la touche ⊞ de la télécommande.
- Sélectionnez « Zoom » pour afficher les films ou toute autre donnée d'un DVD avec des bandes noires en utilisant la totalité de la surface utile de l'écran.

Remarques

- Vous ne pouvez pas modifier le format en mode « PAP ». Limage est affichée au dernier format utilisé avant la sléction du mode « PAP ».
- Vous ne pouvez pas régler « Format » en utilisant la fonction « Affichage multiple ».

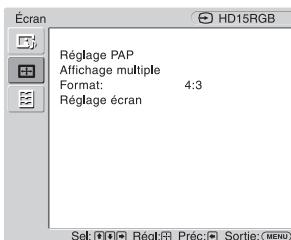
Réglage écran

« Taille horizontale » : à utiliser pour régler la taille horizontale de l'image. Appuyez sur ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. horizontale» : à utiliser pour déplacer la position de l'image vers la gauche ou vers la droite dans la fenêtre. Appuyez sur ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Taille verticale » : à utiliser pour régler la taille verticale de l'image. Appuyez sur ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. verticale » : à utiliser pour déplacer la position de l'image vers le haut ou vers le bas dans la fenêtre. Appuyez sur ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Réinitialiser » : à utiliser pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage écran » à leur valeur par défaut.

Remarques

- « Réglage écran » n'est pas disponible lors de l'utilisation de la fonction « PAP ».
- Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option des réglages « Écran » ne peut être sélectionnée, à l'exception de « Réglage PAP » et « Affichage multiple ».

FR

Pour un signal d'ordinateur

Lorsque l'entrée est commutée sur une source d'entrée de l'ordinateur, les réglages « Écran » spécifiques à l'entrée de l'ordinateur sont appliqués. Les réglages « Écran » pour l'ordinateur incluent les options suivantes :

Réglage PAP

Reportez-vous à « Réglage PAP » pour l'entrée vidéo (page 25).

Affichage multiple

Reportez-vous à « Affichage multiple » pour l'entrée vidéo (page 26).

Format

« Plein écran 1 » : sélectionnez cette option pour agrandir l'image afin de remplir la zone d'affichage verticalement, tout en conservant le rapport horizontal/vertical d'origine. Un cadre noir apparaît autour de l'image.
« Plein écran 2 » : sélectionnez pour agrandir l'image jusqu'à ce qu'elle remplisse la zone d'affichage.
« Réel » : sélectionnez pour afficher l'image avec son nombre de points d'origine.

Remarques

- Vous ne pouvez pas modifier le format en mode « PAP ». Limage est affichée au dernier format utilisé avant la sléction du mode « PAP ».
- Vous ne pouvez pas régler « Format » en utilisant la fonction « Affichage multiple ».
- Si la résolution du signal est supérieure à la résolution de l'écran (1 920 × 1 080), l'affichage « Réel » sera identique à l'affichage « Plein écran 1 ».

Réglage écran

« Réglage automatique » : sélectionnez « OK » pour régler automatiquement la position de l'écran et la phase de l'image lorsque l'écran reçoit un signal d'entrée provenant de l'ordinateur raccordé.
Notez que l'option « Réglage automatique » risque de ne pas fonctionner correctement avec certains signaux d'entrée. Dans ce cas, réglez manuellement les options ci-dessous.
« Phase » : sélectionnez pour ajuster la phase quand l'écran scintille.
« Espacement » : sélectionnez pour ajuster l'espacement lorsque des bandes verticales indésirables apparaissent sur l'image.

Remarques

- « Réglage automatique », « Phase » et « Espacement » ne sont pas disponibles lorsqu'un signal numérique (DVI ou HDMI par exemple) est transmis.
- Lorsque vous effectuez un « Réglage automatique », affichez une image lumineuse sur tout l'écran. Si vous ne le faites pas, la position de l'image risque de pas être ajustée correctement.

« Taille horizontale » : à utiliser pour régler la taille horizontale de l'image. Appuyez sur ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. horizontale» : à utiliser pour déplacer la position de l'image vers la gauche ou vers la droite dans la fenêtre. Appuyez sur ⇦/⇨, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Taille verticale » : à utiliser pour régler la taille verticale de l'image. Appuyez sur ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Pos. verticale » : à utiliser pour déplacer la position de l'image vers le haut ou vers le bas dans la fenêtre. Appuyez sur ⇧/⇩, puis sur ⊕ pour choisir une correction.
« Réinitialiser » : à utiliser pour réinitialiser tous les réglages de « Réglage écran » à leur valeur par défaut.

Remarque

Si aucun signal n'est en cours de transmission, aucune option des réglages « Écran » ne peut être sélectionnée, à l'exception de « Réglage PAP » et « Affichage multiple ».

Réglages Réglage

Pour sélectionner une option et changer le réglage, appuyez sur ⇧/⇩/⇦/⇨.
Appuyez sur ⊕ pour valider votre choix.
Les réglages « Réglage » comprennent les options suivantes :

Langue

Sélectionnez pour afficher tous les réglages à l'écran dans la langue de votre choix : « English », « Français », « Deutsch », « Español », « Italiano » ou « 日本語 ».

Régl. minuterie

Vous pouvez régler l'heure, afficher l'horloge intégrée ou régler la minuterie pour allumer ou éteindre l'écran à une heure préréglée.

« Régl. horloge » : règle le jour de la semaine et l'heure.

« Réglage date » : Règle la date (année, mois, jour). Le jour de la semaine se règle automatiquement.

« Réglage heure » : Règle l'heure.

« Aff. Horloge » : affiche l'heure réglée actuellement sur l'écran si « Oui » est sélectionné lorsque vous appuyez sur la touche d'affichage de la télécommande.

« Minuterie M/A » : règle le jour de la semaine et l'heure.

Remarque

Si l'horloge intégrée a tendance à retarder, il est possible que la pile interne soit épuisée. Contactez votre revendeur Sony agréé pour faire remplacer la pile.

Mode ECO

« Non » : à sélectionner pour voir l'image sans bénéficier du mode d'économie d'énergie.

« Bas »/« Haut » : à sélectionner pour changer la luminosité du rétroéclairage et réduire la consommation d'énergie.

Affichage statut

« Oui » permet d'afficher à l'écran des informations sur le signal d'entrée et le « Format » pendant environ 5 secondes à la mise sous tension de l'écran, et les informations sur le signal d'entrée apparaissent pendant environ 5 secondes lorsque le signal d'entrée est commuté, tandis que « Non » désactive l'affichage des informations d'état.

Conseil

Pour afficher les informations concernant le signal d'entrée et le « Format », utilisez la touche DISPLAY de la télécommande, quel que soit le réglage « Affichage statut ».

Sortie haut-p.

« Oui » : à utiliser pour que le son soit restitué par les enceintes.

« Non » : à utiliser pour désactiver le son restitué par les enceintes.

Réglages avancés

« Réglage commande » : ce menu est utilisé pour les réglages des commandes de l'écran et de la télécommande.

« Numéro d'index » : vous pouvez modifier le numéro d'index de l'écran, si nécessaire. Permet de définir le numéro d'index de l'écran à l'aide de ⇧/⇩ et de le valider en appuyant sur ⊕ (ENTER).

Remarque

Lorsque vous réglez le « Numéro d'index », utilisez les touches de l'écran. Vous ne pouvez pas régler le « Numéro d'index » avec la télécommande.

« Mode de contrôle »

« Écran+Téléc. » : vous pouvez faire fonctionner l'écran à l'aide des touches de commande de l'écran et de la télécommande.

« Écran seul » : désactive la fonction télécommande. Vous pouvez régler l'écran uniquement à l'aide des touches de commande de l'écran.

« Telecom. seule » : désactive les commandes de l'écran. Vous pouvez régler l'écran uniquement à l'aide de la télécommande.

Remarque

Lorsque vous choisissez ce paramètre, les modes disponibles varient selon que vous effectuez la sélection à partir de la télécommande ou de l'écran. Lors du réglage de cette option à l'aide de la touche ⊕ de la télécommande, vous pouvez uniquement sélectionner « Écran+Téléc. » ou « Telecom. seule ». Lors du réglage de cette option à l'aide de la touche ⊕ (ENTER) de l'écran, vous pouvez uniquement sélectionner « Écran+Téléc. » ou « Écran seul ».

« Régl. écran auto »

« Oui » : les réglages tels que la taille et la position de l'image sont enregistrés pour chaque signal d'entrée tandis que les derniers réglages sont automatiquement appliqués chaque fois que les signaux d'entrée sont commutés.
« Non » : le « Régl. écran auto » est désactivé, même si les signaux d'entrée sont commutés et si les réglages par défaut sont appliqués.

Remarque

La fonction « Régl. écran auto » n'agit que dans le cas d'une entrée RVB.

« Arrêt auto » :

« Oui » : l'écran passe automatiquement en mode de veille si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée vidéo ou S-vidéo pendant plus de 5 minutes environ. L'écran passe automatiquement en mode d'économie d'énergie si aucun signal n'est transmis aux connecteurs d'entrée DVI, HDMI ou HD15 (RVB/ Composantes) pendant plus de 30 secondes environ.
« Non » : l'écran n'est pas mis hors tension automatiquement, même si aucun signal n'est transmis à un connecteur.

Conseils

- En mode de veille, appuyez sur l'interrupteur ⏻ (POWER) de l'écran ou sur la touche POWER ON de la télécommande pour mettre l'écran sous tension. En mode d'économie d'énergie, l'écran s'allume automatiquement lorsqu'un signal est transmis.
- Cette fonction n'est pas disponible lorsque « Logo affiché » est réglé sur « Oui », la fonction d'économie d'énergie est affichée ou PAP est sélectionné.

« Surbalayage » : à utiliser pour sélectionner si les images doivent être affichées avec un surbalayage ou un balayage juste.

« Automatique » : commute automatiquement les images de signal supposés DTV en images avec surbalayage.
« Oui » : affiche l'image avec surbalayage.
« Non » : affiche l'image avec le balayage juste.

Remarque

Si « Surbalayage » est réglé sur « Non », l'image de signal DVT peut être affichée comme un signal d'ordinateur.
Exemple : 480P → 720 × 480/60

« Mode sync. » : à utiliser pour régler le mode en fonction du signal reçu à la broche 13 du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN.

« Comp. H » : à sélectionner quand un signal synchrone horizontal ou un signal synchrone composite est transmis.
« Vidéo » : à sélectionner quand un signal vidéo est transmis.

Remarques

- « Mode sync. » n'est disponible que lorsqu'un signal RVB analogique est transmis au connecteur HD15.
- Selon le niveau du signal synchrone composite, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement. Dans ce cas, modifiez le réglage « Mode sync. ».
- Pour certaines entrées, seuls les signaux de synchronisation peuvent être sélectionnés. Dans ce cas, transmettez les signaux de synchronisation horizontale/verticale par l'intermédiaire de la broche 13 ou 14 des connecteurs.
- Les paramètres de Mode sync ne peuvent pas être appliqués si l'entrée est transmise par l'intermédiaire des adaptateurs en option.
- Lorsque l'option « Vidéo » est sélectionnée dans le « Mode sync. », vous ne pouvez spécifier que les signaux 575/50i et 480/60i.
- Si vous sélectionnez le signal vidéo comme réglage du mode synchrone, vous ne pouvez pas utiliser la fonction PAP.

« RGB/YUV »

« Écran »/« Option » : à utiliser pour désigner le type de signal de l'appareil vidéo ou de l'ordinateur raccordé à la prise HD15 (RGB/COMPONENT) de l'écran ou à la prise 5BNC (RGB/COMPONENT) d'un adaptateur en option.

« Automatique » : sélectionnez pour choisir un signal d'entrée analogique RVB ou un signal d'entrée à composantes provenant de l'appareil raccordé.

« RGB » : sélectionnez pour choisir un signal d'entrée analogique RVB provenant de l'appareil raccordé.

« YUV » : sélectionnez pour choisir un signal d'entrée à composantes provenant d'un appareil raccordé.

Remarque

Sélectionnez « RGB » pour transmettre des signaux RVB à l'aide d'un signal synchrone composite.

Conseil

Pour connaître les combinaisons possibles de deux images, reportez-vous à la page 26.

« Standard couler » : Pour sélectionner le système colorimétrique des signaux vidéo parmi « Automatique », « NTSC », « NTSC4.43 », « PAL », « PAL-M », « PAL-N » ou « PAL60 ». Sélectionnez « Automatique » pour régler automatiquement le Standard couler.

Remarques

« Standard couler » n'est pas disponible pour l'entrée de l'ordinateur.

« Signal RGB » : Lorsqu'un signal RVB 280 × 768/60 ou 720 × 480/60 est reçu à la prise d'entrée HD15, DVI ou HDMI, cette option permet de spécifier s'il fonctionne comme signal vidéo ou signal d'ordinateur.

FR

« Économiseur d'écran » : permet de prévenir ou de réduire les phénomènes d'image rémanente ou persistante occasionnés lorsqu'une image fixe est affichée pendant une longue période.

« All White » : permet d'afficher un écran complètement blanc. (S'arrête automatiquement au bout de 30 minutes environ et l'écran se met en veille.)

« Sweep » : permet de faire défiler une barre blanche à l'écran.

« Veille » : l'économiseur d'écran fonctionne en veille (page 7) durant le temps spécifié « Régl. minuterie ». (L'écran est vide lorsque l'économiseur d'écran fonctionne.) Lorsque le temps est écoulé, l'écran revient au mode de veille normal.

« Logo » : le logo Sony situé à l'avant de l'appareil s'allume.

« Position » : si vous souhaitez que le logo soit constamment allumé au bas de l'écran, réglez la configuration de l'appareil sur « Automatique », « Paysage » et « Portrait ». Si « Automatique » est sélectionné, le mode Portrait ou Paysage sera automatiquement sélectionné.

« Éclairage » : Sélectionnez « Non » pour éteindre le logo. Sélectionnez « Bas » et « Haut » pour la luminosité.

« Logo affiché »

« Oui » : le logo du nom du modèle est affiché lorsque aucun signal n'est transmis.

« Non » : le logo du nom du modèle n'est pas affiché lorsque aucun signal n'est transmis.

« Port réseau » : à utiliser pour définir le port réseau afin de commander l'écran à partir de la télécommande.

« Non » : sélectionnez cette option quand vous n'utilisez pas le port réseau. La consommation d'énergie en mode de veille sera réduite.

« Option » : à utiliser pour effectuer des réglages de l'écran à partir d'un ordinateur raccordé au connecteur REMOTE ou au connecteur LAN de l'emplacement OPTION. (page 35)

« Écran » : à utiliser pour effectuer des réglages de l'écran à partir d'un ordinateur raccordé au connecteur REMOTE (LAN) de l'écran. (page 35)

Conseil

Lorsqu'un adaptateur BKM-FW50 est inséré dans l'emplacement OPTION, « Port réseau » se règle automatiquement sur « Option ».

« IP Address Setup » : à utiliser pour définir une adresse IP et permettre au connecteur REMOTE (LAN) de l'écran ou à un adaptateur en option de communiquer à une certaine vitesse avec un autre appareil tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide du câble réseau.

« Speed Setup » : à utiliser pour définir la vitesse de communication entre le connecteur REMOTE (LAN) de l'écran ou l'adaptateur en option et un autre appareil, tel qu'un ordinateur raccordé à l'aide du câble LAN.

Conseil

Pour plus d'informations sur la définition de « IP Address Setup » et de « Speed Setup », reportez-vous à la section « Préparation à l'utilisation des fonctions réseau » (page 33).

« Délai d'activation » : à utiliser pour régler le délai de mise sous tension. Le délai peut être mis hors service ou réglé de 1 à 120 secondes. Cela permet de supprimer une fluctuation de charge subite lorsque plusieurs appareils sont raccordés.

« Capteur de lumière »

- **« Oui » :** la luminosité de l'écran se règle automatiquement selon la luminosité ambiante.
- **« Non » :** la luminosité de l'écran ne se règle pas automatiquement.

Informations

Permet d'afficher les « date », « Nom modèle », « Numéro de série », « Temps de fonct. », « Vers. Logiciel » et « IP Address » de votre écran. Lorsque l'adaptateur BKM-FW50 en option est installé, « Player IP Address » (adresse IP pour l'image fixe et lecture de film) s'affiche. Pour plus de détails, reportez-vous au mode d'emploi du BKM-FW50.

Tout réinitialiser

Permet de réinitialiser tous les réglages et paramètres à leurs valeurs d'origine.

Remarque

Les éléments inclus dans l'option « Informations » et le « Numéro d'index » ne sont pas réinitialisés.

Préparation à l'utilisation des fonctions réseau

Précautions

- Les spécifications logicielles de cet écran sont sujettes à modification sans préavis.
- Les écrans du logiciel d'application peuvent être légèrement différents des illustrations du présent manuel.
- Pour votre sécurité, raccordez exclusivement le port de cet écran à un réseau ne présentant aucun risque de tension excessive ou de surtension.
- Les étapes décrites dans le présent manuel sont garanties uniquement pour une utilisation dans les conditions d'environnement suivantes :

  Système d'exploitation:
  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Navigateur:
  Microsoft Internet Explorer 6.0 ou une version ultérieure
- Pour garantir la sécurité du réseau, il est recommandé de définir un nom d'utilisateur et un mot de passe. Pour obtenir davantage d'informations sur ce réglage, reportez-vous à la section « Fenêtre Setup » (page 36).

  Pour les paramètres de sécurité réseau, consultez votre administrateur réseau.

Définition d'une adresse IP

L'écran peut être connecté à un réseau à l'aide du câble LAN 10BASE-T/100BASE-TX.
En cas de raccordement à un réseau LAN, les adresses IP de l'écran peuvent être définies en utilisant l'une des deux méthodes suivantes. Consultez l'administrateur de votre réseau pour obtenir davantage d'informations concernant la sélection de l'adresse IP.

- Attribution d'une adresse IP fixe à l'écran
  Vous devez normalement utiliser cette méthode. Remarquez que selon ses paramètres d'origine, l'écran est configuré pour obtenir automatiquement une adresse IP.
- Obtention automatique d'une adresse IP
  Si le réseau auquel l'écran est raccordé possède un serveur DHCP, celui-ci peut attribuer automatiquement une adresse IP. Notez qu'en pareil cas, l'adresse IP peut changer chaque fois que l'écran installé est mis sous tension.

Avant de définir l'adresse IP, raccordez le câble LAN à l'écran afin d'établir le réseau. Après 30 secondes environ, mettez l'écran sous tension, puis effectuez les réglages souhaités.

- Microsoft et Windows sont des marques déposées de Microsoft Corporation aux Etats-Unis et/ou dans d'autres pays ou régions.
- Tous les autres noms de produits, de sociétés, etc., mentionnés dans le présent manuel sont des marques commerciales ou des marques déposées de leurs propriétaires respectifs.

Attribution d'une adresse IP fixe à l'écran

1. Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
2. Sélectionnez « Réglage » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
3. Sélectionnez « Réglages avancés » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
4. Sélectionnez « IP Address Setup » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
5. Sélectionnez « Manual » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
6. Sélectionnez les options à définir parmi « IP Address », « Subnet Mask », « Default Gateway », « Primary DNS », « Secondary DNS » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
7. Définissez la valeur à trois chiffres (0 à 255) pour chacune des quatre zones à l'aide de ⇧/⇩ de l'écran ou des touches numériques de la télécommande et appuyez sur ⊕ ou ⇨.
8. Définissez la valeur à trois chiffres (0 à 255) pour chacune des quatre zones et appuyez sur ⊕. Répétez la procédure de l'étape 6 et sélectionnez l'élément suivant à définir à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
9. Une fois que les valeurs sont définies pour tous les éléments, sélectionnez « Execute » à l'aide de ⇧/⇩, puis appuyez sur ⊕.

Sélectionnez « Execute » et appuyez sur ⊕. Une adresse IP est définie manuellement.
Lorsque « Cancel » est sélectionné, le paramètre retrouve son réglage d'origine.

Obtention automatique d'une adresse IP

1. Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
2. Sélectionnez « Réglage » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
3. Sélectionnez « Réglages avancés » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
4. Sélectionnez « IP Address Setup » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
5. Sélectionnez « DHCP » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

Sélectionnez « Execute » et appuyez sur ⊕. Une adresse IP est définie automatiquement.
Lorsque « Cancel » est sélectionné, le paramètre n'est pas exécuté.

Remarque

Lorsqu'une adresse IP n'est pas définie correctement, les codes d'erreur suivants s'affichent, selon la cause de l'erreur.
Erreur 1 : erreur de communication
Erreur 2 : l'adresse IP spécifiée est déjà utilisée par un autre appareil
Erreur 3 : erreur d'adresse IP
Erreur 4 : erreur d'adresse de passerelle
Erreur 5 : erreur d'adresse de serveur de noms de domaine primaire
Erreur 6 : erreur d'adresse de serveur de noms de domaine secondaire
Erreur 7 : erreur de masque de sous-réseau

Vérification de l'adresse IP affectée automatiquement

1. Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
2. Sélectionnez « Réglage » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
3. Sélectionnez « Informations » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
4. Sélectionnez « IP Address » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

L'adresse IP actuellement acquise s'affiche.

Conseil

Si une adresse IP ne peut pas être acquise correctement, l'adresse IP acquise antérieurement est indiquée dans « Informations » et dans « Manual » de « IP Address Setup ».

Définition d'une vitesse de communication

1. Appuyez sur MENU pour afficher le menu principal.
2. Sélectionnez « Réglage » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
3. Sélectionnez « Réglages avancés » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
4. Sélectionnez « Speed Setup » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.
5. Sélectionnez une vitesse de communication souhaitée parmi « Auto », « 10Mbps Half », « 10Mbps Full », « 100Mbps Half » ou « 100Mbps Full » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕.

Si « Auto » est sélectionné, une vitesse de communication adaptée à votre configuration réseau est automatiquement définie.

6. Sélectionnez « Execute » à l'aide de ⇧/⇩ et appuyez sur ⊕ pour prendre en compte le réglage.

Utilisation d'un ordinateur

Contrôle de l'écran

Vous pouvez effectuer différents réglages de l'écran à partir de votre ordinateur.
Assurez-vous que l'écran, l'ordinateur et le routeur ou le concentrateur (hub) sont correctement connectés à l'aide du câble réseau. Mettez sous tension l'écran, l'ordinateur et le routeur ou le concentrateur (hub).
Il existe quatre fenêtres réparties selon leur fonction : la fenêtre Information, la fenêtre Configure, la fenêtre Control et la fenêtre Setup.
Pour plus d'informations sur les fonctions des touches, reportez-vous aux instructions de chacune des fonctions de l'écran.

1. Démarrez le navigateur sur l'ordinateur (Internet Explorer 6.0 ou version ultérieure).
2. Saisissez l'adresse IP qui a été attribuée à l'écran à la page précédente sous la forme « http://xxx.xxx.xxx.xxx », puis appuyez sur la touche ENTER du clavier.
   Lorsqu'un nom d'utilisateur et un mot de passe ont été définis, l'écran « Network Password » (Mot de passe réseau) s'affiche. Saisissez le nom d'utilisateur et le mot de passe définis, puis passez à l'étape suivante.
3. Cliquez sur l'onglet de la fonction en haut de l'écran et sélectionnez la fenêtre de votre choix.

Configuration des paramètres sur chaque écran

En cas d'utilisation de la fonction LAN de l'écran

Fenêtre Information

Cette fenêtre affiche le nom du modèle, le numéro de série et d'autres informations, ainsi que l'état de fonctionnement actuel de l'écran et la sélection du signal d'entrée.
Cette fenêtre ne fait qu'afficher des informations. Vous ne pouvez pas en modifier les réglages.

Fenêtre Configure

Timer
Permet de régler la fonction de minuterie.
Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Screen Saver
Permet de régler la fonction de l'économiseur d'écran.
Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

Picture and Picture
Permet de régler la fonction Picture and Picture.
Une fois cette fonction réglée, cliquez sur « Apply ».

FR

Remarque

Avant de régler la fonction « Timer » (Minuterie), assurez-vous de configurer le réglage de l'heure sur la fenêtre Setup (Réglage) (page 36).

Fenêtre Control

POWER
Met l'écran sous ou hors tension.

INPUT
Permet de sélectionner le signal d'entrée.

PICTURE MODE
Permet de sélectionner le mode d'image.

ASPECT
Permet de commuter le format de l'image.

Touches Contrast +/-
Permettent de régler le contraste de l'écran.

Touches Brightness +/-
Permettent de régler la luminosité de l'écran.

Touches Chroma +/-
Permettent de régler l'intensité des couleurs.

Touches Phase +/-
Permettent de régler la balance des couleurs.

Touche Reset
Permet de rétablir les réglages par défaut de « Contrast » (contraste) à « Phase ».

Remarques

- Si le signal d'entrée est vidéo ou S-vidéo et si le système couleur du signal vidéo n'est pas NTSC, « Phase » n'est pas disponible.
- « Chrominance » et « Phase » ne sont pas disponibles pour l'entrée provenant de l'ordinateur.
- « Normal » comme réglage « ASPECT » correspond à « 4:3 » pour l'entrée vidéo ou à « Réel » pour l'entrée de l'ordinateur.

Fenêtre Setup

Cette fenêtre vous permet de définir Network Password (Mot de passe réseau). Les paramètres réglés par défaut sont les suivants :

Name: root
Password: pudadm

Une fois que vous avez effectué des modifications ou saisi des informations, cliquez sur « Apply » (Appliquer) en bas de chaque fenêtre pour activer les réglages.
Il est impossible d'utiliser des caractères spéciaux dans les zones de texte.

Owner Information

Owner
Saisissez ici les informations relatives au propriétaire.

Display Location
Saisissez ici les informations relatives à l'emplacement d'installation de l'écran.

Remarque

N'utilisez pas d'espace lorsque vous saisissez les informations. Sinon, il est possible que le nom du fichier ne s'affiche pas correctement.

Memo
Vous pouvez saisir des informations complémentaires ici.

Time

Time
Indiquez l'heure, l'année, le mois et le jour.

Network

Internet Protocol (TCP/IP)
Sélectionnez « Specify an IP address » pour saisir chaque valeur dans la case de l'adresse IP.
Sélectionnez « Obtain an IP address (DHCP) » pour acquérir automatiquement l'adresse IP du serveur DHCP. Notez qu'en pareil cas, l'adresse IP peut changer chaque fois que l'écran installé est mis sous tension.

Remarque

L'adresse IP peut être définie à partir du menu de l'écran. Pour plus de détails, reportez-vous à « IP Address Setup » (page 32).

Password
Le nom d'administrateur, le nom d'utilisateur ainsi que les informations relatives au mot de passe peuvent être saisis ici. Le nom d'administrateur est toujours « root ».
Chaque nom peut contenir 8 caractères au maximum. Lorsqu'un nom d'utilisateur et un mot de passe ont été définis, l'écran « Network Password » (Mot de passe réseau) s'affiche dès que l'affichage de l'écran de contrôle de l'écran est activé. Pour garantir la sécurité du réseau, il est recommandé de définir un nom d'utilisateur et un mot de passe.

Mail Report

Error Report
Si une erreur de fonctionnement s'est produite au niveau de l'écran, un rapport d'erreur est immédiatement envoyé par e-mail (notification d'erreur).

Status Report
L'état de l'écran peut être signalé par e-mail, à intervalle déterminé.

Address
Saisissez ici l'adresse e-mail de destination. Le rapport d'erreur peut être envoyé simultanément vers quatre destinations maximum. Chaque adresse peut contenir au maximum 64 caractères.

Mail Account

Mail Address:
Saisissez ici l'adresse e-mail attribuée. L'adresse peut contenir au maximum 64 caractères.
Outgoing Mail Server (SMTP):
Saisissez ici l'adresse du serveur de messagerie. L'adresse peut contenir au maximum 64 caractères.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP):
Si une authentification POP est nécessaire avant la connexion au serveur SMTP, cochez cette case.
Incoming Mail Server (POP3):
Si une authentification POP est utilisée pour le réglage « POP before SMTP » saisissez l'adresse du serveur POP3 ici.
Account Name:
Saisissez ici le nom du compte e-mail.
Password:
Saisissez ici le mot de passe du compte e-mail.
Send Test Mail:
Afin de tester si l'e-mail peut être envoyé avec succès à l'adresse ou aux adresses spécifiées,

cochez cette case et cliquez sur « Apply ». Un e-mail test sera envoyé.

Remarque

Si les éléments suivants ne sont pas définis ou si les réglages sont incorrects, un message d'erreur apparaît et il se peut que l'e-mail test ne soit pas envoyé :

- Adresse de destination
- Adresse du compte de messagerie et l'adresse du serveur de messagerie (SMTP)

Advanced

Permet d'accéder aux réglages avancés pour utiliser différentes applications sur le réseau. Effectuez les réglages correspondants à chaque application respective.

Advertisement

Permet de régler les paramètres des fonctions Advertisement et Broadcast (Diffusion) sur le réseau.

ID Talk

Permet de régler les paramètres de la fonction ID Talk. ID Talk est un protocole permettant la commande de l'écran à partir du réseau. Les options commandées incluent divers réglages et ajustements comme la température des couleurs et le gamma. Pour plus de détails concernant les commandes ID Talk prises en charge, contactez votre revendeur Sony local.

SNMP

L'écran est un périphérique réseau prenant en charge le protocole SNMP (Simple Network Management Protocol). Outre le MIB-II standard, Sony Enterprise MIB est également pris en charge. Cette fenêtre permet également d'effectuer les réglages SNMP. Pour plus de détails sur les commandes SNMP prises en charge, contactez votre revendeur Sony local.

Réinitialisation aux valeurs par défaut

Pour réinitialiser tous les réglages effectués au niveau de la fenêtre « Setup » et rétablir les paramètres d'origine par défaut, réinitialisez les paramètres par défaut en attribuant le réglage « Tout réinitialiser », puis en attribuant de nouveau au réseau les réglages appropriés.

Dépannage

Vérifiez si le témoin I / ⏻ clignote en rouge.

Lorsqu'il clignote

La fonction d'auto-diagnostic est activée.

1. Comptez le nombre de fois où le témoin I / ⏻ clignote et mesurez la durée pendant laquelle il s'arrête de clignoter.

   Par exemple, le témoin clignote 2 fois, s'arrête pendant 3 secondes, puis clignote de nouveau 2 fois.
2. Appuyez sur l'interrupteur ⏻ (POWER) sur l'écran pour le mettre hors tension, puis débranchez le cordon d'alimentation.

   Contactez votre revendeur ou un centre de service Sony et indiquez la séquence de clignotement (nombre de clignotements et durée d'extinction).

Lorsqu'il ne clignote pas

1. Vérifiez les éléments dans le tableau ci-dessous.
2. Si le problème persiste, confiez votre écran à un personnel qualifié.

Problème	Solution possible
L'interrupteur d'alimentation et les touches de commande de l'écran ne fonctionnent pas.	• Vérifiez « Réglage commande » (page 29).
Pas de signal vidéo sortant de la prise HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.	• Aucun signal ne sort de HD15 (RGB/COMPONENT) OUT lorsque cet appareil est en veille ou lorsque l'alimentation est coupée.
Aucun signal ne sort de la prise HD-SDI OUT du BKM-FW16.	• Aucun signal ne sort de HD-SDI OUT lorsque cet appareil est en veille ou lorsque l'alimentation est coupée.
Pas d'image.	
Pas d'image.	• Vérifiez le raccordement entre l'équipement vidéo et l'écran. • Vérifiez les réglages de « RGB/YUV » (page 31). • Changez d'entrée à l'aide de la touche INPUT de l'écran ou de la télécommande (page 10, 11).
L'écran se met automatiquement hors tension.	• Vérifiez si « Régl. minuterie » est activé ((page 29)). • Vérifiez si la fonction « Arrêt auto » est réglée sur « Oui » (page 30). • Vérifiez si la température ambiante est supérieure à 35°C.
Image de mauvaise qualité.	
Aucune couleur/Image sombre/Image trop lumineuse/Couleurs incorrectes/L'image devient de plus en plus sombre/Des parasites horizontaux apparaissent sur l'image	• Appuyez sur PICTURE pour sélectionner le « Mode de l'image » de votre choix (page 11). • Réglez les options de « Mode de l'image » dans les réglages « Image/Son » (page 21, 23). • Vérifiez l'état du câble de signal. • Vérifiez si la température ambiante est supérieure à 35°C. • Vérifiez les réglages dans « Mode ECO. » (page 29). • Si aucun appareil n'est raccordé, ne raccordez pas de câble vidéo ni de connecteur de conversion à la prise VIDEO OUT. Les parties blanches de l'image seront trop lumineuses parce que le signal de l'écran ne sera pas complet. • Vérifiez le réglage de « Capteur de lumière ». Reportez-vous à la page 32.
Toute l'image tend vers le vert ou le violet.	• Vérifiez si les réglages « RGB/YUV » ne sont pas mauvais (page 31).

Problème	Solution possible
Pas de son/Son parasité.	
Image affichée, pas de son.	• Vérifiez la commande du volume. • Appuyez sur 🔇 de la télécommande ou sur ◿ + de sorte que Sourdine disparaisse de l'écran (page 12). • Vérifiez les réglages « Sortie haut-p. » (page 29).
La télécommande ne fonctionne pas.	• Vérifiez la polarité des piles ou changez les piles. • Dirigez la télécommande vers le capteur de télécommande de l'écran. • Ne placez pas d'obstacles dans la portée du capteur de télécommande. • Vérifiez « Réglage commande » ((page 29)). • Vérifiez si un câble est bien raccordé au connecteur CONTROL S IN (BKM-FW21 non fourni). La télécommande est inopérante si l'écran est commandé via une connexion CONTROL S. • Des lampes fluorescentes peuvent interférer avec le fonctionnement de la télécommande. Éteignez les lampes fluorescentes.
Connexion impossible au réseau.	• Branchez fermement le câble sur le connecteur REMOTE. • Vérifiez les paramètres réseau de l'ordinateur. • Rétablissez les réglages par défaut en attribuant le réglage « Tout réinitialiser » du menu de réglage « Réglage » puis en attribuant de nouveau au réseau les réglages appropriés. • Vérifiez les réglages dans « Port réseau ». (page 31)
La fenêtre de contrôle de l'écran (la fenêtre Web qui affiche l'interface utilisateur graphique de l'écran) n'apparaît pas.	• Cliquez sur le bouton d'actualisation ou de rechargement de votre navigateur Web. • Assurez-vous que l'adresse IP est correcte. • Utilisez Internet Explorer 6.0 ou une version ultérieure. • Effacez le cache du navigateur.

Tableau de référence des signaux d'entrée

Signaux d'ordinateur

	Résolution	Fréquence horizontale (kHz)	Fréquence verticale (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac[b)] 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29,8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
26	1400 × 1050@60 Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600 × 1200@60 Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74,0	60

Signaux TV/Vidéo

	Résolution	Entrées disponibles				
		Vidéo	Composantes /RVB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24PsF		○			

a) VGA est une marque déposée de International Business Machines Corporation, États-Unis.
b) Macintosh est une marque commerciale de Apple Inc., déposée aux États-Unis et dans d'autres pays.
b) VESA est une marque déposée de la Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Synchronisation de vidéo coordonnée VESA)

Remarques

- Pour les signaux HDTV, émettez le signal de synchronisation à trois niveaux vers la deuxième broche du connecteur HD15 (RGB/COMPONENT) IN.
- Si les couleurs sont très claires après la transmission d'un signal DVD vers l'écran, réglez « Chrominance » dans les réglages « Image/Son ».
- Lorsque la phase est réajustée, la résolution diminue.
- Il n'est pas certain que les signaux provenant de l'ordinateur Macintosh reconnaissent l'entrée RVB numérique.
- Le signal suivi de * ne peut pas être transmis à DVI IN.
- Il n'est pas certain que les signaux vidéo sans signal de salve couleur soient reconnus.

Affichage à l'écran du signal d'entrée et du statut de l'écran

Affichage à l'écran	Signification
640 × 480 / 60 (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal d'ordinateur.
480 / 60I (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo à composantes.
NTSC (exemple)	Le signal d'entrée sélectionné est un signal vidéo.
Signal non pris en charge	Le signal d'entrée sélectionné n'est pas un signal pris en charge.
Pas de signal	Aucun signal d'entrée n'est reçu.
HD15	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est réglé sur « Automatique ».
HD15 RGB	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est réglé sur « RGB ».
HD15 Component	L'entrée sélectionnée est HD15. « RGB/YUV » est réglé sur « YUV ».
DVI	Le signal d'entrée sélectionné est DVI.
HDMI	Le signal d'entrée sélectionné est HDMI.
Video	Le signal vidéo composite est sélectionné.
S Video	Le signal S vidéo est sélectionné.
Option	L'entrée Option est sélectionnée. « RGB/YUV » est réglé sur « Automatique ».
Option RGB	Le signal RVB analogique de l'entrée Option est sélectionné.
Option Component	Le signal vidéo composante de l'entrée Option est sélectionné.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	Le signal HDMI 1 ou HDMI 2 signal de l'entrée Option est sélectionné.
Option HD SDI	Le signal SDI HD de l'entrée Option est sélectionné.

FR

Spécifications

Traitement du signal vidéo

Système écran — Écran LCD a-Si TFT à matrice active
Résolution de l'écran — 1 920 points (horizontale) × 1 080 lignes (verticale)
Taux d'échantillonnage — 13,5 MHz à 162 MHz
Standard couleur — NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Signal d'entrée — voir page 40.
Profondeur de pixels — 0,744 (horizontal) × 0,744 (vertical) mm ($^1/_{32}$ × $^1/_{32}$ pouces)
Taille d'image — 1 428,5 (horizontale) × 803,5 (verticale) mm (56 $^1/_4$ × 31$^3/_4$ pouces)
Taille de l'écran — 64,5 pouces (diagonale 1 639 mm)

Entrées et sorties

REMOTE Port réseau (10BASE-T/ 100BASE-TX)

AUDIO Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN 4 broches (× 1)
Y (luminance) : 1 Vcc ±2 dB sync négative, 75 ohms terminé
C (chrominance) : Salve 0,286 Vcc ± 2 dB (NTSC), 75 ohms terminé
Salve 0,3 Vcc ±2 dB (PAL), 75 ohms terminé
VIDEO IN BNC (× 1)
Vidéo composite, 1 Vcc ±2 dB sync négative, 75 ohms (fin automatique)
VIDEO OUT BNC (× 1) boucle directe
AUDIO IN
Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub à 15 broches (femelle) (× 1) (voir page 43.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub à 15 broches (femelle) (× 1) (voir page 43)
AUDIO IN
Mini-prise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

DVI DVI IN
(Compatible avec la spécification DVI rév. 1.0)
AUDIO IN
Miniprise stéréo (× 1)
500 mVrms, haute impédance

HDMI IN HDMI (1080p)

SPEAKER Sortie Enceintes (G/D)
6 ohms 7W + 7W

Caractéristiques générales

Alimentation requise
100 V à 240 V AC, 50/60 Hz, 5,5 A (maximum)

Consommation électrique
540 W (maximum)

Conditions d'utilisation
Température : 0 °C à 35 °C (32 °F à 95 °F)
Humidité : 20% à 90% (sans condensation)

Conditions de stockage/transport
Température : –10 °C à +40 °C (14 °F à 104 °F)
Humidité : 20% à 90% (sans condensation)

Dimensions — 1 557 × 931 × 183 mm (61 $^3/_8$ × 36 $^3/_4$ × 7 $^1/_4$ pouces) (l/h/p, hors éléments saillants)

Poids — environ 94 kg (207,2 lb.)

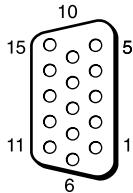
Accessoires fournis
Cordon d'alimentation secteur (1)
Câble LAN (1) 1-834-812-11 (SONY)
Support de fiche secteur (2)
TélécommandeRM-FW002 (1)
Piles au manganèse AA (R6) (2)
Mode d'emploi (1)
Manuel d'installation destiné aux vendeurs (1)

Accessoires en option
Enceintes SS-SPG02
Adaptateurs en option pour l'extension du système, série BKM-FW

Réglements de sécurité
UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

La conception et les spécifications sont sujettes à modification sans préavis.

Affectation des broches

Connecteur RGB/COMPONENT HD15 (D-sub à 15 broches)

N° de broche	Signal
1	Vidéo rouge ou C_R/P_R
2	Vidéo verte ou Y
3	Vidéo bleue ou C_B/P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse du rouge
7	Masse du vert
8	Masse du bleu
9	Non utilisé
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	H sync, sync composite ou vidéo composite (comme signal sync)
14	Sync V
15	SCL

Remarque

Lors de la transmission d'un signal à composantes, veillez à ne pas transmettre de signaux de synchronisation aux broches 13 et 14. Sinon, il est possible que l'image ne s'affiche pas correctement.

FR

Index

WARNUNG

Um einen elektrischen Schlag zu vermeiden, darf das Gehäuse nicht geöffnet werden. Überlassen Sie Wartungsarbeiten stets nur qualifiziertem Fachpersonal.

WARNUNG

DIESES GERÄT MUSS GEERDET WERDEN.

Transport

Wenn Sie den Bildschirm transportieren, halten Sie ihn nicht an den Lautsprechern, sondern halten Sie das Gerät selbst. Andernfalls könnten sich die Lautsprecher vom Gerät lösen und das Gerät könnte herunterfallen. Dadurch kann es zu Verletzungen kommen.

WARNUNG

Beim Einbau des Geräts ist daher im Festkabel ein leicht zugänglicher Unterbrecher einzufügen, oder der Netzstecker muss mit einer in der Nähe des Geräts befindlichen, leicht zugänglichen Wandsteckdose verbunden werden. Wenn während des Betriebs eine Funktionsstörung auftritt, ist der Unterbrecher zu betätigen bzw. der Netzstecker abzuziehen, damit die Stromversorgung zum Gerät unterbrochen wird.

Die Netzsteckdose muss sich in der Nähe des Geräts befinden und gut zugänglich sein.

Für Kunden in Europa

Der Hersteller dieses Produkts ist Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Japan.
Der autorisierte Repräsentant für EMV und Produktsicherheit ist Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Deutschland. Bei jeglichen Angelegenheiten in Bezug auf Kundendienst oder Garantie wenden Sie sich bitte an die in den separaten Kundendienst- oder Garantiedokumenten aufgeführten Anschriften.

Für Kunden in Deutschland

Entsorgungshinweis: Bitte werfen Sie nur entladene Batterien in die Sammelboxen beim Handel oder den Kommunen. Entladen sind Batterien in der Regel dann, wenn das Gerät abschaltet und signalisiert „Batterie leer“ oder nach längerer Gebrauchsdauer der Batterien „nicht mehr einwandfrei funktioniert“. Um sicherzugehen, kleben Sie die Batteriepole z.B. mit einem Klebestreifen ab oder geben Sie die Batterien einzeln in einen Plastikbeutel.

WARNUNG

1. Verwenden Sie ein geprüftes Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen geprüften Geräteanschluss/einen geprüften Stecker mit Schutzkontakten entsprechend den Sicherheitsvorschriften, die im betreffenden Land gelten.
2. Verwenden Sie ein Netzkabel (3-adriges Stromkabel)/einen Geräteanschluss/einen Stecker mit den geeigneten Anschlusswerten (Volt, Ampere).

Wenn Sie Fragen zur Verwendung von Netzkabel/Geräteanschluss/Stecker haben, wenden Sie sich bitte an qualifiziertes Kundendienstpersonal.

Inhalt

Einführung

Lage und Funktion der Teile und Bedienelemente

Anschlüsse

Arbeiten mit den Menüeinstellungen

Netzwerkfunktionen

Weitere Informationen

Sicherheitsmaßnahmen

Warnung

- Die zusätzliche Installationsanleitung für Händler ist für Händler bestimmt.
  Falls Kunden die in dieser Anleitung beschriebene Installation oder den Transport durchführen, kann ein Unfall mit daraus resultierenden schweren Verletzungen auftreten. Führen Sie die Installation oder den Transport auf keinen Fall selbst durch. Wenden Sie sich bezüglich der Installation an einen Sony-Händler.
- Stellen Sie das Gerät nicht in der Nähe von Wärmequellen wie Heizkörpern oder Warmluftauslässen oder an Orten auf, an denen es direktem Sonnenlicht, außergewöhnlich viel Staub, mechanischen Vibrationen oder Stößen ausgesetzt ist.
- Wenn Sie mehrere andere Geräte an dieses Gerät anschließen, kann es je nach Standort dieses Geräts und der anderen Geräte zu Problemen wie Fehlfunktionen der Fernbedienung, Bildstörungen und Tonstörungen kommen.

Sicherheit

- Ein Typenschild mit Betriebsspannung, Leistungsaufnahme usw. befindet sich an der Geräterückseite.
- Sollten Fremdkörper oder Flüssigkeiten in das Gehäuse gelangen, trennen Sie das Gerät von der Netzsteckdose. Lassen Sie das Gerät von qualifiziertem Fachpersonal überprüfen, bevor Sie es wieder benutzen.
- Wollen Sie das Gerät einige Tage oder länger nicht benutzen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Steckdose.
- Um das Gerät vom Netzstrom zu trennen, ziehen Sie den Netzstecker aus der Netzsteckdose. Ziehen Sie nicht am Kabel.

Reinigung

Ziehen Sie vor dem Reinigen des Monitors unbedingt das Netzkabel aus der Netzsteckdose.

Reinigen des Monitors

Kratzen Sie nicht mit scharfen Gegenständen über die Bildschirmoberfläche (Schutzbeschichtung) und stoßen Sie nicht mit harten Gegenständen dagegen, um eine Beschädigung zu vermeiden.
Die Bildschirmoberfläche ist mit einer Spezialbeschichtung versehen.
Beachten Sie die folgenden Anweisungen, damit sich nicht aufgrund einer fehlerhaften Reinigung die Bildqualität verringert.

- Entfernen Sie Staub von der Bildschirmoberfläche vorsichtig mit einem weichen Tuch. Es empfiehlt sich, ein Brillenreinigungstuch zu verwenden.
- Bei starken Verschmutzungen können Sie die Bildschirmoberfläche mit einem weichen Reinigungstuch, das Sie leicht mit Wasser angefeuchtet haben, abwischen.
- Verwenden Sie auf gar keinen Fall Alkohol, Benzin, Verdünner, säurehaltige oder alkalische Reinigungslösungen, Scheuermittel oder chemisch imprägnierte Reinigungstücher, da diese die Bildschirmoberfläche beschädigen.

Reinigen des Gehäuses

- Wischen Sie Flecken behutsam mit einem trockenen, weichen Tuch ab. Bei stärkerer Verschmutzung verwenden Sie ein leicht mit einem milden Reinigungsmittel angefeuchtetes Tuch und wischen den Bereich anschließend mit einem trockenen, weichen Tuch trocken.
- Verwenden Sie auf keinen Fall Alkohol, Benzin, Verdünner oder Insektizide. Diese könnten die Gehäuseoberfläche angreifen oder die Markierungen davon entfernen.
- Der Bildschirm kann beschädigt werden, wenn Sie mit einem verschmutzten Tuch darüber wischen.
- Legen Sie nicht für längere Zeit Gummi- oder Kunststoffgegenstände auf dem Gerät ab. Andernfalls kann es zu Veränderungen kommen und die Schutzschicht kann sich lösen.

Der LCD-Bildschirm

- Wenn der LCD-Bildschirm lange Zeit auf die Sonne weist, führt dies zu Beschädigungen. Beachten Sie dies, wenn Sie das Gerät im Freien oder an einem Fenster aufstellen.
- Drücken Sie nicht zu stark auf den LCD-Bildschirm und zerkratzen Sie ihn nicht. Stellen Sie keine Gegenstände auf den Bildschirm. Andernfalls kann es zu Funktionsstörungen des Monitors oder einer Beschädigung des LCD-Bildschirms kommen.
- Auf dem Bildschirm sind möglicherweise horizontale Streifen oder Nachbilder zu sehen. In kalter Umgebung ist der Bildschirm außerdem möglicherweise dunkler als üblich. Dabei handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion des Bildschirms. Der Bildschirm arbeitet wieder normal, wenn die Umgebungstemperatur ansteigt.
- Wenn ein Standbild längere Zeit angezeigt wird, kann es einbrennen, so dass Nachbilder zu sehen sind. Ein Nachbild verschwindet im Laufe der Zeit. Wenn Geisterbilder auftreten, verwenden Sie die Bildschirmschonerfunktion oder eine andere Video- oder Bildsoftware, die eine ständig bewegte Anzeige erzeugt. Wenn die durch das Einbrennen des Bildes entstandenen Nachbilder schwach sind, lassen sie möglicherweise auch wieder nach, doch vollständig verschwinden werden sie nicht.
- Die Bildschirmoberfläche, das Gehäuse oder der Rahmen kann sich während des Betriebs erwärmen. Dies ist keine Fehlfunktion.

Helle und dunkle Punkte auf dem LCD-Bildschirm

Der LCD-Bildschirm wird in Hochtechnologie hergestellt, die eine effektive Auflösung von mindestens 99,99% bietet. Trotzdem sind möglicherweise schwarze Punkte (defekte Pixel) oder helle Lichtpunkte (rot, blau oder grün usw.) permanent auf dem Bildschirm zu sehen. Solche Pixelfehler können bei LCD-Bildschirmen herstellungsbedingt auftreten. Auch nach längerer Gebrauchsdauer des Geräts kann es zu solchen Fehlern kommen.
Bei diesen Phänomenen handelt es sich nicht um eine Fehlfunktion des Bildschirms.

Zur Verwendung des Monitors

- Bestätigen Sie vor dem Gebrauch immer, dass das Gerät richtig arbeitet. SONY KANN KEINE HAFTUNG FÜR SCHÄDEN JEDER ART, EINSCHLIESSLICH ABER NICHT BEGRENZT AUF KOMPENSATION ODER ERSTATTUNG, AUFGRUND VON VERLUST VON AKTUELLEN ODER ERWARTETEN PROFITEN DURCH FEHLFUNKTION DIESES GERÄTS ODER AUS JEGLICHEM ANDEREN GRUND, ENTWEDER WÄHREND DER GARANTIEFRIST ODER NACH ABLAUF DER GARANTIEFRIST, ÜBERNEHMEN.
- Wenn Sie das Gerät an einem Ort mit unzureichender Luftzufuhr verwenden, kann es nicht abkühlen. Dies führt zu einem Wärmestau im Gerät. In diesem Fall besteht Feuergefahr und das Gerät kann beschädigt werden. Verwenden Sie das Gerät nicht an einem Ort mit unzureichender Luftzufuhr.

Verpacken

Werfen Sie den Karton und die Verpackungsmaterialien nicht weg.
Sie sind ideal für den Transport des Geräts geeignet. Wenn Sie das Gerät transportieren müssen, verpacken Sie es wie auf dem Karton abgebildet.

Wenn Sie Fragen zu dem Gerät haben, wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler.

Vorsichtsmaßregeln zur Installationsumgebung

Diese Anzeige entspricht der internationalen Norm für Staub- und Spritzwasserschutz IEC60529 IP54 und deshalb an Orten verwendet werden, wo viele Staubpartikel oder Spritzenwasser auftreten können. Die durch die Stellen nach der IP angezeigte Leistung wird unten gezeigt.

Staubfest

IP5_ Gegen Staub geschützt.

Definition

Eindringen von Staub wird nicht völlig verhindert, aber er darf nicht in solcher Menge eindringen, dass die sichere und sinngemässe Funktion des Geräts behindert wird.

Spritzfest

IP_4 Gegen Wasserspritzer geschützt.

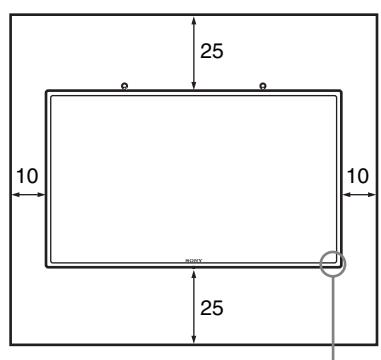
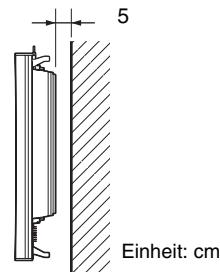
Definition

Wasser, das gegen die Einschließung aus jeder möglichen Richtung spritzt, hat keinen schädlichen Effekt.

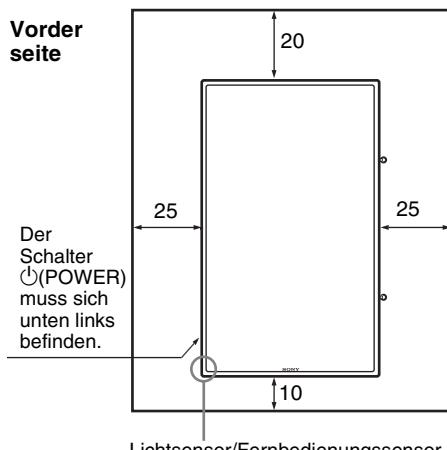
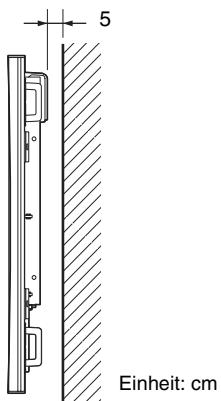
Lassen Sie um den Monitor herum viel Platz

- Um einen internen Wärmestau durch Zustellen des Monitors zu verhindern, achten Sie auf ausreichende Luftzufuhr, indem Sie mindestens so viel Platz wie in der Abbildung unten dargestellt um den Monitor herum frei lassen.
- Die Umgebungstemperatur muss zwischen 0°C und 35°C betragen. Seien Sie vorsichtig, wenn Sie den Monitor nahe an der Decke montieren. Die Temperatur kann dort sehr viel höher sein als die normale Raumtemperatur weiter unten.
- Bei eingeschaltetem Monitor kommt es im Inneren zu einer gewissen Wärmeentwicklung. Dadurch kann es zu Verbrennungen kommen. Berühren Sie den Monitor nicht an der Ober- oder Rückseite, wenn er eingeschaltet ist oder gerade erst in den Bereitschaftsmodus geschaltet wurde.

Wenn Sie den Monitor horizontal installieren

Vorder seite

Seite

Wenn Sie den Monitor vertikal installieren

Vorder seite

Seite

Hohe Temperaturen und hohe Luftfeuchtigkeit vermeiden

Wenn dieses Gerät hohen Temperaturen oder hoher Feuchtigkeit ausgesetzt wird oder wenn die Temperatur wegen Klimaanlagen oder dergleichen sich schnell ändert, kann sich Kondensation innerhalb des schützenden Glases des Monitors bilden.

Nicht den Lichtsensor oder Fernbedienungssensor blockieren

Stellen Sie keine Gegenstände vor dem Lichtsensor oder dem Fernbedienungssensor auf.
Dadurch kann verhindert werden, dass die automatische Helligkeitsregelfunktion oder die Fernbedienung richtig arbeitet.

Vorderseite

Teile	Beschreibung
❶ Sony-Logo	Sie können ein Sony-Logo einblenden. Im Menübildschirm können Sie die Logo-Position in vertikaler oder horizontaler Richtung ändern. Beim Kauf dieses Geräts wird die Position automatisch erkannt nd das Logo auf Aufleuchten gestellt. Näheres dazu finden Sie unter „Logo“ auf Seite 31. **Hinweis** Wenn Sie die Installationsausrichtung nicht ändern, stellen Sie „Position“ von „Logo“ je nach Bedarf auf „Waagerecht“ oder „Hochkant“.Der Ausrichtungssensor arbeitet möglicherweise nicht richtig, wenn er Vibrationen oder Erschütterungen ausgesetzt wird.
❷ I / ⏻ (Ein/Bereitschaft)-Anzeige	• Leuchtet grün, wenn der Monitor eingeschaltet ist. • Leuchtet rot, wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet. Leuchtet orangefarben, wenn der Monitor in den Energiesparmodus schaltet, während vom PC ein Signal eingeht. Wenn die Anzeige I / ⏻ rot blinkt, schlagen Sie auf Seite 38 nach. **Hinweis** Wenn die Option „LED“ unter „Multi-Display“ auf „Aus“ gesetzt und für „Position“ etwas anderes als rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige beim Einschalten des Monitors nicht grün, es sei denn, dass kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.
❸ Fernbedienungssensor	Fernbedienungssensor-Lichtempfangsteil
❹ Lichtsensor	Dies ist der Sensor zur automatischen Einstellung der Bildschirmhelligkeit. Siehe Seite 32. **Hinweis** Stellen Sie keine Gegenstände vor dem Lichtsensor auf. Dadurch kann verhindert werden, dass die automatische Helligkeitsregelfunktion richtig arbeitet.

Rückseite

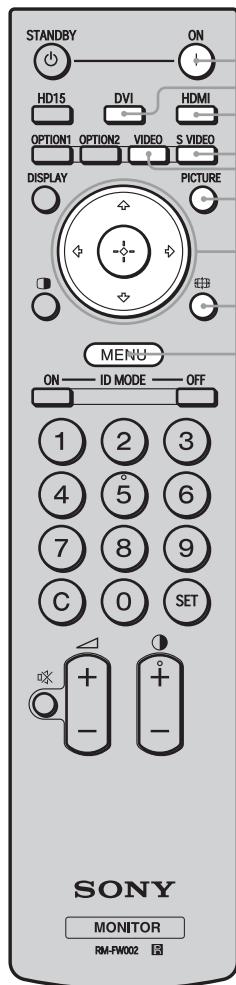
REMOTE
AUDIO
OUT
VIDEO
S VIDEO IN
IN
VIDEO
OUT
AUDIO IN
HD15(RGB/COMPONENT)
IN
AUDIO IN
OUT
DVI
AUDIO IN
IN
HDMI
IN
AC IN
SPEAKER
R
L
MENU

Teile	Beschreibung
❶ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Zum Anschließen des Monitors an ein Netzwerk mithilfe eines 10BASE-T/100BASE-TX-LAN-Kabels. Sie können den Monitor vom PC aus über das Netzwerk steuern und ihm diverse Einstellungen zuweisen. **Vorsicht** • Verwenden Sie beim Anschließen des LAN-Kabels des Geräts an ein Peripheriegerät ein mitgeliefertes Kabel, um Fehlfunktionen aufgrund von Störungen zu vermeiden. • Aus Sicherheitsgründen nicht mit einem Peripheriegerät-Anschluss verbinden, der zu starke Spannung für diese Buchse haben könnte. Folgen Sie den Anweisungen für diese Buchse. **Hinweis** Wählen Sie „Display“ unter „Netzwerkanschluss“, wenn Sie diesen Anschluss verwenden. Siehe Seite 31.
❷ **AUDIO** (Stereominibuchse)	Dies ist die Audio-Monitorausgangsbuchse für externe Geräte. Zum Ausgeben des Tons zu dem Signal, das gerade auf dem Bildschirm angezeigt wird. Das ausgegebene Audiosignal entspricht im Modus „P&P“ oder „PinP“ dem aktiven* Bild. **Hinweise** • Unter „Ton-Modus“ oder „Lautspr.ausgang“ vorgenommene Einstellungen haben keine Wirkung. • Der von der Fernbedienung eingestellte Rauschverminderungsstatus wird nicht reflektiert.
❸ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (Mini-DIN, 4-polig): Zum Anschließen an den S-Video-Signalausgang eines Videogeräts. **VIDEO IN** (BNC): Zum Anschließen an den Videosignalausgang eines Videogeräts. **VIDEO OUT** (BNC): Zum Anschließen an den Videosignaleingang eines Videogeräts. Über VIDEO IN eingespeiste Bilder werden ausgegeben. Wird ausgegeben, ungeachtet ob die Stromversorgung ein- oder ausgeschaltet ist (einschließlich Bereitschaftsmodus). **AUDIO IN** (Stereominibuchse): Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts.
❹ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-Sub, 15-polig)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang eines Videogeräts oder PCs. Siehe Seite 43. **AUDIO IN:** Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts oder PCs. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignaleingang eines Videogeräts oder PCs. Siehe Seite 43. Hier werden die Signale ausgegeben, die über den oben genannten Anschluss HD15 (RGB/ COMPONENT) IN eingespeist werden. **Hinweise** • Bei Farbdifferenzsignalen durfen Sie keine Synchronisationssignale an den Polen 13 und 14 einspeisen. Andernfalls wird das Bild moglicherweise nicht einwandfrei angezeigt. • Wenn der Monitor nicht an den Netzstrom angeschlossen ist oder sich im Bereitschaftsmodus befindet, wird uber HD15 (RGB/COMPONENT) OUT kein Signal ausgegeben.
❺ **DVI** (DVI-D, 24-polig)	**DVI IN:** Zum Anschließen an den digitalen Signalausgang eines Videogeräts oder PCs. Unterstützt HDCP als Kopierschutz. **AUDIO IN:** Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audiosignalausgang eines Videogeräts usw.
❻ **HDMI IN**	Über die HDMI-Schnittstelle (High-Definition Multimedia Interface) können Sie den Monitor an ein HDMI-fähiges Audio-/Videogerät oder einen PC anschließen. So können Sie Videos in verbesserter bzw. HD-Qualität und zweikanaligen Digitalton wiedergeben lassen. Der geeignete Modus für das angeschlossene Audio-/Videogerät bzw. den PC wird automatisch ausgewählt. **Hinweis** Verwenden Sie unbedingt ein HDMI-Kabel (nicht mitgeliefert) mit HDMI-Logo. Es wird empfohlen, ein HDMI-Kabel von Sony zu verwenden (High-Speed-Typ).

Teile	Beschreibung
❼ **OPTION**-Anschlussbereich (VIDEO/COM-Anschluss)	Dieser Anschlussbereich unterstützt Videosignale und Kommunikationsfunktionen. Bei Installation eines Zusatzadapters (der BKM-FW-Serie) in diesem Anschlussbereich stehen weitere Monitorfunktionen zur Verfügung. Siehe Seite 16.
❽ Buchse **AC IN**	Schließen Sie das mitgelieferte Netzkabel an diese Buchse und an eine Netzsteckdose an. Siehe Seite 17. Sobald Sie das Netzkabel angeschlossen haben, leuchtet die Anzeige I / ⏻ rot und der Monitor wechselt in den Bereitschaftsmodus.
❾ Buchse **SPEAKER**	Schließen Sie die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) an diese Buchse an. Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf Seite 19.
❿ ⏻ **(POWER)** Schalter	Zum Ein- und Ausschalten (Bereitschaftsmodus) des Bildschirms.
⓫ ⮌ **(RETURN)** Taste	Zum Zurückschalten zum vorherigen Menübildschirm.
⓬ ⊕ **(ENTER)** Taste	Zum Bestätigen der Auswahl.
⓭**-/+** (Lautstärke/Cursor), Taste	Zum Regulieren der Lautsprecherlautstärke. Bei eingeblendetem Menü dienen diese Tasten zum Verschieben des Cursors bzw. zum Einstellen von Werten. Zum Bestätigen der Auswahl.
⓮ **MENU** Taste	Zum Aufrufen von Menüs.
⓯ ⇥ **(INPUT)** Taste	Zum Auswählen eines Signals, das am INPUT- oder OPTION-Anschluss eingespeist werden soll. Das einzuspeisende Signal wechselt mit jedem Tastendruck auf die Taste INPUT folgendermaßen. → S Video → Video → HD15 → DVI → HDMI → OPTION ─┘ Wenn am OPTION-Anschlussbereich kein Zusatzadapter installiert ist, der Videosignale unterstützt, wird OPTION übersprungen.
⓰ Temperatursensor	Erkennt die Umgebungstemperatur.
⓱ Lautsprechermontagestellen	Zum Anbringen der dedizierten Lautsprecher SS-SPG02.
⓲ Bohrungen für Ständerbefestigung	Die Schraubenbohrungen entsprechen der VESA-Norm. (Abstand: 600 mm × 400 mm, Schraube: M6)
⓳ Ringschraube	Wird bei Installation des Displays mit einem Kran verwendet. Nach der Installation werden die Schrauben gelost und die Ringschraube entfernt.
⓴ Ringschraube-Ansetzposition (fur vertikale Installation)	Bei vertikaler Installation des Displays wird die Ringschraube in dieser Position angebracht. Beauftragen Sie Ihren Handler oder den Sony-Kundendienst mit dem Anbringen der Ringschraube.
㉑ Kabelabdeckung	Diese Abdeckung verhindert das Eindringen von Wasser und Staub in den Spalt zwischen Kabeln und Klemmenabdeckung. Beim Anschließen von Kabeln lösen Sie die Schrauben und nehmen die Kabelabdeckung ab.
㉒ Klemmenabdeckung	Diese Abdeckung verhindert das Eindringen von Wasser und Staub in den Klemmenbereich. Beim Anschließen von Kabeln lösen Sie die Schrauben und nehmen die Klemmenabdeckung ab.

* In diesem Status wird Ton ausgegeben und das Eingangssignal kann gewechselt werden.

Fernbedienung

Beschreibung der Tasten

❶ **Schalter POWER ON**

Zum Einschalten des Monitors.

❷ **Taste DVI**

Zum Auswählen des Signals, das am DVI-Anschluss eingespeist wird.

❸ **Taste HDMI**

Zum Auswählen des Signals, das am HDMI-Anschluss eingespeist wird.

❹ **Taste S VIDEO**

Zum Auswählen des Signals von einem Videogerät, das am Anschluss S VIDEO IN eingespeist wird.

❺ **Taste VIDEO**

Zum Auswählen des Signals von einem Videogerät, das am Anschluss VIDEO IN eingespeist wird.

❻ **Taste PICTURE**

Zum Auswählen von „Bild-Modus“. Mit jedem Tastendruck wird zwischen „Brilliant“, „Standard“, „Anwender“, „Konferenz“ und „TC Control“ gewechselt.

❼ **Tasten ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕**

Die Tasten ⇧/⇩/⇦/⇨dienen zum Bewegen des Cursors, zum Auswählen von Werten usw. Die Taste ⊕ dient zum Einstellen ausgewählter Menüs oder Menüoptionen.
Im Modus „PAP“ können Sie die Einstellung für die Funktion „Picture and Picture“ (Bild und Bild) ändern. Siehe Seite 14.

❽ **Taste ⊞**

Zum Wechseln des Bildformats. Siehe Seite 13.

❾ **Taste MENU**

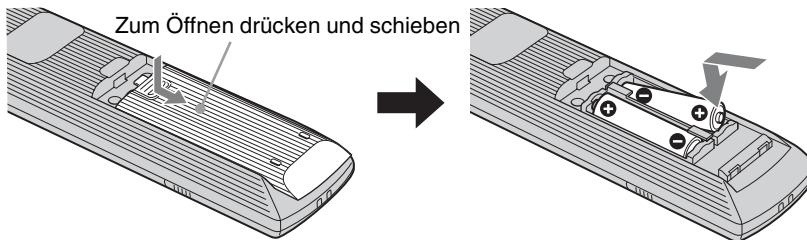
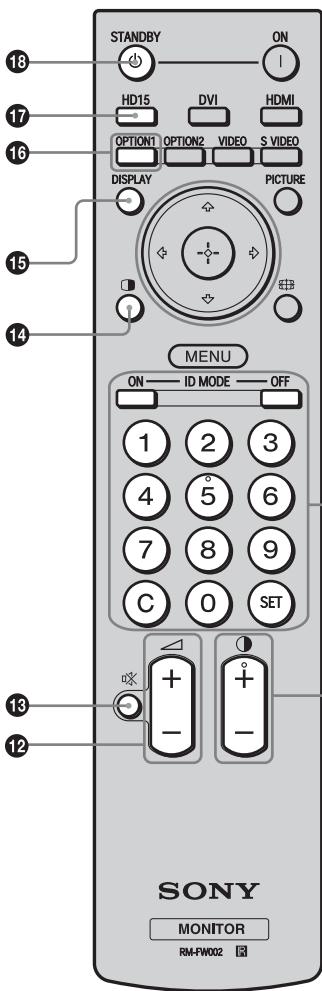
Zum Aufrufen von Menüs. Drücken Sie zum Ausblenden der Informationen die Taste erneut. Siehe Seite 20.

DE

Hinweise

- Die Tasten 5 und ◑ sind mit einem fühlbaren Punkt gekennzeichnet. Verwenden Sie den fühlbaren Punkt als Anhaltspunkt beim Bedienen des Monitors.
- Legen Sie zwei R6-Manganatterien der Größe AA (mitgeliefert) polaritätsrichtig in das Batteriefach der Fernbedienung ein: Plus- und Minus-Pol der Batterien müssen den Markierungen ⊕ und ⊖ im Batteriefach entsprechen.

Vorsicht

Explosionsgefahr bei Verwendung falscher Batterien. Batterien nur durch den vom Hersteller empfohlenen oder einen gleichwertigen Typ ersetzen. Wenn Sie die Batterie entsorgen, müssen Sie die Gesetze der jeweiligen Region und des jeweiligen Landes befolgen.

❿ Taste ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, ohne die anderen zu beeinflussen.

- Taste ON: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ am Bildschirm anzuzeigen.
- Taste 0-9: Drücken Sie diese Taste, um die „Indexnummer“ des zu bedienenden Monitors einzugeben.
- Taste SET: Drücken Sie diese Taste, um die eingegebene „Indexnummer“ zu bestätigen.
- Taste C: Drücken Sie diese Taste, um die eingegebene „Indexnummer“ zu löschen.
- Taste OFF: Drücken Sie diese Taste, um in den normalen Modus zurückzuschalten.

Siehe Seite 15.

⓫ Tasten ◑ +/–

Zum Einstellen des Bildkontrasts.

⓬ Tasten ◿ +/–

Zum Einstellen der Lautstärke.

⓭ Taste 🔇

Zum Stummschalten des Tons. Drücken Sie die Taste nochmals, wenn Sie den Ton wieder hören wollen.

⓮ Taste ◨

Zum Auswählen des Modus „PAP“ (Picture And Picture). Mit jedem Tastendruck wird zwischen „P&P“, „PinP“ und dem Bildschirm mit einem Bild gewechselt. Siehe Seite 14.

⓯ Taste DISPLAY

Zum Anzeigen des ausgewählten Eingangs, des Eingangssignaltyps und der Einstellung für „Seitenverhältnis“ auf dem Bildschirm. Drücken Sie zum Ausblenden der Informationen die Taste erneut. Wenn die angezeigten Informationen kurze Zeit angezeigt werden, ohne dass Sie eine Funktion ausführen, werden sie automatisch wieder ausgeblendet.

⓰ Taste OPTION 1

Wenn ein Zusatzadapter installiert ist, wählen Sie hiermit das Signal von dem an den Zusatzadapter angeschlossenen Gerät aus.
Wenn der installierte Zusatzadapter über mehrere Eingänge verfügt, wird mit jedem Tastendruck zwischen den Eingangssignalen gewechselt.

⓱ Taste HD15

Zum Auswählen des Eingangssignals am Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT). Das RGB- oder Farbdifferenzsignal wird je nach den Menüeinstellungen automatisch oder manuell ausgewählt.

⓲ Taste STANDBY

Mit dieser Taste wird der Monitor in den Bereitschaftsmodus geschaltet.

Hinweis

Die Taste OPTION 2 können Sie bei diesem Monitor nicht verwenden.

Sondertasten auf der Fernbedienung

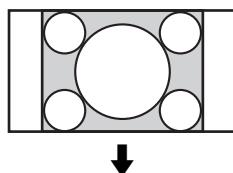
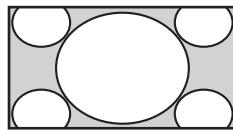
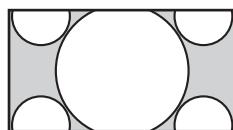
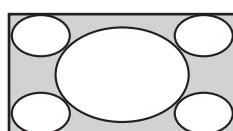
Der Breitbildmodus

Sie können für die Anzeige am Bildschirm das Bildformat ändern.

Tipp

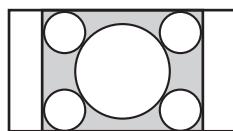
Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „Seitenverhältnis“ unter „Bildschirm“ vornehmen. Siehe Seite 27, 28.

Bei Eingangssignalen von Videogeräten, DVD-Geräten usw. (außer bei einem PC als Eingangsquelle)

4:3-Originalbildquelle

Wide-Zoom

Zoom

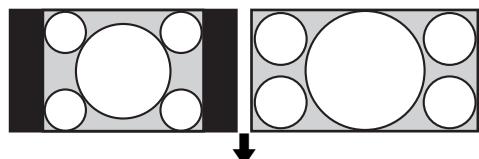
Voll

4:3

16:9-Originalbildquelle

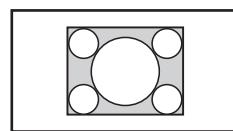
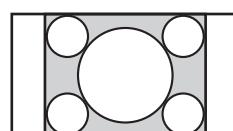
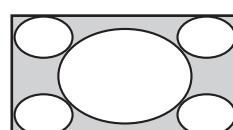
Wide-Zoom

Zoom

Voll

4:3

Bei einem PC als Eingangsquelle

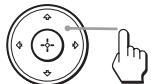
Die Abbildungen unten zeigen eine Eingangssignalauflösung von 800×600.

Original

Voll 1

Voll 2

Hinweis

Wenn die Eingangssignalauflösung höher ist als die Bildschirmauflösung (1.920×1.080), sieht die Anzeige bei Original genauso aus wie bei Voll 1.

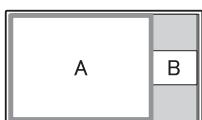
DE

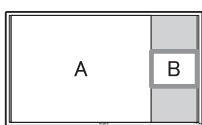
Einstellen von PAP

Sie können zwei Bilder von verschiedenen Signalquellen wie einem PC und einem Videogerät nebeneinander anzeigen lassen.
Darüber hinaus können Sie das aktive Bild wechseln bzw. die Größe der Bilder verändern.
Stattdessen können Sie die Einstellungen auch über „PAP einstellen" unter „Bildschirm" vornehmen. Siehe Seite 25.

Cursor zeigt aktives Bild an

Für P&P

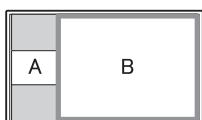
A und B haben die gleiche Breite.
Die Höhe der Bilder wird entsprechend dem Bildformat eingestellt.

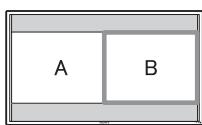
Drücken Sie die Taste ⇦.

A ist breiter als B.
Hat A das Bildformat 4:3, entspricht die Höhe von A der Bildschirmgröße.

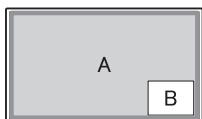
Drücken Sie die Taste ⇨.

B auf der rechten Seite wird zum aktiven Bild.

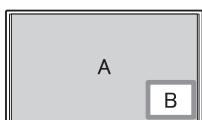
Drücken Sie die Taste ⇨.

A und B haben die gleiche Breite.
Die Höhe der Bilder wird entsprechend dem Bildformat eingestellt.

Drücken Sie die Taste ⇨.

B ist breiter als A.
Hat B das Bildformat 4:3, entspricht die Höhe von B der Bildschirmgröße.

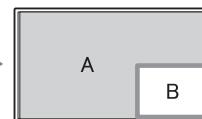
Drücken Sie die Taste ⇩.

B auf der rechten Seite wird kleiner, bleibt jedoch das aktive Bild.

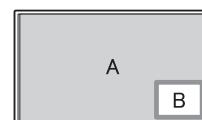
Für PinP

Das Zusatzbild (B) wird im Hauptbild (A) angezeigt.

Drücken Sie die Taste ⇦/⇨.

Das Zusatzbild (B) wird zum aktiven Bild.

Drücken Sie die Taste ⊕.

Die Position des Zusatzbildes (B) ändert sich.

Drücken Sie die Taste ⇧.

Das Zusatzbild (B) wird größer.

Drücken Sie die Taste ⇩.

Das Zusatzbild (B) wird kleiner.

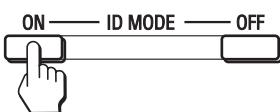
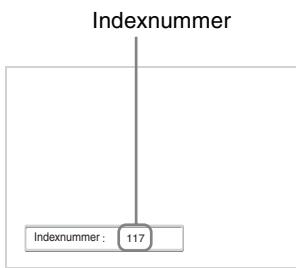
Tipps

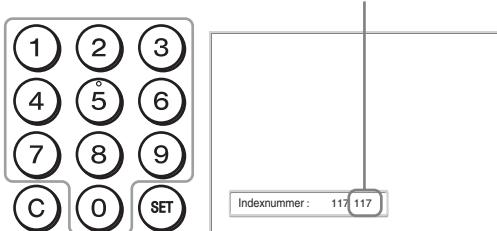
- Der Cursor, der das aktive Bild kennzeichnet, wird nach 5 Sekunden ausgeblendet.
- Das Bild kann auf eine von 15 Größen eingestellt werden (Für P&P)

Die Taste ID MODE verwenden

Wenn mehrere Monitore installiert sind, können Sie einen bestimmten davon bedienen, ohne die anderen zu beeinflussen.

1 Drücken Sie die Taste **ON** .

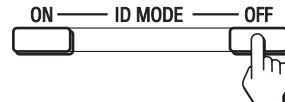
Die „Indexnummer“ des Monitors erscheint in Schwarz im Bildschirmmenü unten links. (Jedem Monitor ist werkseitig eine eigene „Indexnummer“ zwischen 1 und 255 zugeordnet.)

2 Geben Sie mit den Tasten 0 - 9 auf der Fernbedienung die „Indexnummer“ des Monitors ein, den Sie steuern wollen.

Die eingegebene Nummer erscheint rechts neben der „Indexnummer“ des jeweiligen Monitors.

3 Drücken Sie die Taste **SET** .

Die Zeichen auf dem ausgewählten Monitor werden nun grün angezeigt, die auf den anderen Monitoren rot.

Sie können nun ausschließlich den Monitor mit den grün angezeigten Zeichen bedienen.
Nur der Netzschalter POWER POWER ON und die Taste STANDBY/ID MODE-OFF funktionieren auch noch bei den anderen Monitoren.

4 Nachdem Sie alle gewünschten Einstellungen geändert haben, drücken Sie die Taste **OFF**.

Auf dem Bildschirm erscheint wieder die normale Anzeige.

So korrigieren Sie die Indexnummer

Löschen Sie zunächst mit der Taste C die aktuelle „Indexnummer“. Geben Sie nun, wie in Schritt 2 erläutert, eine neue „Indexnummer“ ein.

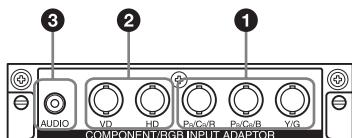
Tipp

Wie Sie die „Indexnummer“ des Monitors ändern, erfahren Sie unter „Indexnummer“ in „Steuerung einst.“ auf Seite 29.

DE

Zusatzadapter

Beim OPTION-Anschlussbereich ❼ (Seite 10)seitlich am Monitor handelt es sich um einen Steckplatz. Sie können dort die folgenden Zusatzadapter (nicht mitgeliefert) installieren. Näheres zur Installation erfahren Sie bei Ihrem Sony-Händler.
Detaillierte Erläuterungen zu den Zusatzadaptern zur Systemerweiterung finden Sie in der jeweiligen Bedienungsanleitung zusätzlich zu dieser Anleitung.

COMPONENT/RGB INPUT-Adapter BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)**: Zum Anschließen an den analogen RGB- oder Farbdifferenzsignalausgang eines Videogeräts oder PCs.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: Zum Anschließen an den Synchronisationssignalausgang eines PCs.

Hinweis

Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie keine Synchronisationssignale an den HD- und VD-Anschlüssen einspeisen. Andernfalls wird das Bild möglicherweise nicht einwandfrei angezeigt.

❸ **AUDIO** (Stereominibuchse): Eingang für das Audiosignal. Zum Anschließen an den Audioausgang eines Videogeräts oder PCs.

HDMI INPUT-Adapter BKM-FW15

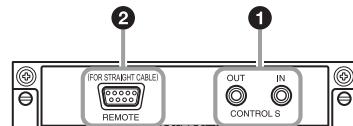
So können Sie Videos in verbesserter bzw. HD-Qualität und zweikanaligen Digitalton wiedergeben lassen.
Der geeignete Modus für das angeschlossene Audio-/Videogerät bzw. den PC wird automatisch ausgewählt.

Hinweis

Verwenden Sie unbedingt ein HDMI-Kabel (nicht mitgeliefert) mit HDMI-Logo. Es wird empfohlen, ein HDMI-Kabel von Sony zu verwenden (High-Speed-Typ).

HD-SDI/SDI INPUT-Adapter BKM-FW16

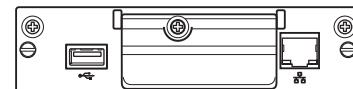
Zum Anschließen an den HD-SDI-Signalausgang eines Videogeräts.

MONITOR CONTROL-Adapter BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (Minibuchse): Sie können mehrere Geräte mit nur einer Fernbedienung steuern, wenn der Monitor an den Anschluss CONTROL S eines Videogeräts oder eines anderen Monitors angeschlossen wird. Verbinden Sie den Anschluss CONTROL S OUT an diesem Adapter mit dem Anschluss CONTROL S IN am anderen Gerät und den Anschluss CONTROL S IN an diesem Adapter mit dem Anschluss CONTROL S OUT am anderen Gerät.

❷ **REMOTE** (D-Sub, 9-polig): Mit diesem Anschluss können Sie den Monitor über das RS-232C-Protokoll fernsteuern. Näheres dazu erfahren Sie bei Ihrem autorisierten Sony-Händler.

Hinweise

- Sie können den Anschluss REMOTE und den Anschluss REMOTE (LAN) ❶ (Seite 9) seitlich am Monitor nicht gleichzeitig verwenden.
- Wählen Sie „Option“ unter „Netzwerkanschluss“, wenn Sie den Anschluss REMOTEverwenden. (Seite 31)

STREAMING RECEIVER-Adapter BKM-FW50

Der Adapter erlaubt es Ihnen, diesen Bildschirm für digitale Beschilderung zu verwenden.
Sie können leicht Spielfilme, Standbilder oder Hintergrundmusik in geeigneten Datenformaten abspielen, indem Sie einfach einen Aufnahmedatenträger einsetzen. Sie können auch ein Netzwerk verwenden, um Bilder von einem Remote-Computer auf dem Bildschirm zu betrachten.

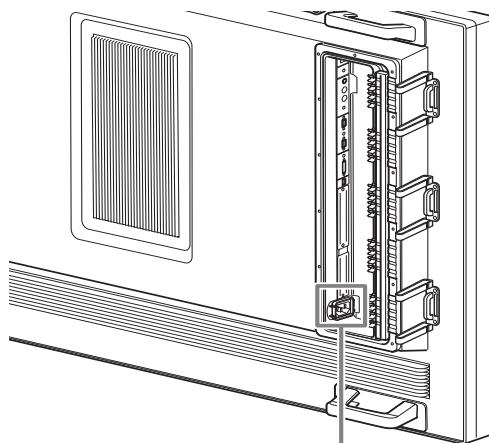
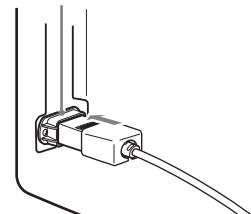
Hinweis

CompactFlash ist erforderlich.

Vorbereitungen

- Achten Sie darauf, dass alle Geräte ausgeschaltet sind.
- Verwenden Sie nur Kabel, die für die anzuschließenden Geräte geeignet sind.
- Schließen Sie die Kabel an, indem Sie die Stecker ganz in die Buchsen stecken. Eine lose Verbindung kann Störungen verursachen.
- Um ein Kabel zu lösen, ziehen Sie immer am Stecker. Ziehen Sie auf keinen Fall am Kabel selbst.
- Schlagen Sie bitte auch in den Bedienungsanleitungen zu den anzuschließenden Geräten nach.
- Stecken Sie den Stecker fest in die Buchse AC IN.
- Verwenden Sie einen der beiden Netzsteckerhalter (mitgeliefert), damit der Netzstecker sicher hält.

Anschließen des Netzkabels und anderer Kabel

1 Schließen Sie das Netzkabel an die Buchse AC IN an. Bringen Sie dann den Netzsteckerhalter (mitgeliefert) am Netzkabel an.

2 Schieben Sie den Netzsteckerhalter über das Kabel, bis er mit der Abdeckung der Buchse AC IN verbunden ist.

So nehmen Sie das Netzkabel ab

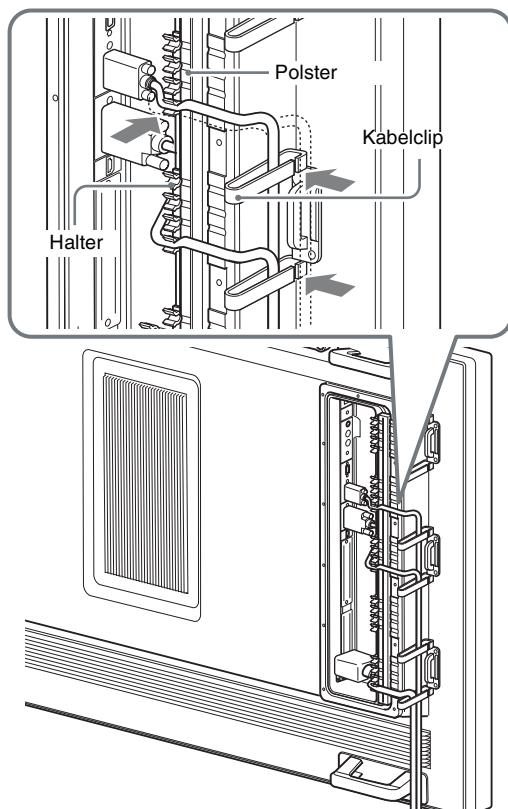
Nachdem Sie auf beide Seiten des Netzsteckerhalters gedrückt und ihn gelöst haben, ziehen Sie das Netzkabel am Stecker heraus.

3 Schließen Sie die Kabel an die Klemmen an und sichern Sie Netz- und andere Kabel.

Drücken Sie unter Verwendung der Nuten am Halter und Polster die Kabel in rechten Winkeln zum Polster ein und sichern Sie sie mit dem Kabelclip.

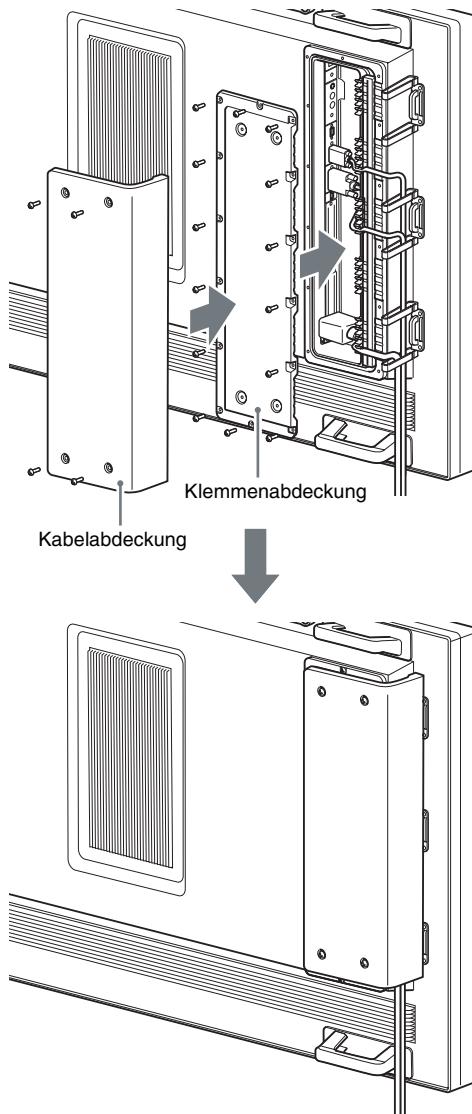
DE

Hinweis

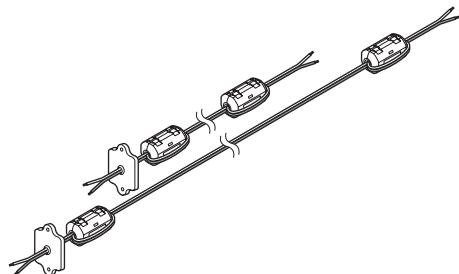
Bei Verwendung von Lautsprechern (nicht mitgeliefert) schließen Sie diese nun an.

4 Bringen Sie die Klemmenabdeckung und die Kabelabdeckung am Display an.

Bei Verwendung an einem Ort, der Erfüllung des internationalen Standards IP54 erfordert, bringen Sie immer die Klemmenabdeckung und Kabelabdeckung an.

Hinweis

Beim Sichern der Abdeckung ziehen Sie die Schrauben gleichmäßig fest. Bei Verwendung eines elektrischen Schraubenziehers stellen Sie das Drehmoment innerhalb eines Bereichs von 0,8 N·m bis 1,0 N·m (8 kgf·cm bis 10 kgf·cm) ein.

Anschließen der Lautsprecher

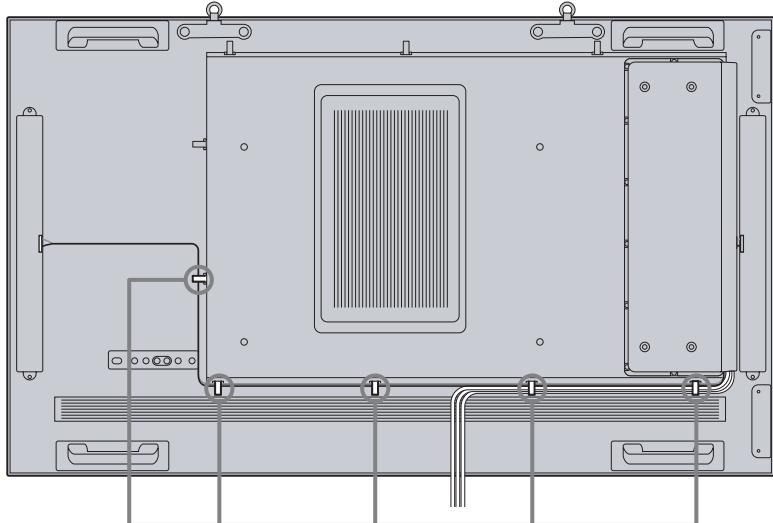
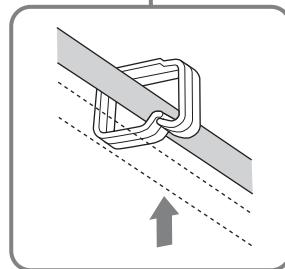
Schließen Sie die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) an. Zum Anschließen verwenden Sie die folgenden mit den Lautsprechern mitgelieferten Lautsprecherkabel.

Lautsprecherkabel (mit Klemmenabdeckung)

- Die Länge der linken und rechten Lautsprecherkabel ist unterschiedlich. Das kürzere Kabel ist für den linken Lautsprecher, und das längere Kabel für den rechten. Prüfen Sie die Schilder auf der Rückseite der Lautsprecher, um sie richtig anzuschließen.
- Bei Verwendung an einem Ort, der Erfüllung des internationalen Standards IP54 erfordert, bringen Sie immer die Klemmenabdeckung an.
- Nähere Informationen zum Anschließen der Lautsprecher finden Sie in der Bedienungsanleitung zu den Lautsprechern. Einzelheiten zum Verlegen der Lautsprecherkabel finden Sie auf 19.

Hinweis

Bei vertikaler Aufstellung des Displays erfüllt der Lautsprecher nicht die Anforderungen des internationalen Standards IP54.

Umgang mit den Kabeln

Die Kabel lassen sich mit den am Bildschirm angebrachten Kabelhaltern ideal bündeln.

DE

Übersicht über die Menüs

1 Drücken Sie die Taste MENU.

2 Heben Sie mit der Taste ⇧/⇩ die gewünschte Menüoption hervor.

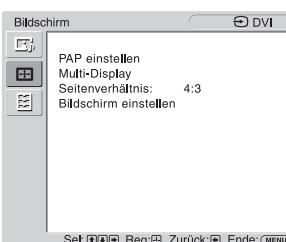
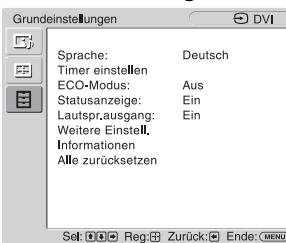
3 Drücken Sie ⊕ oder ⇨.

Um das Menü auszublenden, drücken Sie erneut die Taste MENU.

So wechseln Sie die Sprache für die Bildschirmanzeigen

Sie können die gewünschte Sprache für die Menüs und Meldungen auf dem Bildschirm auswählen: „English“, „Français“, „Deutsch“, „Español“, „Italiano“ oder „日本語“.
Standardmäßig ist „English“ (Englisch) eingestellt.
Siehe Seite 29.

Über die Einstellungen in den einzelnen Menüs haben Sie Zugriff auf folgende Funktionen:

Einstellungen	Auswählbare/einstellbare Optionen
Bild/Ton	Bild-Modus: (Seite 21, 23) Bildmodus einstellen (Seite 21, 23) Ton-Modus: (Seite 22, 24) Tonmodus einstellen (Seite 22, 24) **Hinweis** Sie können nicht „Bild-Modus“ oder „Bildmodus einstellen“ einstellen oder ändern, wenn kein Signal anliegt.
Bildschirm	PAP einstellen (Seite 25, 28) Multi-Display (Seite 26, 28) Seitenverhältnis: (Seite 27, 28) Bildschirm einstellen (Seite 27, 28)
Grundeinstellungen	Sprache: (Seite 29) Timer einstellen (Seite 29) ECO-Modus: (Seite 29) Statusanzeige: (Seite 29) Lautspr.ausgang: (Seite 29) Weitere Einstell. (Seite 29) Informationen (Seite 32) Alle zurücksetzen (Seite 32)

* Je nach den Einstellungen stehen die Menüsymbole unten am Bildschirm unter Umständen nicht zur Verfügung.

Bild/Ton

Bei einem Videogerät als Eingangsquelle

Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie ⇧/⇩/⇦/⇨.
Mit ⊕ bestätigen Sie Ihre Auswahl.
Die Einstellungen unter „Bild/Ton" enthalten folgende Optionen:

Bild-Modus

„Brilliant": Zur Verbesserung von Bildkontrast und Bildschärfe.
„Standard": Für die Standardbildeinstellungen.
„Anwender": Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.
„Konferenz": Zum Einstellen der Bildqualität für Videokonferenzen im Licht von Leuchtstoffröhren.
„TC Control": Diese Einstellung ähnelt der Einstellung „Brilliant". Zusätzlich können Sie die Funktion „True Color Control" (siehe unten) verwenden.

Tipp

Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Bild-Modus" können Sie stattdessen auch PICTURE auf der Fernbedienung verwenden.

Hinweis

- „Konferenz" ist je nach der Umgebung oder dem verwendeten Videokonferenzsystem möglicherweise nicht wirksam. Stellen Sie in diesem Fall die Bildqualität ein, wählen Sie unter „Bild-Modus" eine andere Einstellung usw.
- In „TC Control" ist „Helligkeit erhöhen" auf Aus gesetzt.

DE

Bildmodus einstellen

„Ht. Grd. Licht": Zum Erhöhen oder Verringern der Helligkeit des Bildschirms.
„Kontrast": Zum Verstärken oder Abschwächen des Bildkontrasts.
„Helligkeit": Zum Erhöhen oder Verringern der Bildhelligkeit.
„Chrominanz": Zum Verstärken oder Abschwächen der Farbintensität.
„Phase": Zum Einstellen der Farbtöne des Bildes.
„Bildschärfe": Zum Verstärken oder Abschwächen der Bildschärfe.
„Rauschvermind.": Zum Verringern des Störrauschens von angeschlossenen Geräten. Sie haben die Wahl zwischen „Aus", „Niedrig", „Mittel" und „Hoch" als Einstellung für die Rauschverminderung.
„CineMotion": Wenn Sie „Automatisch" wählen, erkennt das Gerät automatisch Filme und optimiert die Anzeige, indem es einen umgekehrten 3-2- oder 2-2-Pull-Down-Prozess durchführt. Dadurch verbessert sich bei Filmen die Bildschärfe und sie wirken natürlicher. Mit „Aus" deaktivieren Sie die automatische Filmerkennung.
„Dynamisch. Bild": Bei „Ein" wird der Kontrast verstärkt, indem Weiß heller und Schwarz dunkler eingestellt wird.
„Gamma-Korrektur": Sorgt für einen Ausgleich zwischen den hellen und dunklen Bildbereichen. Sie haben die Wahl zwischen „Hoch", „Mittel", „Niedrig" und „DICOM GSDF Sim.".

Hinweise

- Sie können nicht „Gamma-Korrektur" einstellen, wenn „Bild-Modus" auf „Konferenz" gesetzt ist.
- „DICOM GSDF Sim." kann nur eingestellt werden, wenn ein DVI- oder HDMI-Eingang vorliegt. Die Gamma-Einstellung wird durch die „Grayscale Standard Display Function" (GSDF) der Norm „Digital Imaging and Communications in Medicine" (DICOM) simuliert. Diese Einstellung dient aber nur zur Bezugnahme und kann nicht für medizinische Diagnose verwendet werden.

„Farbtemperatur": Der Weißton kann nach Wunsch eingestellt werden Die werkseitig vorgegebenen Einstellungen sind auf Farbtemperatur eingestellt.
- **„Kalt":** Weiß erhält einen bläulichen Stich.
- **„Neutral":** Weiß erscheint neutral.
- **„Warm":** Weiß erhält einen rötlichen Stich.
- **„Anwender":** Erlaubt einen breiteren Bereich von Weißtönen zur Einstellung als oben.

Tipp
Zum Wiederherstellen der Standardeinstellungen wählen Sie „Zurücksetzen“ (Zurücksetzen) auf dem Bildschirm zum Einstellen der Farbtöne.

„Helligkeit erhöhen“: Betont die Helligkeit des Bildes.

Hinweise

- Sie können nur „Helligkeit erhöhen“ einstellen, wenn „Bild-Modus“ auf „Brilliant“ gesetzt ist.
- Wenn „Helligkeit erhöhen“ auf „On“ gesetzt ist, können Sie nicht die Einstellungen „Ht. Grd. Licht“, „Kontrast“, „Helligkeit“ oder „Farbtemperatur“ anpassen.
- Wenn „Helligkeit erhöhen“ auf „On“ gesetzt ist, „Ht. Grd. Licht“ auf „Max“ und „ECO-Modus“ auf „Aus“ geschaltet ist, ist die Helligkeit auf Maximum eingestellt.

„True Color Control“: Sie können Farbton und Sättigung der folgenden 4 Farben präzise einstellen: Rot, Grün, Gelb und Blau. Außerdem können Sie bestimmte Farben im Bild besonders hervorheben.
Wählen Sie die einzustellende Farbe aus und Sie können sehen, welche Farbe im Bild eingestellt wird. Sie können sie dann mit dem Matrixdialogfeld einstellen.

Hinweise

- Diese Option kann eingestellt werden, wenn „Bild-Modus“ auf „TC Control“ gesetzt ist.
- Im Modus „PAP“ können Sie diese Option nicht auswählen. Wenn nur ein Bild angezeigt wird und Sie diese Option einstellen, gilt die Einstellung im Modus „PAP“ möglicherweise nicht.

„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Hinweise

- „Phase“ steht nicht zur Verfügung, wenn ein Video- oder S-Video-Signal eingespeist wird und es sich bei dem Farbsystem des Videosignals nicht um NTSC handelt.
- „Dynamisch. Bild“ ist möglicherweise nicht verfügbar, wenn „Bild-Modus“ auf „Konferenz“ oder „TC Control“ gestellt ist.
- Sie können für jeden „Bild-Modus“ Einstellungen vornehmen, aber in jedem „Bild-Modus“ gelten für „Ht. Grd. Licht“, „Rauschvermind.“ und „CineMotion“ die gleichen Einstellungen.
- „Dynamisch. Bild“ und „CineMotion“ arbeiten nicht im PAP-Modus.

Ton-Modus

Unter „Ton-Modus“ können Sie verschiedene Einstellungen für den über die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) ausgegebenen Ton vornehmen.
„Dynamisch“: Zum Verstärken von Höhen und Tiefen.
„Standard“: Normale Einstellung ohne Verstärkung.
„Anwender“: Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.

Tonmodus einstellen

„Höhen“: Zum Verstärken oder Abschwächen hoher Töne.
„Tiefen“: Zum Verstärken oder Abschwächen tiefer Töne (Bässe).
„Balance“: Zum Einstellen der Balance zwischen linkem und rechtem Lautsprecher.
„Raumklang“: Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.
 „Aus“: Es wird kein Raumklang ausgegeben.
 „Saal“: Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.
 „Simul.“: Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere räumliche Wirkung.
„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Tonmodus einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Tipps

- Sie können die Einstellungen unter „Bildmodus einstellen“ („Kontrast“, „Helligkeit“, „Chrominanz“ usw.) für jeden „Bild-Modus“ einzeln ändern.
- Die Einstellungen unter „Tonmodus einstellen“ („Höhen“ und „Tiefen“) können Sie ändern, wenn „Ton-Modus“ auf „Anwender“ gesetzt ist.

Hinweis

Im Modus „PAP“ können die Optionen unter „Bild/Ton“ nur für das aktive Bild eingestellt werden.

Bei einem PC als Eingangsquelle

Wenn als Eingangsquelle PC-Eingangssignale ausgewählt werden, gelten PC-spezifische Einstellungen für „Bild/Ton".
Die Einstellungen für einen PC unter „Bild/Ton" enthalten folgende Optionen:

Bild-Modus

„Brilliant": Zur Verbesserung von Bildkontrast und Bildschärfe.
„Standard": Für die Standardbildeinstellungen.
„Anwender": Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.
„Konferenz": Zum Einstellen der Bildqualität für Videokonferenzen im Licht von Leuchtstoffröhren.
„TC Control": Diese Einstellung ähnelt der Einstellung „Brilliant". Zusätzlich können Sie die Funktion „True Color Control" (siehe unten) verwenden.

Tipp

Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Bild-Modus" können Sie stattdessen auch PICTURE auf der Fernbedienung verwenden.

Hinweise

- „Konferenz" ist je nach der Umgebung oder dem verwendeten Videokonferenzsystem möglicherweise nicht wirksam. Stellen Sie in diesem Fall die Bildqualität ein, wählen Sie unter „Bild-Modus" eine andere Einstellung usw.
- In „TC Control" ist „Helligkeit erhöhen" auf Aus gesetzt.

Bildmodus einstellen

DE

„Ht. Grd. Licht": Zum Erhöhen oder Verringern der Helligkeit des Bildschirms.
„Kontrast": Zum Verstärken oder Abschwächen des Bildkontrasts.
„Helligkeit": Zum Erhöhen oder Verringern der Bildhelligkeit.
„Gamma-Korrektur": Sorgt für einen Ausgleich zwischen den hellen und dunklen Bildbereichen. Sie haben die Wahl zwischen „Hoch", „Mittel", „Niedrig" und „DICOM GSDF Sim.".

Hinweise

- Sie können nicht „Gamma-Korrektur" einstellen, wenn „Bild-Modus" auf „Konferenz" gesetzt ist.
- „DICOM GSDF Sim." kann nur eingestellt werden, wenn ein DVI- oder HDMI-Eingang vorliegt. Die Gamma-Einstellung wird durch die „Grayscale Standard Display Function" (GSDF) der Norm „Digital Imaging and Communications in Medicine" (DICOM) simuliert. Diese Einstellung dient aber nur zur Bezugnahme und kann nicht für medizinische Diagnose verwendet werden.

„Farbtemperatur": Der Weißton kann nach Wunsch eingestellt werden Die werkseitig vorgegebenen Einstellungen sind auf Farbtemperatur eingestellt.

„Kalt": Weiß erhält einen bläulichen Stich.
„Neutral": Weiß erscheint neutral.
„Warm": Weiß erhält einen rötlichen Stich.
„Anwender": Erlaubt einen breiteren Bereich von Weißtönen zur Einstellung als oben.

Tipp

Zum Wiederherstellen der Standardeinstellungen wählen Sie „Zurücksetzen" (Zurücksetzen) auf dem Bildschirm zum Einstellen der Farbtöne.

„Helligkeit erhöhen": Betont die Helligkeit des Bildes.

Hinweise

- Sie können nur „Helligkeit erhöhen" einstellen, wenn „Bild-Modus" auf „Brilliant" gesetzt ist.
- Wenn „Helligkeit erhöhen" auf „On" gesetzt ist, können Sie nicht die Einstellungen „Ht. Grd. Licht", „Kontrast", „Helligkeit" oder „Farbtemperatur" anpassen.
- Wenn „Helligkeit erhöhen" auf „On" gesetzt ist, „Ht. Grd. Licht" auf „Max" und „ECO-Modus" auf „Aus" geschaltet ist, ist die Helligkeit auf Maximum eingestellt.

„True Color Control": Sie können Farbton und Sättigung der folgenden 4 Farben präzise einstellen: Rot, Grün, Gelb und Blau. Außerdem können Sie bestimmte Farben im Bild besonders hervorheben.
Wählen Sie die einzustellende Farbe aus und Sie können sehen, welche Farbe im Bild eingestellt wird. Sie können sie dann mit dem Matrixdialogfeld einstellen.

Hinweise

- Diese Option kann eingestellt werden, wenn „Bild-Modus" auf „TC Control" gesetzt ist.
- Im Modus „PAP" können Sie diese Option nicht auswählen. Wenn nur ein Bild angezeigt wird und Sie diese Option einstellen, gilt die Einstellung im Modus „PAP" möglicherweise nicht.

„Zurücksetzen": Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildmodus einstellen" auf die Standardeinstellungen.

Hinweis

Sie können für jeden „Bild-Modus" Einstellungen vornehmen, aber „Ht. Grd. Licht" ist gemeinsam für alle „Bild-Modus".

Ton-Modus

Unter „Ton-Modus" können Sie verschiedene Einstellungen für den über die Lautsprecher SS-SPG02 (nicht mitgeliefert) ausgegebenen Ton vornehmen.
„Dynamisch": Zum Verstärken von Höhen und Tiefen.
„Standard": Normale Einstellung ohne Verstärkung.
„Anwender": Zum Speichern anwenderspezifischer Einstellungen.

Tonmodus einstellen

„Höhen": Zum Verstärken oder Abschwächen hoher Töne.
„Tiefen": Zum Verstärken oder Abschwächen tiefer Töne (Bässe).
„Balance": Zum Einstellen der Balance zwischen linkem und rechtem Lautsprecher.
„Raumklang": Wählen Sie je nach Bildtyp den Raumklangmodus aus.

- **„Aus":** Es wird kein Raumklang ausgegeben.
- **„Saal":** Die Stereowirkung des Tons wird bei Filmen oder Musiksendungen intensiviert.
- **„Simul.":** Bei normalen Mono-Sendungen oder Nachrichtensendungen erzielen Sie mit simuliertem Stereoklang eine bessere räumliche Wirkung.

„Zurücksetzen": Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Tonmodus einstellen" auf die Standardeinstellungen.

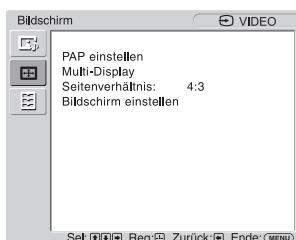
Tipps

- Sie können die Einstellungen unter „Bildmodus einstellen" („Kontrast", „Helligkeit", „Chrominanz" usw.) für jeden „Bild-Modus" einzeln ändern.
- Die Einstellungen unter „Tonmodus einstellen" („Höhen" und „Tiefen") können Sie ändern, wenn „Ton-Modus" auf „Anwender" gesetzt ist.

Hinweise

- „Chrominanz", „Phase", „Bildschärfe", „Rauschvermind.", „CineMotion" und „Dynamisch. Bild" stehen bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.
- Im Modus „PAP" können die Optionen unter „Bild/Ton" nur für das aktive Bild eingestellt werden.

Bildschirm Einstellungen

Bei einem Videogerät als Eingangsquelle

Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie ⇧/⇩/⇦/⇨.
Mit ⊕ bestätigen Sie Ihre Auswahl.
Die Einstellungen unter „Bildschirm“ enthalten folgende Optionen:

PAP einstellen

Sie können zwei Bilder aus verschiedenen Signalquellen wie einem PC und einem Videogerät nebeneinander anzeigen lassen.
„PAP“

„Aus“: Zum Deaktivieren der Funktion „PAP“.
„P&P“: Zum Anzeigen von zwei Bildern gleichzeitig nebeneinander.
„PinP“: Zum Anzeigen eines Zusatzbildes im Hauptbild.

Für P&P

„Aktives Bild“: Zum Auswählen des zu steuernden Bildschirms.
„Links“: Zum Aktivieren des linken Bildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Rechts“: Zum Aktivieren des rechten Bildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Tauschen“: Zum Vertauschen der beiden nebeneinander angeordneten Bilder.
„Bildgröße“: Zum Einstellen der Bildgrößen der beiden nebeneinander angeordneten Bilder. Stellen Sie die relative Größe mit der Taste ⇦ oder ⇨ ein und drücken Sie dann ⊕, um die Einstellung zu bestätigen (Seite 14)

Für PinP

„Aktives Bild“: Zum Auswählen des zu steuernden Bildschirms.
„Haupt“: Zum Aktivieren des Hauptbildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Zusatzbild“: Zum Aktivieren des Zusatzbildes, um Funktionen daran auszuführen.
„Tauschen“: Zum Vertauschen des Haupt- und des Zusatzbildes.
„Bildgröße“: Zum Einstellen der Größe des Zusatzbildes. Sie haben die Wahl zwischen „Groß“ und „Klein“.
„Bildposition“: Stellen Sie die Position des Zusatzbildes mit ⇧/⇩/⇦/⇨ ein und drücken Sie dann ⊕.

Hinweise

- Im Modus „PAP“ werden „Bild-Modus“ und „Ton-Modus“ in den Hauptbild-Einstellungen reflektiert.
- Im Modus „PAP“ kann das Bildseitenverhältnis nicht gewechselt werden. Das Bild wird in dem Bildseitenverhältnis angezeigt, das vor dem Wechsel in den Modus „PAP“ eingestellt war.

DE

Mögliche Kombinationen bei zwei Bildern

		S-Video	Video	RGB/YUV		DVI	HDMI	OPTION			
				RGB	Farbdifferenz			RGB	Farbdifferenz	HDMI	HD-SDI/ SDI
S-Video				○	○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○	○		○[2]	○	○
	Farbdifferenz	○	○			○	○	○[1]		○	○
DVI		○	○	○	○			○	○		
HDMI		○	○	○	○			○	○		

1) Unterstützt, wenn „Display“ auf „YUV“ gestellt oder wenn „Option“ auf „RGB“ in „RGB/YUV“ gestellt ist.
2) Unterstützt, wenn „Display“ auf „RGB“ gestellt oder wenn „Option“ auf „YUV“ in „RGB/YUV“ gestellt ist.

Tipp

Die Ausgabe des BKM-FW50 gilt als RGB-Ausgabe (siehe in der Tabelle unter dem Modus „PAP“).

Multi-Display

Zum Vornehmen der nötigen Einstellungen, wenn eine Videowand aus mehreren Monitoren zusammengestellt werden soll.

„Multi-Display“

„Aus“: Es wird nur ein einziger Monitor verwendet.

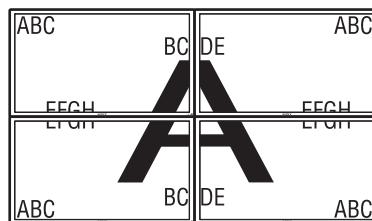
„2×2“/„3×3“/„4×4“: Mehrere Monitore werden angeschlossen, zum Beispiel je 2, 3 oder 4 Monitore vertikal und horizontal.

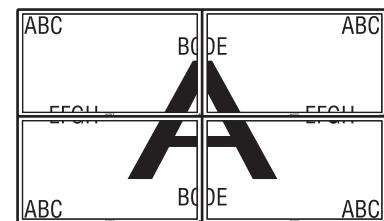
„1×2“/„1×3“/„1×4“: Mehrere Monitore werden angeschlossen, zum Beispiel 2, 3 oder 4 Monitore horizontal.

„2×1“/„3×1“/„4×1“: Mehrere Monitore werden angeschlossen, zum Beispiel 2, 3 oder 4 Monitore vertikal.

„Position“: Zum Auswählen der Position der einzelnen Monitore in der Videowand mit ⇧/⇩/⇦/⇨. Bestätigen Sie die Position mit ⊕.

„Ausgabeformat“: Sie haben die Wahl zwischen zwei Bildausgabeformaten, wie in den Abbildungen gezeigt. Sie wählen einfach das gewünschte Format aus und das Bild wird in geeigneter Weise angezeigt, ohne dass Sie die horizontale und vertikale Bildposition von Hand einstellen müssen. Sie haben die Wahl zwischen „Fliesen“ und „Fenster“.

„Fliesen“

Das gesamte Bildsignal erscheint auf den einzelnen Bildschirmen.

„Fenster“

Zur Anzeige des Bildes als ein einziges, großes Bild.
Ein Teil des Bildsignals verschwindet hinter den Blenden.

„LED“: „Ein“ bewirkd, dass die Anzeige I / ⏻ an der Vorderseite (Seite 7) ständig leuchtet, und bei „Aus“ leuchtet die Anzeige I / ⏻ an der Vorderseite nicht.

Hinweise

- Bei einem Videogerät als Eingangsquelle kann mit „Multi-Display“ ein vergrößertes Bild angezeigt werden, wobei die aktuelle Einstellung für „Seitenverhältnis“ weitgehend beibehalten wird. Bei einem PC als Eingangsquelle kann ein vergrößertes Bild angezeigt werden, wobei „Seitenverhältnis“ auf „Voll 2“ gesetzt wird.
- Sie können „Multi-Display“ nur einstellen, wenn „PAP“ deaktiviert ist.
- Wenn als „Position“ rechts unten eingestellt ist, leuchtet die Anzeige I / ⏻ auch dann, wenn die Option „LED“ auf „Aus“ gesetzt ist. Die Anzeige leuchtet auch, wenn der Monitor ausgeschaltet (im Bereitschaftsmodus) ist, Fehler erkannt werden oder sich das Gerät im Energiesparmodus befindet, ebenso wenn kein oder ein nicht unterstütztes Signal eingeht.

Seitenverhältnis

„Wide-Zoom“: Das Bild wird vergrößert und füllt den Bildschirm, wobei Verzerrungen auf ein Minimum beschränkt werden.
„Zoom“: Zum Vergrößern des Originalbildes, ohne das Bildseitenverhältnis zu verändern. Siehe Seite 13.
„Voll“: Zum Verbreitern eines Originalbildes von einer 4:3-Bildquelle (Standard Definition-Bildquelle), so dass es den Bildschirm füllt. Handelt es sich bei der Originalbildquelle um eine 16:9-Bildquelle (High Definition-Bildquelle), so wird das 16:9-Bild in diesem Modus im Originalformat angezeigt.
„4:3“: Zum Anzeigen aller Bilder in Originalgröße im Bildseitenverhältnis 4:3.

Tipps

- Zum Wechseln zwischen den einzelnen Optionen unter „Seitenverhältnis“ können Sie stattdessen auch ⊞ auf der Fernbedienung verwenden.
- Wählen Sie „Zoom“, wenn Sie Filme und andere DVD-Inhalte mit schwarzen Balken so anzeigen lassen wollen, dass sie den gesamten Anzeigebereich auf dem Bildschirm füllen.

Hinweise

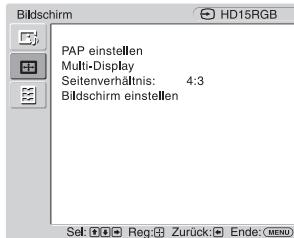
- Im Modus „PAP“ kann das Bildseitenverhältnis nicht gewechselt werden. Das Bild wird in dem Bildseitenverhältnis angezeigt, das vor dem Wechsel in den Modus „PAP“ eingestellt war.
- „Seitenverhältnis“ lässt sich nicht einstellen, wenn die Funktion „Multi-Display“ verwendet wird.

Bildschirm einstellen

„H. Größe“: Zum Einstellen der Bildbreite. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„H. Position“: Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach links oder rechts. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„V. Größe“: Zum Einstellen der Bildhöhe. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„V. Position“: Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach oben oder unten. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„Zurücksetzen“: Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildschirm einstellen“ auf die Standardeinstellungen.

Hinweise

- „Bildschirm einstellen“ steht nicht zur Verfügung, wenn die Funktion „PAP“ verwendet wird.
- Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, kann keine der Optionen unter „Bildschirm“ ausgewählt werden, mit Ausnahme von „PAP einstellen“ und „Multi-Display“.

Bei einem PC als Eingangsquelle

Wenn als Eingangsquelle PC-Eingangssignale ausgewählt werden, gelten PC-spezifische Einstellungen für „Bildschirm".
Die Einstellungen für einen PC unter „Bildschirm" enthalten folgende Optionen:

PAP einstellen

Schlagen Sie bei einem Videogerät als Eingangsquelle unter „PAP einstellen" nach (Seite 25).

Multi-Display

Schlagen Sie bei einem Videogerät als Eingangsquelle unter „Multi-Display" nach (Seite 26).

Seitenverhältnis

„Voll 1": Zum Vergrößern des Bildes, so dass es den Anzeigebereich in der Vertikalen füllt, wobei das ursprüngliche Bildseitenverhältnis (horizontal-vertikal) erhalten bleibt. Das Bild wird mit schwarzen Streifen am Rand angezeigt.
„Voll 2": Zum Vergrößern des Bildes, so dass es den Anzeigebereich füllt.
„Original": Zum Anzeigen des Bildes mit der Originalpixelanzahl.

Hinweise

- Im Modus „PAP" kann das Bildseitenverhältnis nicht gewechselt werden. Das Bild wird in dem Bildseitenverhältnis angezeigt, das vor dem Wechsel in den Modus „PAP" eingestellt war.
- „Seitenverhältnis" lässt sich nicht einstellen, wenn die Funktion „Multi-Display" verwendet wird.
- Wenn die Eingangssignalauflösung höher ist als die Bildschirmauflösung (1920 × 1080), sieht die Anzeige bei „Original" genauso aus wie bei „Voll 1".

Bildschirm einstellen

„Autom. einstellen": Wählen Sie „OK" zum automatischen Einstellen von Anzeigeposition und Phase des Bildes, wenn ein angeschlossener PC als Eingangsquelle dient.
Beachten Sie bitte, dass „Autom. einstellen" nicht bei allen Eingangssignalen optimal funktioniert. Stellen Sie die folgenden Optionen in solchen Fällen von Hand ein.
„Phase": Zum Einstellen der Phase, falls das Bild flimmert.
„Pitch": Zum Einstellen des Pitch, wenn das Bild unerwünschte vertikale Streifen aufweist.

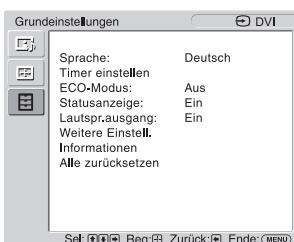
Hinweise

- „Autom. einstellen", „Phase" und „Pitch" stehen nicht zur Verfügung, wenn digitale Signale, wie z. B. DVI- oder HDMI-Signale, eingespeist werden.
- Wenn „Autom. einstellen" ausgeführt wird, wird ein gesamt helles Bild angezeigt. Andernfalls wird die Bildposition möglicherweise falsch eingestellt.

„H. Größe": Zum Einstellen der Bildbreite. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„H. Position": Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach links oder rechts. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇦/⇨ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„V. Größe": Zum Einstellen der Bildhöhe. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„V. Position": Zum Verschieben des Bildes im Fenster nach oben oder unten. Nehmen Sie die Einstellung mit ⇧/⇩ vor und bestätigen Sie sie mit ⊕.
„Zurücksetzen": Zum Zurücksetzen aller Einstellungen unter „Bildschirm einstellen" auf die Standardeinstellungen.

Hinweis

Wenn gerade kein Signal eingespeist wird, kann keine der Optionen unter „Bildschirm" ausgewählt werden, mit Ausnahme von „PAP einstellen" und „Multi-Display".

Grundeinstellungen Einstellungen

Zum Hervorheben einer Option und zum Ändern von Einstellungen drücken Sie ⇧/⇩/⇦/⇨.
Mit ⊕ bestätigen Sie Ihre Auswahl.
Die Einstellungen unter „Grundeinstellungen" enthalten folgende Optionen:

Sprache

Zum Auswählen der Sprache, in der die Bildschirmanzeigen erscheinen sollen: „English", „Français", „Deutsch", „Español", „Italiano" oder „日本語".

Timer einstellen

Mit diesem Menü können Sie die Uhrzeit einstellen, die Uhrzeit anzeigen lassen oder den Timer einstellen, so dass sich der Monitor zur voreingestellten Zeit ein- bzw. ausschaltet.

„Uhr einstellen": Zum Einstellen des Datums und der Uhrzeit.

„**Datum einst.":** Stellt das Datum (Jahr, Monat, Tag) ein. Der Tag wird automatisch zugewiesen.

„**Uhrzeit einst.":** Stellt die Zeit ein.

„Uhrzeitanzeige": Zum Anzeigen der aktuellen Uhrzeit am Bildschirm durch Drücken der Taste DISPLAY auf der Fernbedienung, wenn die Option auf „Ein" gesetzt ist.

„Ein/Aus-Timer": Zum Einstellen des Datums und der Uhrzeit.

Hinweis

Wenn die eingebaute Uhr nachgeht, ist der interne Akku möglicherweise erschöpft. Wenden Sie sich bitte an einen autorisierten Sony-Händler, um den Akku austauschen zu lassen.

ECO-Modus

„Aus": Zur Bildanzeige ohne Energiesparmodus.

„Niedrig"/„Hoch": Zum Verringern der Helligkeit der Rückbeleuchtung und des Stromverbrauchs.

Statusanzeige

"Bei „Ein" erscheinen beim Einschalten des Monitors etwa 5 Sekunden lang Informationen zum Eingangssignal und zum „Seitenverhältnis" auf dem Bildschirm. Beim Umschalten des Eingangssignals erscheinen sie etwa 5 Sekunden lang. Bei „Aus" erscheinen keine Statusinformationen.

Tipp

Mit DISPLAY auf der Fernbedienung können Sie Informationen zum Eingangssignal und zum „Seitenverhältnis" unabhängig von der Einstellung für „Statusanzeige" aufrufen.

Lautspr.ausgang

„Ein": Der Ton wird über die Lautsprecher ausgegeben.
„Aus": Der Ton wird nicht über die Lautsprecher ausgegeben.

Weitere Einstell.

„Steuerung einst.": Über dieses Menü können Sie die Bedienung des Monitors und die Fernbedienung einstellen.

„Indexnummer": Bei Bedarf können Sie die Indexnummer des Monitors ändern. Stellen Sie die Indexnummer mit ⇧/⇩ ein und drücken Sie zur Bestätigung ⊕ (ENTER).

Hinweis

Verwenden Sie zum Einstellen der „Indexnummer" die Tasten am Gerät. Mit der Fernbedienung lässt sich die „Indexnummer" nicht einstellen.

„Steuerung"

„Display+Fernbed.": Sie können den Monitor mit den Bedienelementen am Monitor und mit der Fernbedienung bedienen.

„Nur Display": Zum Deaktivieren der Fernbedienungsfunktion. In diesem Fall können Sie Einstellungen nur noch mit den Bedienelementen am Monitor vornehmen.

„Nur Fernbed.": Zum Deaktivieren der Bedienelemente am Monitor. In diesem Fall können Sie zum Bedienen des Geräts nur noch die Fernbedienung verwenden.

Hinweis

Welche Einstellungen Sie auswählen können, hängt bei dieser Option davon ab, ob Sie die Auswahl mit der Fernbedienung oder am Monitor selbst vornehmen. Wenn Sie die Option mit ⊕ auf der Fernbedienung einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Fernbed.“ auswählen. Wenn Sie die Option mit ⊕ (ENTER) am Monitor einstellen, können Sie ausschließlich „Display+Fernbed.“ oder „Nur Display“ auswählen.

„Autom. Bildeinst“

„Ein“: Einstellungen wie Bildgröße und Position werden für jedes Eingangssignal gespeichert. Wenn das Eingangssignal gewechselt wird, gelten automatisch die letzten für dieses Eingangssignal ausgewählten Einstellungen.

„Aus“: Die Funktion „Autom. Bildeinst“ wird deaktiviert, selbst wenn das Eingangssignal gewechselt wird, und es gelten die Standardeinstellungen.

Hinweis

Die Funktion „Autom. Bildeinst“ arbeitet nur bei RGB-Eingabe.

„Auto. Ausschalten“:

„Ein“: Der Monitor wechselt automatisch in den Bereitschaftsmodus, wenn über 5 Minuten lang kein Signal an den Video- oder S-Video-Eingängen eingeht. Der Monitor wechselt automatisch in den Energiesparmodus, wenn über 30 Sekunden lang kein Signal am Eingang DVI, HDMI bzw. HD15 (RGB-/Farbdifferenzsignal) eingeht.

„Aus“: Der Monitor schaltet sich nicht automatisch aus, auch wenn an keinem Anschluss ein Signal eingespeist wird.

Tipps

- Wenn sich der Monitor im Bereitschaftsmodus befindet, können Sie ihn mit dem Schalter ⏻ (POWER) am Monitor oder dem Schalter POWER ON auf der Fernbedienung einschalten. Im Energiesparmodus schaltet sich der Monitor automatisch ein, sobald ein Signal eingespeist wird.
- Diese Funktion ist möglicherweise nicht verfügbar, wenn „Bildschirm-Logo“ auf „Ein“ gestellt ist, die Bildschirmschonerfunktion aktiviert oder PAP gewählt ist.

„Overscan“: Zum Auswählen, ob Bilder mit Overscan oder Justscan angezeigt werden sollen.

„Automatisch“: Zum automatischen Umschalten von DTV-Signalen in ein Bild mit Overscan.

„Ein“: Das Bild wird mit Overscan angezeigt.

„Aus“: Das Bild wird mit Justscan angezeigt.

Hinweis

Wenn „Overscan“ auf „Aus“ gesetzt ist, werden DTV-Signale möglicherweise wie PC-Signale angezeigt.
Beispiel: 480P → 720 × 480/60

„Sync-Modus“: Zum Einstellen des Modus je nach dem Signal, das an Stift 13 des Anschlusses HD15 (RGB/COMPONENT) IN eingespeist wird.

„H/Zus. gesetzt“: Wählen Sie diese Option, wenn ein horizontales Synchronisationssignal oder ein zusammengesetztes Synchronisationssignal eingespeist wird.

„Video“: Wählen Sie diese Option, wenn ein Videosignal eingespeist wird.

Hinweise

- „Sync-Moduss“ steht nur zur Verfügung, wenn ein analoges RGB-Signal am Anschluss HD15 eingespeist werden.
- Je nach dem Pegel des zusammengesetzten Synchronisationssignals wird das Bild unter Umständen nicht korrekt angezeigt. Ändern Sie in diesem Fall die Einstellung für „Sync-Modus“.
- Für einige Eingänge können nur Synchronisationssignale ausgewählt werden. Speisen Sie in diesem Fall horizontale/vertikale Synchronisationssignale über Stift 13 oder 14 der Anschlüsse ein.
- Synchronmoduseinstellungen können für über die Zusatzadapter eingespeiste Signale nicht vorgenommen werden.
- Wenn „Video“ in „Sync-Modus“ gewählt ist, können Sie nur die 575/50i- und 480/60i-Signale angepasst werden.
- Wenn Sie als Synchronisationsmodus das Videosignal auswählen, können Sie die Funktion PAP nicht verwenden.

„RGB/YUV“

„Display“/„Option“: Zum Einstellen des Signaltyps für ein Videogerät oder einen PC, das bzw. der an den Anschluss HD15 (RGB/COMPONENT) des Monitors oder 5BNC (RGB/COMPONENT) des Zusatzadapters angeschlossen ist.

„Automatisch“: Zum Auswählen eines analogen RGB-Eingangssignals oder eines Farbdifferenzeingangssignals von einem angeschlossenen Gerät.
„RGB“: Zum Auswählen des analogen RGB-Eingangssignals von einem angeschlossenen Gerät.
„YUV“: Zum Auswählen des Farbdifferenzeingangssignals von einem angeschlossenen Gerät.

Hinweis

Wählen Sie „RGB“, wenn RGB-Signale mit einem zusammengesetzten Synchronisationssignal eingespeist werden sollen.

Tipp

Informationen zu den möglichen Kombinationen bei zwei Bildern finden Sie auf Seite 26.

„Farbsystem“: Zum Auswählen des Farbsystems für Videosignale. Die Optionen sind „Automatisch“, „NTSC“, „NTSC4.43“, „PAL“, „PAL-M“, „PAL-N“ und „PAL60“. Bei „Automatisch“ wird das Farbsystem automatisch ausgewählt.

Hinweis

„Farbsystem“ steht bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.

„RGB-Signal“: Wenn ein HD15, DVI oder HDMI Eingangsanschluss 1280 × 768/ 60 or 720 × 480/60 RGB-Signal eingespeist wird, wird hier gewählt, ob dieses als Videosignal oder PC-Signal arbeitet.

„Bildschirmschoner“: Mit dieser Einstellung können Sie das Einbrennen von Bildern und damit die Nachbilder verhindern, die entstehen können, wenn auf dem Bildschirm lange Zeit dasselbe Standbild angezeigt wird.

„All White“: Ein komplett weißer Bildschirm wird angezeigt. (Stoppt automatisch nach etwa 30 Minuten, und der Monitor schaltet auf Bereitschaftsmodus.)
„Sweep“: Ein weißer Streifen läuft über den Bildschirm.
„Bereitschaft“: Der Bildschirmschoner arbeitet im Bereitschaftsbetrieb (Seite 7) für die in „Timer einstellen“ festgelegte Zeit. (Der Monitor ist beim Bildschormschonerbetrieb leer.) Wenn der Bildschirmschonermodus endet, wird normaler Bereitschaftsbetrieb wieder aufgenommen.

„Logo“: Sie können an der Vorderseite des Geräts ein Sony-Logo einblenden.

„Position“: Das Logo ist ständig unten in den Bildschirm eingeblendet. Wählen Sie je nach Aufstellung des Monitors für die Position des Logos die Option „Automatisch“, „Waagerecht“ oder „Hochkant“. Wenn Sie „Automatisch“ wählen, wird die Position des Logos automatisch angepasst, je nachdem, ob der Monitor horizontal oder vertikal installiert ist.
„Beleuchtung“: Wählen Sie „Aus“, wenn das Logo nicht eingeblendet werden soll. Mit „Niedrig“ und „Hoch“ können Sie die Helligkeit einstellen, in der das Logo angezeigt wird.

„Bildschirm-Logo“

„Ein“: Das Logo mit dem Modellnamen wird auch dann eingeblendet, wenn kein Signal eingespeist wird.
„Aus“: Das Logo mit dem Modellnamen wird nicht eingeblendet, wenn kein Signal eingespeist wird.

„Netzwerkanschluss“: Zum Einstellen des Netzwerkanschlusses zum Fernsteuern des Monitors.

„Aus“: Wählen Sie diese Option, wenn Sie den Netzwerkanschluss nicht verwenden. So lässt sich die Leistungsaufnahme im Bereitschaftsmodus verringern.
„Option“: Bei dieser Option können Sie Einstellungen für den Monitor über einen PC vornehmen, der an den Anschluss REMOTE oder LAN am OPTION-Anschlussbereich angeschlossen ist (Seite 35)
„Display“: Bei dieser Option können Sie Einstellungen für den Monitor über einen PC vornehmen, der an den Anschluss REMOTE (LAN) des Monitors angeschlossen ist (Seite 35)

Tipp

Wenn ein BKM-FW50-Adapter in den OPTION-Anschlussbereich gesetzt wird, wird „Netzwerkanschluss“ automatisch auf „Option“ gestellt.

DE

„IP Address Setup“: Zum Festlegen einer IP-Adresse für die Kommunikation zwischen dem Anschluss REMOTE (LAN) des Monitors oder eines Zusatzadapters und einem über LAN-Kabel angeschlossenen Gerät wie einem PC.
„Speed Setup“: Zum Festlegen der Geschwindigkeit für die Kommunikation zwischen dem Anschluss REMOTE (LAN) des Monitors oder eines Zusatzadapters und einem über LAN-Kabel angeschlossenen Gerät wie einem PC.

Tipp

Erläuterungen zum Vornehmen der Einstellungen für „IP Address Setup“ und „Speed Setup“ finden Sie im Abschnitt „Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen“ (Seite 33).

„Einschaltverzöger.“: Stellt die Zeit bis zum Einschalten ein. Einstellung auf Aus sowie auf 1 bis 120 Sekunden ist möglich. Dadurch wird eine plötzliche Lastschwankung bei Stromversorgungsgeräten verhindert, wenn mehrere Geräte angeschlossen sind.

„Lichtsensor“

„Ein“: Die Bildschirmhelligkeit wird automatisch entsprechend der Umgebungshelligkeit eingestellt.
„Aus“: Die Bildschirmhelligkeit wird nicht automatisch eingestellt.

Informationen

Zum Anzeigen von „Datum“, „Modellname“, „Seriennummer“, „Betriebsdauer“, „Software-Ver“ und „IP Address“ des Monitors. Wenn der optionale Adapter BKM-FW50 angebracht ist, wird „Player IP Address“ (IP-Adresse für Standbilder und Spielfilmwiedergabe-Funktion) angezeigt. Einzelheiten finden Sie in der Bedienungsanleitung zum BKM-FW50.

Alle zurücksetzen

Zum Zurücksetzen aller Einstellungen auf die werkseitigen Einstellungen.

Hinweis

Die Angaben unter „Informationen“ und die „Indexnummer“ werden nicht zurückgesetzt.

Vorbereitungen zum Arbeiten mit den Netzwerkfunktionen

Sicherheitsmaßnahmen

- Die Softwarespezifikationen dieses Geräts unterliegen aufgrund von Verbesserungen unangekündigten Änderungen.
- Die Fenster der Anwendungssoftware können sich etwas von den Abbildungen in dieser Anleitung unterscheiden.
- Schließen Sie den Anschluss dieses Geräts aus Sicherheitsgründen nur an ein Netzwerk an, bei dem keine Gefahr von übermäßiger Spannung oder von Stoßspannungsstößen besteht.
- Mit den Anweisungen in dieser Anleitung lässt sich der Betrieb nur in folgender Umgebung gewährleisten.

  Betriebssystem:

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Browser:

  Microsoft Internet Explorer 6.0 oder höher
- Um die Sicherheit im Netzwerk sicherzustellen, empfiehlt es sich, einen Benutzernamen und ein Kennwort zu definieren. Weitere Informationen dazu finden Sie im Abschnitt „Setup Bildschirm“ (Seite 36).

  Fragen Sie Ihren Netzwerkadministrator nach Sicherheitseinstellungen.

Einstellen einer IP-Adresse

Der Monitor lässt sich mit einem 10BASE-T/ 100BASE-TX-LAN-Kabel an ein Netzwerk anschließen.
Beim Anschluss an ein LAN können Sie die IP-Adressen des Monitors anhand eines der beiden folgenden Verfahren einstellen. Fragen Sie Ihren Netzwerkadministrator nach Einzelheiten zur Auswahl der IP-Adresse.

- Zuweisen einer festen IP-Adresse für den Monitor
  Normalerweise sollten Sie dieses Verfahren verwenden. Werkseitig ist der Monitor allerdings so eingestellt, dass die IP-Adresse automatisch bezogen wird.
- Automatisches Beziehen einer IP-Adresse
  Wenn das Netzwerk, an das der Monitor angeschlossen ist, über einen DHCP-Server verfügt, können Sie den DHCP-Server automatisch eine IP-Adresse zuweisen lassen. Beachten Sie, dass sich die IP-Adresse in diesem Fall bei jedem Einschalten des Monitors ändern kann.

Bevor Sie die IP-Adresse festlegen, schließen Sie das LAN-Kabel an den Monitor an, um den Netzwerkanschluss herzustellen. Schalten Sie den Monitor nach etwa 30 Sekunden ein und nehmen Sie dann die gewünschten Einstellungen vor.

- Microsoft und Windows sind eingetragene Markenzeichen der Microsoft Corporation in den USA und/oder anderen Ländern.
- Alle anderen in dieser Anleitung erwähnten Produkt- oder Firmennamen usw. sind Markenzeichen oder eingetragene Markenzeichen der jeweiligen Eigentümer.

Zuweisen einer festen IP-Adresse für den Monitor

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie ⊕.

5 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Manual“ aus und drücken Sie ⊕.

6 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die einzustellende Option unter „IP Address“, „Subnet Mask“, „Default Gateway“, „Primary DNS“ bzw. „Secondary DNS“ aus und drücken Sie ⊕.

7 Geben Sie in jedes der vier Felder mit ⇧/⇩ am Monitor oder mit den Zahlentasten auf der Fernbedienung drei Ziffern (0 bis 255) ein und drücken Sie ⊕ oder ⇨.

8 Stellen Sie den dreistelligen Wert (0 bis 255) für die vier Felder ein und drücken Sie ⊕. Wählen Sie, wie unter Schritt 6 erläutert, mit ⇧/⇩ die nächste einzustellende Option aus und drücken Sie ⊕.

9 Nachdem Sie die Werte für alle gewünschten Optionen eingestellt haben, wählen Sie mit ⇧/⇩ „Execute“ aus und drücken Sie ⊕.

Wählen Sie „Execute“ aus und drücken Sie ⊕. Damit haben Sie die IP-Adresse manuell festgelegt.
Wenn Sie „Cancel“ wählen, gilt wieder die ursprüngliche Einstellung.

Automatisches Beziehen einer IP-Adresse

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „IP Address Setup“ aus und drücken Sie ⊕.

5 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „DHCP“ aus und drücken Sie ⊕.

Wählen Sie „Execute“ aus und drücken Sie ⊕. Eine IP-Adresse wird automatisch zugewiesen.
Wenn Sie „Cancel“ wählen, wird die Einstellung nicht vorgenommen.

Hinweis

Wurde die IP-Adresse nicht korrekt festgelegt, werden je nach Art des Fehlers folgende Fehlercodes angezeigt.
Fehler 1: Kommunikationsfehler
Fehler 2: Die angegebene IP-Adresse wird bereits für ein anderes Gerät benutzt.
Fehler 3: IP-Adressfehler
Fehler 4: Gateway-Adressfehler
Fehler 5: Fehler in der primären DNS-Adresse
Fehler 6: Fehler in der sekundären DNS-Adresse
Fehler 7: Fehler in der Subnetzmaske

Anzeigen der automatisch zugewiesenen IP-Adresse

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Informationen“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „IP Address“ aus und drücken Sie ⊕.

Die zurzeit geltende IP-Adresse wird angezeigt.

Tipp

Wenn eine IP-Adresse nicht richtig übernommen werden kann, wird die vorher übernommene IP-Adresse in „Informationen“ und in „Manual“ unter „IP Address Setup“ gezeigt.

Einstellen der Kommunikationsgeschwindigkeit

1 Rufen Sie mit MENU das Hauptmenü auf.

2 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Grundeinstellungen“ aus und drücken Sie ⊕.

3 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Weitere Einstell.“ aus und drücken Sie ⊕.

4 Wählen Sie mit ⇧/⇩ die Option „Speed Setup“ aus und drücken Sie ⊕.

5 Wählen Sie mit ⇧/⇩ unter „Auto“, „10Mbps Half“, „10Mbps Full“, „100Mbps Half“ und „100Mbps Full“ die gewünschte Option für die Kommunikationsgeschwindigkeit aus und drücken Sie ⊕.

Wenn Sie „Auto“ wählen, wird automatisch eine zu Ihrer Netzwerkkonfiguration passende Kommunikationsgeschwindigkeit eingestellt.

6 Wählen Sie mit ⇧/⇩ „Execute“ aus und wenden Sie mit ⊕ die Einstellung an.

PC-Betrieb

Steuern des Monitors

Sie können vom PC-Bildschirm aus verschiedene Einstellungen für den Monitor vornehmen. Vergewissern Sie sich, dass der Monitor, der PC sowie Router bzw. Hub ordnungsgemäß über das Netzwerkkabel verbunden sind. Schalten Sie dann den Monitor, den PC und den Router oder Hub ein.
Für den Monitor stehen vier Fenster mit unterschiedlichen Steuerfunktionen zur Verfügung: Information-Bildschirm, Configure-Bildschirm, Control-Bildschirm und Setup-Bildschirm.
Nähere Erläuterungen zu den Funktionen der einzelnen Tasten finden Sie in den Anweisungen zu den Monitorfunktionen.

1. Starten Sie den Browser des PCs (Internet Explorer 6.0 oder höher).
2. Geben Sie die IP-Adresse ein, die dem Monitor auf der vorhergehenden Seite in der Form „http://xxx.xxx.xxx.xxx“ zugewiesen wurde, und drücken Sie dann ENTER auf der Tastatur.
   Wenn ein Benutzername und ein Kennwort definiert wurden, erscheint der Bildschirm „Network Password“ (Netzwerkkennwort). Geben Sie den definierten Benutzernamen und das Kennwort ein und fahren Sie dann mit dem nächsten Schritt fort.
3. Klicken Sie auf die Funktionsregisterkarte oben im Fenster und wählen Sie das gewünschte Fenster aus.

Einstellen von Optionen in den einzelnen Fenstern

Bei Verwendung der LAN-Funktionen des Monitors

Information-Bildschirm

In diesem Fenster werden der Modellname, die Seriennummer und andere Monitorinformationen sowie der Stromversorgungsstatus und die Eingangssignalauswahl angezeigt.
In diesem Fenster werden Informationen nur angezeigt. Sie können hier keine Optionen einstellen.

Configure-Bildschirm

Timer
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Timer-Funktion.
Klicken Sie abschließend auf „Apply“ (Übernehmen).

Screen Saver
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Bildschirmschoner-Funktion.
Klicken Sie abschließend auf „Apply“ (Übernehmen).

Picture and Picture
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Bild-und-Bild-Funktion.
Klicken Sie abschließend auf „Apply“ (Übernehmen).

Hinweis
Ehe Sie die Funktion „Timer“ (Timer) verwenden können, muss im Fenster „Setup“ (Setup) (Seite 36) die Uhrzeit eingestellt werden.

Control-Bildschirm

POWER
Zum Ein- und Ausschalten des Monitors.

INPUT
Zum Auswählen des Eingangssignals.

PICTURE MODE
Zum Auswählen des Bildmodus.

ASPECT
Zum Wechseln des Bildseitenverhältnisses.

Contrast +/--Tasten
Zum Einstellen des Kontrasts auf dem Bildschirm.

Brightness +/--Tasten
Zum Einstellen der Bildhelligkeit.

Chroma +/--Tasten
Zum Einstellen der Farbintensität.

Phase +/--Tasten
Zum Einstellen der Farbbalance.

Reset-Taste
Zum Zurücksetzen der Einstellungen von „Contrast" (Kontrast) bis „Phase" (Phase) auf ihre Standardwerte.

Hinweise

- Wenn ein Video- oder S-Video-Signal eingespeist wird und es sich bei dem Farbsystem des Videosignals nicht um NTSC handelt, steht „Phase" nicht zur Verfügung.
- „Chrominanz" und „Phase" stehen bei einem PC als Eingangsquelle nicht zur Verfügung.
- „Normal" bei der Einstellung ASPECT entspricht „4:3" für Videoeingabe oder „Original" für PC-Eingabe.

Setup Bildschirm

In diesem Fenster können Sie das Network Password (Netzwerkkennwort) festlegen. Die werkseitig vorgegebenen Einstellungen sind folgendermaßen konfiguriert:

Name: root
Password: pudadm

Wenn Sie Änderungen vorgenommen oder Daten eingegeben haben, klicken Sie auf „Apply" (Übernehmen) unten im jeweiligen Fenster, um die Einstellungen zu aktivieren.
In die Textfelder können keine Sonderzeichen eingegeben werden.

Owner Information

Owner
Geben Sie hier Informationen zum Eigentümer ein.

Display Location
Geben Sie hier Informationen zum Standort des Monitors ein.

Hinweis

Verwenden Sie beim Eingeben der Informationen keine Leerzeichen. Andernfalls wird der Dateiname möglicherweise nicht richtig angezeigt.

Memo
Hier können Sie Kommentare oder Notizen eingeben.

Time

Time
Geben Sie hier die Uhrzeit, das Jahr, den Monat und den Tag ein.

Network

Internet Protocol (TCP/IP)
Wählen Sie „Specify an IP address" (IP-Adresse angeben), wenn Sie die einzelnen Ziffern der numerischen Zeichenfolge für die IP-Adresse manuell eingeben wollen.
Wählen Sie „Obtain an IP address (DHCP)" (IP-Adresse automatisch beziehen (DHCP)), wenn die IP-Adresse automatisch vom DHCP-Server bezogen werden soll. Beachten Sie, dass sich die IP-Adresse in diesem Fall bei jedem Einschalten des Monitors ändern kann.

Hinweis

Die IP-Adresse kann über das Monitormenü festgelegt werden. Einzelheiten dazu finden Sie unter „IP Address Setup" (Seite 32).

Password
Hier können Sie Informationen zum Administrator, Benutzernamen und Kennwort eingeben. Der Administratorname ist fest auf „root" eingestellt.
Sie können jeweils maximal 8 Zeichen eingeben.
Wenn Sie einen Benutzernamen und ein Kennwort definiert haben, erscheint das Fenster „Network Password" (Netzwerkkennwort), wann immer das Fenster für die Bildschirmsteuerung des Monitors aufgerufen wird. Um die Sicherheit im Netzwerk sicherzustellen, empfiehlt es sich, einen Benutzernamen und ein Kennwort zu definieren.

Mail Report

Error Report
Wenn ein Monitorfunktionsfehler aufgetreten ist, wird sofort per E-Mail ein Fehlerbericht gesendet (Fehlerbenachrichtigung).

Status Report
Der Status des Monitors kann im ausgewählten Zeitintervall per E-Mail gemeldet werden.

Address
Geben Sie hier die E-Mail-Adresse des Empfängers ein. Sie können bis zu vier Adressen angeben, an die dann gleichzeitig ein Fehlerbericht gesendet wird. Die maximale Länge der einzelnen Adressen beträgt 64 Zeichen.

Mail Account

Mail Address:
Geben Sie hier die zugeordnete E-Mail-Adresse ein.
Die maximale Länge der Adresse beträgt 64 Zeichen.
Outgoing Mail Server (SMTP):
Geben Sie hier die Mail-Server-Adresse ein.
Die maximale Länge der Adresse beträgt 64 Zeichen.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP):
Wenn beim Herstellen der Verbindung mit dem SMTP-Server eine POP-Authentifizierung erforderlich ist, aktivieren Sie dieses Kontrollkästchen.
Incoming Mail Server (POP3):
Wenn die POP-Authentifizierung für die Einstellung „POP before SMTP" (POP vor

SMTP) verwendet wird, geben Sie hier die POP3-Server-Adresse ein.
Account Name:
Geben Sie hier den Namen des E-Mail-Kontos ein.
Password:
Geben Sie hier das Kennwort für das E-Mail-Konto ein.
Send Test Mail:
Wenn Sie testen wollen, ob E-Mails erfolgreich an die angegebene(n) Adresse(n) gesendet werden können, aktivieren Sie dieses Kontrollkästchen und klicken auf „Apply". Eine Test-E-Mail wird gesendet.

Hinweis

Wenn eine der folgenden Angaben nicht vorhanden oder nicht richtig ist, erscheint eine Fehlermeldung und es kann keine Test-E-Mail gesendet werden:

- Zieladresse
- Adresse des E-Mail-Kontos und Adresse des Mail-Servers (SMTP)

Advanced
Hiermit haben Sie Zugriff auf weitere Einstellungen, die für die Verwendung verschiedener Anwendungen im Netzwerk erforderlich sind. Nehmen Sie die Einstellungen wie in der jeweiligen Anwendung erforderlich vor.

Advertisement
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Funktionen „Advertisement" und „Broadcast" im Netzwerk.

ID Talk
Zum Vornehmen von Einstellungen für die Funktion „ID Talk". „ID Talk" ist ein Protokoll, das die netzwerkbasierte Steuerung des Monitors ermöglicht. Gesteuert werden können verschiedene Einstellungen, wie z. B. Farbtemperatur und Gamma. Informationen zu unterstützten ID Talk-Befehlen erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

SNMP
Der Monitor ist ein Netzwerkgerät, das SNMP (Simple Network Management Protocol) unterstützt. Neben dem Standard MIB-II wird auch Sony Enterprise MIB unterstützt. In diesem Fenster können Sie Einstellungen für SNMP vornehmen. Informationen zu unterstützten SNMP-Befehlen erhalten Sie bei Ihrem Sony-Händler.

Zurücksetzen auf die Standardeinstellungen
Wenn alle Einstellungen, die Sie über das Fenster „Setup" vorgenommen haben, wieder auf die werkseitigen Standardeinstellungen zurückgesetzt werden sollen, wählen Sie die Option „Alle zurücksetzen" (Alle zurücksetzen) und nehmen Sie dann erneut geeignete Einstellungen für das Netzwerk vor.

Störungsbehebung

Notieren Sie, wie oft und wie lange die Anzeige I / ⏻ blinkt.

Wenn sie blinkt

Die Selbstdiagnosefunktion wurde aktiviert.

1 Überprüfen Sie, wie oft die Anzeige I / ⏻ blinkt und wie lange sie nicht blinkt.
Beispiel: Die Anzeige blinkt 2-mal, blinkt 3 Sekunden lang nicht und blinkt erneut 2-mal.
2 Schalten Sie den Monitor mit dem Schalter ⏻ (POWER) aus und trennen Sie das Netzkabel ab.
Teilen Sie Ihrem Händler oder dem Sony-Kundendienst mit, wie die Anzeige blinkt (Häufigkeit und Intervall).

Wenn sie nicht blinkt

1 Gehen Sie nach der folgenden Tabelle vor.
2 Wenn das Problem dennoch bestehen bleibt, lassen Sie den Monitor von qualifiziertem Fachpersonal reparieren.

Problem	Mögliche Abhilfemaßnahmen
Der Netzschalter und die Steuertasten am Monitor funktionieren nicht.	• Überprüfen Sie „Steuerung einst.“ (Seite 29).
Kein Videosignal wird von dem Anschluss HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT ausgegeben.	• Es gibt keine Ausgabe von HD15 (RGB/COMPONENT) OUT, wenn dieses Gerät im Bereitschaftszustand ist oder die Netzversorgung ausgeschaltet ist.
Kein Signal wird von dem Anschluss HD-SDI OUT des BKM-FW16 ausgegeben.	• Es gibt keine Ausgabe von HD-SDI OUT, wenn dieses Gerät im Bereitschaftszustand ist oder die Netzversorgung ausgeschaltet ist.
Es wird kein Bild angezeigt.	
Es wird kein Bild angezeigt.	• Überprüfen Sie die Verbindung zwischen dem angeschlossenen Videogerät und dem Monitor. • Überprüfen Sie die Einstellung für „RGB/YUV“ (Seite 31). • Wechseln Sie mit der Taste INPUT am Monitor oder mit der Fernbedienung den Eingang (Seite 10, 11).
Der Monitor schaltet sich automatisch aus.	• Überprüfen Sie, ob „Timer einstellen“ aktiviert ist (Seite 29). • Überprüfen Sie, ob die Funktion „Auto. Ausschalten“ auf „Ein“ gesetzt ist (Seite 30). • Überprüfen Sie, ob die Zimmertemperatur über 35°C liegt.
Die Bildqualität ist schlecht.	
Keine Farbe/Bild zu dunkel/Bild zu hell/Farbe fehlerhaft/Bild wird langsam dunkel/ Horizontale Störstreifen erscheinen im Bild	• Wählen Sie mit PICTURE den gewünschten „Bild-Modus“ (Seite 11). • Stellen Sie die Optionen für „Bild-Modus“ unter den Einstellungen für „Bild/Ton“ ein (Seite 21, 23). • Überprüfen Sie den Zustand des Signalkabels. • Überprüfen Sie, ob die Zimmertemperatur über 35°C liegt. • Überprüfen Sie die Einstellungen in „ECO-Modus.“ (Seite 29) • Beim Anschließen eines Videogeräts schließen Sie nicht ein Videokabel oder einen Wandlerstecker an die Buchse VIDEO OUT an. Die weißen Bereiche im Bild sind zu hell, weil das Displaysignal nicht beendet wird. • Überprüfen Sie die Einstellungen unter „Lichtsensor“. Siehe Seite 32.
Der ganze Bildschirm ist grün oder violett getönt.	• Überprüfen Sie, ob die Einstellungen für „RGB/YUV“ falsch sind (Seite 31).

Problem	Mögliche Abhilfemaßnahmen
Es ist kein Ton zu hören oder der Ton ist verrauscht.	
Das Bild wird angezeigt, aber es ist kein Ton zu hören.	• Überprüfen Sie die Lautstärkeeinstellung. • Drücken Sie 🔇 auf der Fernbedienung oder ◢+, so dass die Stummschaltungsanzeige nicht mehr am Bildschirm angezeigt wird (Seite 12). • Überprüfen Sie die Einstellungen unter „Lautspr.ausgang“ (Seite 29).
Die Fernbedienung funktioniert nicht.	• Überprüfen Sie, ob die Batterien polaritätsrichtig eingelegt sind, oder tauschen Sie die Batterien aus. • Richten Sie die Fernbedienung auf den Fernbedienungssensor am Monitor. • Achten Sie darauf, dass sich vor dem Fernbedienungssensor keine Hindernisse befinden. • Überprüfen Sie „Steuerung einst.“ (Seite 29). • Überprüfen Sie, ob ein Kabel an den Anschluss CONTROL S IN angeschlossen ist (BKM-FW21 nicht mitgeliefert). Die Fernbedienung kann nicht verwendet werden, solange der Monitor über eine CONTROL S-Verbindung gesteuert wird. • Leuchtstoffröhren können die Funktion der Fernbedienung stören. Schalten Sie solche Röhren aus.
Eine Verbindung zum Netzwerk kann nicht hergestellt werden.	• Stecken Sie den Kabelstecker fest in den Anschluss REMOTE. • Überprüfen Sie die Netzwerkeinstellungen für den PC. • Setzen Sie alle Einstellungen über die Option „Alle zurücksetzen“ im Einstellmenü „Grundeinstellungen“ auf die Standardeinstellungen zurück und nehmen Sie dann erneut geeignete Einstellungen für das Netzwerk vor. • Überprüfen Sie die Einstellungen in „Netzwerkanschluss“. (Seite 31)
Das Fenster für die Monitorsteuerung (das Web-Fenster mit der grafischen Benutzeroberfläche des Monitors) wird nicht angezeigt.	• Klicken Sie im Web-Browser auf die Schaltfläche zum Auffrischen oder Aktualisieren. • Überprüfen Sie, ob die IP-Adresse korrekt ist. • Verwenden Sie Internet Explorer 6.0 oder höher. • Löschen Sie den Cache des Browsers.

DE

Diagramm der Eingangssignale

PC-Signale

	Auflösung	Horizontal-frequenz (kHz)	Vertikal-frequenz (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640×480@60 Hz	31,5	60
3	Mac[b)] 13 Zoll	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37,9	60
6	Mac 16 Zoll	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21 Zoll	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600×1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29,8	60
16	848 × 480@75 Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85 Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60 Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@ 75 Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@ 60 Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60 Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60 Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60 Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60 Hz (CVT)	63,7	60
26	1400×1050@60 Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600×1200@60 Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60 Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60 Hz	74,0	60

Fernseh-/Videosignale

	Auflösung	Verfügbare Eingänge				
		Video	Farbdifferenz/ RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24PsF		○			

a) VGA ist ein eingetragenes Markenzeichen der International Business Machines Corporation, USA.
b) Macintosh ist ein Markenzeichen der Apple Inc., eingetragen in den USA und anderen Ländern.
c) VESA ist ein eingetragenes Markenzeichen der Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing

Hinweise

- Speisen Sie bei HDTV-Signalen das dreistufige Synchronisationssignal über den 2. Stift des Anschlusses HD15 (RGB/COMPONENT) IN ein.
- Wenn die Farben beim Einspeisen von DVD-Signalen in den Monitor zu hell sind, korrigieren Sie die Einstellung von „Chrominanz" unter „Bild/Ton".
- Wenn die Phase neu eingestellt wird, wird die Auflösung reduziert.
- Bei Signalen vom Macintosh-Computer kann nicht gewährleistet werden, dass der digitale RGB-Eingang erkannt wird.
- Sie können nicht das mit * markierte Signal in DVI IN einspeisen.
- Bei Videosignalen ohne Farb-Burst-Signal kann die Darstellung nicht garantiert werden.

Anzeigen zum Eingangssignal und zum Monitorstatus auf dem Bildschirm

Bildschirmanzeigen	Bedeutung
640 × 480 / 60 (Beispiel)	Das ausgewählte Eingangssignal ist ein PC-Signal.
480 / 60I (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Farbdifferenzvideosignal.
NTSC (Beispiel)	Bei dem ausgewählten Eingangssignal handelt es sich um ein Videosignal.
Signal nicht unterstützt	Das ausgewählte Eingangssignal wird nicht unterstützt.
Kein Signal	Es ist kein Eingangssignal vorhanden.
HD15	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „Automatisch“ gesetzt.
HD15 RGB	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „RGB“ gesetzt.
HD15 Component	Der HD15-Eingang ist ausgewählt. „RGB/YUV“ ist auf „YUV“ gesetzt.
DVI	Als Eingangssignal ist DVI ausgewählt.
HDMI	Als Eingangssignal ist HDMI ausgewählt.
Video	Das FBAS-Signal ist ausgewählt.
S Video	Das S-Video-Signal ist ausgewählt.
Option	Die Option Eingabe ist gewählt. „RGB/YUV“ ist auf „Automatisch“ gesetzt.
Option RGB	Das analoge RGB-Signal vom Option-Eingang ist ausgewählt.
Option Component	Das Farbdifferenzsignal vom Option-Eingang ist ausgewählt.
Option HDMI 1/Option HDMI 2	Das HDMI 1- oder HDMI 2-Signal vom Option-Eingang ist ausgewählt.
Option HD SDI	Das HD SDI-Signal vom Option-Eingang ist ausgewählt.

Technische Daten

Bildverarbeitung

Bildschirmsystem LCD-Bildschirm mit a-Si-TFT-Aktivmatrix
Anzeigeauflösung 1.920 Punkte (horizontal) × 1.080 Zeilen (vertikal)
Abtastrate 13,5 MHz bis 162 MHz
Farbsystem NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Eingangssignal Siehe Seite 40.
Pixelgröße 0,744 (horizontal) × 0,744 (vertikal) mm
Bildgröße 1.428,5 (horizontal) × 803,5 (vertikal) mm
Bildschirmgröße 64,5 Zoll, Diagonale 1.639 mm

Eingänge und Ausgänge

REMOTE Netzwerkanschluss (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

VIDEO S VIDEO IN
Mini-DIN, 4-polig (× 1)
Y-Signal (Luminanz): 1 Vp-p ±2 dB, sync-negativ, 75-Ohm-Abschlusswiderstand
C-Signal (Chrominanz): Burst 0,286 Vp-p ±2 dB (NTSC), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
Burst, 0,3 Vp-p ±2 dB (PAL), 75-Ohm-Abschlusswiderstand
VIDEO IN BNC (× 1)
FBAS-Videosignal, 1 Vp-p ±2 dB, sync negativ, 75 Ohm (automatischer Abschluss)
VIDEO OUT BNC (× 1), Durchschleifung
AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-Sub, 15-polig (weiblich) (× 1) (Siehe Seite 43.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-Sub, 15-polig (weiblich) (× 1) (Siehe Seite 43)
AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

DVI DVI IN
(Konform mit der DVI-Spezifikation Rev. 1.0)
AUDIO IN
Stereominibuchse (× 1)
500 mV effektiver Mittelwert, hohe Impedanz

HDMI IN HDMI (1080p)

SPEAKER Lautsprecherausgang (L/R)
6 Ohm 7 W + 7 W

Allgemeines

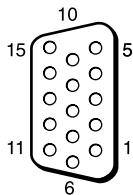
Betriebsspannung
100 bis 240 V Wechselstrom, 50/60 Hz
5,5 A (max.)
Leistungsaufnahme
540 W (max.)
Betriebsbedingungen
Temperatur: 0°C bis 35°C
Luftfeuchtigkeit: 20 % bis 90 % (nicht kondensierend)
Lager-/Transportbedingungen
Temperatur: −10°C bis +40°C
Luftfeuchtigkeit: 20 % bis 90 % (nicht kondensierend)
Abmessungen 1.557 × 931 × 183 mm (B/H/T, ohne vorstehende Teile)
Gewicht ca. 94 kg
Mitgeliefertes Zubehör
Netzkabel (1)
LAN-Kabel (1)
Netzsteckerhalter (2)
Fernbedienung RM-FW002 (1)
R6-Manganbatterien der Größe AA (2)
Bedienungsanleitung (1)
Installationsanleitung für Händler (1)

Sonderzubehör
Lautsprecher SS-SPG02
Zusatzadapter zur Systemerweiterung, BKM-FW-Serie

Sicherheitsbestimmungen
UL 60950-1, CSA Nr. 60950-1-03 (c-UL), FCC Klasse B, IC Klasse B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Änderungen, die dem technischen Fortschritt dienen, bleiben vorbehalten.

Stiftbelegung

HD15 RGB/COMPONENT (D-Sub, 15-polig)

Stift-Nr.	Signal
1	Videosignal Rot oder C_R/P_R
2	Videosignal Grün oder Y
3	Videosignal Blau oder C_B/P_B
4	Masse
5	Masse
6	Masse Rot
7	Masse Grün
8	Masse Blau
9	Nicht verwendet
10	Masse
11	Masse
12	SDA
13	Horizontales oder zusammengesetztes Synchronisationssignal oder FBAS-Videosignal (als Synchronisationssignal)
14	Vertikales Synchronisationssignal
15	SCL

Hinweis

Bei Farbdifferenzsignalen dürfen Sie an den Stiften 13 und 14 keine Synchronisationssignale einspeisen. Andernfalls wird das Bild unter Umständen nicht einwandfrei angezeigt.

Index

DE

ADVERTENCIA

Para evitar descargas eléctricas, no abra el aparato. Solicite asistencia técnica únicamente a personal especializado.

ADVERTENCIA

ESTE APARATO DEBE CONECTARSE A TIERRA.

Durante el transporte

Cuando transporte el monitor, sostenga la unidad, no los altavoces. Si no lo hace, los altavoces podrían separarse de la unidad y ésta podría caerse. Esto podría causar daños.

ADVERTENCIA

Al instalar la unidad, incluya un dispositivo de desconexión fácilmente accesible en el cableado fijo, o conecte el enchufe de alimentación a una toma de corriente fácilmente accesible cerca de la unidad. Si se produce una anomalía durante el funcionamiento de la unidad, accione el dispositivo de desconexión para desactivar la alimentación o desconecte el enchufe de alimentación.

La toma de corriente debe estar instalada cerca del equipo y ser de fácil acceso.

Para los clientes de Europa

El fabricante de este producto es Sony Corporation, con dirección en 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokio, Japón.
El Representante autorizado para EMC y seguridad del producto es Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stuttgart, Alemania. Para asuntos relacionados con el servicio y la garantía, consulte las direcciones entregadas por separado para los documentos de servicio o garantía.

ADVERTENCIA

1. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato recomendado con toma de tierra y que cumpla con la normativa de seguridad de cada país, si procede.
2. Utilice un cable de alimentación (cable de alimentación de 3 hilos)/conector/enchufe del aparato que cumpla con los valores nominales correspondientes en cuanto a tensión e intensidad.

Si tiene alguna duda sobre el uso del cable de alimentación/conector/enchufe del aparato, consulte a un técnico de servicio cualificado.

Índice

Introducción

Ubicación y función de componentes y controles

Conexiones

ES

Uso de los ajustes

Funciones de red

Otra información

Precauciones

Advertencia

- El Manual de instalación para distribuidores ha sido preparado para los distribuidores.
  Si los clientes efectúan la instalación o el cambio de posición descritos en este manual, correrán el peligro de accidentes y de sufrir lesiones graves. No lo instale ni lo cambie de posición nunca usted mismo. Para la instalación, consulte sin falta a un distribuidor Sony.
- No instale la unidad en un lugar cerca de fuentes de calor como radiadores o salidas de aire caliente, ni en lugares expuestos a la luz solar directa, polvo excesivo o vibraciones o golpes mecánicos.
- Cuando instale varios equipos con la unidad, es posible que se produzcan los siguientes problemas como, por ejemplo, un fallo de funcionamiento del mando a distancia, imagen con ruido o sonido con ruido, en función de la posición de la unidad y del otro equipo.

Seguridad

- Una placa de identificación que indica la tensión de funcionamiento, consumo de energía, etc. se encuentra en la parte posterior de la unidad.
- Si se introduce algún objeto sólido o líquido en la unidad, desenchúfela y haga que sea examinada por personal especializado antes de volver a utilizarla.
- Desenchufe la unidad de la toma mural si no va a utilizarla durante varios días o más.
- Para desconectar el cable de alimentación de ca, tire del enchufe. No tire nunca del propio cable.

Limpieza

Asegúrese de desenchufar el cable de alimentación antes de limpiar el monitor.

Limpieza del monitor

Impida que objetos contundentes rayen o presionen la superficie de la pantalla del monitor (panel protector) o que algún objeto golpee la superficie de la pantalla, ya que podría dañarla.
La pantalla del monitor cuenta con un tratamiento especial. Siga las instrucciones que se indican a continuación para evitar un rendimiento anormal debido a una manipulación indebida durante la limpieza.

- Retire con cuidado cualquier partícula de polvo de la superficie de la pantalla con un paño suave. Se recomienda utilizar un paño de limpieza o un paño para limpiar cristales.
- Si la suciedad es excesiva, limpie la superficie de la pantalla con un paño de limpieza suave ligeramente humedecido con agua.
- Nunca utilice alcohol, bencina, disolvente, soluciones de limpieza alcalinas o ácidos, limpiadores abrasivos o paños tratados químicamente, ya que podría dañar la superficie de la pantalla.

Limpieza de la carcasa

- Limpie las manchas con cuidado con un paño suave y seco. Las manchas difíciles se pueden eliminar con un paño ligeramente humedecido con una solución de detergente neutro; a continuación, limpie el área con un paño seco y suave.
- No utilice alcohol, bencina, disolvente ni insecticida. El uso de estos productos podría dañar el acabado de la superficie o borrar las marcas de la unidad.
- Existe el riesgo de que la pantalla resulte dañada si se frota con un paño sucio.
- Si permite un contacto prolongado de la unidad con productos de goma o plástico, ésta podría deformarse o el revestimiento protector podría desprenderse.

Panel LCD

- El panel LCD puede resultar dañado si se mantiene orientado hacia el sol durante un período de tiempo prolongado. Tenga esto en cuenta si instala la unidad en el exterior o junto a una ventana.
- No presione excesivamente ni raye la pantalla LCD. No coloque objetos sobre la pantalla. Si lo hace, la visualización podría interrumpirse o la pantalla LCD podría estropearse.
- Es posible que observe rayas horizontales en la pantalla o que aparezca una imagen residual. También es posible que la pantalla parezca más oscura cuando se utiliza en entornos a baja temperatura. Estos efectos no indican un fallo de funcionamiento de la pantalla. La pantalla regresará a su estado normal cuando aumente la temperatura ambiente.
- Si se deja visualizada una imagen fija durante mucho tiempo seguido, pueden producirse quemaduras o imágenes residuales en la pantalla. Las imágenes residuales desaparecen con el tiempo. Si se producen imágenes espectrales, utilice la función de protector de pantalla o bien algún tipo de software de imagen o vídeo para proporcionar un movimiento constante en la pantalla. Si se producen ligeras imágenes espectrales (imágenes residuales),es posible que sean menos llamativas, pero una vez que se han producido, nunca desaparecerán por completo.
- La superficie del panel, la carcasa o la estructura pueden calentarse durante su utilización. Esto no indica que se haya producido un problema.

Presencia de puntos brillantes y puntos oscuros en la pantalla LCD

A pesar de que la pantalla LCD se ha fabricado con tecnología de alta precisión con una resolución eficaz del 99,99% como mínimo, es posible que aparezcan puntos oscuros (defecto de los píxeles) o puntos brillantes (rojos, azules, verdes, etc.) que permanecen iluminados o parpadean. Se trata de fenómenos de las pantallas LCD que en ocasiones se generan debido a defectos de los píxeles y que pueden producirse después de haber utilizado el dispositivo durante un período de tiempo prolongado.
No indican fallos de funcionamiento de la pantalla.

Acerca de la utilización del monitor

- Verifique siempre que esta unidad funciona correctamente antes de utilizarlo. SONY NO SE HACE RESPONSIBLE POR DAÑOS DE NINGÚN TIPO, INCLUYENDO PERO NO LIMITADO A LA COMPENSACIÓN O PAGO POR LA PÉRDIDA DE GANANCIAS PRESENTES O FUTURAS DEBIDO AL FALLO DE ESTA UNIDAD, YA SEA DURANTE LA VIGENCIA DE LA GARANTÍA O DESPUÉS DEL VENCIMIENTO DE LA GARANTÍA NI POR CUALQUIER OTRA RAZÓN.
- La unidad no podrá enfriarse si se deja en un lugar sin ventilación. La unidad conservará el calor, lo que podría causar incendios o daños en la unidad. Evite dejar la unidad en una ubicación donde no pueda enfriarse correctamente.

Embalaje

No se deshaga de la caja ni de los materiales de embalaje. Son un contenedor ideal para transportar la unidad. Al trasladar la unidad, embálela tal como se indica en la caja.

Si desea realizar alguna consulta referente a la unidad, póngase en contacto con un proveedor Sony autorizado.

Precauciones sobre el entorno de instalación

Este monitor cumple la norma internacional sobre polvo y salpicaduras IEC60529 IP54, por lo que puede utilizarse en lugares en los que se genere mucho polvo y se produzcan salpicaduras de agua.
El rendimiento que se indica con los dígitos que siguen a IP se indica a continuación.

Protección contra el polvo

IP5_ Protegido contra el polvo.

Definición

La entrada del polvo no se evita por completo, pero no deberá entrar en cantidades suficientes como para causar interferencias en la operación correcta del equipo.

Protección contra salpicaduras

IP_4 Protegido contra salpicaduras de agua.

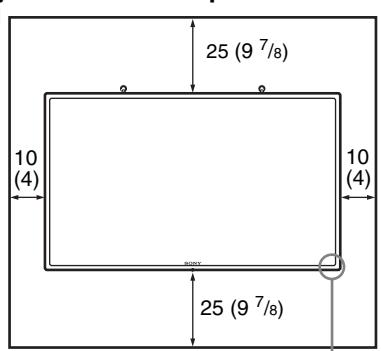
Definición

Las salpicaduras de agua contra la caja exterior desde cualquier dirección no tendrá efectos perjudiciales.

Deje espacio suficiente alrededor del monitor

- Para evitar que el encierro de la unidad produzca un recalentamiento interno, asegúrese de permitir una ventilación adecuada dejando alrededor del monitor un espacio mínimo, como se muestra en la ilustración.
- La temperatura ambiental debe ser de 0 °C a 35 °C (32 °F a 95 °F). Tenga cuidado cuando instale el monitor cerca del techo. La temperatura en esta ubicación puede ascender mucho más de lo normal, por lo que deberá reducir la temperatura ambiente.
- Mientras el monitor está encendido, se genera una cierta cantidad de calor en el interior. Esto podría causar quemaduras. Evite tocar la parte superior o posterior del monitor cuando esté encendido o justo después de haber entrado en el modo de espera.

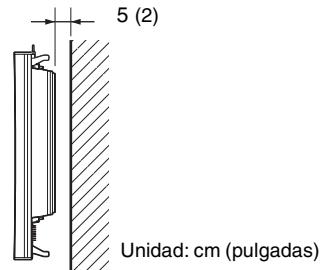
Montaje del monitor en posición horizontal

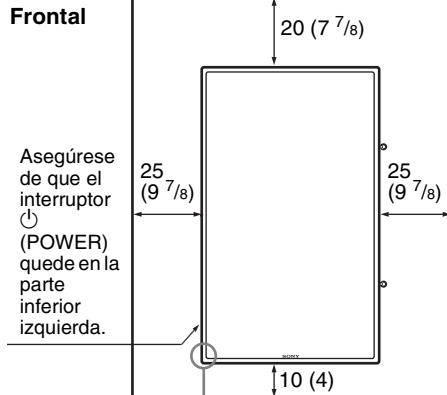
Frontal

25 (9 7/8)

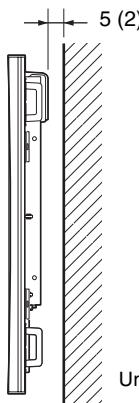
10 (4)

10 (4)

25 (9 7/8)

Sensor de luz/Sensor del mando a distancia

Lateral

Montaje del monitor en posición vertical

Sensor de luz/Sensor del mando a distancia

Lateral

Evite altas temperaturas y alta humedad

Si esta unidad debe quedar expuesta a altas temperaturas o alta humedad durante la utilización, o cuando las temperaturas puedan cambiar rápidamente debido al aire acondicionado o condiciones semejantes, es posible que se forme condensación de humedad en el interior del vidrio protector del monitor.

No bloquee el sensor de luz ni el sensor del mando a distancia

No ponga nada delante del sensor de luz ni del sensor del mando a distancia.
De lo contrario, podría evitar el funcionamiento de la función de ajuste automático del brillo o del mando a distancia.

Parte frontal

Componentes	Descripción
❶Logotipo de Sony	El logotipo de Sony se ilumina. En la pantalla del menú, podrá cambiar la posición del logotipo en la dirección vertical u horizontal. Cuando se adquiere la unidad, la posición se detecta automáticamente y se enciende el logotipo. Consulte “Logotipo” en la página 31. **Nota** Si no desea cambiar la orientación de la instalación, ajuste la “Posición” de “Logotipo” en “Paisaje” o “Retrato”, según corresponda. Es posible que el sensor de la orientación no funcione correctamente si recibe golpes o vibraciones.
❷ Indicador I / ⏻ (encendido/en espera)	• Se ilumina en verde cuando la pantalla está encendida. • Se ilumina en rojo cuando la pantalla se encuentra en modo de espera. Se ilumina en naranja cuando la pantalla entra en modo de ahorro de energía mientras se envía una señal desde un ordenador. Si el indicador I / ⏻ parpadea en rojo, consulte la página 38. **Nota** Si la opción “LED” de los ajustes de “Pantalla múltiple” está ajustada en “No” y la opción “Posición” no está ajustada en el botón derecho, el indicador no se iluminará en verde aunque la pantalla esté encendida, excepto en caso de que no haya señal o ésta no sea compatible.
❸ Sensor del mando a distancia	Receptor de luz del mando a distancia
❹ Sensor de luz	Este sensor sirve para el ajuste automático del brillo de la pantalla. Consulte la página 32. **Nota** No ponga ningún objeto delante del sensor de luz. De lo contrario, podría evitar el funcionamiento de la función de ajuste automático del brillo.

ES

Parte posterior

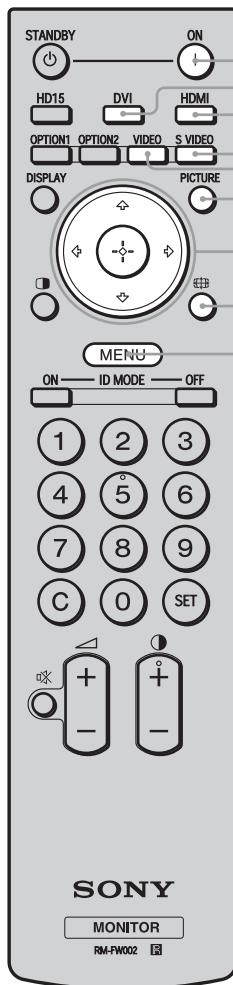
Componentes	Descripción
❶ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Sirve para conectar la pantalla a una red, mediante un cable 10BASE-T/100BASE-TX LAN. Es posible asignar varias configuraciones de la pantalla y controlar la visualización a través de la red desde un ordenador. **Precauciones** • Cuando conecte el cable LAN de la unidad al dispositivo periférico, utilice el cable suministrado para evitar un mal funcionamiento causado por interferencias de radiaciones. • Por razones de seguridad, no enchufe a este puerto un conector de cableado de dispositivo periférico que pueda tener una tensión excesiva. Siga las instrucciones de este puerto de conexión. **Nota** Si utiliza este conector, seleccione “Monitor” en “Puerto de red”. Consulte la página 31.
❷ **AUDIO** (minitoma estéreo)	Es el terminal de salida de audio del monitor para dispositivos externos. Da salida al sonido de la señal actualmente indicada en la pantalla. Emite una señal de audio correspondiente a la imagen activa* mientras se encuentra en el modo “P&P” o “PinP”. **Nota** • La configuración ajustada en “Modo sonido” o “Salida altavoz” no se percibirá. • El estado de reducción de ruido ajustado con el mando a distancia no se percibirá.
❸ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (mini DIN de 4 contactos): permite establecer una conexión con la salida de S Video (S Vídeo) de un equipo de vídeo. **VIDEO IN** (BNC): permite establecer una conexión con la salida de vídeo de un equipo de vídeo. **VIDEO OUT** (BNC): permite establecer una conexión con la entrada de vídeo de un equipo de vídeo. Se emitirá la entrada de imágenes de VIDEO IN. Se emite independientemente del estado de conexión de la alimentación (incluyendo en espera). **AUDIO IN**(minitoma estéreo): se conecta a la salida de audio de un equipo de vídeo.
❹ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub de 15 contactos)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** se conecta a la salida de señal RGB analógica o a la salida de señal de componente de un equipo de vídeo o de un ordenador. Consulte la página 43. **AUDIO IN:** recibe una señal de audio. Se conecta con la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo u ordenador. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** se conecta a la entrada de señal RGB analógica o de componente de un ordenador o de un equipo de vídeo. Consulte la página 43. Se emitirá la entrada de señales desde el conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN anterior. **Notas** • Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los contactos 13 y 14. Si lo hace, es posible que la imagen no se muestre correctamente. • Cuando la pantalla no está conectada a una fuente de alimentación de ca o si se encuentra en el modo de espera, no se emite ninguna señal a través de la toma HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT.
❺ **DVI** (DVI-D de 24 contactos)	**DVI IN:** se conecta al terminal de salida de señal digital del equipo de vídeo o del ordenador. Es compatible con la protección contra copia HDCP. **AUDIO IN:** recibe una señal de audio. Se conecta a la salida de la señal de audio de un equipo de vídeo, etc.

ES

Componentes	Descripción
❻ **HDMI IN**	HDMI (High-Definition Multimedia Interface) ofrece una interfaz entre la pantalla y cualquier dispositivo de audio y vídeo equipado con HDMI, así como ordenadores. Puede disfrutar de vídeo mejorado o de alta definición y de audio digital de dos canales. El modo apropiado para un dispositivo de audio y vídeo o un ordenador se selecciona automáticamente en función del equipo conectado. **Nota** Asegúrese de utilizar únicamente un cable HDMI (no suministrado) que contenga el logotipo HDMI. Se recomienda utilizar un cable HDMI de Sony (tipo alta velocidad).
❼ Ranura **OPTION** (puerto VIDEO/COM)	Esta ranura admite señales de vídeo y funciones de comunicación. Instale un adaptador opcional (serie BKM-FW) en esta ranura para disponer de más funciones del monitor. Consulte la página 16.
❽ Toma **AC IN**	Conecte el cable de alimentación de ca a esta toma y a la toma de pared. Consulte la página 17. Una vez conectado el cable de alimentación de ca, el indicador I / ⏻ se ilumina en rojo y la pantalla entra en modo de espera.
❾ Toma **SPEAKER**	Conecte los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) a esta toma. Para obtener más información acerca de la conexión de los altavoces, consulte el manual de instrucciones que acompaña a los altavoces. Para obtener más información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, consulte la página 19.
❿ ⏻ Interruptor **(POWER)**	Enciende o apaga (modo en espera) la pantalla.
⓫ Botón **(RETURN)**	Permite volver a la pantalla de menú anterior.
⓬ ⊕ Botón **(ENTER)**	Púlselo para establecer la selección.
⓭ Botón **–/+** (volumen/ cursor)	Púlselos para ajustar el volumen de los altavoces. Cuando se visualice el menú, púlselo para desplazar el cursor o ajustar un valor. Púlselo para establecer la selección.
⓮ Botón **MENU**	Púlselo para mostrar los menús.
⓯ Botón **(INPUT)**	Púlselo para seleccionar una señal procedente del conector INPUT u OPTION. La señal entrante cambia de la siguiente manera cada vez que pulsa el botón INPUT. → S Video → Video → HD15 → DVI → HDMI → OPTION ┐ Si no se ha instalado ningún adaptador opcional compatible con la señal de vídeo en la ranura OPTION, OPTION se omitirá.
⓰ Sensor de temperatura	Detecta la temperatura ambiental.
⓱ Posiciones de instalación de los altavoces	Instale los altavoces incluidos SS-SPG02.
⓲ Orificios para la instalación del soporte	Orificios para tornillos compatibles con el estándar VESA. (Inclinación: 600mm × 400 mm, tornillo: M6)
⓳ Perno de ojal	Se utiliza cuando se instala el monitor con una grúa. Después de la instalación, se aflojan los tornillos y se quita el perno de ojal.
⓴ Posición de instalación del perno de ojal (para instalación vertical)	Cuando se instala verticalmente el monitor, el perno de ojal se instala en esta posición. Solicite la instalación del perno de ojal a su distribuidor o al centro de servicio de Sony.
㉑ Cubierta de los cables	Esta cubierta evita que se introduzcan el agua y el polvo en el espacio que hay entre los cables y la cubierta de terminales. Cuando conecte los cables, afloje los tornillos y quite la cubierta de los cables.
㉒ Cubierta de terminales	Esta cubierta evita que se introduzcan el agua y el polvo en el área de los terminales. Cuando conecte los cables, afloje los tornillos y quite la cubierta de terminales.

* Estado en el que se emite sonido y la señal de entrada se puede cambiar.

Mando a distancia

Descripción de los botones

❶ Interruptor POWER ON

Púlselo para encender la pantalla.

❷ Botón DVI

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al puerto DVI.

❸ Botón HDMI

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al puerto HDMI.

❹ Botón S VIDEO

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al conector S VIDEO IN desde un equipo de vídeo.

❺ Botón VIDEO

Púlselo para seleccionar la entrada de señal al conector VIDEO IN desde un equipo de vídeo.

❻ Botón PICTURE

Selecciona “Modo imagen”. Cada vez que se pulsa, se alterna entre “Vívido”, “Estándar”, “Personalizado”, “Conferencia” y “TC Control”.

❼ Botones ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕

Los botones ⇧/⇩/⇦/⇨ desplazan el cursor del menú (amarillo) y ajustan los valores, etc. Al pulsar ⊕ se entra en el menú seleccionado o se fija el elemento de ajuste.
En el modo “PAP”, es posible cambiar el ajuste Picture and Picture. Consulte la página 14.

❽ Botón ⊞

Púlselo para cambiar la relación de aspecto. Consulte la página 13.

❾ Botón MENU

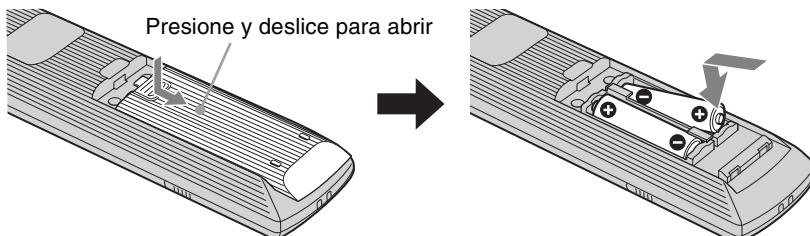
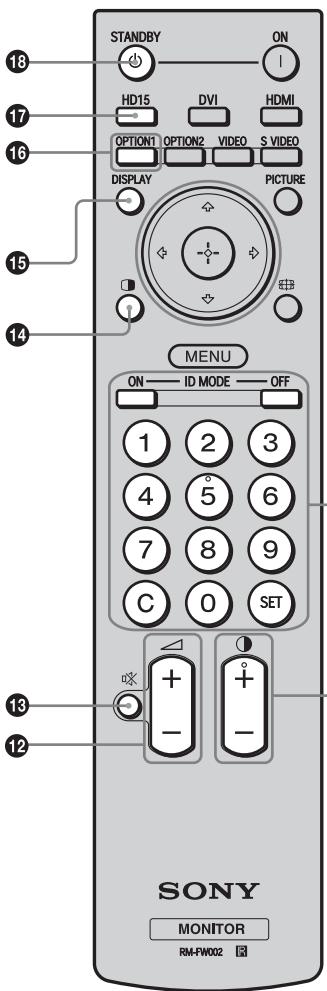
Púlselo para mostrar los menús. Vuelva a pulsarlo para ocultarlos. Consulte la página 20.

ES

Notas

- El botón 5 y el botón ◑ cuentan con un punto táctil. Utilice el punto táctil como referencia cuando utilice la pantalla.
- Introduzca dos pilas manganesas AA (R6) (suministradas) haciendo coincidir los polos ⊕ y ⊖ de las pilas con el dibujo que se encuentra en el interior del compartimiento de las pilas del mando a distancia.

Precaución

Peligro de explosión si se sustituye la batería por una del tipo incorrecto. Reemplace la batería solamente por otra del mismo tipo o de un tipo equivalente recomendado por el fabricante. Cuando deseche la batería, debe cumplir con las leyes de la zona o del país.

❿ Botones ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

Es posible utilizar una pantalla específica sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

- Botón ON: Púlselo para mostrar el “Número índice” en la pantalla.
- Botón 0-9: Púlselo para introducir el “Número índice” de la pantalla que desea utilizar.
- Botón SET: Púlselo para ajustar el “Número índice” introducido.
- Botón C: Púlselo para borrar el “Número índice” introducido.
- Botón OFF: púlselo para volver al modo normal.

Consulte la página 15.

⓫ Botón ◑ +/–

Ajusta el nivel de contraste de la imagen.

⓬ Botón ◿ +/–

Púlselo para ajustar el volumen.

⓭ Botón 🔇

Púlselo para silenciar el sonido. Púlselo de nuevo para restablecer el sonido.

⓮ Botón ◨

Selecciona el modo “PAP” (Picture And Picture). Cada vez que lo pulse, alternará entre “P&P”, “PinP” y la pantalla de una sola imagen.
Consulte la página 14.

⓯ Botón DISPLAY

Púlselo para visualizar la entrada seleccionada en estos momentos, el tipo de señal de entrada y el ajuste de “Modo panorámico” de la pantalla. Vuelva a pulsarlo para ocultarlos. Si deja que la información permanezca en pantalla, ésta desaparecerá automáticamente transcurrido un breve período de tiempo.

⓰ Botón OPTION 1

Cuando se instala un adaptador opcional, selecciona una señal de entrada desde el equipo conectado al adaptador opcional.
Si el adaptador opcional instalado cuenta con varios conectores de entrada, cada vez que pulse el botón alternará entre las señales de entrada.

⓱ Botón HD15

Púlselo para seleccionar la señal de entrada del conector HD15 (RGB/COMPONENT). La señal RGB o la señal de componente se seleccionan automáticamente o manualmente de acuerdo con los ajustes del menú.

⓲ Botón STANDBY

Púlselo para cambiar la pantalla al modo de espera.

Nota

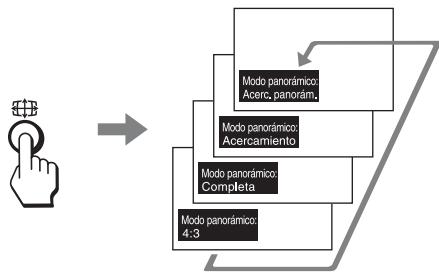
No es posible utilizar el botón OPTION 2 en esta pantalla.

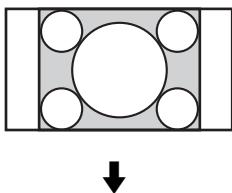
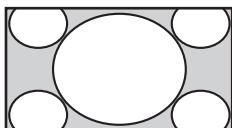
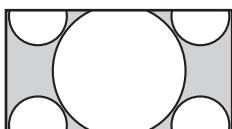
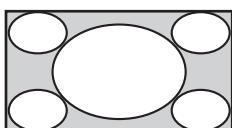
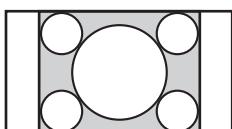
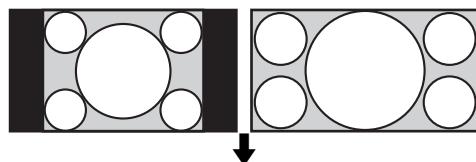
Botones especiales del mando a distancia

Utilización del modo ancho

Es posible cambiar el formato de la pantalla.

Sugerencia

Es posible acceder a los ajustes de "Modo panorámico" en los ajustes de "Pantalla". Consulte la página 27, 28.

Para la entrada de un equipo de vídeo como, por ejemplo, un vídeo, un DVD, etc. (la entrada del ordenador)

Fuente original 4:3

Acerc. panorám.

Acercamiento

Completa

4:3

Fuente original 16:9

Acerc.

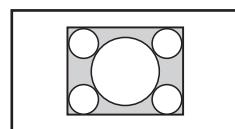
Acerc

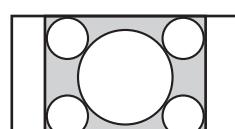
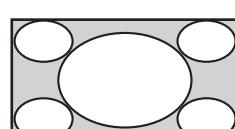
Com

4:3

ES

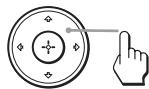
Para la entrada de ordenador

Las imágenes que aparecen a continuación muestran la resolución de entrada de 800×600

Real

Completa 1

Completa 2

Nota

Si la resolución de entrada es superior a la del panel (1.920 × 1.080), la visualización de la opción Real será la misma que la de la opción Completa 1.

Utilización del ajuste PAP

Puede mostrar dos imágenes procedentes de dos fuentes de señales distintas, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra.
También puede cambiar las imágenes activas o cambiar el balance de los tamaños de imagen.
Es posible acceder a “Ajuste de PAP” en los ajustes de “Pantalla”. Consulte la página 25.

El cursor muestra la imagen activa

Para P&P

Para PinP

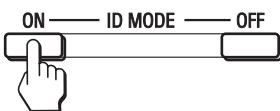
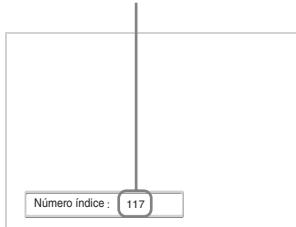
Sugerencias

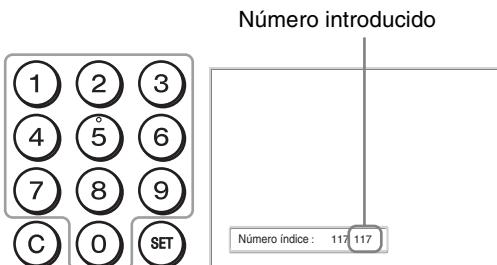
- El cursor que indica que la imagen se encuentra activa desaparecerá en 5 segundos.
- La imagen se puede ajustar a 15 tamaños. (Para P&P)

Utilización del botón ID MODE

Es posible utilizar una pantalla específica sin que ésta afecte a otras pantallas instaladas al mismo tiempo.

1 Pulse el botón **ON** .

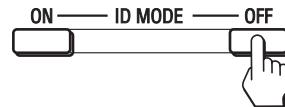
El "Número índice" de la pantalla se muestra en caracteres negros en el menú de la parte inferior izquierda de la pantalla. (A cada pantalla se le asigna un "Número índice" individual predefinido de 1 a 255).

2 Introduzca el "Número índice" de la pantalla que desea utilizar mediante los botones 0 - 9 del mando a distancia.

El número introducido aparece al lado del "Número índice" de cada pantalla.

3 Pulse el botón **SET** .

Los caracteres de la pantalla seleccionada cambian a verde mientras que los otros cambian a rojo.

Puede utilizar sólo la pantalla específica indicada con caracteres verdes.
Sólo el funcionamiento del interruptor POWER ON y el botón STANDBY/ID MODE-OFF resulta también efectivo en otras pantallas.

4 Cuando haya terminado de cambiar los ajustes, pulse el botón **OFF**.

La visualización vuelve a la pantalla normal.

Para corregir el Número índice

Pulse el botón C para borrar el "Número índice" introducido actualmente. Vuelva al paso 2 e introduzca un nuevo "Número índice".

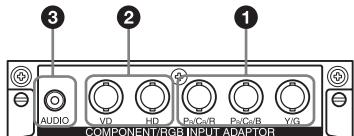
Sugerencia

Para cambiar el "Número índice" de la pantalla, consulte "Número índice" en "Ajuste de control" en la página 29.

ES

Adaptadores opcionales

El terminal de la ranura OPTION ❼ (página 10) del lateral del equipo es de ranura. Puede cambiarse por el siguiente adaptador opcional (no suministrado).
Para obtener más información acerca de la instalación, póngase en contacto con su distribuidor Sony.
Para obtener más información acerca de los adaptadores opcionales para la ampliación del sistema, consulte los manuales de instrucciones correspondientes junto con este manual.

Adaptador COMPONENT/RGB INPUT BKM-FW11

❶ **Y/G, P_B/C_B/B, P_R/C_R/R IN (BNC)**: se conecta a la salida de señal RGB analógica o de componente de un ordenador o de un equipo de vídeo.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: se conecta a la salida de la señal de sincronización de un ordenador.

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de no recibir señales de sincronización a través de los conectores HD y VD. Si lo hace, es posible que la imagen no se muestre correctamente.

❸ **AUDIO** (minitoma estéreo): recibe la señal de audio. Se conecta con la salida de audio de un equipo de vídeo u ordenador.

Adaptador HDMI INPUT BKM-FW15

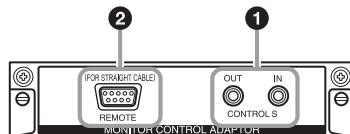
Puede disfrutar de vídeo mejorado o de alta definición y de audio digital de dos canales.
El modo apropiado para un dispositivo de audio y vídeo o un ordenador se selecciona automáticamente en función del equipo conectado.

Nota

Asegúrese de utilizar únicamente un cable HDMI (no suministrado) que contenga el logotipo HDMI. Se recomienda utilizar un cable HDMI de Sony (tipo alta velocidad).

Adaptador HD-SDI/SDI INPUT BKM-FW16

Se conecta a la salida de señales HD-SDI de un dispositivo de vídeo.

Adaptador MONITOR CONTROL BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (minitoma): es posible controlar varios equipos con un solo mando a distancia cuando la pantalla está conectada al conector CONTROL S del equipo de vídeo u otra pantalla. Conecte el conector CONTROL S OUT de este adaptador al conector CONTROL S IN del otro equipo y, a continuación, conecte el conector CONTROL S IN del adaptador al conector CONTROL S OUTdel otro equipo.

❷ **REMOTE** (D-sub de 9 contactos): este conector permite controlar a distancia la pantalla mediante el protocolo RS-232C. Para obtener más información, póngase en contacto con un distribuidor Sony autorizado.

Notas

- El conector REMOTE y el conector REMOTE (LAN) ❶ (página 9) del lateral del equipo no se pueden usar al mismo tiempo.
- Si utiliza el conector REMOTE, seleccione “Option” en “Puerto de red”. (página 31)

Adaptador STREAMING RECEIVER BKM-FW50

Con este adaptador podrá utilizar este monitor para señal digital.
Podrá reproducir con facilidad películas, fotografías, o música de fondo en los formatos de datos designados simplemente insertando un medio de grabación. También podrá emplear una red para ver en el monitor las imágenes procedentes de un ordenador remoto.

Nota

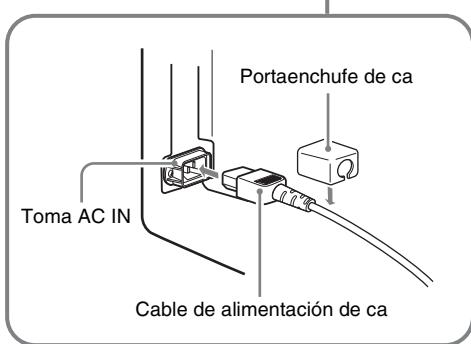
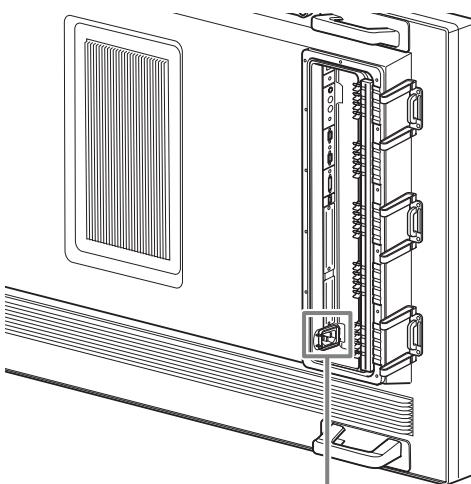
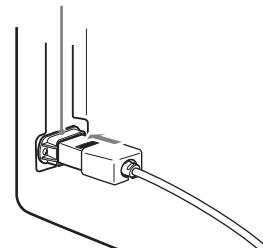
Se requiere una tarjeta CompactFlash.

- CompactFlash es una marca comercial registrada de SanDisk Corporation en los Estados Unidos de América.

Antes de comenzar

- En primer lugar, compruebe que ha desactivado la alimentación de todos los equipos.
- Emplee cables adecuados para el equipo que vaya a conectar.
- Inserte los cables completamente en los conectores o las tomas para realizar la conexión. Una conexión floja puede producir zumbidos y otros ruidos.
- Para desconectar el cable, tire del enchufe. Nunca tire del propio cable.
- Asimismo, consulte el manual de instrucciones del equipo que va a conectar.
- Inserte la clavija firmemente en la toma AC IN.
- Utilice uno de los dos portaenchufes de ca (suministrados) para sujetar la clavija de ca firmemente.

Conexión del cable de alimentación de ca y otros cables

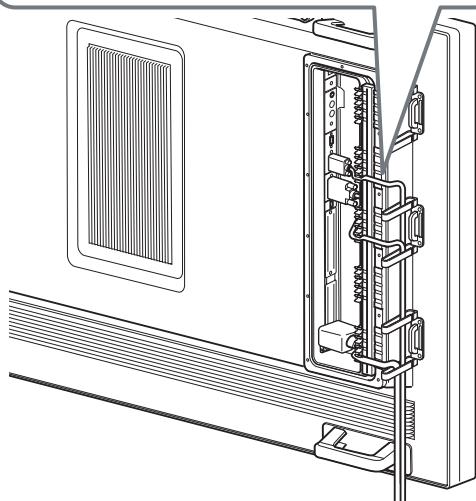
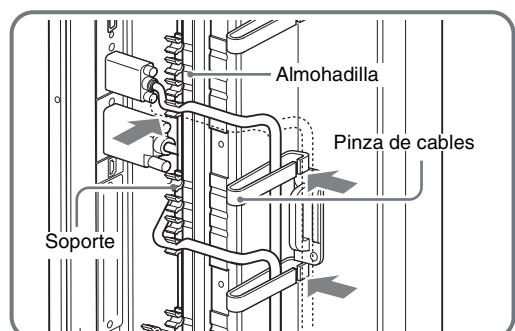
1 Enchufe el cable de alimentación de ca en la toma AC IN. A continuación, conecte el portaenchufe de ca (suministrado) al cable de alimentación de ca.

2 Deslice el portaenchufe de ca sobre el cable hasta que se conecte a la cubierta de la toma de ca AC IN.

Para retirar el cable de alimentación de ca

Tras apretar el portaenchufe de ca y liberarlo, agarre el enchufe y tire del cable de alimentación de ca.

3 Conecte los cables a los terminales y fije el cable de alimentación de ca y los otros cables.

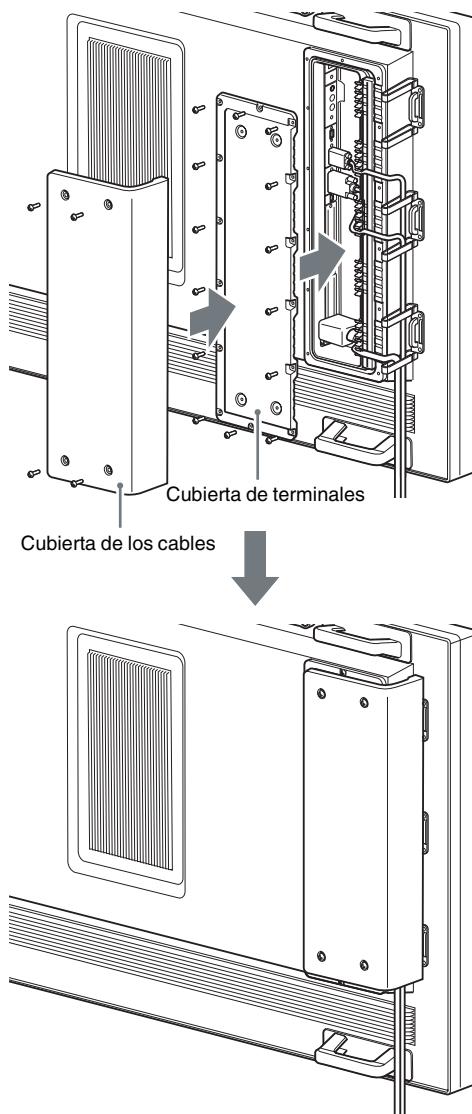
Empuje los cables en ángulo recto contra la almohadilla empleando las ranuras del soporte y de la almohadilla, y fíjelos con la pinza de cables.

Nota

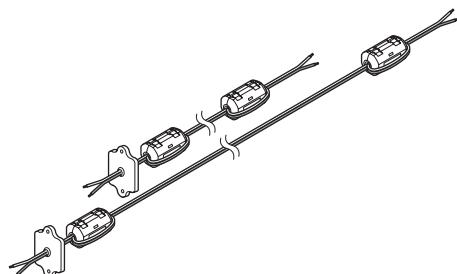
Si utiliza altavoces (no suministrados), prosiga con su conexión.

4 Coloque la cubierta de terminales y la cubierta de los cables en el monitor.

Cuando lo emplee en un lugar que deba estar en conformidad con la norma internacional IP54, coloque siempre la cubierta de terminales y la cubierta de los cables.

Nota

Cuando fije la cubierta, apriete uniformemente los tornillos. Si emplea un destornillador eléctrico, ajuste el par de apriete dentro del margen de 0,8 N·m a 1,0 N·m (8 kgf·cm a 10 kgf·cm).

Conexión de los altavoces

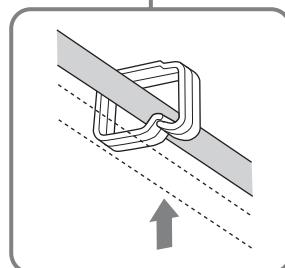
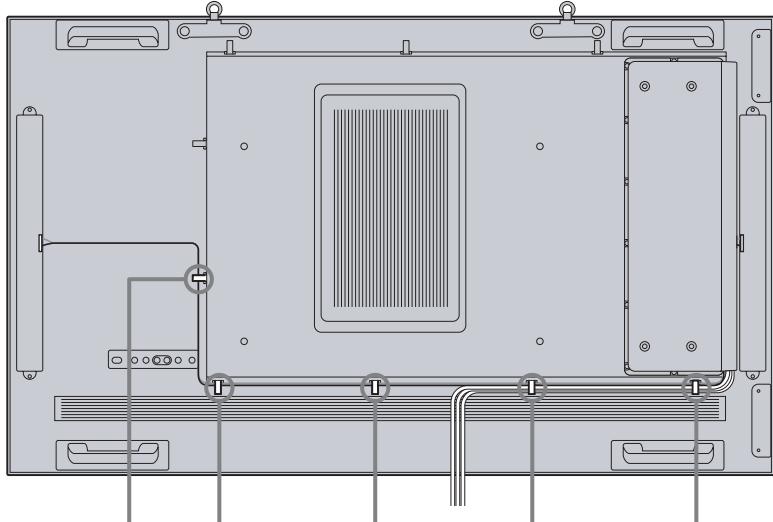
Conecte los altavoces SS-SPG02 (no suministrados). Para efectuar la conexión, emplee los siguientes cables de altavoz suministrados con los altavoces.

Cable de altavoz (con cubierta de terminales)

- La longitud de los cables de altavoz izquierdo y derecho es distinta. El cable más corto es para el altavoz izquierdo, y el más largo es para el altavoz derecho. Verifique las etiquetas que hay en la parte posterior de los altavoces para conectarlos correctamente.
- Cuando lo emplee en un lugar que deba estar en conformidad con la norma internacional IP54, coloque siempre la cubierta de terminales.
- Para obtener más información acerca de la conexión de los altavoces, consulte el manual de instrucciones que acompaña a los altavoces. Para obtener más información sobre cómo pasar los cables de los altavoces, vea la página 19.

Nota

Cuando coloque verticalmente el monitor, el altavoz no cumplirá la norma internacional IP54.

Organización de los cables

Puede sujetar los cables de forma eficaz empleando los portacables suministrados con el monitor.

ES

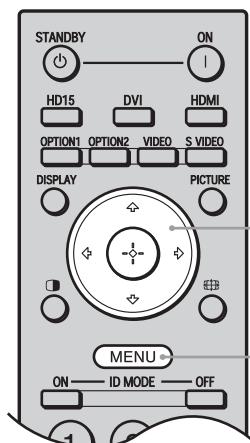
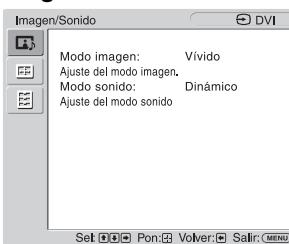
Descripción general de los menús

1 Pulse el botón MENU.

2 Pulse ⇧/⇩ para resaltar el icono de menú deseado.

3 Pulse ⊕ o ⇨.
Para salir del menú, pulse el botón MENU.

Para cambiar el idioma en pantalla

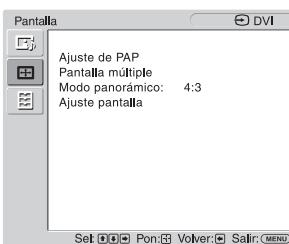
Seleccione el idioma deseado para los ajustes y mensajes en pantalla entre “English”, “Français”, “Deutsch”, “Español”, “Italiano” o “日本語”.
“English” (inglés) está establecido como el ajuste predeterminado.
Consulte la página 29.

Los ajustes le proporcionan acceso a las siguientes funciones:

Ajuste | **Le permite ajustar/cambiar**

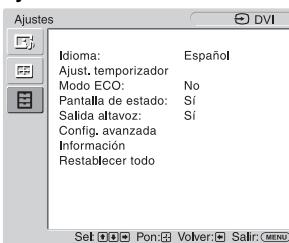
Imagen/Sonido

Modo imagen: (página 21, 23)
Ajuste del modo imagen. (página 21, 23)
Modo sonido: (página 22, 24)
Ajuste del modo sonido (página 22, 24)

Nota

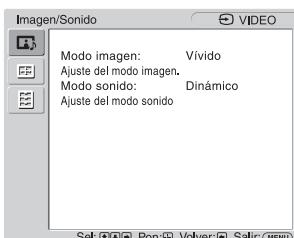
No podrá ajustar ni cambiar “Modo imagen” ni “Ajuste del modo imagen.” cuando no haya entrada de señal.

Pantalla

Ajuste de PAP (página 25, 28)
Pantalla múltiple (página 26, 28)
Modo panorámico: (página 27, 28)
Ajuste pantalla (página 27, 28)

Ajustes

Idioma: (página 29)
Ajust. temporizador (página 29)
Modo ECO: (página 29)
Pantalla de estado: (página 29)
Salida altavoz: (página 29)
Config. avanzada (página 29)
Información (página 32)
Restablecer todo (página 32)

* En función de los ajustes realizados, es posible que los iconos del menú que se visualizan en la parte inferior de la pantalla no funcionen.

Ajustes de Imagen/Sonido

Para la entrada de vídeo

Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse ⇧/⇩/⇦/⇨.
Pulse ⊕ para confirmar la selección.
Los ajustes de "Imagen/Sonido" incluyen las siguientes opciones:

Modo imagen

"Vívido": permite mejorar el contraste y la nitidez de la imagen.
"Estándar": permite aplicar los ajustes estándar de la imagen.
"Personalizado": permite guardar los ajustes preferidos.
"Conferencia": ajuste la calidad de imagen para videoconferencias con iluminación fluorescente.
"TC Control": este ajuste es común con "Vívido". Además, puede utilizar la función "True Color Control" (mencionada posteriormente).

Sugerencia

Para cambiar de una opción de "Modo imagen" a otra, también puede utilizar PICTURE en el mando a distancia.

Notas

- "Es posible que "Conferencia" no surta efecto en función del entorno o del sistema de videoconferencia que utilice. En tal caso, ajuste la calidad de imagen, seleccione otro ajuste de "Modo imagen", etc.
- En "TC Control", "Mejora de brillo" se ha fijado en No.

Ajuste del modo imagen.

"Luz de fondo": permite aclarar u oscurecer la pantalla.
"Contraste": permite aumentar o disminuir el contraste de la imagen.
"Brillo": permite oscurecer o aclarar la imagen.
"Crominancia": permite aumentar o disminuir la intensidad del color.
"Fase": permite ajustar los tonos de color de la imagen.
"Nitidez": permite aumentar la nitidez o suavizar la imagen.
"Reducción de ruido": permite disminuir el nivel de ruido del equipo conectado. Seleccione entre las opciones "No", "Bajo", "Medio" y "Alto" para definir el nivel de ruido.
"CineMotion": Seleccione "Automático" para optimizar la pantalla de visualización mediante la detección automática del contenido de la película y la aplicación del proceso de conversión inversa 3-2 ó 2-2 (pull down). La imagen en movimiento aparecerá con un aspecto más claro y natural. Seleccione "No" para desactivar la detección.
"Imagen dinámica": Seleccione "Sí" para mejorar el contraste haciendo el blanco más luminoso y el negro más oscuro.
"Correc. Gama": ajusta automáticamente el balance entre las partes claras y oscuras de las imágenes. Seleccione entre "Alto", "Medio", "Bajo" y "DICOM GSDF Sim." para realizar los ajustes.

Notas

- No podrá realizar el ajuste de "Correc. Gama" cuando "Modo imagen" esté ajustado en "Conferencia".
- "DICOM GSDF Sim." sólo puede ajustarse cuando hay una entrada DVI o HDMI.
  El ajuste de gama se simula mediante la función Grayscale Standard Display Function (GSDF) de las normas de Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM). No obstante, este ajuste sólo sirve de referencia y no puede utilizarse para diagnósticos médicos.

"Temp. color": El tono blanco puede ajustarse según las preferencias personales. Los ajustes predeterminados de fábrica están ajustados a la temperatura del color.
- **"Fría":** permite dar a los colores blancos un tinte azul.
- **"Neutra":** permite dar a los colores blancos un tinte neutro.
- **"Cálida":** permite dar a los colores blancos un tinte rojo.
- **"Personalizado":** permite ajustar una gama más amplia de tono blanco que lo anterior.

ES

Sugerencia

Seleccione “Restablecer” en la pantalla de ajustes de tonos para restaurar los ajustes predeterminados.

“Mejora de brillo”: permite acentuar el brillo de la imagen.

Notas

- Sólo podrá realizar el ajuste de “Mejora de brillo” cuando “Modo imagen” esté ajustado en “Vívido”.
- Si “Mejora de brillo” está ajustado en “On”, no se pueden cambiar los ajustes “Luz de fondo”, “Contraste”, “Brillo” ni “Temp. color”.
- Si “Mejora de brillo” está ajustado en “On”, “Luz de fondo” está ajustada en “Máx”, y “Modo ECO” se ajusta en “No”, el brillo será el máximo.

“True Color Control”: permite ajustar los detalles de tono y de saturación de cada uno de los cuatro colores: rojo, verde, amarillo y azul, además de resaltar colores específicos en la imagen.

Seleccione el color que desea ajustar y podrá comprobar y consultar la parte de la imagen actual que se ajustará. A continuación, podrá ajustarla mediante el cuadro de diálogo de matriz del color.

Notas

- Esta opción puede ajustarse cuando “Modo imagen” está ajustado en “TC Control”.
- En el modo “PAP” no es posible seleccionar esta opción. Aunque seleccione esta opción en la pantalla de una sola imagen, es posible que el ajuste de esta opción no se aplique en el modo “PAP”.

“Restablecer”: permite restaurar todos los ajustes de “Ajuste del modo imagen.” a los predeterminados.

Notas

- “Fase” no está disponible cuando la entrada es Vídeo o S Video y el sistema de color de la señal de vídeo no es NTSC.
- “Imagen dinámica” no estará disponible cuando “Modo imagen” esté ajustado en “Conferencia” o “TC Control.”
- Es posible realizar configuraciones y ajustes para cada “Modo imagen”, pero las configuraciones para “Luz de fondo,” “Reducción de ruido” y “CineMotion” son comunes para todo “Modo imagen.”
- La opción “Imagen dinámica” y “CineMotion” no funcionan en el modo PAP.

Modo sonido

Es posible ajustar la salida de sonido de los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) mediante varios ajustes de “Modo sonido”.

“Dinámico”: permite mejorar la calidad de los agudos y graves.

“Estándar”: Ajuste plano.

“Personalizado”: permite guardar los ajustes preferidos.

Ajuste del modo sonido

“Agudos”: permite aumentar o disminuir los sonidos más agudos.

“Graves”: permite aumentar o disminuir los sonidos más graves.

“Balance”: permite acentuar el balance del altavoz izquierdo o derecho.

“Envolvente”: permite seleccionar el modo envolvente según el tipo de imagen.

“No”: sin salida envolvente.

“Sala”: cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.

“Simul.”: cuando desee dar a los programas monoaurales normales o a los informativos una calidad más realista gracias a la simulación de sonido estéreo.

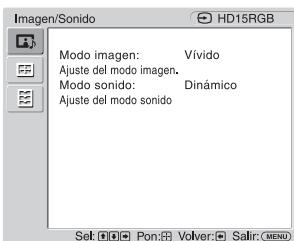
“Restablecer”: permite restaurar todos los ajustes de “Ajuste del modo sonido” a los predeterminados.

Sugerencias

- Es posible cambiar los ajustes de “Ajuste del modo imagen.” (“Contraste”, “Brillo”, “Crominancia ”, etc.) para cada “Modo imagen”.
- Es posible configurar los ajustes de “Ajuste del modo sonido” (“Agudos” y “Graves”) cuando “Modo sonido” está ajustado en “Personalizado”.

Nota

En el modo “PAP”, sólo se pueden establecer los ajustes “Imagen/Sonido” de la imagen activa.

Para la entrada de ordenador

Cuando la entrada se cambia a un fuente de entrada de ordenador, se le aplicarán los ajustes de “Imagen/Sonido” específicos.
Los ajustes “Imagen/Sonido” del ordenador incluyen las siguientes opciones:

Modo imagen

“Vívido”: permite mejorar el contraste y la nitidez de la imagen.
“Estándar”: permite aplicar los ajustes estándar de la imagen.
“Personalizado”: permite guardar los ajustes preferidos.
“Conferencia”: ajuste la calidad de imagen para videoconferencias con iluminación fluorescente.
“TC Control”: este ajuste es común con “Vívido”. Además, puede utilizar la función “True Color Control” (mencionada posteriormente).

Sugerencia

Para cambiar de una opción de “Modo imagen” a otra, también puede utilizar PICTURE en el mando a distancia.

Notas

- “Es posible que “Conferencia” no surta efecto en función del entorno o del sistema de videoconferencia que utilice. En tal caso, ajuste la calidad de imagen, seleccione otro ajuste de “Modo imagen”, etc.
- En “TC Control”, “Mejora de brillo” se ha fijado en No.

Ajuste del modo imagen.

“Luz de fondo”: permite aclarar u oscurecer la pantalla.
“Contraste”: permite aumentar o disminuir el contraste de la imagen.
“Brillo”: permite oscurecer o aclarar la imagen.
“Correc. Gama”: ajusta automáticamente el balance entre las partes claras y oscuras de las imágenes. Seleccione entre “Alto”, “Medio”, “Bajo” y “DICOM GSDF Sim.” para realizar los ajustes.

Notas

- No podrá realizar el ajuste de “Correc. Gama” cuando “Modo imagen” esté ajustado en “Conferencia”.
- “DICOM GSDF Sim.” sólo puede ajustarse cuando hay una entrada DVI o HDMI.
  El ajuste de gama se simula mediante la función Grayscale Standard Display Function (GSDF) de las normas de Digital Imaging and Communications in Medicine (DICOM). No obstante, este ajuste sólo sirve de referencia y no puede utilizarse para diagnósticos médicos.

“Temp. color”: El tono blanco puede ajustarse según las preferencias personales. Los ajustes predeterminados de fábrica están ajustados a la temperatura del color.

“Fría”: permite dar a los colores blancos un tinte azul.
“Neutra”: permite dar a los colores blancos un tinte neutro.
“Cálida”: permite dar a los colores blancos un tinte rojo.
“Personalizado”: permite ajustar una gama más amplia de tono blanco que lo anterior.

Sugerencia

Seleccione “Restablecer” en la pantalla de ajustes de tonos para restaurar los ajustes predeterminados.

“Mejora de brillo”: permite acentuar el brillo de la imagen.

Notas

- Sólo podrá realizar el ajuste de “Mejora de brillo” cuando “Modo imagen” esté ajustado en “Vívido”.
- Si “Mejora de brillo” está ajustado en “On”, no se pueden cambiar los ajustes “Luz de fondo”, “Contraste”, “Brillo” ni “Temp. color”.
- Si “Mejora de brillo” está ajustado en “On”, “Luz de fondo” está ajustada en “Máx”, y “Modo ECO” se ajusta en “No”, el brillo será el máximo.

“True Color Control”: permite ajustar los detalles de tono y de saturación de cada uno de los cuatro colores: rojo, verde, amarillo y azul, además de resaltar colores específicos en la imagen.
Seleccione el color que desea ajustar y podrá comprobar y consultar la parte de la imagen actual que se ajustará. A continuación, podrá ajustarla mediante el cuadro de diálogo de matriz del color.

ES

Notas

- Esta opción puede ajustarse cuando “Modo imagen” está ajustado en “TC Control”.
- En el modo “PAP” no es posible seleccionar esta opción. Aunque seleccione esta opción en la pantalla de una sola imagen, es posible que el ajuste de esta opción no se aplique en el modo “PAP”.

“Restablecer”: permite restaurar todos los ajustes de “Ajuste del modo imagen.” a los predeterminados.

Nota

Es posible realizar configuraciones y ajustes para cada “Modo imagen”, pero las configuraciones para “Luz de fondo” son comunes para todo “Modo imagen.”

Modo sonido

Es posible ajustar la salida de sonido de los altavoces SS-SPG02 (no suministrados) mediante varios ajustes de “Modo sonido”.
“Dinámico”: permite mejorar la calidad de los agudos y graves.
“Estándar”: Ajuste plano.
“Personalizado”: permite guardar los ajustes preferidos.

Ajuste del modo sonido

“Agudos”: permite aumentar o disminuir los sonidos más agudos.
“Graves”: permite aumentar o disminuir los sonidos más graves.
“Balance”: permite acentuar el balance del altavoz izquierdo o derecho.
“Envolvente”: permite seleccionar el modo envolvente según el tipo de imagen.

- **“No”:** sin salida envolvente.
- **“Sala”:** cuando desee proporcionar una calidad más realista al sonido en estéreo de películas o programas musicales.
- **“Simul.”:** cuando desee dar a los programas monoaurales normales o a los informativos una calidad más realista gracias a la simulación de sonido estéreo.

“Restablecer”: permite restaurar todos los ajustes de “Ajuste del modo sonido” a los predeterminados.

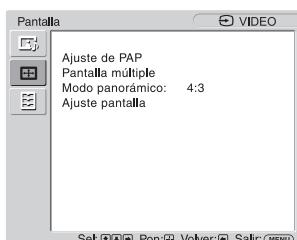
Sugerencias

- Es posible cambiar los ajustes de “Ajuste del modo imagen.” (“Contraste”, “Brillo”, “Crominancia ”, etc.) para cada “Modo imagen”.
- Es posible configurar los ajustes de “Ajuste del modo sonido” (“Agudos” y “Graves”) cuando “Modo sonido” está ajustado en “Personalizado”.

Notas

- “Crominancia”, “Fase”, “Nitidez”, “Reducción de ruido”, “CineMotion” y “Imagen dinámica” no se encuentran disponibles para la entrada de ordenador.
- En el modo “PAP”, sólo se pueden establecer los ajustes de “Imagen/Sonido” de la imagen activa.

Pantalla Ajuste

Para la entrada de vídeo

Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse ⇧/⇩/⇦/⇨.
Pulse ⊕ para confirmar la selección.
Los ajustes de “Pantalla” incluyen las siguientes opciones:

Ajuste de PAP

Permite mostrar dos imágenes procedentes de distintas fuentes de señal, como un ordenador y un vídeo, una al lado de la otra.

“**PAP**”

“No”: desactiva la función “PAP”.
“P&P”: muestra dos imágenes una junto a la otra y a la vez.
“PinP”: muestra dos imágenes, una de ellas insertada en la imagen principal.

Para P&P

“Imagen activa”: permite seleccionar la pantalla que se va a utilizar.
“Izquierda”: permite activar la imagen de la izquierda para utilizarla.
“Derecha”: permite activar la imagen de la derecha para utilizarla.
“Cambiar”: permite cambiar las imágenes situadas una junto a la otra.
“Tamaño imagen”: permite ajustar el equilibrio entre dos imágenes una al lado de la otra. Para ajustar el equilibrio, pulse el botón ⇦ o ⇨ y, a continuación, pulse el botón ⊕ para definir el ajuste. (página 14)

Para PinP

“Imagen activa”: permite seleccionar la pantalla que se va a utilizar.
“Principal”: permite activar la imagen principal para utilizarla.
“Sub”: permite activar la imagen insertada para utilizarla.
“Cambiar”: permite cambiar las imágenes principal e insertada.
“Tamaño imagen”: permite ajustar el tamaño de la imagen insertada. Seleccione entre “Grande” o “Pequeña”.
“Posición de la imagen”: permite ajustar la posición de la imagen insertada ⇧/⇩/⇦/⇨, presionando después ⊕.

Notas

- En el modo “PAP”, el “Modo imagen” y el “Modo sonido” quedan reflejados en los ajustes de la imagen principal.
- No es posible modificar la relación de aspecto en el modo “PAP”. La imagen se visualiza con la relación de aspecto utilizada antes de seleccionar el modo “PAP”.

ES

Combinación disponible de dos imágenes

		S Video	Vídeo	RGB/YUV		DVI	HDMI	OPTION			
				RGB	Componente			RGB	Componente	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○	○
Vídeo				○	○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○	○		○2)	○	○
	Componente	○	○			○	○	○1)		○	○
DVI		○	○	○	○			○	○		
HDMI		○	○	○	○			○	○		

1)Compatible si “Monitor” se ajusta en “YUV” o si “Option” se ajusta en “RGB” en “RGB/YUV”.
2)Compatible si “Monitor” se ajusta en “RGB” o si “Option” se ajusta en “YUV” en “RGB/YUV”.

Sugerencia

La salida del modelo BKM-FW50 se considera la salida RGB que se muestra en la tabla en el modo “PAP”.

Pantalla múltiple

Permite establecer ajustes para conectar varios monitores y formar una solución integrada de paneles de imágenes (video wall).

“Pantalla múltiple”

“No”: utiliza una única pantalla.

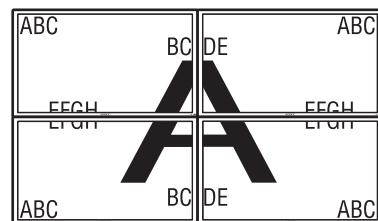
“2×2”/“3×3”/“4×4”: selecciona la disposición que se utilizará para conectar varias pantallas, por ejemplo 2, 3 ó 4 pantallas tanto en posición horizontal como vertical.

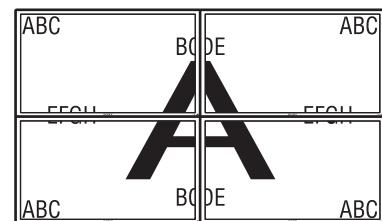
“1×2”/“1×3”/“1×4”: selecciona la disposición que se utilizará para conectar varias pantallas, por ejemplo 2, 3 ó 4 pantallas en posición horizontal.

“2×1”/“3×1”/“4×1”: selecciona la disposición que se utilizará para conectar varias pantallas, por ejemplo 2, 3 ó 4 pantallas en posición vertical.

“Posición”: Permite seleccionar la posición de cada una de las pantallas en la disposición del video wall con ⇧/⇩/⇦/⇨. Pulse ⊕ para definir la posición.

“Formato de salida”: podrá seleccionar dos formatos distintos de salida de la imagen como se muestra en las figuras. Simplemente con seleccionar uno de los formatos, tendrá disponible una imagen adecuada sin necesidad de ajustar el desplazamiento horizontal y vertical manualmente. Seleccione “Mosaico” o “Ventana”.

“Mosaico”

Muestra la señal completa de cada pantalla.

“Ventana”

Muestra una imagen de gran tamaño con pantalla múltiple de manera natural.
Parte de la señal se encontrará detrás del área del marco.

“LED”: “Sí” hace que el indicador I / ⏻ del panel frontal (página 7) permanezca encendido y “No” hace que el indicador I / ⏻ del panel frontal permanezca apagado.

Notas

- “Pantalla múltiple” puede mostrar una imagen ampliada y conservar el ajuste de “Modo panorámico” actual en la medida de lo posible para la entrada de vídeo, así como mostrar una imagen ampliada del “Modo panorámico” ajustado en “Completa 2” para la entrada de ordenador.
- Sólo es posible ajustar “Pantalla múltiple” cuando la función “PAP” está desactivada.
- Cuando la opción “Posición” se ajusta en el extremo inferior derecho, el indicador I / ⏻ se ilumina aunque “LED” esté ajustado en “No”. El indicador también se ilumina aunque el monitor esté apagado (modo de espera), se hayan detectado errores o el monitor esté en modo de reposo, incluido en el caso de ausencia de señal o señal no compatible.

Modo panorámico

“Acerc. panorám.”: permite ampliar la imagen hasta llenar la pantalla con una distorsión mínima.
“Acercamiento”: permite ampliar la imagen original sin distorsionar el formato. Consulte la página 13.
“Completa”: permite ampliar la imagen original horizontalmente hasta llenar la pantalla siempre que la fuente original sea 4:3 (fuente de definición estándar). Cuando la fuente original sea 16:9 (fuente de alta definición), seleccione este modo para visualizar las imágenes de 16:9 en su tamaño original.
“4:3”: permite visualizar todas las imágenes en tamaño original con relación de aspecto 4:3.

Sugerencias

- Para cambiar de una opción de “Modo panorámico” a otra, también es posible utilizar el botón ⊞ del mando a distancia.
- Seleccione “Acercamiento” para visualizar películas y otro contenido en DVD con franjas negras, utilizando toda el área visible de la pantalla.

Notas

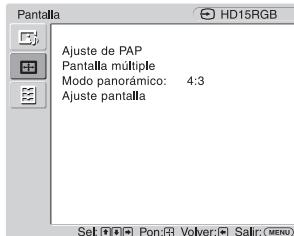
- No es posible modificar la relación de aspecto en el modo “PAP”. La imagen se visualiza con la relación de aspecto utilizada antes de seleccionar el modo “PAP”.
- No es posible ajustar el “Modo panorámico” mientras se utiliza la función “Pantalla múltiple”.

Ajuste pantalla

“Dimen. Horizontal”: permite ajustar el tamaño horizontal de la imagen. Pulse ⇦/⇨ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Pos. horizontal”: permite mover la imagen hacia la izquierda y hacia la derecha en la ventana. Pulse ⇦/⇨ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Dimen. Vertical”: permite ajustar el tamaño vertical de la imagen. Pulse ⇧/⇩ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Pos. vertical”: permite mover la imagen hacia arriba y hacia abajo en la ventana. Pulse ⇧/⇩ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
“Restablecer”: permite restaurar todos los ajustes de “Ajuste pantalla” a los predeterminados.

Notas

- “Ajuste pantalla” no se encuentra disponible cuando se utiliza la función “PAP”.
- Si actualmente no se recibe ninguna señal, no se podrá seleccionar ninguna de las opciones de ajuste de “Pantalla”, excepto “Ajuste de PAP” y “Pantalla múltiple”.

Para la entrada de ordenador

Al cambiar la entrada a la fuente de entrada del ordenador, se aplican los ajustes de "Pantalla" específicos de la entrada del ordenador.
Los ajustes "Pantalla" del ordenador incluyen las siguientes opciones:

Ajuste de PAP

Consulte "Ajuste de PAP" para obtener información acerca de la entrada de vídeo (página 25).

Pantalla múltiple

Consulte "Pantalla múltiple" para obtener información acerca de la entrada de vídeo (página 26).

Modo panorámico

"Completa 1": seleccione esta opción para ampliar la imagen para que ocupe el área de visualización en dirección vertical, manteniendo el formato horizontal-a-vertical. Aparecerá un marco negro alrededor de la imagen.
"Completa 2": permite ampliar la imagen hasta llenar el área de la pantalla.
"Real": permite visualizar la imagen con el número de puntos original.

Notas

- No es posible modificar la relación de aspecto en el modo "PAP". La imagen se visualiza con la relación de aspecto utilizada antes de seleccionar el modo "PAP".
- No es posible ajustar "Modo panorámico" mientras se utiliza la función "Pantalla múltiple".
- Si la resolución de entrada es superior a la del panel (1.920 × 1.080), la visualización de la opción "Real" será la misma que la de la opción "Completa 1".

Ajuste pantalla

"Ajuste automático": seleccione "Aceptar" para ajustar automáticamente la posición de la pantalla y la fase de la imagen cuando la pantalla recibe una señal de entrada desde el ordenador conectado.
Tenga en cuenta que es posible que "Ajuste automático" no funcione bien con ciertas señales de entrada. En estos casos, ajuste manualmente las siguientes opciones.
"Fase": Permite ajustar la fase cuando la pantalla parpadea.
"Inclinación": Permite ajustar la inclinación cuando la imagen presenta rayas verticales no deseadas.

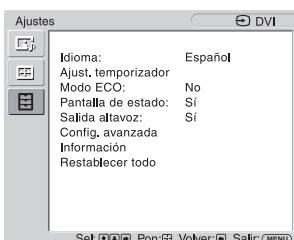
Notas

- "Ajuste automático," "Fase," "Inclinación" no están disponibles cuando se recibe una señal digital como, por ejemplo, DVI o HDMI.
- Cuando efectúe "Ajuste automático", visualice una imagen que sea brillante en su totalidad. Si no lo hace, es posible que la posición de la imagen no se ajuste correctamente.

"Dimen. Horizontal": permite ajustar el tamaño horizontal de la imagen. Pulse ⇦/⇨ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
"Pos. horizontal": permite mover la imagen hacia la izquierda y hacia la derecha en la ventana. Pulse ⇦/⇨ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
"Dimen. Vertical": permite ajustar el tamaño vertical de la imagen. Pulse ⇧/⇩ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
"Pos. vertical": permite mover la imagen hacia arriba y hacia abajo en la ventana. Pulse ⇧/⇩ y pulse ⊕ para seleccionar los valores de corrección.
"Restablecer": permite restaurar todos los ajustes de "Ajuste pantalla" a los predeterminados.

Nota

Si actualmente no se recibe ninguna señal, no se podrá seleccionar ninguna de las opciones de ajuste de "Pantalla", excepto "Ajuste de PAP" y "Pantalla múltiple".

Ajustes Ajuste

Para resaltar una opción y cambiar los ajustes, pulse ⇧/⇩/⇦/⇨.
Pulse ⊕ para confirmar la selección.
Los ajustes de “Ajustes” incluyen las siguientes opciones:

Idioma

Permite visualizar todos los ajustes en pantalla en el idioma que elija: “English”, “Français”, “Deutsch”, “Español”, “Italiano” o “日本語”.

Ajust. temporizador

Puede ajustar la hora, visualizar el reloj incorporado o ajustar el temporizador para que el monitor
se encienda o se apague a una hora preestablecida.

“Config. reloj”: ajusta el día de la semana y la hora del día.

“Ajuste de fecha”: ajusta la fecha (año, mes, día). El día de la semana se ajustará automáticamente.

“Ajuste de hora”: ajusta la hora.

“Pantalla reloj”: si esta opción está ajustada en "Sí" y pulsa el botón de visualización del mando a distancia, se mostrará en pantalla la hora ajustada en estos momentos.

“Tempor. sí/no”: ajusta el día de la semana y la hora del día.

Nota

Si el reloj incorporado tiende a atrasarse, es posible que se deba a que la batería interna esté agotada. Póngase en contacto con su distribuidor autorizado de Sony para sustituir la batería.

ES

Modo ECO

“No”: permite visualizar imágenes sin activar la función de ahorro de energía.
“Bajo”/“Alto”: seleccione para cambiar el brillo de la iluminación de fondo y reducir el consumo de energía.

Pantalla de estado

“Sí” permite que la señal de entrada y la información de “Modo panorámico” aparezcan en la pantalla durante aproximadamente 5 segundos cuando se enciende la pantalla y la información de la señal de entrada durante aproximadamente 5 segundos al cambiar la señal de entrada, mientras que “No” desactiva la visualización de la información de estado.

Sugerencia

Para mostrar la información sobre la señal de entrada “Modo panorámico”, utilice DISPLAY en el mando a distancia independientemente del ajuste de “Pantalla de estado”.

Salida altavoz

“Sí”: permite que el sonido se emita desde los altavoces.
“No”: desactiva la emisión del sonido desde los altavoces.

Config. avanzada

“Ajuste de control”: este menú se utiliza para establecer ajustes sobre el funcionamiento de la pantalla y del mando a distancia.

“Número índice”: es posible cambiar el número índice de la pantalla cuando sea necesario. Ajuste el número índice de la pantalla mediante ⇧/⇩ y pulse ⊕ (ENTER) para confirmar el ajuste.

Nota

Para ajustar el “Número índice”, utilice los botones del monitor. El “Número índice” no se puede ajustar con el mando a distancia.

“Modo control”

“Monitor+Remoto”: permite controlar la pantalla con los botones de control en la pantalla y el mando a distancia.

“Sólo monitor”: desactiva la función de mando a distancia. Solamente es posible realizar ajustes en la pantalla con los botones de control del monitor.

“Sólo remoto”: desactiva los controles de la pantalla. Solamente es posible realizar ajustes en la pantalla con el mando a distancia.

Nota

Al utilizar este elemento, los modos que se pueden seleccionar variarán en función de si se realiza la selección mediante el mando a distancia o el monitor. Al ajustar este elemento mediante ⊕ del mando a distancia, sólo es posible seleccionar “Monitor+Remoto” o “Sólo remoto”. Al ajustar este elemento mediante ⊕ (ENTER) en el monitor, sólo es posible seleccionar “Monitor+Remoto” o “Sólo monitor”.

“Aj. autom. pant.”

“Sí”: los ajustes como el tamaño y la posición de la imagen se guardan para cada señal de entrada y los últimos ajustes se aplican automáticamente cada vez que se cambian las señales de entrada.
“No”:” “Aj. autom. pant.” se deshabilita incluso cuando las señales de entrada se cambian y se aplican los ajustes predeterminados.

Nota

La función “Aj. autom. pant.” sólo funciona durante la entrada de RGB.

“Apagado auto”:

“Sí”: la pantalla entra automáticamente en modo de espera si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada de Video o S Video durante más de 5 minutos. El monitor entra automáticamente en modo de ahorro de energía si no se recibe ninguna señal a través de los conectores de entrada DVI, HDMI o HD15 (RGB/Componente) durante más de 30 segundos aproximadamente.
“No”: la pantalla no se apaga automáticamente aunque no se reciba ninguna señal a través de ningún conector.

Sugerencias

- En el modo de espera, pulse el interruptor ⏻ (POWER) del monitor o POWER ON del mando a distancia para encender el monitor. En el modo de ahorro de energía, el monitor se encenderá automáticamente al recibir una señal.
- Esta función no se encuentra disponible cuando el ajuste “Logotipo en pantalla” está establecido en “Sí”, cuando la función de protector de pantalla está activada, o cuando se ha seleccionado PAP.

“Sobreexploración”: Permite determinar si las imágenes van a mostrarse con sobreexploración o exploración precisa.

“Automático”: cambia automáticamente la señal de imagen, supuestamente DTV, a imagen con sobreexploración.
“Sí”: muestra imágenes con sobreexploración.
“No”: muestra imágenes con exploración precisa.

Nota

Si “Sobreexploración” está ajustado en “No”, es posible que la señal de imagen DTV se visualice como la señal de un PC.
Ejemplo: 480P → 720 × 480/60

“Modo sinc.”: permite ajustar el modo en función de la señal recibida en el contacto número 13 del conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN.

“Comp. H”: se selecciona cuando se produce la entrada de una señal de sincronización horizontal o una señal de sincronización compuesta.
“Vídeo”: cuando se introduzca una señal de vídeo.

Notas

- “Modo sinc.” se encuentra disponible únicamente cuando el conector HD15 recibe una señal de RGB analógica.
- En función del nivel de la señal de sincronización compuesta, es posible que la imagen no se muestre correctamente. En este caso, cambie el ajuste “Modo sinc.”.
- En el caso de algunas entradas sólo pueden seleccionarse señales de sincronización. En tal caso, reciba las señales de sincronización vertical u horizontal a través de los contactos 13 ó 14 de los conectores.
- La configuración de Modo sinc no puede llevarse a cabo para la entrada a través de los adaptadores opcionales.
- Cuando se ha seleccionado “Vídeo” en “Modo sinc.”, sólo podrá ajustar las señales 575/50i y 480/60i.
- Si selecciona la señal de vídeo para el ajuste del modo de sincronización, no podrá utilizar la función PAP.

"RGB/YUV"

"Monitor"/"Option": permite ajustar el tipo de señal para un dispositivo de vídeo u ordenador conectado al terminal HD15 (RGB/COMPONENT) del monitor o al terminal 5BNC (RGB/COMPONENT) de un adaptador opcional.

"Automático": permite elegir una entrada de señal RGB analógica o una señal de entrada componente desde un equipo conectado.

"RGB": permite elegir una señal de entrada RGB analógica desde un equipo conectado.

"YUV": permite elegir una señal de entrada componente desde un equipo conectado.

Nota

Seleccione "RGB" para recibir señales RGB mediante una señal de sincronización compuesta.

Sugerencia

Para obtener información acerca de la combinación disponible de dos imágenes, consulte la página 26.

"Sistema de color": permite seleccionar el sistema de color de las señales de vídeo entre "Automático", "NTSC", "NTSC4.43", "PAL", "PAL-M", "PAL-N" o "PAL60". Seleccione "Automático" para ajustar el sistema de color automáticamente.

Nota

"Sistema de color" no está disponible para la entrada de ordenador.

"Señal RGB": si se introducen en un terminal de entrada HD15, DVI o HDMI una señal RGB de 1280 × 768/60 ó 720 × 480/60, sirve para seleccionar si funcionará como señal de vídeo o como señal de ordenador.

"Protector de pantalla": permite impedir o reducir el calentamiento del monitor o la aparición de la imagen residual que puede producirse cuando la misma imagen se muestra en la pantalla durante un período de tiempo prolongado.

"All White": muestra una pantalla totalmente blanca. (Se detiene automáticamente unos 30 minutos después y la visualización se establece en el modo de espera.)

"Sweep": desplaza una barra blanca sobre la pantalla.

"En espera": El protector de pantalla funciona en el modo de espera (página 7) durante el tiempo especificado en "Ajust. temporizador." (La visualización será en blanco durante la operación del protector de pantalla.) Cuando finalice el protector de pantalla, se reanudará el modo de espera normal.

"Logotipo": se ilumina el logotipo de Sony de la parte frontal de la unidad.

"Posición": el logotipo puede permanecer encendido en la parte inferior de la pantalla si se ajusta el método de configuración del equipo en "Automático," "Paisaje," o "Retrato". Si se selecciona "Automático", se seleccionará automáticamente Paisaje o Retrato.

"Iluminación": seleccione "Desactivado" para que desaparezca el logotipo. Seleccione "Bajo" y "Alto" para ajustar el brillo.

"Logotipo en pantalla"

"Sí": se muestra el logotipo del modelo cuando no se recibe ninguna señal.

"No": no se muestra el logotipo del modelo cuando no se recibe ninguna señal.

"Puerto de red": ajusta el puerto de red para que la pantalla funcione con el mando a distancia.

"No": seleccione esta opción cuando no utilice el puerto de red. Se puede reducir el consumo de energía en el modo de espera.

"Option": permite realizar ajustes de la pantalla desde un ordenador conectado al conector REMOTE o al conector LAN de la ranura OPTION. (página 35)

"Monitor": permite realizar ajustes de la pantalla desde un ordenador conectado al conector REMOTE (LAN) de la pantalla. (página 35)

Sugerencia

Cuando se inserta un adaptador BKM-FW50 en la ranura OPTION, "Puerto de red" se ajusta automáticamente en "Option".

"IP Address Setup": permite ajustar una dirección IP para habilitar la comunicación entre el conector REMOTE (LAN) de la pantalla o el adaptador opcional y el equipo como, por ejemplo, un ordenador conectado mediante el cable LAN.

"Speed Setup": permite ajustar la velocidad de comunicación entre el conector REMOTE (LAN) de la pantalla o el adaptador opcional y el equipo como, por ejemplo, un ordenador conectado mediante el cable LAN.

Sugerencia

Para obtener más información acerca de cómo realizar los ajustes de "IP Address Setup" y "Speed Setup", consulte el apartado "Preparativos para la utilización de las funciones de red" (página 33).

"Retardo encendido": Ajusta el tiempo hasta la conexión de la alimentación. Se ajusta en No, y 1 a 120 segundos. De este modo se suprimen las fluctuaciones súbitas de la carga al equipo de alimentación cuando se han conectado varias unidades.

"Sensor de luz"

"Sí": El brillo de la pantalla se ajusta automáticamente para adaptarse al brillo ambiental.
"No": El brillo de la pantalla no se ajusta automáticamente.

Información

Muestra la información de "fecha", "Nombre modelo", "Número serie", "Tiempo función", "Versión soft" y "IP Address" del monitor. Cuando se ha montado el adaptador opcional BKM-FW50, aparece "Player IP Address" (dirección IP para la función de reproducción de imágenes fijas y películas). Para obtener más información, consulte el manual de instrucciones del modelo BKM-FW50.

Restablecer todo

Restablece todos los ajustes y la configuración a los valores predeterminados de fábrica.

Nota

No se restablecerán los elementos que se incluyen en la opción "Información" ni el "Número índice".

Preparativos para la utilización de las funciones de red

Precauciones

- Las especificaciones de software de esta unidad están sujetas a cambios de mejora sin previo aviso.
- Las pantallas mostradas por el software de aplicación pueden variar ligeramente con respecto a las ilustraciones que se muestran en este manual.
- Para su seguridad, conecte el puerto de esta unidad a una red que no pueda superar el límite de voltaje o las fuentes de voltaje.
- Los pasos descritos en este manual solamente se garantizan cuando se utilizan con las siguientes condiciones de entorno.

  Sistema operativo:

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Navegador:

  Microsoft Internet Explorer 6.0 o posterior
- Para garantizar la seguridad en la red, se recomienda configurar un nombre de usuario y una contraseña. Para obtener más información acerca de cómo realizar estos ajustes, consulte la sección “Pantalla Setup” (página 36).

  Para obtener información acerca de los ajustes de seguridad, consulte a su administrador de red.

Asignación de una dirección IP

Es posible conectar el monitor a una red mediante un cable 10BASE-T/100BASE-TX LAN.
Al conectar el dispositivo a una red LAN, las direcciones IP del monitor se pueden ajustar mediante uno de los dos métodos que se indican a continuación.
Póngase en contacto con el administrador de red para obtener información acerca de la selección de la dirección IP.

- Asignación de una dirección IP fija al monitor
  Por lo general, se debe utilizar este método. Tenga en cuenta que en los valores predeterminados de fábrica, el monitor está ajustado para que obtenga una dirección IP automáticamente.
- Obtención automática de una dirección IP
  Si la red a la que está conectada el monitor dispone de un servidor DHCP, puede hacer que el servidor DHCP asigne una dirección IP automáticamente. Tenga en cuenta que en este caso es posible que la dirección IP cambie cada vez que se encienda el monitor en el que está instalada la pantalla.

Antes de ajustar la dirección IP, conecte el cable LAN al monitor para establecer la red. Al cabo de unos 30 segundos, encienda el monitor y, a continuación, empiece a realizar los ajustes deseados.

- Microsoft y Windows son marcas comerciales registradas de Microsoft Corporation en los Estados Unidos y/o en otros países.
- Los demás nombres de productos, empresas, etc. que se mencionan en este manual son marcas comerciales o marcas comerciales registradas de sus respectivos propietarios.

Asignación de una dirección IP fija al monitor

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "IP Address Setup" y pulse el botón ⊕.

5 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Manual" y pulse el botón ⊕.

6 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar un elemento deseado entre "IP Address", "Subnet Mask", "Default Gateway", "Primary DNS" y "Secondary DNS" y pulse el botón ⊕.

7 Utilice los botones ⇧/⇩ del monitor o los botones numéricos del mando a distancia para introducir un número de tres dígitos (de 0 a 255) para cada una de las cuatro casillas y pulse ⊕ o ⇨.

8 Introduzca el número de tres dígitos (de 0 a 255) para cada una de las cuatro casillas y pulse ⊕. Repita el procedimiento que se indica en el paso 6 y seleccione el siguiente elemento deseado mediante los botones ⇧/⇩ y pulse el botón ⊕.

9 Una vez ajustados los valores de todos los elementos deseados, utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Execute", y pulse el botón ⊕.

Seleccione "Execute" y pulse el botón ⊕. Se ajustará una dirección IP manualmente.
Si selecciona "Cancel", el ajuste volverá a la configuración inicial.

Obtención automática de una dirección IP

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "IP Address Setup" y pulse el botón ⊕.

5 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "DHCP" y pulse el botón ⊕.

Seleccione "Execute" y pulse el botón ⊕. Se ajustará una dirección IP automáticamente.
Si selecciona "Cancel", la configuración no se ejecutará.

Nota

Si no se ajusta correctamente una dirección IP, aparecerán los siguientes códigos de error en función de la causa del error.
Error 1: Error de comunicaciones
Error 2: otro equipo ya utiliza la dirección IP especificada
Error 3: error en la dirección IP
Error 4: error en la dirección de Gateway
Error 5: error en la dirección DNS primaria
Error 6: error en la dirección DNS secundaria
Error 7: error en la máscara de subred

Comprobación de la dirección IP asignada automáticamente

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Información" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "IP Address" y pulse el botón ⊕.

Se visualiza la dirección IP actualmente asignada.

Sugerencia

Cuando no pueda adquirirse correctamente la dirección IP, la dirección IP previamente adquirida se mostrará en "Información" y en "Manual" de "IP Address Setup".

Asignación de una velocidad de comunicación

1 Pulse el botón MENU para visualizar el menú principal.

2 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Ajustes" y pulse el botón ⊕.

3 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Config. avanzada" y pulse el botón ⊕.

4 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Speed Setup" y pulse el botón ⊕.

5 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar la velocidad de comunicación deseada entre "Auto", "10Mbps Half", "10Mbps Full", "100Mbps Half" o "100Mbps Full" y pulse el botón ⊕.

Si se selecciona "Auto", la velocidad de comunicación adecuada para su configuración de red se ajustará automáticamente.

6 Utilice los botones ⇧/⇩ para seleccionar "Execute" y pulse ⊕ aplicar el ajuste.

Uso con un ordenador

Control del monitor

Puede realizar distintos ajustes del monitor en la pantalla del ordenador.
Asegúrese de que el monitor, el ordenador y el enrutador o el concentrador están conectados correctamente mediante el cable de red. A continuación, encienda el monitor, el ordenador y el enrutador o el concentrador.
Existen cuatro pantallas de visualización, divididas por la función: Pantalla Information, pantalla Configure, pantalla Control, y pantalla Setup.
Para obtener más información acerca de las funciones de los botones, consulte las instrucciones para cada función del monitor.

1. Inicie el navegador del ordenador (Internet Explorer 6.0 o posterior).
2. Introduzca la dirección IP que se ha asignado al monitor en la página anterior como "http://xxx.xxx.xxx.xxx" y, a continuación, pulse la tecla ENTER del teclado.
   Si ha configurado un nombre de usuario y una contraseña, aparecerá la pantalla "Network Password". Escriba el nombre de usuario y la contraseña que ha establecido y, a continuación, prosiga con el paso siguiente.
3. Haga clic en la ficha de las funciones de la parte superior de la pantalla para seleccionar la pantalla que desee.

Ajuste de los elementos en las respectivas pantallas

Cuando utilice la función LAN del monitor

Pantalla Information

Esta pantalla muestra el nombre del modelo, el número de serie y otros datos acerca del monitor, así como el estado de la alimentación y la selección de la señal de entrada.
Esta pantalla sólo muestra información. No es posible ajustar ningún elemento.

Pantalla Configure

Timer
Permite ajustar la función del temporizador.
Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply".

Screen Saver
Permite ajustar la función del protector de pantalla.
Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply".

Picture and Picture
Permite ajustar la función Picture and Picture (Imagen e imagen).
Tras ajustar dicha función, haga clic en "Apply".

Nota

Antes de ajustar la función "Timer", asegúrese de configurar la hora en la pantalla Setup (Instalación) (página 36).

Pantalla Control

POWER
Permite encender o apagar el monitor.

INPUT
Permite seleccionar la señal de entrada.

PICTURE MODE
Permite seleccionar el modo de imagen.

ASPECT
Permite cambiar el formato de la imagen.

Botones Contrast +/-
Permiten ajustar el contraste de la pantalla.

Botones Brightness +/-
Permiten ajustar el brillo de la imagen.

Botones Chroma +/-
Permiten ajustar la intensidad del color.

Botones Phase +/-
Permiten ajustar los tonos del color.

Botón Reset
Permite restablecer los ajustes de “Contrast” a “Phase” a los valores predeterminados de fábrica.

Notas

- Si la señal de entrada es Vídeo o S Video y el sistema de color de la señal de vídeo no es NTSC, “Fase” no está disponible.
- “Los ajustes de “Crominancia” y “Fase” no están disponibles para la entrada de ordenador.
- “Normal” en el ajuste ASPECT corresponde a “4:3” para entrada de vídeo o “Real” para entrada de ordenador.

Pantalla Setup

Esta pantalla permite realizar los ajustes de Network Password. Los ajustes predeterminados de fábrica son los siguientes:

Name: root
Password: pudadm

Después de realizar cambios o introducir información, haga clic en “Apply” en la parte inferior de cada pantalla para activar los ajustes.
No es posible utilizar caracteres especiales en los campos de texto.

Owner Information

Owner
Introduzca la información acerca del propietario en este campo.

Display Location
Introduzca información acerca de la ubicación de instalación del monitor en este campo.

Nota

No utilice espacios al introducir la información. Si lo hace, es posible que el nombre del archivo no se visualice correctamente.

Memo
Permite introducir información complementaria.

Time

Time
Introduzca la hora, año, mes y día.

Network

Internet Protocol (TCP/IP)
Seleccione “Specify an IP address” para introducir cada valor en la secuencia numérica de la dirección IP.
Seleccione “Obtain an IP address (DHCP)” para adquirir una dirección IP automáticamente del servidor DHCP. Tenga en cuenta que en este caso es posible que la dirección IP cambie cada vez que se encienda el monitor en el que está instalada la pantalla.

Nota

La dirección IP se puede ajustar desde el menú de la pantalla. Para obtener más información, consulte “IP Address Setup” (página 31).

Password
Permite introducir la información acerca de la contraseña y el nombre del administrador y del usuario. El nombre del administrador queda establecido permanentemente como “root”.
Pueden tener un máximo de 8 caracteres cada uno.
Cuando haya ajustado un nombre de usuario y una contraseña, siempre que acceda a la pantalla de control del monitor del dispositivo, aparecerá la pantalla “Network Password”. Para garantizar la seguridad en la red, se recomienda configurar un nombre de usuario y una contraseña.

Mail Report

Error Report
Si se produce un error de funcionamiento en el monitor, el sistema informa inmediatamente del error mediante el envío de un mensaje de correo electrónico (informe de error).

Status Report
Es posible informar del estado del monitor mediante el envío de un mensaje de correo electrónico según el intervalo de tiempo seleccionado.

Address
Introduzca la dirección de correo electrónico de destino en este campo. El informe de error puede enviarse hasta a cuatro direcciones a la vez. La longitud máxima para cada una de las direcciones es de 64 caracteres.

Mail Account

Mail Address:
Introduzca la dirección de correo electrónico asignada en este campo.
El número máximo de caracteres que puede utilizarse en la dirección es de 64.
Outgoing Mail Server (SMTP):
Introduzca la dirección del servidor de correo en este campo.
El número máximo de caracteres que puede utilizarse en la dirección es de 64.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP):
Seleccione esta casilla de verificación si requiere autenticación POP antes de conectarse al servidor SMTP.
Incoming Mail Server (POP3):
Introduzca la dirección del servidor POP3 en este campo si se utiliza la autenticación POP para el ajuste “POP before SMTP”.
Account Name:

Introduzca el nombre de la cuenta de correo en este campo.

Password:
Introduzca la contraseña de la cuenta de correo en este campo.

Send Test Mail:
Seleccione esta casilla de verificación y haga clic en “Apply” para probar si se puede enviar correctamente un mensaje de correo electrónico a las direcciones especificadas. Se enviará un mensaje de correo electrónico de prueba.

Nota

Si no se ajustan los elementos siguientes o si los valores son incorrectos, aparecerá un mensaje de error y no se podrá enviar el mensaje de correo electrónico de prueba:

- Dirección de destino
- Dirección de la cuenta de correo y dirección del servidor de correo (SMTP)

Advanced
Proporciona acceso a la configuración avanzada, que permite utilizar varias aplicaciones en la red. Realice los ajustes según sea necesario para aplicación correspondiente.

Advertisement
Permite realizar ajustes para las funciones Advertisement (Anuncio) y Broadcast (Emisión) en la red.

ID Talk
Permite ajustar la función ID Talk. ID Talk es un protocolo que permite el control basado en red del monitor. Los elementos controlados incluyen varias configuraciones y ajustes, como temperatura del color y gamma. Para obtener más información acerca de los comandos ID Talk compatibles, póngase en contacto con el distribuidor Sony local.

SNMP
El monitor es un dispositivo de red compatible con SNMP (Protocolo simple de administración de redes). Además del protocolo MIB-II estándar, también es compatible con el protocolo MIB de Sony Enterprise. Esta pantalla permite realizar ajustes del protocolo SNMP.
Para obtener más información acerca de los comandos SNMP compatibles, póngase en contacto con el distribuidor Sony local.

Restablecimiento de los valores predeterminados
Si desea restaurar todos los ajustes realizados en la pantalla “Setup” a los valores predeterminados de fábrica, aplique el ajuste “Restablecer todo” y, a continuación, vuelva a asignar los ajustes correspondientes de la red.

Solución de problemas

Verifique si el indicador I / ⏻ está parpadeando en rojo.

Cuando parpadea

La función de autodiagnóstico está activada.

1 Compruebe el número de veces que el indicador I / ⏻ parpadea y el intervalo de tiempo entre parpadeos.
   Por ejemplo, el indicador parpadea 2 veces, deja de parpadear durante 3 segundos y parpadea 2 veces.

2 Pulse ⏻ (POWER) en el monitor para apagarlo, y luego desconecte el cable de alimentación.
   Informe a su distribuidor o centro de servicio Sony sobre el modo de parpadear del indicador (el número de parpadeos y la duración del período sin luz).

Cuando no parpadea

1 Verifique los elementos en la tabla a continuación.

2 Si el problema persiste, haga reparar el monitor por personal capacitado.

Problema	Posibles soluciones
El interruptor de encendido y los botones de control del monitor no funcionan.	• Compruebe la configuración de “Ajuste de control” (página 29).
No se emite ninguna señal de vídeo desde el terminal HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.	• No hay salida HD15 (RGB/COMPONENT) OUT cuando este dispositivo está en el estado de espera no cuando se ha desconectado la alimentación de ca.
No se emite ninguna señal desde el terminal HD-SDI OUT de BKM-FW16.	• No hay salida HD-SDI OUT cuando este dispositivo está en el estado de espera no cuando se ha desconectado la alimentación de ca.
No aparece ninguna imagen.	
No aparece ninguna imagen.	• Verifique la conexión entre el equipo de vídeo y el monitor. • Verifique la configuración de “RGB/YUV” (página 31). • Pruebe a cambiar la fuente de entrada mediante el botón INPUT del monitor o el mando a distancia (página 10, 11).
El monitor se apaga automáticamente.	• Verifique si la función “Ajust. temporizador” está activada (página 29). • Compruebe que la función “Apagado auto” esté ajustada en “Sí” (página 30). • Compruebe que la temperatura ambiente es superior a 35°C.
Mala calidad de imagen.	
La imagen carece de color, es oscura o demasiado brillante, el color de la imagen no es adecuado, la imagen se oscurece de manera gradual o aparece ruido horizontal en la imagen	• Pulse PICTURE para seleccionar el ajuste de “Modo imagen” deseado (página 11). • Seleccione las opciones de “Modo imagen” en los ajustes de “Imagen/Sonido” (página 21, 23). • Verifique el estado del cable de la señal. • Compruebe que la temperatura ambiente es superior a 35°C. • Verifique la configuración de “Modo ECO.” (página 29) • Cuando no se proponga conectar un dispositivo de vídeo, no conecte ningún cable de vídeo ni conector de conversión al terminal VIDEO OUT. Las zonas blancas de la imagen serán demasiado brillantes porque no se finaliza la señal del monitor. • Compruebe el ajuste de “Sensor de luz”. Consulte la página 32.
Toda la pantalla adquirirá una tonalidad verde o violeta.	• Verifique si la configuración de “RGB/YUV” es incorrecta (página 31).

Problema	Posibles soluciones
No se emite ningún sonido o el sonido que se emite es muy ruidoso.	
Se muestra la imagen, pero sin sonido.	• Verifique el control del volumen. • Pulse 🔇 en el mando a distancia o ◿ + para cancelar el silenciamiento de la pantalla (página 12). • Compruebe los ajustes de "Salida altavoz" (página 29).
El mando a distancia no funciona.	• Compruebe la polaridad de las pilas o reemplácelas. • Oriente el mando a distancia hacia el sensor del monitor. • Mantenga el área del sensor del mando a distancia libre de obstáculos. • Compruebe la configuración de "Ajuste de control" (página 29). • Verifique si hay un cable conectado al conector CONTROL S IN (el BKM-FW21 no se suministra). El mando a distancia no se puede utilizar si el monitor está siendo controlado a través de una conexión CONTROL S. • Los tubos fluorescentes pueden causar interferencias en el funcionamiento del mando a distancia; pruebe a apagar los tubos fluorescentes.
No es posible conectar el dispositivo a la red.	• Conecte el cable firmemente al conector REMOTE. • Compruebe la configuración de red del ordenador. • Asigne el ajuste "Restablecer todo" en el menú de configuración "Ajustes" y, a continuación vuelva a asignar los ajustes adecuados de la red para restaurar los ajustes predeterminados. • Verifique la configuración de "Puerto de red". (página 31)
La pantalla de control de visualización (la pantalla Web que muestra la GUI de la pantalla) no se muestra.	• Haga clic en el botón de actualizar o de recarga del navegador Web. • Asegúrese de que la dirección IP es correcta. • Utilice Internet Explorer 6.0 o posterior. • Borre la caché del navegador.

ES

Tabla de referencia de señal de entrada

Señales del ordenador

	Resolución	Frecuencia horizontal (kHz)	Frecuencia vertical (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480 @ 60 Hz	31,5	60
3	Mac[b)] 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29,8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74,0	60

Señales de televisión/vídeo

	Resolución	Entradas disponibles				
		Vídeo	Componente /RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24PsF		○			

a) VGA es una marca comercial registrada de International Business Machines Corporation, EE. UU.
b) Macintosh es una marca comercial de Apple Inc., registrada en los EE.UU. y en otros países.
c) VESA es una marca comercial registrada de la Video Electronics Standards Association.
d) Sincronización de vídeo coordinado VESA.

Notas

- Para recibir una señal HDTV, reciba la señal de sincronización de tres niveles a través del segundo contacto del conector HD15 (RGB/COMPONENT) IN.
- Si los colores se muestran demasiado claros después de recibir una señal de DVD en la pantalla, ajuste “Crominancia” en los ajustes de “Imagen/Sonido”.
- Una vez reajustada la fase, se reducirá la resolución.
- No se garantiza que las señales de ordenadores Macintosh reconozcan la entrada digital RGB.
- No es posible aplicar la señal indicada con * a la entrada DVI IN.
- La reproducción de señales de vídeo sin señales subportadoras de crominancia no está garantizada.

Indicaciones en pantalla sobre la señal de entrada y el estado del monitor

Indicación en pantalla	Significado
640 × 480 / 60 (ej.)	La señal de entrada seleccionada es una señal de ordenador.
480 / 60I (ej.)	La señal de entrada seleccionada es de vídeo componente.
NTSC (ej.)	La señal de entrada seleccionada es una señal de vídeo.
Señal no compatible	La señal de entrada seleccionada es una señal no compatible.
No hay señal	No hay señal de entrada.
HD15	La entrada seleccionada es HD15. "RGB/YUV" se ha ajustado en "Automático".
HD15 RGB	La entrada seleccionada es HD15. "RGB/YUV" se ha ajustado en "RGB".
HD15 Component	La entrada seleccionada es HD15. "RGB/YUV" se ha ajustado en "YUV".
DVI	La señal de entrada seleccionada es DVI.
HDMI	La señal de entrada seleccionada es HDMI.
Video	Se ha seleccionado la señal de vídeo compuesto.
S Video	Se ha seleccionado la señal de S Video.
Option	Se ha seleccionado la entrada Option. "RGB/YUV" se ha ajustado en "Automático".
Option RGB	Se ha seleccionado la señal RGB analógica de la entrada Option.
Option Component	Se ha seleccionado la señal de vídeo componente de la entrada Option.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	Se ha seleccionado la señal HDMI 1 o HDMI 2 de la entrada Option.
Option HD SDI	Se ha seleccionado la señal HD SDI de la entrada Option.

Especificaciones

Procesamiento de vídeo

Sistema de panel Panel LCD de matriz activa TFT a-Si
Resolución de pantalla 1.920 puntos (horizontal) × 1.080 líneas (vertical)
Índice de muestreo De 13,5 MHz a 162 MHz
Sistema de color NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Señal de entrada Consulte la página 40.
Densidad de píxel 0,744 (horizontal) × 0,744 (vertical) mm ($^{1}/_{32}$ × $^{1}/_{32}$ pulgadas)
Tamaño de imagen 1.428,5 (horizontal) × 803,5 (vertical) mm (56 $^{1}/_{4}$ × 31 $^{3}/_{4}$ pulgadas)
Tamaño del panel 64,5 pulgadas (1.639 mm en diagonal)

Entradas y salidas

REMOTE Puerto de red (10BASE-T/100BASE-TX)

AUDIO Minitoma estéreo (× 1)
500 mVrms, alta impedancia

VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN de 4 contactos (× 1)
Y (luminancia): 1 Vp-p ± 2 dB sincronización negativa, terminación de 75 ohmios
C (crominancia): Señal subportadora de crominancia
0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC), terminación de 75 ohmios
Señal subportadora de crominancia
0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL), terminación de 75 ohmios
VIDEO INBNC (× 1)
Vídeo compuesto, 1 Vp-p ± 2 dB sincronización negativa, 75 ohmios (terminación automática)
VIDEO OUTTipo BNC (× 1) derivada
AUDIO IN
Minitoma estéreo (× 1)
500 mVrms, alta impedancia

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub de 15 contactos (hembra) (× 1)
(Consulte la página 43)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub de 15 contactos (hembra) (× 1)
(Consulte la página 43)
AUDIO IN
Minitoma estéreo (× 1)
500 mVrms, alta impedancia

DVI DVI IN
(compatible con la especificación DVI Rev. 1.0)
AUDIO IN
Minitoma estéreo (×1)
500 mVrms, alta impedancia

HDMI IN HDMI (1080p)

SPEAKER Salida de altavoz (L/R)
6 ohmios 7W + 7W

Generales

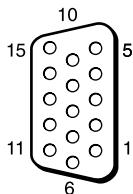
Requisitos de alimentación
100 V a 240 V ca, 50/60 Hz, 5,5 A (máximo)
Consumo de energía
540 W (máximo)
Condiciones de funcionamiento
Temperatura: Del 0 °C a 35 °C (32 °F a 95 °F)
Humedad: 20% al 90% (sin condensación)
Condiciones de almacenamiento/transporte
Temperatura: −10 °C a +40 °C (14 °F a 104 °F)
Humedad: 20% al 90% (sin condensación)
Dimensiones 1.557 × 931 × 183 mm (61 $^{3}/_{8}$ × 36 $^{3}/_{4}$ × 7 $^{1}/_{4}$ pulgadas) (an/al/prf, partes salientes excluidas)
Peso aproximadamente 94 kg (207,2 lb.)
Accesorios suministrados
Cable de alimentación de ca (1)
Cable de LAN (1)
Portaenchufe de ca (2)
Mando a distancia RM-FW002 (1)
Pilas manganesas de tamaño AA (R6) (2)
Manual de instrucciones (1)
Manual de instalación para distribuidores (1)

Accesorios opcionales
Altavoces SS-SPG02
Adaptadores opcionales para ampliación del sistema, serie BKM-FW

Normas de seguridad
UL 60950-1, CSA Nº 60950-1-03 (c-UL), FCC Clase B, IC Clase B, EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Diseño y especificaciones sujetos a cambios sin previo aviso.

Asignación de contactos

HD15 Conector HD15 RGB/COMPONENT (D-sub de 15 contactos)

N° de contacto	Señal
1	Vídeo rojo o C_R/P_R
2	Vídeo verde o Y
3	Vídeo azul o C_B/P_B
4	Masa
5	Masa
6	Masa roja
7	Masa verde
8	Masa azul
9	Sin uso
10	Masa
11	Masa
12	SDA
13	Sincronización horizontal, sincronización compuesta o vídeo compuesto (como señal de sincronización)
14	Sincronización vertical
15	SCL

Nota

Cuando reciba una señal de componente, asegúrese de que no recibe señales de sincronización a través de los contactos 13 y 14, puesto que la imagen podría no visualizarse correctamente.

ES

Índice alfabético

AVVERTENZA

Per evitare scosse elettriche, non aprire l'involucro. Per l'assistenza rivolgersi unicamente a personale qualificato.

AVVERTENZA
QUESTO APPARECCHIO DEVE ESSERE COLLEGATO A MASSA.

Trasporto
Durante il trasporto del display si raccomanda di afferrare l'apparecchio stesso e non i diffusori. Diversamente è possibile che i diffusori si stacchino dall'apparecchio e che esso cada. Ciò potrebbe altresì causare lesioni.

AVVERTENZA
Durante l'installazione dell'apparecchio, incorporare un dispositivo di scollegamento prontamente accessibile nel cablaggio fisso, oppure collegare la spina di alimentazione ad una presa di corrente facilmente accessibile vicina all'apparecchio. Qualora si verifichi un guasto durante il funzionamento dell'apparecchio, azionare il dispositivo di scollegamento in modo che interrompa il flusso di corrente oppure scollegare la spina di alimentazione.

La presa di corrente deve essere situata vicino all'apparecchio ed essere inoltre facilmente accessibile.

Per i clienti in Europa

Il fabbricante di questo prodotto è la Sony Corporation, 1-7-1 Konan, Minato-ku, Tokyo, Giappone.
La rappresentanza autorizzata per EMC e la sicurezza dei prodotti è la Sony Deutschland GmbH, Hedelfinger Strasse 61, 70327 Stoccarda, Germania. Per qualsiasi questione riguardante l'assistenza o la garanzia, si prega di rivolgersi agli indirizzi riportati nei documenti sull'assistenza o sulla garanzia a parte.

AVVERTENZA

1. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/ connettore per l'apparecchio/spina con terminali di messa a terra approvati che siano conformi alle normative sulla sicurezza in vigore in ogni paese, se applicabili.
2. Utilizzare un cavo di alimentazione (a 3 anime)/ connettore per l'apparecchio/spina confrmi alla rete elettrica (voltaggio, ampere).

In caso di domande relative all'uso del cavo di alimentazione/connettore per l'apparecchio/spina di cui sopra, consultare personale qualificato.

Indice

Introduzione

Posizione e funzione delle parti e dei comandi

Collegamenti

IT

Uso delle impostazioni

Funzioni di rete

Altre informazioni

Precauzioni

Avvertenza

- Il manuale di installazione aggiuntivo per i rivenditori è destinato esclusivamente a questi ultimi.
  Se l'installazione o lo spostamento descritto in questo manuale fosse eseguito da sé potrebbe verificare un incidente con gravi lesioni alle persone. Non effettuare l'installazione né lo spostamento dell'apparecchio da sé.
  Per l'installazione e lo spostamento è necessario rivolgersi a un rivenditore Sony.
- Non collocare l'apparecchio in prossimità di fonti di calore quali radiatori o condotti dell'aria né in luoghi soggetti alla luce solare diretta, a polvere eccessiva, a vibrazioni di tipo meccanico o a urti.
- Durante l'installazione di più apparecchi con il display, a seconda della posizione della loro posizione reciproca potrebbero verificarsi problemi quali il malfunzionamento del telecomando, immagini o audio disturbati.

Sicurezza

- La targhetta indicante la tensione d'uso, il consumo energetico e altri dati ancora è situata posteriormente all'apparecchio.
- Se liquidi o oggetti solidi penetrano nel mobile si deve scollegare l'apparecchio dalla presa di rete e farlo controllare da personale qualificato prima di continuare ad usarlo.
- Se si prevede di non utilizzare l'apparecchio per un lungo periodo si raccomanda di scollegarlo dalla presa di rete.
- Per scollegare il cavo di alimentazione CA lo si deve afferrare dalla spina. Non si deve mai tirare il cavo stesso.

Pulizia

Prima di procedere alla pulizia del display si deve scollegare il cavo di alimentazione.

Pulizia del display

Prestare attenzione affinché oggetti pesanti non graffino, esercitino pressione o colpiscano la superficie dello schermo del display (pannello protettivo), onde evitare che quest'ultima si danneggi.
Lo schermo del display dispone di una superficie speciale che deve essere trattata con cura.
Seguire le istruzioni riportate di seguito per evitare una riduzione delle prestazioni a causa del maneggio errato durante la pulizia.

- Rimuovere con cura la polvere dalla superficie dello schermo utilizzando un panno morbido. Si consiglia di utilizzare un apposito panno di pulizia o un panno per la pulizia dei vetri.
- Se la superficie dello schermo è particolarmente sporca, pulirla con un panno di pulizia morbido leggermente inumidito con acqua.
- Non utilizzare alcol, benzene, trielina, solventi detergenti acidi o alcalini, detergenti abrasivi o panni trattati chimicamente, onde evitare di danneggiare la superficie dello schermo.

Pulizia del mobile

- Per la pulizia si deve usare un panno asciutto e morbido. Per la rimozione delle macchie persistenti si deve usare un panno leggermente inumidito con una soluzione detergente neutra, quindi asciugare la parte interessata con un panno morbido e asciutto.
- Non utilizzare alcol, benzene, trielina o insetticidi. Diversamente è possibile che la finitura della superficie si danneggi o che le indicazioni sull'apparecchio vengano rimosse.
- Se pulito con un panno sporco, lo schermo potrebbe danneggiarsi.
- Se l'apparecchio rimane in contatto per un periodo di tempo prolungato con prodotti in gomma o in plastica è possibile che subisca alterazioni o che il rivestimento protettivo si stacchi.

Informazioni sul pannello LCD

- L'esposizione prolungata al sole del pannello LCD lo potrebbe danneggiare. Tenere in considerazione questa eventualità durante l'installazione dell'apparecchio in ambienti esterni o in prossimità di una finestra.
- Non premere forzatamente o graffiare lo schermo LCD. Non posizionare oggetti sullo schermo. Diversamente è possibile che il display si guasti o che lo schermo LCD subisca danni.
- È possibile che sullo schermo appaiano delle strisce orizzontali o un'immagine residua. È inoltre possibile che lo schermo appaia più scuro quando l'apparecchio viene utilizzato in un ambiente freddo. Non si tratta di problemi di funzionamento dello schermo. Lo schermo torna allo stato di funzionamento normale non appena la temperatura ambiente aumenta.
- Se si lascia visualizzata un'immagine statica per lungo tempo lo schermo potrebbe "bruciarsi" o lasciare un'immagine residua. Questa tuttavia scomparirà con il tempo. In caso di presenza di immagini residue si raccomanda di usare la funzione salvaschermo oppure un software video o grafico in modo che sullo schermo sia sempre visualizzata un'immagine in movimento. Sebbene le immagini residue di scarsa entità (immagini impresse) risultino meno evidenti, una volta verificatosi il fenomeno non potrà essere risolto completamente.
- È possibile che la superficie del pannello, il mobile o la cornice si surriscaldino durante l'uso. Ciò non costituisce tuttavia alcun problema.

Punti luminosi e scuri sullo schermo LCD

Benché questo schermo LCD sia ad alta tecnologia e offra una risoluzione effettiva di almeno il 99,99%, potrebbe mostrare punti scuri (pixel difettosi) o luminosi (rossi, blu, gialli, ecc.) continuamente accesi o lampeggianti. Si tratta di un fenomeno comune a tutti gli schermi LCD, che a volte si verifica a causa di pixel difettosi. Questi ultimi possono verificarsi nel caso in cui si usi il display per un periodo di tempo molto lungo.
Non si tratta però di un problema di funzionamento dello schermo

Uso del display

- Verificare sempre che l'apparecchio stia funzionando correttamente prima di usarlo. LA SONY NON SARÀ RESPONSABILE DI DANNI DI QUALSIASI TIPO, COMPRESI, MA SENZA LIMITAZIONE A, RISARCIMENTI O RIMBORSI A CAUSA DELLA PERDITA DI PROFITTI ATTUALI O PREVISTI DOVUTA A GUASTI DI QUESTO APPARECCHIO, SIA DURANTE IL PERIODO DI VALIDITÀ DELLA GARANZIA SIA DOPO LA SCADENZA DELLA GARANZIA, O PER QUALUNQUE ALTRA RAGIONE.
- Se si lascia l'apparecchio in un luogo privo di ventilazione esso non può raffreddare. Tratterà al contrario il calore prodotto. Ciò potrebbe causare incendi o danneggiare l'apparecchio stesso. Non si deve pertanto lasciare l'apparecchio in luoghi che non ne consentono il corretto raffreddamento.

Reimballaggio

Non eliminare il materiale di imballaggio.
Esso potrebbe infatti risultare utile per il trasporto dell'apparecchio. In tal caso si raccomanda di reimballare l'apparecchio come illustrato sulla confezione.

Per qualsiasi domanda o problema relativo all'apparecchio si prega di rivolgersi a un rivenditore Sony autorizzato.

Precauzioni relative all'ambiente d'installazione

Questo display è conforme allo standard internazionale IEC60529 IP54 sulla resistenza alla polvere e agli spruzzi d'acqua e può pertanto essere usato in luoghi in cui sono presenti, appunto, polvere o spruzzi d'acqua.
Di seguito si riporta il tipo di capacità indicata dai numeri dopo la sigla IP.

Resistenza alla polvere

IP5_ Protezione antipolvere

Definizione

Benché non si possa completamente impedire l'ingresso della polvere nell'apparecchio, si deve almeno evitare che penetri in quantità sufficiente da impedirne l'uso appropriato e in sicurezza.

Resistenza agli spruzzi d'acqua

IP_4 Protezione antispruzzi d'acqua

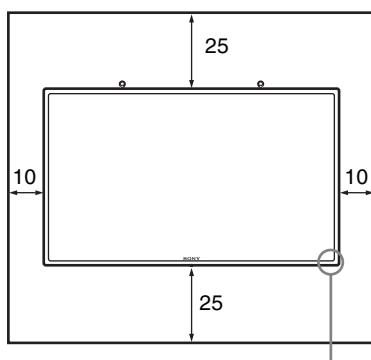
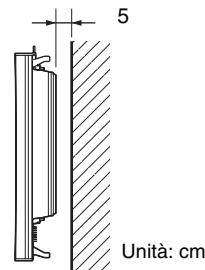
Definizione

Gli spruzzi d'acqua contro il mobile del display provenienti da qualsiasi direzione non producono effetti nocivi.

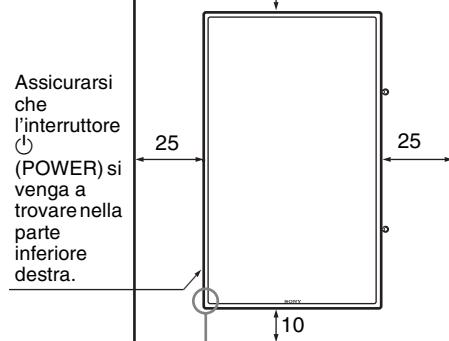
Installare il display in un luogo spazioso

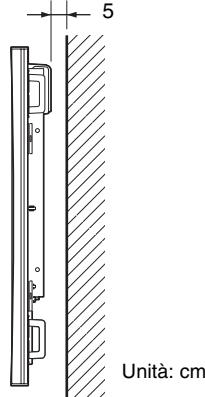
- Per evitare il surriscaldamento interno ci si deve accertare che lo spazio che circonda il display sia sufficiente per garantire la ventilazione corretta, come illustrato nella figura riportata di seguito.
- La temperatura ambiente deve essere compresa tra 0°C e 35°C. Prestare particolare attenzione quando s'installa il display vicino al soffitto. In questi punti infatti la temperatura potrebbe diventare più elevata rispetto alla normale temperatura della stanza.
- Quando il display è acceso all'interno si riscalda. Ciò potrebbe causare ustioni. Quando il display è acceso o appena è entrato in standby non se ne deve toccare la parte superiore o posteriore.

Installazione del display in posizione orizzontale

Parte anteriore

Sensore per luce/sensore del telecomando

Parte laterale

Installazione del display in posizione verticale

Parte anteriore

Sensore per luce/sensore del telecomando

Parte laterale

Evitare l'alta temperatura e l'alta umidità.

Se durante l'uso si espone il display all'alta temperatura o all'alta umidità, oppure a variazioni repentine di temperatura causate dall'uso di un condizionatore d'aria o di un apparecchio analogo, sotto il vetro di protezione si può formare della condensa.

Non ostruire il sensore per luce o il sensore del telecomando

Non collocare alcun oggetto davanti al sensore per luce o al sensore del telecomando.
Esso potrebbe infatti impedire il corretto funzionamento della funzione di regolazione automatica della luminosità o del telecomando.

Parte anteriore

Parti	Descrizione
❶ Logo Sony	Il logo Sony si illumina. Dal menu si può rendere il logo verticale od orizzontale. Al momento dell'acquisto l'apparecchio ne rileva automaticamente la posizione e lo fa apparire sullo schermo. Si prega di vedere la sezione "Logo" a pagina 31. **Nota** Se non si pensa di cambiare l'orientamento dell'installazione è opportuno impostare l'opzione "Posizione" di "Logo" su "Paesaggio" o "Ritratto" secondo necessità. Il sensore di orientamento potrebbe non operare correttamente qualora sottoposto a vibrazioni o urti.
❷ Indicatore I / ⏻ (alimentazione/standby)	• Si illumina di verde quando il display è acceso. • Si illumina di rosso quando il display si trova in standby. Quando il display entra in modalità di risparmio energetico la luce diventa arancione e un segnale di input viene trasmesso dal PC. Quando l'indicatore I / ⏻ lampeggia di colore rosso, vedere pagina 38. **Nota** Se l'opzione "LED" nelle impostazioni "Display multiplo" è impostata su "No" e l'opzione "Posizione" non è impostata sulla parte inferiore destra, l'indicatore non si illumina in verde anche se il display è acceso, tranne in caso di assenza di segnale o di un segnale non compatibile.
❸ Sensore del telecomando	Sensore di ricezione luminoso del telecomando
❹ Sensore per luce	Questo sensore permette di regolare automaticamente la luminosità dello schermo. Si prega di vedere pagina 32. **Nota** Non collocare alcun oggetto davanti al sensore per luce o al sensore all'infrarosso. Esso potrebbe infatti impedire il corretto funzionamento della funzione di regolazione automatica della luminosità.

Parte posteriore

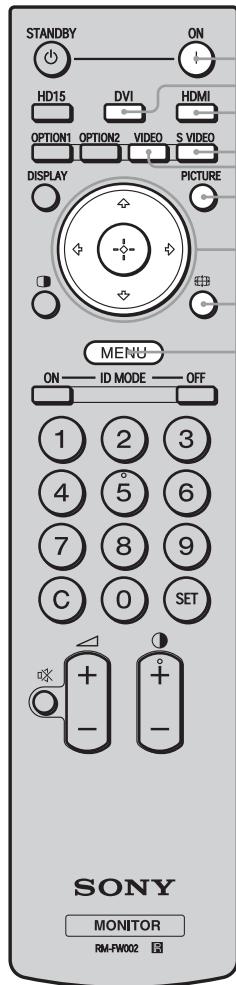
Parti	Descrizione
❶ **REMOTE** (10BASE-T/100BASE-TX)	Collega il display alla rete mediante un cavo LAN 10BASE-T/100BASE-TX. Da un PC è possibile assegnare varie impostazioni e controllare il display attraverso la rete. **Attenzione** • Quando si collega il cavo LAN dell'apparecchio al dispositivo periferico, utilizzare quello fornito in dotazione per prevenire il malfunzionamento per rumore. • Per ragioni di sicurezza, non collegare il connettore per il cablaggio del dispositivo periferico che potrebbe avere una tensione eccessiva in questa porta. Seguire le istruzioni per questa porta. **Nota** Quando si usa questa presa, in "Porta di rete" occorre selezionare "Display". Si prega di vedere pagina 31.
❷ **AUDIO** (minipresa stereo)	Questa è la presa d'uscita audio del display alla quale collegare un apparecchio esterno. Emette l'audio del segnale attualmente indicato sullo schermo. Emette un segnale audio corrispondente all'immagine attiva* mentre è selezionato il modo "P&P" o "PinP". **Nota** • Le impostazioni assegnate in "Modo audio" o "Uscita diffusori" non saranno visualizzate. • Lo stato di riduzione dei disturbi impostato con il telecomando non è visualizzato.
❸ **VIDEO**	**S VIDEO IN** (Mini DIN a 4 contatti): collega all'uscita S Video di un apparecchio video. **VIDEO IN** (BNC): collega all'uscita video di un apparecchio video. **VIDEO OUT** (BNC): collega all'ingresso video di un apparecchio video. Saranno visualizzate le immagini inserite in VIDEO IN. La visualizzazione prescinde dallo stato di accensione o di spegnimento (standby compreso) del display. **AUDIO IN** (minipresa stereo): collega all'uscita audio di un apparecchio video.
❹ **HD15 (RGB/ COMPONENT)** (D-sub a 15 contatti)	**HD15 (RGB/COMPONENT) IN:** collega all'uscita del segnale RGB o all'uscita del segnale componente di un apparecchio video o di un PC. Vedere pagina 43. **AUDIO IN:** inserisce un segnale audio. Collega all'uscita del segnale audio di un apparecchio video o di un PC. **HD15 (RGB/COMPONENT) OUT:** collega all'ingresso del segnale RGB o del segnale componente di un apparecchio video o di un PC. Vedere pagina 43. Verranno trasmessi i segnali inseriti attraverso la presa HD15 (RGB/COMPONENT) IN. **Note** • Durante l'inserimenti di un segnale componente ci si deve accertare di non inserire segnali sincronici dai contatti 13 e 14. Diversamente è possibile che l'immagine non sia visualizzata correttamente. • Quando il display non è collegato alla presa CA oppure si trova in standby HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT non emette alcun segnale.
❺ **DVI** (DVI-D da 24 contatti)	**DVI IN:** collega alla presa di uscita del segnale digitale di un apparecchio video o di un PC. È compatibile con la funzione di protezione da copia HDCP. **AUDIO IN:** inserisce un segnale audio. Collega all'uscita del segnale audio di un apparecchio video, ecc.
❻ **HDMI IN**	HDMI (High-Definition Multimedia Interface) fornisce un'interfaccia tra il display e un apparecchio audio/video dotato di presa HDMI nonché un PC. È possibile visualizzare video potenziati o ad alta definizione e ascoltare l'audio digitale a due canali. Il modo corretto per un apparecchio audio/video o un PC viene selezionato automaticamente in base all'apparecchio collegato. **Nota** Accertarsi di utilizzare esclusivamente un cavo HDMI (non in dotazione) che rechi il logo HDMI. Si raccomanda l'uso di un cavo HDMI Sony (di tipo ad alta velocità).

IT

Parti	Descrizione
❼ Alloggiamento **OPTION** (porta VIDEO/COM)	Questo alloggiamento è compatibile con i segnali video e le funzioni di comunicazione. Qui si può installare un adattatore opzionale (serie BKM-FW) per estendere le funzioni di controllo. Vedere pagina 16.
❽ Presa **AC IN**	Collegare il cavo di alimentazione CA, fornito in dotazione, a questa presa e a una presa di rete. Vedere pagina 17. Una volta collegato il cavo di alimentazione CA l'indicatore ⏽/⏻ si illumina di rosso e il display entra in standby.
❾ Presa **SPEAKER**	A questa presa si devono collegare i diffusori SS-SPG02 (non in dotazione). Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori si prega di consultarne il manuale d'uso. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori, vedere pagina 19.
❿ Interruttore ⏻ **(POWER)**	Accende o spegne il display (standby).
⓫ Tasto ↶ **(RETURN)**	Torna alla precedente schermata del menu.
⓬ Tasto ⊕ **(ENTER)**	Da premere per confermare l'impostazione.
⓭ Tasto **–/+** (volume/cursore)	Da premere per regolare il volume dei diffusori. Quando il menu è visualizzato, premere questo tasto per spostare il cursore o impostare un valore. Premere per confermare l'impostazione.
⓮ Tasto **MENU**	Da premere per visualizzare i menu.
⓯ ⇥ Tasto **(INPUT)**	Da premere per selezionare un segnale da trasmettere tramite la presa INPUT o OPTION. Ad ogni pressione del tasto INPUT il segnale da inserire cambia come segue. → S Video → Video → HD15 → DVI → HDMI → OPTION ─┐ Se nell'alloggiamento OPTION non è stato installato l'adattatore opzionale compatibile con il segnale video OPTION sarà ignorato.
⓰ Sensore di temperatura	Rileva la temperatura ambiente.
⓱ Posizioni di installazione del diffusore	Applicare i diffusori dedicati SS-SPG02.
⓲ Fori per l'installazione del supporto	Fori per viti conformi allo standard VESA (passo: 600mm × 400 mm, vite: M6).
⓳ Bullone a occhiello	Vanno usati per installare il display con una gru. Dopo l'installazione si svitano le viti e li si rimuove.
⓴ Posizione di fissaggio dei bulloni a occhiello (per l'installazione verticale)	Quando s'installa il display verticalmente i bulloni a occhiello vanno fissati in questa posizione. Per il loro fissaggio di prega di rivolgersi al proprio rivenditore o a un centro di assistenza Sony.
㉑ Coperchio dei cavi	Impedisce all'acqua e alla polvere di penetrare negli spazi tra i cavi e nel coperchio delle prese. Per collegare i cavi è necessario rimuovere questo coperchio dopo averne svitato le viti.
㉒ Coperchio delle prese	Impedisce all'acqua e alla polvere di penetrare nel vano delle prese. Per collegare i cavi è necessario rimuovere questo coperchio dopo averne svitato le viti.

* È possibile passare dallo stato di emissione dell'audio a quello d'ingresso del segnale.

Telecomando

Descrizione dei tasti

❶ **Interruttore POWER ON**

Da premere per accendere il display.

❷ **Tasto DVI**

Da premere per selezionare il segnale da trasmesso alla porta DVI.

❸ **Tasto HDMI**

Da premere per selezionare il segnale trasmesso alla porta HDMI.

❹ **Tasto S VIDEO**

Da premere per selezionare il segnale d'ingresso alla presa S VIDEO IN da un apparecchio video.

❺ **Tasto VIDEO**

Da premere per selezionare il segnale d'ingresso alla presa VIDEO IN da un apparecchio video.

❻ **Tasto PICTURE**

Seleziona "Modo immagine". Ad ogni pressione il modo si alterna tra "Vivido", "Standard", "Personalizzato", "Conferenza" e "TC Control".

❼ **Tasti ⇧/⇩/⇦/⇨/⊕**

I tasti ⇧/⇩/⇦/⇨ consentono di spostare il cursore del menu, di impostare i valori e così via. Premendo ⊕ è possibile impostare il menu o le voci di impostazione selezionate.
Nel modo "PAP" è possibile selezionare l'impostazione Picture and Picture. Vedere pagina 14.

❽ **Tasto ⊞**

Da premere per cambiare il rapporto di formato dell'immagine. Vedere pagina 13.

❾ **Tasto MENU**

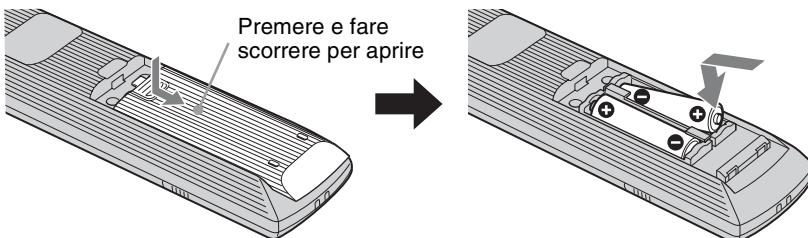
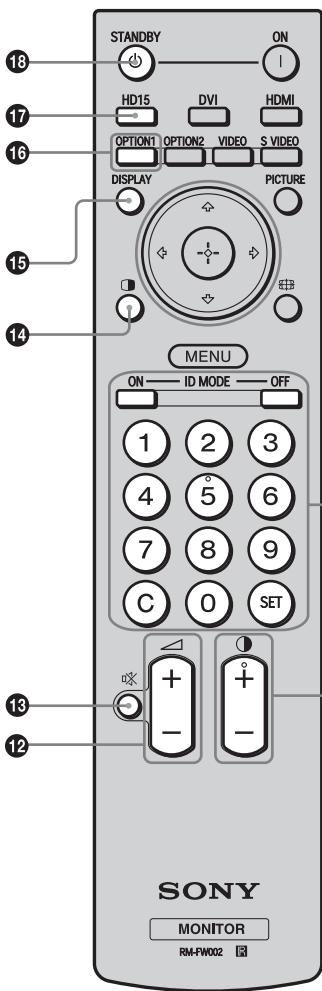
Da premere per visualizzare i menu. Premerlo di nuovo per annullarne la visualizzazione. Vedere pagina 20.

IT

Note

- Sui tasti 5 e ◑ è presente un punto tattile. Esso è utilizzabile come riferimento durante l'uso del display.
- Inserire due pile al manganese di formato AA (R6) (in dotazione) allineando i simboli ⊕ e ⊖ sulle pile allo schema riportato all'interno dello scomparto pile del telecomando.

Attenzione

Se una batteria non viene sostituita correttamente vi è il rischio di esplosione. Sostituire una batteria con una uguale o simile seguendo le raccomandazioni del produttore. Per lo smaltimento della batteria, attenersi alle norme in vigore nel paese di utilizzo.

❿ Tasti ID MODE (ON/0-9/SET/C/OFF)

È possibile utilizzare un display specifico senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

- Tasto ON: da premere per visualizzare "Numero indice" sullo schermo.
- Tasti 0-9: da premere per inserire il "Numero indice" del display che si desidera usare.
- Tasto SET: da premere per impostare "Numero indice".
- Tasto C: da premere per annullare l'impostazione "Numero indice".
- Tasto OFF: da premere per tornare al modo normale.

Vedere pagina 15.

⓫ ◑ Tasto +/–

Da premere per regolare il livello (contrasto) dell'immagine.

⓬ ⊿ Tasto +/–

Da premere per regolare il volume.

⓭ Tasto 🔇

Da premere per disattivare l'audio. Premerlo di nuovo per ripristinarlo.

⓮ Tasto ◨

Da premere per selezionare il modo "PAP" (Picture And Picture). Ad ogni pressione del tasto la visualizzazione passa da "P&P" a "PinP" o all'immagine a schermata singola. Si prega di vedere pagina 14.

⓯ Tasto DISPLAY

Da premere per visualizzare sullo schermo l'ingresso e il tipo del segnale attualmente selezionato, nonché l'impostazione "Aspetto". Premerlo di nuovo per disattivare la visualizzazione. Le informazioni visualizzate scompaiono automaticamente dopo alcuni secondi.

⓰ Tasto OPTION 1

Quando è installato un adattatore opzionale permette di selezionare il segnale di ingresso dall'apparecchio collegato all'adattatore opzionale.
Se l'adattatore opzionale installato è dotato di prese di ingresso multiple, ad ogni pressione del tasto è possibile alternare tra i segnali di ingresso.

⓱ Tasto HD15

Da premere per selezionare il segnale d'ingresso della presa HD15 (RGB/COMPONENT). Il segnale RGB o il segnale componente viene selezionato automaticamente o manualmente in base alle impostazioni del menu.

⓲ Tasto STANDBY

Da premere per portare il display in standby.

Nota

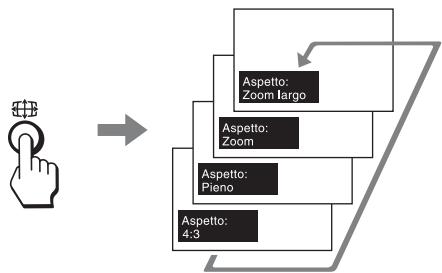
Con questo display non è possibile usare il tasto OPTION 2.

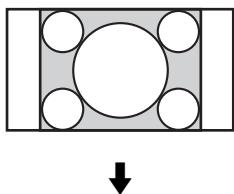
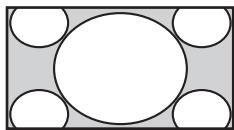
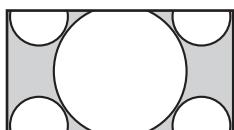
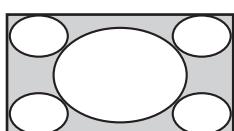
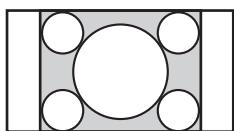
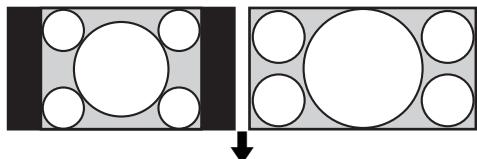
Tasti speciali del telecomando

Uso del modo ampio

È possibile modificare il rapporto d'aspetto dello schermo.

Suggerimento

È inoltre possibile accedere alle impostazioni "Aspetto" in "Schermo". Vedere pagina 27, 28.

Per l'ingresso da apparecchi video quali Video, DVD, ecc. (ad eccezione dell'ingresso dal PC)

Sorgente di origine 4:3

Zoom largo

Zoom

Pieno

4:3

Sorgente di origine 16:9

Zoom largo

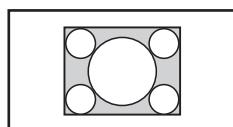
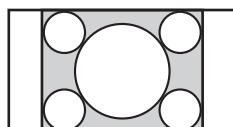
Zoom

Pieno

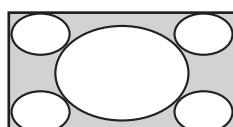
4:3

IT

Per l'ingresso dal PC

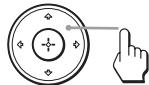
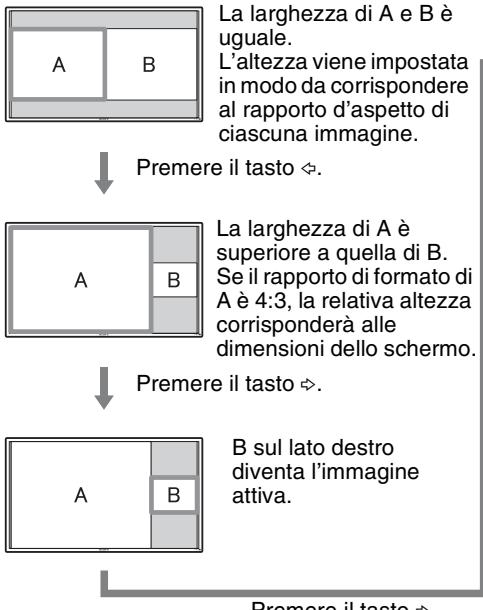
Le illustrazioni riportate di seguito indicano la risoluzione d'ingresso 800×600

Reale

Pieno 1

Pieno 2

Nota

Se la risoluzione d'ingresso è maggiore della risoluzione dello schermo (1.920×1.080) la visualizzazione Reale corrisponde a Pieno 1.

Uso dell'impostazione PAP

È possibile visualizzare una accanto all'altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un PC e da un apparecchio video.
È inoltre possibile invertire le immagini attive o modificare il bilanciamento delle dimensioni delle immagini.
È inoltre possibile accedere alle "Impostazione PAP" nelle impostazioni "Schermo". Vedere pagina 25.

Cursore indicante l'immagine attiva

For P&P

La larghezza di A e B è uguale.
L'altezza viene impostata in modo da corrispondere al rapporto d'aspetto di ciascuna immagine.

Premere il tasto ⇦.

La larghezza di A è superiore a quella di B.
Se il rapporto di formato di A è 4:3, la relativa altezza corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

Premere il tasto ⇨.

B sul lato destro diventa l'immagine attiva.

Premere il tasto ⇨.

La larghezza di A e B è uguale.
L'altezza viene impostata in modo da corrispondere al rapporto d'aspetto di ciascuna immagine.

Premere il tasto ⇨.

La larghezza di B è superiore a quella di A.
Se il rapporto d'aspetto di B è 4:3 la relativa altezza corrisponderà alle dimensioni dello schermo.

Premere il tasto ⇩.

B sul lato destro diventa piccola mentre rimane visualizzata l'immagine attiva.

For PinP

L'immagine secondaria (B) viene mostrata all'interno dell'immagine principale (A).

Premere il tasto ⇦/⇨.

L'immagine secondaria (B) diventa l'immagine attiva.

Premere il tasto ⊕.

La posizione dell'immagine secondaria (B) verrà modificata.

Premere il tasto ⇩.

Le dimensioni dell'immagine secondaria (B) aumentano.

Premere il tasto ⇩.

Le dimensioni dell'immagine secondaria (B) diminuiscono.

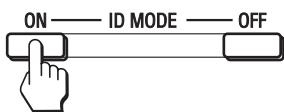
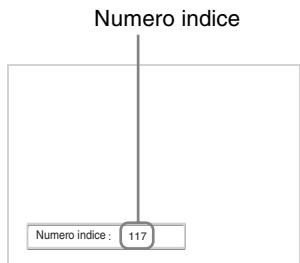
Suggerimenti

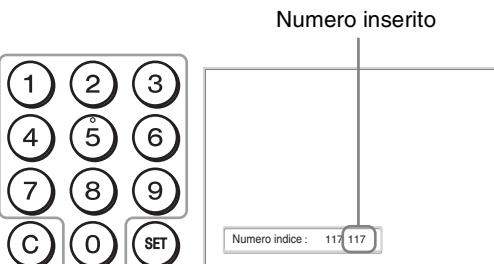
- Il cursore che indica l'immagine attiva scomparirà dopo 5 secondi.
- L'immagine può essere regolata fino a 15 dimensioni (con P&P).

Uso del tasto ID MODE

È possibile utilizzare un display specifico senza influenzare altri display installati contemporaneamente.

1 Premere il tasto **ON** .

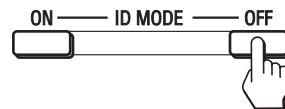
Il “Numero indice” del display appare in caratteri neri nel menu visualizzato nella parte inferiore sinistra dello schermo. Ad ogni display è assegnato un “Numero indice” preimpostato compreso tra 1 e 255.

2 Con i tasti 0 - 9 del telecomando inserire il “Numero indice” del display da usare.

Il numero inserito appare accanto al “Numero indice” di ogni display.

3 Premere il tasto **SET** .

I caratteri relativi al display selezionato diventano di colore verde, mentre gli altri diventano di colore rosso.

È possibile usare esclusivamente il display specificato indicato dai caratteri verdi.
Per gli altri display sono operativi soltanto l’interruttore POWER ON e il tasto STANDBY/ ID MODE-OFF.

4 Una volta modificate tutte le impostazioni premere il tasto **OFF**.

Sul display appare di nuovo lo schermo normale.

Per correggere il Numero indice

Premere il tasto C per cancellare il “Numero indice” inserito. Tornare al punto 2 e quindi inserire un nuovo “Numero indice”.

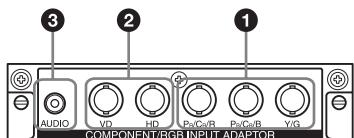
Suggerimento

Per istruzioni sulla modifica di “Numero indice” del display si prega vedere “Numero indice” in “Impostaz. controllo” a pagina 29.

IT

Adattatori opzionali

Il terminale dell'alloggiamento OPTION ❼ (pagina 10) sulla parte laterale dell'apparecchio è di tipo a inserimento. Essa può essere installato sul seguente adattatore opzionale (non in dotazione).
Per ulteriori informazioni sull'installazione si prega di rivolgersi al proprio rivenditore Sony.
Per ulteriori informazioni sugli adattatori opzionali per l'espansione del sistema si prega di consultare i rispettivi manuali d'uso.

Adattatore COMPONENT/RGB INPUT BKM-FW11

❶ **Y/G, $P_B/C_B/B$, $P_R/C_R/R$ IN (BNC)**: permette di effettuare il collegamento all'uscita del segnale RGB o all'uscita del segnale componente di un apparecchio video o di un PC.

❷ **HD, VD IN (BNC)**: permette di effettuare il collegamento all'uscita del segnale di sincronizzazione di un PC.

Nota

Durante l'inserimento di un segnale componente non si devono inserire segnali sincronici ai connettori HD e VD. Diversamente è possibile che l'immagine non appaia correttamente.

❸ **AUDIO** (minipresa stereo): inserisce il segnale audio. Permette di effettuare il collegamento all'uscita audio di un apparecchio video o di un PC.

Adattatore HDMI INPUT BKM-FW15

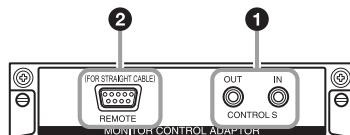
È possibile visualizzare video potenziati o ad alta definizione e ascoltare l'audio digitale a due canali. Il modo corretto per un apparecchio audio/video o un PC viene selezionato automaticamente in base all'apparecchio collegato.

Nota

Usare esclusivamente un cavo HDMI (non in dotazione) che rechi il logo HDMI. Si raccomanda l'uso di un cavo HDMI Sony (di tipo ad alta velocità).

Adattatore HD-SDI/SDI INPUT BKM-FW16

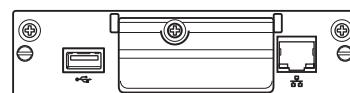
Permette di effettuare il collegamento all'uscita del segnale HD-SDI di un apparecchio video.

Adattatore MONITOR CONTROL BKM-FW21

❶ **CONTROL S IN/OUT** (minipresa stereo): è possibile controllare più apparecchi con un unico telecomando quando il display è collegato alla presa CONTROL S di un apparecchio video o di un altro display. Collegare la presa CONTROL S OUT dell'adattatore alla presa CONTROL S IN dell'altro apparecchio, quindi collegare la presa CONTROL S IN dell'adattatore alla presa CONTROL S OUT dell'altro apparecchio.

❷ **REMOTE** (D-sub da 9 contatti): questa presa permette di controllare a distanza il display mediante protocollo RS-232C. Per ulteriori informazioni si prega di rivolgersi a un rivenditore Sony autorizzato.

Note

- La presa REMOTE e la presa REMOTE (LAN) ❶ (pagina 9) sulla parte laterale dell'apparecchio non possono essere usate contemporaneamente.
- Quando si usa la presa REMOTE in "Porta di rete" occorre selezionare "Option". (pagina 31)

Adattatore STREAMING RECEIVER BKM-FW50

Questo adattatore premette di usare il display con i segnali digitali.
Diviene così possibile vedere film o foto oppure ascoltare musica in background nei formati specificati semplicemente inserendo i relativi supporti di memoria. È altresì possibile vedere le immagini di un computer collegato alla rete.

Nota

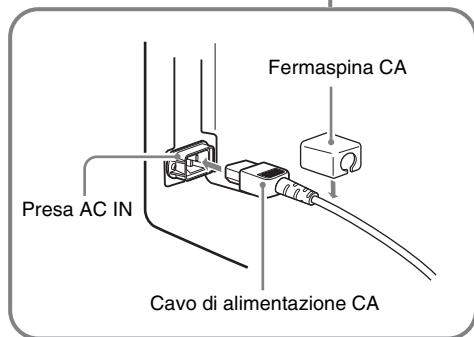
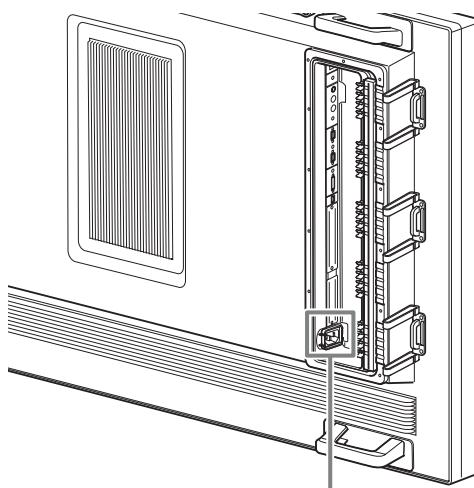
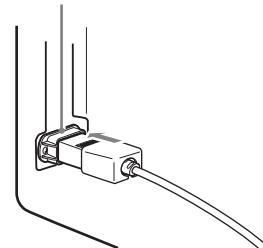
È necessario usare la scheda CompactFlash.

- CompactFlash è un marchio di SanDisk Corporation idepositato negli Stati Uniti d'America.

Operazioni preliminari

- Accertarsi innanzi tutto che tutti gli apparecchi siano disalimentati.
- Usare cavi adatti agli apparecchi da collegare.
- Collegare i cavi inserendoli completamente nelle rispettive prese. Diversamente potrebbero verificarsi disturbi.
- Per scollegare i cavi li si deve afferrare per la spina. Non tirare mai i cavi stessi.
- Fare inoltre riferimento al manuale d'uso dell'apparecchio da collegare.
- Inserire in modo saldo la spina nella presa AC IN.
- Per mantenere saldamente in posizione la spina CA si raccomanda di usare uno dei due appositi fermi (in dotazione).

Collegamento del cavo di alimentazione CA e degli altri cavi

1 Inserire il cavo di alimentazione CA nella presa AC IN. Quindi fissare il fermaspina CA (in dotazione) al cavo di alimentazione CA.

2 Fare scorrere il fermaspina CA sul cavo per inserirlo nel coperchio della presa AC IN.

Per scollegare il cavo di alimentazione CA

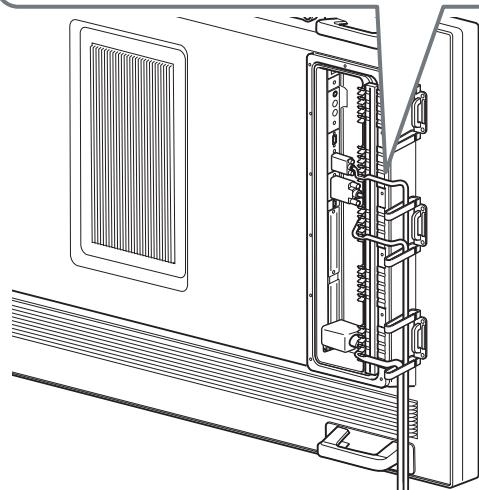
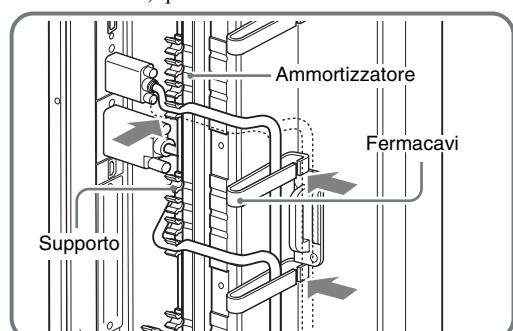
Dopo avere sbloccato il fermaspina CA premendolo ai lati, afferrare la spina ed estrarre il cavo di alimentazione CA.

3 Collegare i cavi alle prese e quindi bloccare sia questi sia il cavo di alimentazione CA.

Premere i cavi nelle scanalature del supporto ad angolo retto rispetto all'ammortizzatore bloccandoli quindi con l'apposito fermacavi..

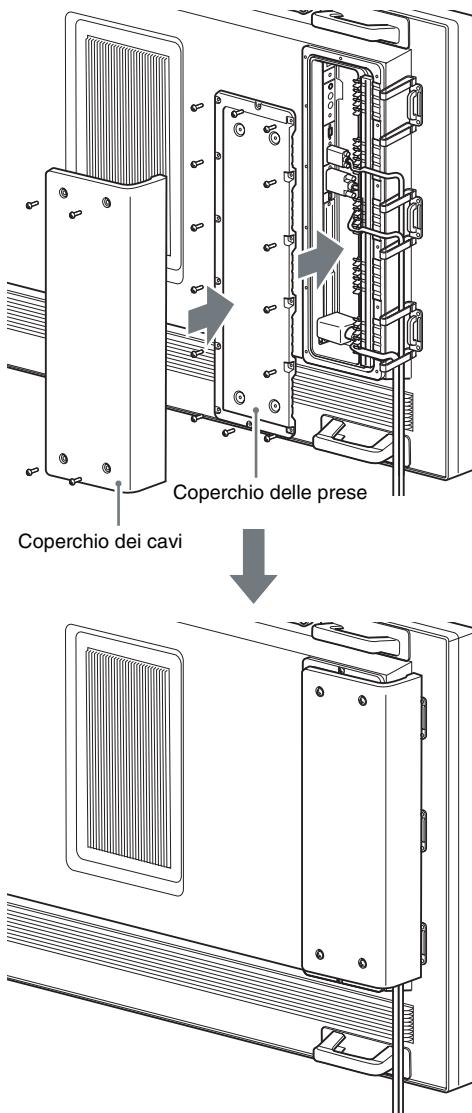
Nota

Procedere quindi con il collegamento dei diffusori (non in dotazione) qualora li s'intenda usare.

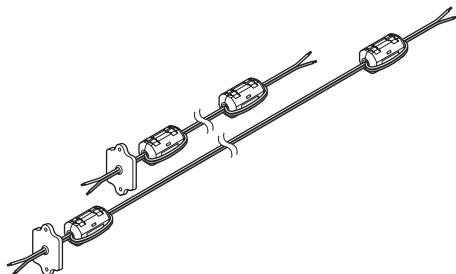
IT

4 Fissare al display il coperchio delle prese e il coperchio dei cavi.

Il coperchio delle prese e il coperchio dei cavi devono sempre essere applicati nei casi in cui s'intenda usare il display in un punto che richieda il rispetto dello standard internazionale IP54.

Nota

Le viti di chiusura del coperchio devono essere serrate in modo uniforme. In caso d'uso di un avvitatore elettrico se ne deve impostare la coppia di chiusura tra 0,8 N·m e 1,0 N·m (8 kgf·cm e 10 kgf·cm).

Collegamento dei diffusori

Collegare i diffusori SS-SPG02 (non in dotazione). Per il loro collegamento si devono usare gli appositi cavi con essi forniti.

Cavo per diffusore (con coperchio della presa)

- I cavi del diffusore destro e sinistro hanno lunghezza diversa. Il cavo del diffusore sinistro è infatti più corto di quello del diffusore destro. Per eseguire correttamente i collegamenti si prega di vedere le etichette ubicate posteriormente ai diffusori.
- Il coperchio delle prese deve sempre essere applicato nei casi in cui s'intenda usare il display in un punto che richieda il rispetto dello standard internazionale IP54.
- Per ulteriori informazioni sul collegamento dei diffusori si prega di consultarne il manuale d'uso. Per ulteriori informazioni sul percorso dei cavi dei diffusori si prega di vedere a pagina 19.

Nota

Quando si orienta il display verticalmente i diffusori non soddisfano più lo standard internazionale IP54.

Sistemazione dei cavi

È possibile fissare in modo pratico i cavi usando gli appositi fermacavi già applicati al display.

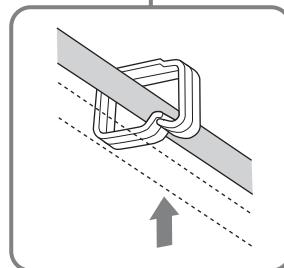
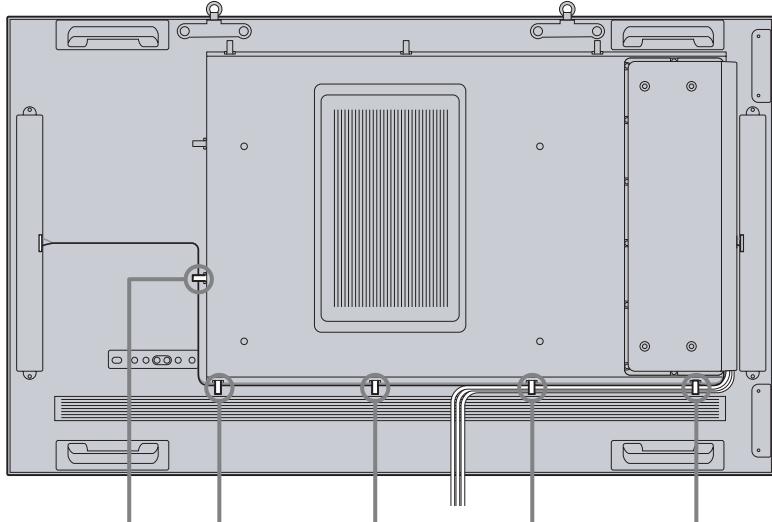
Panoramica dei menu

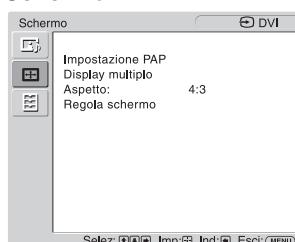
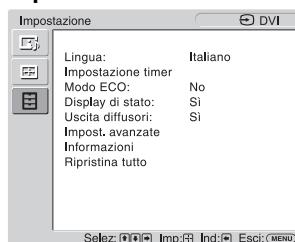
1 Premere il tasto MENU.

2 Premere ⇧/⇩ per evidenziare l'icona di menu desiderata.

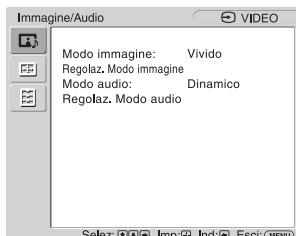
3 Premere ⊕ o ⇨.
Per uscire dal menu premere il tasto MENU.

Per cambiare la lingua delle indicazioni a schermo

La lingua delle impostazioni a schermo e dei messaggi può essere selezionata tra "English", "Français", "Deutsch", "Español", "Italiano" e "日本語". "English" (inglese) è l'impostazione predefinita. Vedere pagina 29.

Con queste impostazioni è possibile accedere alle funzioni riportate di seguito:

Impostazioni	Per impostare/modificare
Immagine/Audio	Modo immagine: (pagina 21, 23) Regolaz. Modo immagine (pagina 21, 23) Modo audio: (pagina 22, 24) Regolaz. Modo audio (pagina 22, 24) **Nota** Non è possibile impostare o modificare "Modo immagine" e "Regolaz. Modo immagine" quando non vi è un segnale in ingresso.
Schermo	Impostazione PAP (pagina 25, 28) Display multiplo (pagina 26, 28) Aspetto: (pagina 27, 28) Regola schermo (pagina 27, 28)
Impostazione	Lingua: (pagina 29) Impostazione timer (pagina 29) Modo ECO: (pagina 29) Display di stato: (pagina 29) Uscita diffusori: (pagina 29) Impost. avanzate (pagina 29) Informazioni (pagina 32) Ripristina tutto (pagina 32)

* A seconda delle impostazioni è possibile che le icone di menu visualizzate nella parte inferiore dello schermo non siano disponibili.

Immagine/Audio Impostazioni

Per l'ingresso video

Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni occorre premere ⇧/⇩/⇦/⇨.
Premere ⊕ per confermare la selezione.
Nelle impostazioni "Immagine/Audio" sono incluse le seguenti opzioni:

Modo immagine

"Vivido": ottiene immagini più nitide e contrastate.
"Standard": regola le impostazioni standard delle immagini.
"Personalizzato": memorizza le impostazioni preferite.
"Conferenza": regola la qualità dell'immagine durante le videoconferenze con illuminazione fluorescente.
"TC Control": questa impostazione è in comune con l'opzione "Vivido". È inoltre possibile usare la funzione "True Color Control" (citata di seguito).

Suggerimento

Per alternare tra un'opzione di "Modo immagine" e l'altra si può inoltre usare PICTURE del telecomando.

Note

- "Conferenza" potrebbe non essere efficace a seconda dell'ambiente o del sistema di videoconferenza in uso. In tal caso occorre regolare la qualità dell'immagine passando ad un'altra impostazione del "Modo immagine" e così via.
- In "TC Control", "Potenziam. lumin." è fisso su No.

Regolaz. Modo immagine

"Retroillum": aumenta o riduce la luminosità dello schermo.
"Contrasto": aumenta o riduce il contrasto delle immagini.
"Luminosità": aumenta o riduce la luminosità dell'immagine.
"Colore": bilancia automaticamente le sezioni chiare e scure delle immagini.
"Fase": regola le tonalità di colore dell'immagine.
"Nitidezza": aumenta o riduce la nitidezza dell'immagine.
"Riduz. Disturbi": selezionare questa opzione per ridurre il livello di disturbo dell'apparecchio collegato. Per impostare il livello di disturbo occorre selezionare "No", "Basso", "Medio", "Alto".
"CineMotion": selezionare "Automatico" per ottimizzare la visualizzazione a schermo in modo da individuare automaticamente il contenuto del film e applicare un processo pull down 3-2 o 2-2 inverso. L'immagine in movimento apparirà più nitida e naturale. Selezionare "No" per disattivare il rilevamento.
"Immag. Dinamica": selezionare "Sì" per aumentare il contrasto rendendo più chiaro il bianco e più scuro il nero.
"Correz. Gamma": bilancia le sezioni chiare e scure delle immagini. Selezionare "Alto", "Medio", "Basso" o "DICOM GSDF Sim." per regolare le impostazioni.

Note

- Non è possibile impostare "Correz. Gamma" quando "Modo immagine" è impostato su "Conferenza".
- "DICOM GSDF Sim." può essere usato esclusivamente quando in ingresso vi è un segnale DVI o HDMI.
  L'impostazione gamma è simulate dalla funzione GSDF (Grayscale Standard Display Function) degli standard DICOM (Digital Imaging e Communications in Medicine). È tuttavia solo un'impostazione indicativa e non può pertanto essere usata per la diagnosi medica.

"Temp. colore": permette di regolare a piacere i toni bianchi. Le impostazioni predefinite sono regolate alla temperatura del colore.
- **"Fredda":** permette di ottenere colori bianchi con una tinta bluastra.
- **"Neutra":** permette di ottenere colori bianchi con una tinta neutra.
- **"Calda":** permette di ottenere colori bianchi con una tinta rossa.
- **"Personalizzato":** offre una gamma più ampia di toni bianchi rispetto alle impostazioni che precedono.

IT

Suggerimento

Permette di ripristinare le impostazioni predefinite selezionando "Ripristina" nella schermata di regolazione dei toni.

"Potenziam. lumin.": enfatizza la luminosità del display.

Note

- "Potenziam. lumin." è impostabile esclusivamente quando "Modo immagine" è impostato su "Vivido".
- Quando "Potenziam. lumin." è impostato su "On" non è possibile regolare "Retroillum", "Contrasto", "Luminosità" e "Temp. colore".
- Quando "Potenziam. lumin." è impostato su "On", "Retroillum" su "Max" e "Modo ECO" su "No" la luminosità è al livello massimo.

"True Color Control": è possibile regolare i dettagli relativi alla tonalità e alla saturazione di ciascuno dei 4 colori: rosso, verde, giallo e blu. È inoltre possibile evidenziare colori specifici nell'immagine.

Selezionando il colore che si desidera regolare è possibile visualizzare e controllare la parte dell'immagine attuale che verrà regolata. È quindi possibile regolare quella stessa parte usando la finestra di dialogo a matrice.

Note

- Questa opzione può essere regolata quando "Modo immagine" è impostato su "TC Control".
- Nel modo "PAP" non è possibile selezionare questa opzione. Anche nel caso in cui si selezioni questa opzione nello schermo a immagine singola è possibile che la relativa impostazione non venga applicata nel modo "PAP".

"Ripristina": permette di ripristinare tutte le impostazioni predefinite di "Regolaz. Modo immagine".

Note

- "Fase" non è disponibile quando si seleziona l'ingresso Video o S Video e lo standard colore del segnale video non è NTSC.
- "Immag. Dinamica" non è disponibile quando "Modo immagine" è impostato su "Conferenza" o su "TC Control".
- Mentre è possibile impostare e regolare ciascun "Modo immagine", le impostazioni "Retroillum", "Riduz. Disturbi" e "CineMotion" sono comuni a tutti i "Modo immagine" stessi.
- Le funzioni "Immag. Dinamica" e "CineMotion" non operano nel modo PAP.

Modo audio

È possibile regolare l'uscita audio dai diffusori SS-SPG02 (non in dotazione) con varie impostazioni del "Modo audio".

"Dinamico": permette di potenziare gli acuti e i bassi.

"Standard": impostazione standard.

"Personalizzato": memorizza le impostazioni preferite.

Regolaz. Modo audio

"Acuti": aumenta o riduce gli acuti.

"Bassi": aumenta o riduce i bassi.

"Bilanciamento": enfatizza il bilanciamento dei diffusori destro e sinistro.

"Surround": seleziona la modalità surround a seconda del tipo d'immagine.

"No": nessuna uscita surround.

"Hall": per dare al suono stereo dei film e dei programmi musicali un maggior senso di presenza.

"Simulato": per dare ai comuni programmi monoaurali o ai telegiornali un intenso senso di presenza simulando il suono stereo.

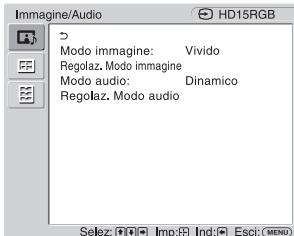
"Ripristina": ripristina tutte le impostazioni predefinite di "Regolaz. Modo audio".

Suggerimenti

- È possibile modificare le impostazioni del menu "Regolaz. Modo immagine" ("Contrasto", "Luminosità", "Colore" e così via) per ciascun "Modo immagine".
- Quando "Modo audio" è impostato su "Personalizzato" è possibile regolare le impostazioni "Regolaz. Modo audio" ("Acuti" e "Bassi") .

Nota

Nel modo "PAP" è possibile regolare solo le impostazioni "Immagine/Audio" dell'immagine attiva.

Per l'ingresso del PC

Se come sorgente d'ingresso si seleziona il PC appaiono le impostazioni "Immagine/Audio" specifiche di quello stesso ingresso.
Nel menu "Immagine/Audio" per l'ingresso del PC sono incluse le seguenti opzioni:

Modo immagine

"Vivido": ottiene immagini più nitide e contrastate.
"Standard": regola le impostazioni standard delle immagini.
"Personalizzato": memorizza le impostazioni preferite.
"Conferenza": regola la qualità dell'immagine durante le videoconferenze con illuminazione fluorescente.
"TC Control": questa impostazione è in comune con l'opzione "Vivido". È inoltre possibile utilizzare la funzione "True Color Control" (citata di seguito).

Suggerimento
Per alternare tra un'opzione di "Modo immagine" e l'altra si può inoltre usare PICTURE del telecomando.

Note

- "Conferenza" potrebbe non essere efficace a seconda dell'ambiente o del sistema di videoconferenza in uso. In tal caso occorre regolare la qualità dell'immagine passando ad un'altra impostazione del "Modo immagine" e così via.
- In "TC Control", "Potenziam. lumin." è fisso su No.

Regolaz. Modo immagine

"Retroillum": aumenta o riduce la luminosità dello schermo.
"Contrasto": aumenta o riduce il contrasto delle immagini.
"Luminosità": aumenta o riduce la luminosità dell'immagine.
"Correz. Gamma": bilancia le sezioni chiare e scure delle immagini. Selezionare "Alto", "Medio", "Basso" o "DICOM GSDF Sim." per regolare le impostazioni.

Note

- Non è possibile impostare "Correz. Gamma" quando "Modo immagine" è impostato su "Conferenza".
- "DICOM GSDF Sim."può essere usato esclusivamente quando in ingresso vi è un segnale DVI o HDMI.
  L'impostazione gamma è simulate dalla funzione GSDF (Grayscale Standard Display Function) degli standard DICOM (Digital Imaging e Communications in Medicine). È tuttavia solo un'impostazione indicativa e non può pertanto essere usata per la diagnosi medica.

"Temp. colore": permette di regolare a piacere i toni bianchi. Le impostazioni predefinite sono regolate alla temperatura del colore.
- **"Fredda":** permette di ottenere colori bianchi con una tinta bluastra.
- **"Neutra":** permette di ottenere colori bianchi con una tinta neutra.
- **"Calda":** permette di ottenere colori bianchi con una tinta rossa.
- **"Personalizzato":** offre una gamma più ampia di toni bianchi rispetto alle impostazioni che precedono.

Suggerimento
Permette di ripristinare le impostazioni predefinite selezionando "Ripristina" nella schermata di regolazione dei toni.

"Potenziam. lumin.": enfatizza la luminosità del display.

Note

- "Potenziam. lumin." è impostabile esclusivamente quando "Modo immagine" è impostato su "Vivido".
- Quando "Potenziam. lumin." è impostato su "On" non è possibile regolare "Retroillum", "Contrasto", "Luminosità" e "Temp. colore".
- Quando "Potenziam. lumin." è impostato su "On", "Retroillum" su "Max" e "Modo ECO" su "No" la luminosità è al livello massimo.

"True Color Control": è possibile regolare i dettagli relativi alla tonalità e alla saturazione di ciascuno dei 4 colori: rosso, verde, giallo e blu. È inoltre possibile evidenziare colori specifici nell'immagine.
Selezionando il colore che si desidera regolare è possibile visualizzare e controllare la parte dell'immagine attuale che verrà regolata. È quindi possibile regolare quella stessa parte usando la finestra di dialogo a matrice.

IT

Note

- Questa opzione può essere regolata quando “Modo immagine” è impostato su “TC Control”.
- Nel modo “PAP” non è possibile selezionare questa opzione. Anche nel caso in cui si selezioni questa opzione nello schermo a immagine singola è possibile che la relativa impostazione non venga applicata nel modo “PAP”.

“Ripristina”: ripristina tutte le impostazioni predefinite di “Regolaz. Modo immagine”.

Nota

Mentre è possibile impostare e regolare ciascun “Modo immagine” l’impostazione “Retroillum” è comune a tutti i “Modo immagine” stessi.

Modo audio

È possibile regolare l’uscita dell’audio dai diffusori SS-SPG02 (non in dotazione) con varie impostazioni del “Modo audio”.
“Dinamico”: potenzia gli acuti e i bassi.
“Standard”: impostazione standard.
“Personalizzato”: memorizza le impostazioni preferite.

Regolaz. Modo audio

“Acuti”: aumenta o riduce gli acuti.
“Bassi”: aumenta o riduce i bassi.
“Bilanciamento”: enfatizza il bilanciamento dei diffusori destro e sinistro.
“Surround”: seleziona la modalità surround a seconda del tipo d’immagine.
  “No”: nessuna uscita surround.
  “Hall”: per dare al suono stereo dei film e dei programmi musicali un maggior senso di presenza.
  “Simulato”: per dare ai comuni programmi monoaurali o ai telegiornali un intenso senso di presenza simulando il suono stereo.
“Ripristina”: ripristina tutte le impostazioni predefinite di “Regolaz. Modo audio”.

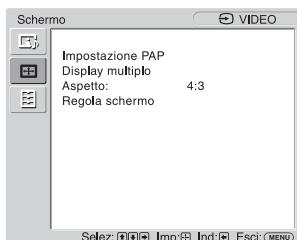
Suggerimenti

- È possibile modificare le impostazioni del menu “Regolaz. Modo immagine” (“Contrasto”, “Luminosità”, “Colore” e così via) per ciascun “Modo immagine”.
- Quando “Regolaz. Modo audio” è impostato su “Acuti” è possibile regolare le impostazioni “Bassi” (“Modo audio” e “Personalizzato”.

Note

- “Colore”, “Fase”, “Nitidezza”, “Riduz. Disturbi”, “CineMotion” e “Immag. Dinamica” non sono disponibili per l’ingresso dal PC.
- Nel modo “PAP” è possibile regolare solo le impostazioni “Immagine/Audio” dell’immagine attiva.

Schermo Impostazioni

Per l’ingresso video

Per evidenziare un’opzione e modificare le impostazioni occorre premere ⇧/⇩/⇦/⇨.
Premere ⊕ per confermare la selezione.
Nelle impostazioni “Schermo” sono incluse le seguenti opzioni:

Impostazione PAP

Permette di visualizzare una accanto all’altra due immagini provenienti da sorgenti diverse, ad esempio da un PC e da un apparecchio video.

“**PAP**”

- **“No”:** disabilita la funzione “PAP”.
- **“P&P”:** visualizza contemporaneamente due immagini l’una di fianco all’altra.
- **“PinP”:** visualizza due immagini di cui una inserita nell’immagine principale.

Per P&P

“Immagine attiva”: seleziona lo schermo da gestire.

- **“Sinistra”:** è possibile attivare l’immagine a sinistra in modo da gestirla.
- **“Destra”:** è possibile attivare l’immagine a destra in modo da gestirla.
- **“Inverti”:** inverte le due immagini affiancate.

“Dimens. Immagine”: regola il bilanciamento tra due immagini affiancate. Regolare il bilanciamento premendo il tasto ⇦ o ⇨, quindi premere il tasto ⊕ per confermare la regolazione. (pagina 14)

Per PinP

“Immagine attiva”: seleziona la schermata da usare.

- **“Pricipale”:** è possibile attivare l’immagine principale in modo da gestirla.
- **“Secondario”:** è possibile attivare l’immagine secondaria in modo da gestirla.
- **“Inverti”:** inverte l’immagine principale con quella secondaria.

“Dimens. Immagine”: regola le dimensioni dell’immagine inserita. Selezionare “Grande” o “Piccolo”.

“Pozitione immagine”: regolare la posizione dell’immagine inserita con i tasti ⇧/⇩/⇦/⇨ e quindi premere ⊕.

Note

- Nei modi “PAP”, “Modo immagine” e “Modo audio” si riflettono sempre nelle impostazioni principali dell’immagine.
- Nel modo “PAP” non è possibile modificare il rapporto d’aspetto. L’immagine appare secondo il rapporto d’aspetto usato immediatamente prima di selezionare il modo “PAP”.

IT

Combinazioni disponibili di due immagini

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	HDMI	OPTION			
				RGB	Componente			RGB	Componente	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○	○		○[2)]	○	○
	Componente	○	○			○	○	○[1)]		○	○
DVI		○	○	○	○			○	○		
HDMI		○	○	○	○			○	○		

1) Supportato quando in “RGB/YUV” “Display” è impostato su “YUV” oppure “Option” è impostato su “RGB”.
2) Supportato quando in “Display” “RGB” è impostato su “Option” oppure quando “YUV” è impostato su “RGB/YUV”.

Suggerimento

Nel modo “PAP” l’uscita da BKM-FW50 viene considerata come l’uscita RGB mostrata nella tabella.

Display multiplo

Permette di definire le impostazioni per connettere molteplici display sino a formare una parete video.

“Display multiplo”

“No”: permette di usare un singolo schermo.

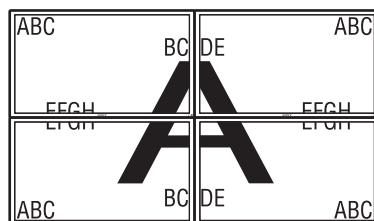
“2×2”/“3×3”/“4×4”: impostazioni per il collegamento di più display, ad esempio 2, 3 o 4, sia verticalmente che orizzontalmente.

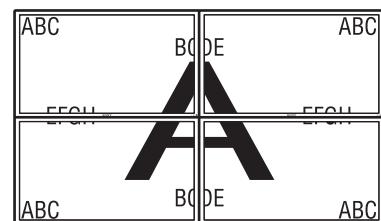
“1×2”/“1×3”/“1×4”: impostazioni per il collegamento di più display, ad esempio 2, 3 o 4, solo orizzontalmente.

“2×1”/“3×1”/“4×1”: impostazioni per il collegamento di più display, ad esempio 2, 3 o 4, solo verticalmente.

“Posizione”: selezionare la posizione di ogni display nella disposizione della parete video usando i tasti ⇧/⇩/⇦/⇨. Premere ⊕ per impostare la posizione.

“Formato uscita”: è possibile selezionare due formati di trasmissione delle immagini nel modo illustrato nelle figure. È sufficiente selezionare uno dei formati affinché venga effettuata la trasmissione adatta dell’immagine senza necessità di regolare manualmente le posizioni orizzontale e verticale. Selezionare “Mattonelle” o “Finestra”.

“Mattonelle”

Per visualizzare il segnale completo su ciascun display.

“Finestra”

Per visualizzare in modo naturale su più display un’immagine di grandi dimensioni.
Parte del segnale si estende al di fuori dell’area di visualizzazione.

"LED": "Sì" per impostare l'indicatore I / ⏻ sul pannello anteriore (pagina 7) in modo che rimanga costantemente illuminato e "No" in modo che l'indicatore I / ⏻ sul pannello anteriore rimanga disattivato.

Note

- "Display multiplo" può visualizzare un'immagine ingrandita mantenendo in modo ottimale l'impostazione "Aspetto" attuale per l'ingresso video, nonché visualizzare un'immagine ingrandita per cui "Aspetto" è impostato su "Pieno 2" per l'ingresso PC.
- È possibile impostare "Display multiplo" solo se la funzione "PAP" è disattivata.
- Se è stata selezionata una "Posizione" inferiore destra l'indicatore I / ⏻ si illumina anche se l'opzione "LED" è impostata su "No". L'indicatore si illumina anche nei seguenti casi: display spento (standby), errori rilevati, display in modo di sospensione, nessun segnale trasmesso o segnale trasmesso non compatibile.

Aspetto

"Zoom largo": selezionare questa opzione per ingrandire le immagini in modo da riempire lo schermo con una distorsione minima.
"Zoom": permette d'ingrandire le immagini originali senza causare alcuna distorsione del rapporto d'aspetto.
Vedere pagina 13.
"Pieno": permette d'ingrandire le immagini originali orizzontalmente in modo da riempire lo schermo qualora la sorgente di origine sia di tipo 4:3 (sorgente a definizione standard). Se la sorgente di origine è di tipo 16:9 (ad alta definizione), selezionare questo modo per visualizzare le immagini con rapporto d'aspetto 16:9 nelle dimensioni originali.
"4:3": permette di visualizzare tutte le immagini nelle dimensioni originali nel rapporto d'aspetto 4:3.

Suggerimenti

- Per alternare tra un'opzione di "Aspetto" e l'altra è inoltre possibile usare ⊞ del telecomando.
- Selezionare "Zoom" per visualizzare i filmati e altri DVD con bande nere usando l'intera area di visualizzazione dello schermo.

Note

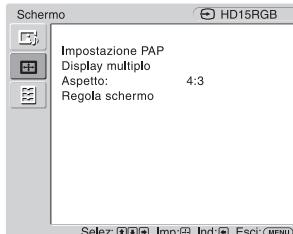
- Nel modo "PAP" non è possibile modificare il rapporto d'aspetto. Limmagine appare secondo il rapporto d'aspetto usato immediatamente prima di selezionare il modo "PAP".
- Non è possibile impostare "Aspetto" mentre è in uso la funzione "Display multiplo".

Regola schermo

"Dim. orizz.": regola la dimensione orizzontale dell'immagine. Premere ⇦/⇨ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Posiz. orizz.": sposta l'immagine a sinistra e a destra nella finestra. Premere ⇦/⇨ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Dim. vert.": regola la dimensione verticale dell'immagine. Premere ⇧/⇩ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Posiz. vert.": regola la posizione dell'immagine in alto e in basso nella finestra. Premere ⇧/⇩ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Ripristina": ripristina tutte le impostazioni predefinite di "Regola schermo".

Note

- "Regola schermo" non è disponibile mentre è in uso la funzione "PAP".
- Se non è in corso la trasmissione di un segnale le opzioni del menu "Schermo" non sono disponibili, ad eccezione di "Impostazione PAP" e "Display multiplo".

Per l'ingresso del PC

Se come sorgente d'ingresso si seleziona il PC appaiono le impostazioni "Schermo" specifiche di quello stesso ingresso.
Nel menu "Schermo" per l'ingresso del PC sono incluse le seguenti opzioni:

Impostazione PAP

Vedere "Impostazione PAP" per l'ingresso video (pagina 25).

Display multiplo

Vedere "Display multiplo" per l'ingresso video (pagina 26).

Aspetto

"Pieno 1": permette d'ingrandire le immagini in modo da riempire l'area di visualizzazione in senso verticale, mantenendo il rapporto d'aspetto orizzontale-verticale originale. Ai bordi dell'immagine appare una cornice nera.
"Pieno 2": permette d'ingrandire le immagini in modo da riempire l'area di visualizzazione.
"Reale": da selezionare per visualizzare l'immagine con il numero di pixel originale.

Note

- Nel modo "PAP" non è possibile modificare il rapporto d'aspetto. Limmagine appare secondo il rapporto d'aspetto usato immediatamente prima di selezionare il modo "PAP".
- Non è possibile impostare "Aspetto" mentre è in uso la funzione "Display multiplo".
- Se la risoluzione d'ingresso è maggiore della risoluzione dello schermo (1920 x 1080) la visualizzazione "Reale" corrisponde a "Pieno 1".

Regola schermo

"Regolaz. automatica": selezionare "Esegui" per regolare automaticamente la posizione dello schermo e la fase dell'immagine quando lo schermo riceve in ingresso il segnale del PC.
Si noti che con alcuni segnali d'ingresso "Regolaz. automatica"potrebbe non funzionare correttamente. In questi casi occorre regolare manualmente le opzioni riportate di seguito.
"Fase": regola la fase nel caso si verifichino sfarfallii.
"Passo": regola il passo qualora sull'immagine appaiano strisce verticali indesiderate.

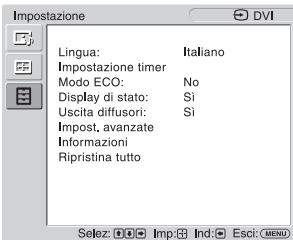
Note

- "Regolaz. automatica", "Fase" e "Passo" non sono disponibili quando s'inserisce un segnale digitale, ad esempio DVI o HDMI.
- Per eseguire la "Regolaz. automatica" si suggerisce di visualizzare un'immagine uniformemente luminosa. In caso contrario la posizione dell'immagine può risultare non corretta.

"Dim. orizz.": regola la dimensione orizzontale dell'immagine. Premere ⇦/⇨ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Posiz. orizz.": sposta l'immagine a sinistra e a destra nella finestra. Premere ⇦/⇨ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Dim. vert.": regola la dimensione verticale dell'immagine. Premere ⇧/⇩ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Posiz. vert.": regola la posizione dell'immagine in alto e in basso nella finestra. Premere ⇧/⇩ e quindi ⊕ per scegliere la correzione desiderata.
"Ripristina": ripristina tutte le impostazioni predefinite di "Regola schermo".

Nota

Se non è in corso la trasmissione di un segnale le opzioni del menu "Schermo" non sono disponibili, ad eccezione di "Impostazione PAP" e "Display multiplo".

Impostazione Impostazioni

Per evidenziare un'opzione e modificare le impostazioni occorre premere ⇧/⇩/⇦/⇨.
Premere ⊕ per confermare la selezione.
Nelle impostazioni "Impostazione" sono incluse le seguenti opzioni:

Lingua

Permette di visualizzare tutte le impostazioni nella lingua selezionata: "English", "Français", "Deutsch", "Español", "Italiano" o "日本語".

Impostazione timer

È possibile regolare l'ora, visualizzare l'orologio incorporato oppure impostare il timer affinché il display si accenda/spenga all'ora preimpostata.

"Impostaz. ora": imposta il giorno della settimana e l'ora.

"Impostaz. data": regola la data (anno, mese e il giorno del mese). Il giorno viene regolato automaticamente.

"Impostaz. ora": regola l'ora.

"Display ora": se s'imposta questa opzione su "Sì", premendo il tasto di visualizzazione del telecomando appare sullo schermo l'ora attuale.

"Timer sì/no": imposta il giorno della settimana e l'ora.

Nota

Se l'orologio incorporato tende a non funzionare correttamente è possibile che la pila interna sia scarica. Per la sostituzione della batteria si prega di rivolgersi a un rivenditore Sony autorizzato.

Modo ECO

"No": visualizza le immagini senza usare la funzione di risparmio energetico.

"Basso"/"Alto": selezionare per ridurre l'intensità della retroilluminazione e ridurre così il consumo energetico.

IT

Display di stato

"Sì" visualizza per circa 5 secondi il segnale d'ingresso e le informazioni dell'"Aspetto" all'accensione del display e per circa 5 secondi le informazioni sul segnale d'ingresso quando questo cambia, mentre "No" consente di disattivare la visualizzazione delle informazioni di stato.

Suggerimento

È possibile visualizzare il segnale d'ingresso e le informazioni relative ad "Aspetto" usando DISPLAY del telecomando indipendentemente dall'impostazione di "Display di stato".

Uscita diffusori

"Sì": abilita l'emissione dell'audio dai diffusori.

"No": disabilita l'emissione dell'audio dai diffusori.

Impost. avanzate

"Impostaz. controllo": permette di regolare le impostazioni di funzionamento del display e del telecomando.

"Numero indice": se necessario è possibile cambiare il numero indice del display. Per impostare il numero indice del display occorre selezionare ⇧/⇩ e premere ⊕ (ENTER) per confermare l'impostazione.

Nota

Per l'impostazione del "Numero indice" si devono usare i tasti del display. Non è possibile impostare il "Numero indice" dal telecomando.

"Modo controllo"

"Display+Telecom.": permette di gestire il display con i propri tasti e dal telecomando.

"Solo display": disabilita il telecomando. Il display può essere regolato esclusivamente con i propri tasti.

"Solo telecom.": disabilita i tasti del display. Il display può essere regolato esclusivamente con il telecomando.

Nota

Durante l'uso di questa opzione i modi selezionabili variano in base alla selezione effettuata dal telecomando o direttamente dal display. Se per l'impostazione si usa ⊕ del telecomando è possibile selezionare soltanto "Display+Telecom." o "Solo telecom.". Se per l'impostazione si usa ⊕ (ENTER) del display è possibile selezionare soltanto "Display+Telecom." o "Solo display".

"Reg. auto schermo"

"Sì": impostazioni quali dimensione dell'immagine e posizione vengono salvate per ogni segnale d'ingresso e le ultime impostazioni si applicano quindi automaticamente ogni volta che si cambia ingresso.

"No": "Reg. auto schermo" è disattivato anche quando si cambia ingresso e si applicano le impostazioni predefinite.

Nota

L'opzione "Reg. auto schermo" opera soltanto mentre è in ingresso un segnale RGB.

"Spegnimento autom.":

"Sì": quando alle prese Video o S Video non giunge il segnale d'ingresso per oltre circa 5 minuti circa il display entra automaticamente in standby. Quando alle prese DVI, HDMI o HD15 (RGB/componente) non giunge il segnale d'ingresso per oltre circa 30 secondi il display entra automaticamente nel modo di risparmio energetico.

"No": il display non si spegne automaticamente anche se alle prese non giunge alcun segnale d'ingresso.

Suggerimenti

- Per accendere il display mentre è in standby occorre premere l'interruttore ⏻ (POWER) del display stesso oppure il tasto POWER ON del telecomando. Nel modo di risparmio energetico il display si accende automaticamente quando giunge in ingresso un segnale.
- Questa funzione non è disponibile quando s'imposta "Logo a schermo" su "Sì", la funzione salvaschermo è attivata oppure è selezionato il modo PAP.

"Sovrascansione": permette di specificare se visualizzare le immagini con sovrascansione o scansione semplice.

"Automatico": imposta automaticamente l'immagine del segnale da DTV ad immagine con sovrascansione.

"Sì": visualizza l'immagine con sovrascansione.

"No": visualizza l'immagine con scansione semplice.

Nota

Quando la voce "Sovrascansione" è impostata su "No" è possibile che l'immagine del segnale DVT sia visualizzata come immagine del segnale PC.
Esempio: 480P → 720 × 480/60

"Modo sincron.": imposta il modo a seconda del segnale d'ingresso al contatto 13 della presa HD15 (RGB/COMPONENT) IN.

"O/Comp.": da selezionare quando s'inserisce un segnale sincrono orizzontale o composito.

"Video": da selezionare quando s'inserisce un segnale video.

Note

- "Modo sincron." è disponibile solo quando il segnale RGB viene trasmesso alla presa HD15.
- A seconda del livello del segnale composito sincrono l'immagine potrebbe non apparire correttamente. In questo caso occorre modificare l'impostazione "Modo sincron.".
- Vi sono alcuni ingressi per i quali possono essere selezionati solo i segnali di sincronizzazione. In questo caso occorre inserire segnali di sincronizzazione orizzontale/ verticale attraverso il contatto 13 o 14 delle prese.
- Non è possibile attivare le impostazioni del "Modo sincron." per l'ingresso tramite adattatori opzionali.
- Quando in "Modo sincron." si seleziona "Video" è possibile impostare esclusivamente i segnali 575/50i e 480/60i.
- Quando per l'impostazione del modo di sincronizzazione si seleziona il segnale video non è possibile utilizzare la funzione PAP.

“RGB/YUV”

“Display”/“Option”: permette d’impostare il tipo di segnale per un apparecchio video o un computer collegato alla presa HD15 (RGB/COMPONENT) del display o alla presa 5BNC (RGB/COMPONENT) di un adattatore opzionale.

“Automatico”: permette di scegliere tra il segnale d’ingresso RGB analogico e il segnale di ingresso componente di un apparecchio collegato.

“RGB”: permette di selezionare il segnale d’ingresso RGB analogico proveniente da un apparecchio collegato.

“YUV”: permette di scegliere il segnale d’ingresso componente da un apparecchio collegato.

Nota

Selezionare l’opzione “RGB” per la trasmissione di segnali RGB utilizzando un segnale composito sincrono.

Suggerimento

Per informazioni sulle combinazioni disponibili di due immagini si prega di vedere pagina 26.

“Standard colore”: selezionare lo standard colore dei segnali video: “Automatico”, “NTSC”, “NTSC4.43”, “PAL”, “PAL-M”, “PAL-N” o “PAL60”. Selezionare “Automatico” per impostare automaticamente lo standard colore.

Nota

“Standard colore” non è disponibile per l’ingresso dal PC.

“Segnale RGB”: quando nella presa d’ingresso HD15, DVI o HDMI s’inserisce un segnale RGB 1280 × 768/60 o 720 × 480/60 questa opzione determina se deve operare come segnale video e come segnale di un PC.

“Salva schermo”: questa impostazione permette di impedire o ridurre il fenomeno delle immagini residue che può verificarsi in seguito alla visualizzazione prolungata sul display della stessa immagine.

“All White”: permette di visualizzare uno schermo completamente bianco (si arresta automaticamente dopo 30 minuti e il display si porta in standby).

“Sweep”: permette di far scorrere una barra bianca sullo schermo.

“Standby”: la funzione salvaschermo opera quando il display è in standby (pagina 7) per la durata specificata in “Impostazione timer” (mentre tale funzione opera il display non mostra alcuna immagine). Al termine della funzione il display ritorna in standby.

“Logo”: permette d’illuminare il logo Sony sulla parte anteriore del display.

“Posizione”: è possibile impostare il logo in modo che rimanga costantemente illuminato nella parte inferiore dello schermo regolando il metodo di impostazione dell’apparecchio su “Automatico”, “Paesaggio” o “Ritratto.” Selezionando “Automatico” si seleziona automaticamente l’opzione Landscape o Portrait.

“Illuminazione”: selezionare “No” per disattivare l’illuminazione del logo. Selezionare “Basso” e “Alto” per regolare la luminosità.

“Logo a schermo”

“Sì”: appare il logo del nome del modello quando in ingresso non vi è alcun segnale.

“No”: il logo del nome del modello non appare quando non s’inserisce alcun segnale.

“Porta di rete”: seleziona la porta di rete per gestire il display a distanza.

“No”: da selezionare quando non si utilizza la porta di rete. È possibile ridurre il consumo energetico mentre il display è in standby.

“Option”: permette di definire le impostazioni del display da un PC collegato alla presa REMOTE o alla presa LAN dell’alloggiamento OPTION. (pagina 35)

“Display”: permette di definire le impostazioni del display da un PC connesso alla presa REMOTE (LAN) dell’apparecchio. (pagina 35)

Suggerimento

Quando nell’alloggiamento OPTION s’installa l’adattatore BKM-FW50 l’opzione “Porta di rete” s’imposta automaticamente su “Option”.

“IP Address Setup”: imposta l’indirizzo IP per permettere la comunicazione tra la presa REMOTE(LAN) del display o l’adattatore opzionale e gli apparecchi collegati con il cavo LAN, ad esempio un PC.
“Speed Setup”: imposta la velocità di comunicazione tra la presa REMOTE (LAN) del display o l’adattatore opzionale e gli apparecchi collegati con il cavo LAN, ad esempio un PC.

Suggerimento

Per maggiori dettagli su come definire le impostazioni di “IP Address Setup” e “Speed Setup” si prega di vedere il paragrafo “Operazioni preliminari per l’uso delle Funzioni di rete”(pagina 33).

“Attiva ritardo”: permette di regolare l’intervallo di tempo sino all’accensione. Questa opzione può essere impostata su No e da 1 a 120 secondi. Essa sopprime le fluttuazioni improvvise di carico sul sistema di alimentazione elettrica in caso di connessione di più display.

“Sensore per luce”

“Sì”: la luminosità dello schermo si regola automaticamente in base alla luminosità dell’ambiente.
“No”: la luminosità dello schermo non si regola automaticamente.

Informazioni

Visualizza le informazioni “data”, “Nome modello”, “Numero di serie”, “Tempo funzionam.”, “Vers. Software” e “IP Address” relative al display in uso. Quando è installato l’adattatore opzionale BKM-FW50 appare “Player IP Address” (indirizzo IP della funzione di visualizzazione di foto e di filmati). Per ulteriori informazioni si prega d consultare il manuale d’uso dell’adattatore BKM-FW50.

Ripristina tutto

Consente di ripristinare tutte le regolazioni e le impostazioni ai valori predefiniti.

Nota

Le voci dell’opzione “Informazioni” e il “Numero indice” non vengono ripristinati.

Operazioni preliminari per l'uso delle funzioni di rete

Precauzioni

- Le caratteristiche tecniche del software del display sono soggette a modifiche senza preavviso allo scopo di migliorarlo.
- Le schermate effettive del software applicativo potrebbero lievemente differire da quelle mostrate in questo manuale.
- Per motivi di sicurezza si deve collegare la presa del display soltanto a una rete ove non vi sia pericolo di tensione eccessiva o di sovratensione.
- Le procedure descritte nel presente manuale sono garantite solo per l'uso nelle seguenti condizioni ambientali.

  Sistema operativo:

  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  Browser:

  Microsoft Internet Explorer 6.0 o versione successiva
- Per garantire la sicurezza in rete si raccomanda di impostare un nome utente e una password. Per informazioni su come effettuare queste impostazioni si prega di vedere la sezione "Schermata Setup" (pagina 36).

  Per le impostazioni di sicurezza si prega di rivolgersi all'amministratore della rete.

Assegnazione dell'indirizzo IP

È possibile collegare il display alla rete utilizzando il cavo LAN 10BASE-T/100BASE-TX.
Quando si collega il display alla rete LAN gli indirizzi IP possono essere impostati mediante uno dei due seguenti metodi. Per ulteriori informazioni sulla selezione dell'indirizzo IP si prega di rivolgersi all'amministratore della rete.

- Assegnazione al display di un indirizzo IP fisso
  Normalmente si dovrebbe usare questo metodo. Nell'impostazione predefinita il display acquisisce l'indirizzo IP automaticamente.
- Acquisizione automatica dell'indirizzo IP
  Se la rete a cui viene collegato il display è dotata di un server DHCP è possibile che l'indirizzo IP venga assegnato automaticamente dal server stesso. Si noti che in questo caso l'indirizzo IP potrebbe cambiare ad ogni accensione del display.

Prima di assegnare l'indirizzo IP si deve collegare il cavo LAN al display in modo da stabilirne la connessione alla rete. Dopo circa 30 secondi accendere il display e definire le impostazioni desiderate.

IT

- Microsoft e Windows sono marchi di fabbrica registrati di Microsoft Corporation negli Stati Uniti d'America e/o in altri paesi.
- Tutti gli altri nomi di prodotti o aziende citati nel presente manuale sono marchi di fabbrica o marchi di fabbrica registrati dei rispettivi proprietari.

Assegnazione di un indirizzo IP fisso al display

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Con ⇧/⇩ selezionare "Impostazione" e premere ⊕.

3 Con ⇧/⇩ selezionare "Impost. avanzate" e premere ⊕.

4 Con ⇧/⇩ selezionare "IP Address Setup" e premere ⊕.

5 Con ⇧/⇩ selezionare "Manual" e premere ⊕.

6 Con ⇧/⇩ selezionare tra "IP Address", "Subnet Mask", "Default Gateway", "Primary DNS" e "Secondary DNS" l'opzione desiderata da impostare e premere quindi ⊕.

7 Impostare le tre cifre (da 0 a 255) per ognuno dei quattro campi d'inserimento con ⇧/⇩ del display o con i tasti del telecomando e premere ⊕ o ⇨

8 Impostare le tre cifre (da 0 a 255) per ognuno dei quattro campi e premere ⊕. Ripetere la stessa procedura indicata al punto 6 e selezionare la voce successiva da impostare con ⇧/⇩, premendo quindi ⊕.

9 Dopo aver impostato i valori per tutte le voci desiderate selezionare "Execute" con ⇧/⇩ e premere quindi ⊕.

Selezionare "Execute" e premere ⊕. L'indirizzo IP è stato così impostato manualmente.
Quando si seleziona "Cancel" l'impostazione torna ai valori iniziali.

Ottenimento automatico dell'indirizzo IP

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Con ⇧/⇩ selezionare "Impostazione" e premere ⊕.

3 Con ⇧/⇩ selezionare "Impost. avanzate" e premere ⊕.

4 Con ⇧/⇩ selezionare "IP Address Setup" e premere ⊕.

5 Con ⇧/⇩ selezionare "DHCP" e premere ⊕.

Selezionare "Execute" e premere ⊕. L'indirizzo IP è stato così impostato automaticamente.
Quando si seleziona "Cancel" l'impostazione non viene eseguita.

Nota

Se non s'imposta correttamente l'indirizzo IP appaiono i seguenti codici di errore con la relativa causa.
Errore 1: Errore di comunicazione
Errore 2: l'indirizzo IP specificato è già usato da un altro apparecchio.
Errore 3: errore relativo all'indirizzo IP
Errore 4: errore relativo all'indirizzo gateway
Errore 5: errore relativo all'indirizzo DNS primario
Errore 6: errore relativo all'indirizzo DNS secondario
Errore 7: errore relativo alla subnet mask

Controllo dell'indirizzo IP assegnato automaticamente

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Con ⇧/⇩ selezionare "Impostazione" e premere ⊕.

3 Con ⇧/⇩ selezionare "Information" e premere ⊕.

4 Con ⇧/⇩ selezionare "Ip Adress" e premere ⊕.

Appare l'indirizzo IP attualmente acquisito.

Suggerimento

Quando non è possibile acquisire correttamente l'indirizzo IP in "Informazioni" e in "Manual" di "IP Address Setup"appare quello acquisito in precedenza.

Impostazione della velocità di comunicazione

1 Premere MENU per visualizzare il menu principale.

2 Con ⇧/⇩ selezionare "Impostazione" e premere ⊕.

3 Con ⇧/⇩ selezionare "Impost. avanzate" e premere ⊕.

4 Con ⇧/⇩ selezionare "Speed Setup" e premere ⊕.

5 Con ⇧/⇩ selezionare tra "Auto", "10Mbps Half", "10Mbps Full", "100Mbps Half" e "100Mbps Full" la velocità di comunicazione desiderata e premere quindi ⊕.

Quando si seleziona "Auto" s'imposta automaticamente la velocità di comunicazione appropriata alla configurazione della rete in uso.

6 Con ⇧/ ⇩ selezionare "Execute" e premere quindi ⊕ per visualizzare l'impostazione.

Uso del PC

Controllo del display

È possibile impostare il display da un PC.
Assicurarsi che il display, il PC e il router o l'hub siano collegati correttamente mediante il cavo di rete.
Accendere quindi il display, il PC e il router o l'hub.
Sono disponibili le seguenti quattro schermate suddivise per funzione: schermata Information, schermata Configure, schermata Control e schermata Setup.
Per ulteriori dettagli sulla funzione dei pulsanti si prega di vedere le istruzioni per ogni funzione del display.

1. Avviare il browser del PC (Internet Explorer 6.0 o versione successiva).
2. Inserire l'indirizzo IP che è stato assegnato al display nella pagina precedente come, cioè
"http://xxx.xxx.xxx.xxx" e premere quindi il tasto ENTER della tastiera del PC.
Una volta impostati il nome utente e la password appare la schermata "Network Password". Inserire il nome utente e la password precedentemente impostati e passare quindi al punto successivo.
3. Fare clic sulla scheda relativa alla funzione nella parte superiore della schermata e selezionare quindi la schermata desiderata.

Impostazione delle opzioni nelle rispettive schermate

Durante l'uso della funzione LAN del display

Schermata Information

In questa schermata sono visualizzati il nome del modello, il numero di serie e altre informazioni relative al display, nonché lo stato dell'alimentazione e la selezione del segnale d'ingresso.
In questa schermata è solo informativa. Non vi sono infatti opzioni impostabili.

Schermata Configure

Timer
Consente di impostare il timer.
Una volta effettuata l'impostazione fare clic su "Apply".

Screen Saver
Consente di impostare la funzione salvaschermo.
Una volta effettuata l'impostazione fare clic su "Apply".

Picture and Picture
Consente di impostare la funzione Picture and Picture.
Una volta effettuata l'impostazione fare clic su "Apply".

Nota

Prima di impostare la funzione "Timer" è necessario configurare la data e l'ora nella schermata Impostazione (pagina 36).

Schermata Control

POWER
Permette di accendere o spegnere il display.

INPUT
Permette di selezionare il segnale d'ingresso.

PICTURE MODE
Permette di selezionare il modo immagine.

ASPECT
Permette di selezionare il rapporto di formato dell'immagine.

Tasti Contrast +/-
Per la regolazione del contrasto dello schermo.

Tasti Brightness +/-
Per la regolazione della luminosità dell'immagine.

Tasti Chroma +/-
Per la regolazione dell'intensità del colore.

Tasti Phase +/-
Per la regolazione del bilanciamento del colore.

Tasto Reset
Ripristina i valori predefiniti delle impostazioni di "Contrast" e "Phase".

Note

- Quando il segnale d'ingresso è Video o S Video e lo standard colore del segnale video non è NTSC "Fase" non è disponibile.
- "Colore" e "Fase" non sono disponibili per l'ingresso dal PC.
- "Normal" dell'impostazione ASPECT corrisponde a "4:3" per l'ingresso video o a "Reale" per l'ingresso dal PC.

Schermata Setup

Da questa schermata è possibile impostare la Network Password. Di seguito sono riportate le impostazioni predefinite:

Name: root
Password: pudadm

Dopo avere apportato le modiche o inserito le informazioni nella parte inferiore di ciascuna schermata fare clic su "Apply" per attivare le impostazioni.
Nei campi di testo non è possibile utilizzare i caratteri speciali.

Owner Information

Owner
In questo campo inserire le informazioni relative all'utente.

Display Location
In questo campo inserire le informazioni relative alla posizione d'installazione del display.

Nota
Non utilizzare spazi durante l'inserimento delle informazioni. Diversamente è possibile che il nome del file non appaia correttamente.

Memo
In questo campo è possibile inserire informazioni aggiuntive.

Time

Time
Inserire l'ora, l'anno, il mese e il giorno.

Network

Internet Protocol (TCP/IP)
Selezionare "Specify an IP address" per inserire ciascun valore nella stringa numerica dell'indirizzo IP.
Selezionare "Obtain an IP address (DHCP)" per acquisire automaticamente l'indirizzo IP dal server DHCP. Si noti che in questo caso l'indirizzo IP potrebbe cambiare ad ogni accensione del display.

Nota
L'indirizzo IP può essere impostato dal menu del display. Per ulteriori informazioni si prega di vedere "IP Address Setup" (pagina 32).

Password
Qui s'inseriscono il nome e la password dell'amministratore e dell'utente. Il nome dell'amministratore è impostato su "root" in modo permanente.
Ciascuna voce può contenere al massimo di 8 caratteri.
Una volta impostati il nome utente e la password e richiamata la schermata di controllo del display appare la schermata "Network Password" (Password di rete). Per garantire la sicurezza in rete si raccomanda di impostare sempre il nome utente e la password.

Mail Report

Error Report
Se si verifica un errore della funzione del display esso invia immediatamente una notifica via posta elettronica (notifica di errore).

Status Report
Lo stato del display può essere notificato via posta elettronica a seconda della fascia oraria selezionata.

Address
In questo campo si deve inserire l'indirizzo e-mail del destinatario. La notifica di errore può essere inviata a quattro indirizzi contemporaneamente. Ogni indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.

Mail Account

Mail Address:
Inserire l'indirizzo di posta elettronica assegnato. L'indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.
Outgoing Mail Server (SMTP):
Inserire l'indirizzo del server di posta elettronica. L'indirizzo può essere costituito da un massimo di 64 caratteri.
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP):
Se prima di stabilire la connessione al server SMTP è necessaria l'autenticazione POP, selezionare questa casella di controllo.
Incoming Mail Server (POP3):
In questo campo inserire l'indirizzo del server POP3 se si usa l'autenticazione POP per l'impostazione "POP before SMTP".
Account Name:

Inserire il nome dell'account di posta elettronica.
Password:
Inserire la password di posta elettronica.
Send Test Mail:
Per verificare se la posta arriva senza problemi all'indirizzo o agli indirizzi specificati, selezionare questa casella di controllo e fare quindi clic su "Apply". Il display invierà così un messaggio di posta elettronica di prova.

Nota

Se una delle voci riportate di seguito non è impostata o se non è impostata correttamente appare un messaggio d'errore e il messaggio di posta elettronica di prova non viene inviato:
- Indirizzo di destinazione
- Indirizzo dell'account di posta elettronica e indirizzo del server di posta elettronica (SMTP)

Advanced
Permettono di definire le impostazioni avanzate necessarie per utilizzare vari software applicativi in rete. Effettuare le impostazioni come richiesto dai rispettivi software applicativi.

Advertisement
Permette d'impostare le funzioni di pubblicità e trasmissione in rete.

ID Talk
Permette d'impostare la funzione ID Talk. ID Talk è un protocollo che consente il controllo in rete del display. Le voci controllate includono varie impostazioni e regolazioni quali la temperatura e la gamma di colore. Per informazioni sui comandi ID Talk supportati si prega di rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

SNMP
Il display è un dispositivo di rete compatibile con il protocollo SNMP (Simple Network Management Protocol). Oltre a MIB-II standard è compatibile con Sony Enterprise MIB. Questa schermata permette di effettuare le impostazioni SNMP.
Per informazioni sui comandi SNMP supportati si prega di rivolgersi al proprio rivenditore Sony.

Ripristino delle impostazioni predefinite
Per ripristinare tutte le impostazioni definite nella schermata "Setup" ai valori predefiniti occorre ripristinare le impostazioni predefinite assegnando l'impostazione "Ripristina tutto" e, successivamente, assegnare di nuovo alla rete le impostazioni appropriate.

Guida alla risoluzione dei problemi

Verificare se l'indicatore I / ⏻ lampeggia di colore rosso.

Se lampeggia

La funzione di autodiagnosi è attivata.

1 Verificare quante volte l'indicatore I / ⏻ lampeggia e per quanto tempo cessa di lampeggiare.
Ad esempio, l'indicatore lampeggia 2 volte, cessa di lampeggiare per 3 secondi e quindi lampeggia ancora 2 volte.

2 Premere ⏻ (POWER) del display per spegnerlo e scollegare il cavo di alimentazione.
Rivolgersi al proprio rivenditore di fiducia o a un centro di assistenza Sony riferendo le informazioni sull'indicatore (numero di lampeggiamenti e intervalli senza lampeggiamento).

Se non lampeggia

1 Controllare la tabella riportata di seguito.

2 Se il problema persiste è necessario richiedere l'intervento di un tecnico qualificato.

Problema	Soluzioni possibili
L'interruttore di alimentazione e i tasti di comando del display non funzionano.	• Controllare "Impostaz. controllo" (pagina 29).
Dalla presa HD15 (RGB/ COMPONENT) OUT non proviene alcun segnale video.	• Quando il display è in standby o è disalimentato non vi è alcuna uscita da HD15 (RGB/COMPONENT) OUT.
Dalla presa HD-SDI OUT del BKM-FW16 non proviene alcun segnale.	• Non vi è alcuna uscita da HD-SDI OUT quando il display o è disalimentato.
Non appaiono le immagini.	
Non appaiono le immagini	• Verificare il collegamento tra l'apparecchio video e il display. • Controllare le impostazioni di "RGB/YUV" (pagina 31). • Impostare l'ingresso utilizzando il tasto INPUT del display o del telecomando (pagina 10, 11).
Il display si disattiva automaticamente.	• Controllare se "Impostazione timer" è attivato (pagina 29). • Controllare se la funzione "Spegnimento autom." è impostata su "Sì" (pagina 30). • Controllare se la temperatura ambiente è superiore a 35°C.
La qualità delle immagini è insoddisfacente.	
Assenza di colore/Immagine scura/Immagine eccessivamente chiara/Colori errati./L'immagine diventa gradualmente scura/L'immagine è disturbata dalla comparsa di linee orizzontali	• Premere PICTURE per selezionare il "Modo immagine" desiderato (pagina 11). • In "Immagine/Audio" regolare le opzioni di "Modo immagine" (pagina 21, 23). • Verificare le condizioni del cavo del segnale. • Controllare se la temperatura ambiente è superiore a 35°C. • Controllare le impostazioni di "Modo ECO." (pagina 29) • Se non s'intende collegare al display alcun apparecchio video attraverso la presa VIDEO OUT non si deve collegare il cavo video né una presa di conversione. Le aree bianche dell'immagine sarebbero infatti eccessivamente luminose a causa della mancata terminazione del segnale di visualizzazione. • Controllare l'impostazione di "Sensore per luce". Si prega di vedere pagina 32.
L'intero schermo tende al verse o al porpora.	• Controllare se le impostazioni "RGB/YUV" sono state correttamente eseguite (pagina 31).

Problema	Soluzioni possibili
Assenza di audio/Audio disturbato.	
Le immagini appaiono ma non si sente l'audio.	• Verificare la regolazione del volume. • Premere 🔇 del telecomando oppure ◿+ affinché l'indicazione Muting scompaia (pagina 12). • Controllare le impostazioni di "Uscita diffusori" (pagina 29).
Il telecomando non funziona.	• Verificare la polarità delle pile oppure sostituirle. • Puntare il telecomando in direzione del relativo sensore di telecomando ubicato sul display. • Accertarsi che non vi siano ostacoli nell'area attorno al sensore di telecomando. • Controllare "Impostaz. controllo" (pagina 29). • Verificare che alla presa CONTROL S IN sia collegato il cavo (BKM-FW21 non fornito in dotazione). Non è possibile usare il telecomando durante il controllo del display tramite connessione CONTROL S. • Le fonti di illuminazione a fluorescenza possono interferire con il funzionamento del telecomando; spegnere quindi le eventuali lampade a fluorescenza accese.
Impossibile connettersi alla rete.	• Collegare saldamente il cavo alla presa REMOTE. • Controllare le impostazioni di rete del PC. • Ripristinare le impostazioni predefinite assegnando l'impostazione "Ripristina tutto" dal menu "Impostazione" e, successivamente, assegnare di nuovo alla rete le impostazioni appropriate. • Controllare le impostazioni di "Porta di rete." (pagina 31)
Lo schermo di controllo del display (lo schermo Web che visualizza l'interfaccia grafica utente del display) non appare.	• Fare clic sul pulsante di aggiornamento o ricaricamento del browser. • Assicurarsi che l'indirizzo IP sia corretto. • Utilizzare Internet Explorer 6.0 o una versione successiva. • Cancellare la memoria di cache del browser.

Tabella di riferimento dei segnali di ingresso

Segnali del PC

	Risoluzione	Frequenza orizzontale (kHz)	Frequenza verticale (Hz)
1	VGA[a)]-1 (VGA 350)	31,5	70
2	640 × 480@60 Hz	31,5	60
3	Mac[b)] 13"	35,0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31,5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c)] STD)	37,9	60
6	Mac 16"	49,7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48,4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60,0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68,7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67,5	75
11	Mac 21"	68,7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60,0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64,0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD)*	75,0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d)])	29,8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37,7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43,0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44,8	60
19	1280 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60,3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59,7	60
22	1360 × 768@60Hz (CVT)	47,7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37,4	60
24	1024 × 768@60Hz (CVT)	47,8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63,7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT)*	65,3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT)*	74,5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66,6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74,0	60

Segnali TV/video

	Risoluzione	Ingressi disponibili				
		Video	Componente /RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24PsF		○			

a) VGS è un marchio di fabbrica registrato di International Business Machines Corporation, U.S.A.
b) Macintosh è un marchio di fabbrica di Apple Inc., registrato negli Stati Uniti d'America e in altri Paesi.
b) VESA è un marchio di fabbrica registrato di Video Electronics Standards Association.
d) VESA Coordinated Video Timing (Video Timing Coordinato VESA)

Note

- Con i segnali HDTV trasmettere il segnale sincronico a tre livelli al secondo contatto della presa HD15 (RGB/ COMPONENT) IN.
- Se dopo avere trasmesso il segnale DVD al display i colori risultano eccessivamente chiari, regolare l'opzione "Colore" nel menu "Immagine/Audio".
- Se si regola nuovamente la fase la risoluzione si riduce.
- Con i segnali provenienti da computer Macintosh non è garantito il riconoscimento dell'ingresso digitale RGB.
- Non è possibile inserire in DV1 IN i segnali contrassegnati con *.
- Non sono garantiti i segnali video privi di segnale di sincronizzazione del colore.

Indicazioni a schermo del segnale d'ingresso e di stato del display

Indicazione a schermo	Significato
640 × 480 / 60 (es.)	È stato selezionato un segnale d'ingresso PC.
480 / 60I (es.)	È stato selezionato un segnale d'ingresso video componente.
NTSC (es.)	È stato selezionato un segnale d'ingresso video.
Segnale non compatibile	È stato selezionato un segnale d'ingresso non compatibile.
Nessun segnale	Non è stato trasmesso alcun segnale d' ingresso.
HD15	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "Automatico".
HD15 RGB	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "RGB".
HD15 Component	L'ingresso selezionato è HD15. "RGB/YUV" è impostato su "YUV".
DVI	Il segnale di ingresso selezionato è DVI.
HDMI	È stato selezionato un segnale d'ingresso HDMI.
Video	È stato selezionato un segnale video composito.
S Video	È stato selezionato un segnale S video.
Option	È stato selezionato l'ingresso Option. "RGB/YUV" è impostato su "Automatico".
Option RGB	È stato selezionato il segnale RGB analogico dell'ingresso Option.
Option Component	È stato selezionato il segnale video componente dell'ingresso Option.
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	È stato selezionato il segnale HDMI 1 o HDMI 2 dell'ingresso Option.
Option HD SDI	È stato selezionato il segnale HD SDI dell'ingresso Option.

IT

Caratteristiche tecniche

Elaborazione video

Pannello LCD a matrice attiva a-Si TFT
Risoluzione dello schermo
1.920 pixel orizzontali × 1.080 righe verticali
Frequenza di campionamentoda
13,5 MHz a 162 MHz
Standard colore NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
Segnali d'ingresso Vedere pagina 40.
Passo pixel 0,744 mm (orizzontale) × 0,744 mm (verticale)
Dimensioni dell'immagine1.428,5 mm (orizzontale) × 803,5 mm (verticale)
Dimensioni del display
64,5 pollici (diagonale 1.639 mm)

Ingressi e uscite

REMOTE Porta di rete (10BASE-T/100BASE-TX)
AUDIO minipresa stereo (× 1)
500 mVrms ad alta impedenza
VIDEO S VIDEO IN
Mini DIN da 4 contatti (× 1)
Y (luminanza): 1 Vp-p ± 2 dB
sincronismo negativo, terminazione da 75 ohm
C (crominanza): Raffica d'impulsi
0,286 Vp-p ± 2 dB (NTSC),
terminazione da 75 ohm
Raffica d'impulsi 0,3 Vp-p ± 2 dB (PAL),
terminazione da 75 ohm
VIDEO IN BNC (× 1)
Video composito, 1 Vp-p ± 2 dB
sincronismo negativo, 75 ohm
(terminazione automatica)
VIDEO OUT BNC (× 1) passante
AUDIO IN
minipresa stereo (× 1)
500 mVrms ad alta impedenza
HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15 (RGB/COMPONENT) IN
D-sub da 15 contatti) (femmina) (× 1)
(Vedere pagina 43.)
HD15 (RGB/COMPONENT) OUT
D-sub da 15 contatti) (femmina)(× 1)
(Vedere pagina 43)
AUDIO IN
minipresa stereo (× 1)
500 mVrms ad alta impedenza
DVI DVI IN
(conforme alle specifiche DVI Rev. 1.0)
AUDIO IN
Minipresa stereo (× 1)
500 mVrms ad alta impedenza
HDMI IN HDMI (1080p)
SPEAKER Uscita diffusori (L/R)
6 ohm 7W + 7W

Caratteristiche generali

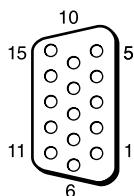
Alimentazione
Da 100 a 240 VCA, 50/60 Hz,
5,5 A (massimo)
Consumo elettrico
540 W (massimo)
Condizioni d'uso
Temperatura: Da 0 °C a 35 °C
Umidità: Dal 20% al 90%
(non condensante)
Condizioni di conservazione/trasporto
Temperatura: da−10 °C a +40 °C
Umidità: Dal 20% al 90%
(non condensante)
Dimensioni 1.557 × 931 × 183 mm
(l/a/p, escluse le parti sporgenti)
Peso Circa 94 kg
Accessori in dotazione
Cavo di alimentazione CA (1)
Cavo LAN (1)
Fermaspina CA (2)
Telecomando RM-FW002 (1)
Batterie al manganese formato AA (R6) (2)
Istruzioni per l'uso (1)
Manuale di installazione per i rivenditori (1)

Accessori opzionali
Diffusori SS-SPG02
Adattatori opzionali per l'espansione del sistema serie BKM-FW

Normative sulla sicurezza
UL 60950-1, CSA No. 60950-1-03 (c-UL), FCC Class B, IC Class B,
EN 60950-1 (NEMKO), CE, C-Tick

Il design e le caratteristiche tecniche sono soggetti a modifiche senza preavviso.

Assegnazione dei contatti

HD15 Presa RGB/COMPONENT (D-sub da 15 contatti)

N. contatto	Segnale
1	Video rosso o C_R/P_R
2	Video verde o Y
3	Video blu o C_B/P_B
4	Terra
5	Terra
6	Terra rosso
7	Terra verde
8	Terra blu
9	Non usato
10	Terra
11	Terra
12	SDA
13	Sincronismo orizzontale, composito o video composito (come segnale sincronico)
14	Sincronismo verticale
15	SCL

Nota

Quando s'inserisce un segnale componente non si devono inserire segnali di sincronizzazione ai contatti 13 e 14. Diversamente è possibile che l'immagine non appaia correttamente.

IT

Indice

IT

平板宽屏监视器

警告

为防止触电严禁拆开机壳，维修请咨询具备资格人士。

警告
此设备必须接地。

搬运方面

搬运显示器时，应握住显示器机身，而非扬声器。 否则，可能会导致扬声器从装置上脱落，并将显示器摔到地上。 这会造成人身伤害。

警告

在安装此设备时，要在固定布线中配置一个易于使用的断电设备，或者将电源插头与电气插座连接，此电气插座必须靠近该设备并且易于使用。在操作设备时如果发生故障，可以切断断电设备的电源以断开设备电源，或者断开电源插头。

电源插座应安装在装置的近旁，且方便使用。

警告

1. 请使用经认可的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头，其接地接头应符合各国家适用的安全法规。
2. 请使用符合特定额定值 （电压、安培）的电源线 （3 芯电源线）/ 设备接口 / 插头。

如果对上述电源线 / 设备接口 / 插口的使用有疑问，请垂询合格维修人员。

目录

介绍

部件和控制器的位置和功能

连接

CS

使用设定

网络功能

其它信息

使用前须知

警告

- 新增的经销店用安装手册供经销商使用。
  如果客户执行本手册中所述的安装或移动操作，可能会发生事故，并导致严重的人身伤害。切勿自动安装或移动。关于安装方法，请务必向 Sony 经销商咨询。
- 请勿将本机安装在靠近散热器或排气管等热源处，以及受阳光直射、多尘、有机械振动或冲击之处。
- 当将多台设备与本机安装在一起时，视本机与其它设备的位置而定，可能会出现以下问题，如遥控器故障、图像干扰、杂音等。

安全方面

- 指示工作电压、功耗等的铭牌位于本机背面。
- 万一有异物或液体进入机壳内，请拔下本机的电源插头，并经具备资格的专业人员检查之后方可继续使用。
- 如果数日以上不使用本机，请从壁装电源插座中拔下本机的电源插头。
- 断开交流电源线的连接时，请捏紧插头拔出。 切勿拉拽电源线。

清洁

在清洁显示器之前务必拔掉电源线。

清洁显示器

勿让硬物刮擦，或重击显示屏表面 （保护面板），或使物体碰撞屏幕表面，因为这样会损坏屏幕表面。
显示屏有专门的表面处理方法。
按照以下说明操作，以防因清洁时的不当处理而损害性能。

- 用软布轻轻地擦掉屏幕表面的灰尘。 最好用干净的布或擦眼镜布。
- 如果屏幕过脏，请用一块用水稍微浸湿的干净软布清洁屏幕表面。
- 切勿使用酒精、汽油、稀释剂、酸或碱性清洁溶剂、擦洗剂或经过化学处理的布，因为它们会损坏屏幕表面。

清洁机壳

- 用一块干燥的软布轻轻地擦掉污点。 要擦除肮脏的污迹，需要将布用中性清洁剂稍微浸湿后擦拭，然后再用一块干燥软布将该处擦净。
- 请勿使用酒精、汽油、稀释剂或杀虫剂。 否则可能会损坏表面涂漆或擦掉机器的标记。
- 如果用脏布擦拭，有损坏屏幕的危险。
- 本机和橡胶或塑料制品持续接触可能会使机器变形或引起保护层脱落。

LCD 面板

- 使 LCD 面板长时间面对太阳会损坏面板。当您将本机安装在户外或窗户旁边时，请考虑到这种情况。
- 请勿用力按或刮擦 LCD 显示屏。请勿将物品放在屏幕上。 否则可能会使显示中断或损坏 LCD 显示屏。
- 您可能发现屏幕会水平显示条纹或屏幕出现残留图像。 在低温环境下使用本机，屏幕还可能看起来较暗。 但这些并不表示屏幕出现故障。 当环境温度升高时，屏幕将返回至正常状态。
- 如果长时间显示一个静态图像，则说明图像可能被烧录在屏幕上，或是有残影。 过一段时间，残影便会消失。 如果出现重影，请使用屏幕保护功能，或使用某些视频或图像软件在屏幕上提供连续的动作。
  如果出现轻微重影 （残影），效果可能不明显，但一旦出现残影，将不会完全消失。
- 使用过程中，面板表面、机壳或框架可能会变热。这不是故障。

LCD 显示屏上的亮点和暗点

尽管 LCD 显示屏是以有效分辨率至少达 99.99% 的精湛技术制造的，屏幕中也可能会出现暗点 （像素缺陷），或是有持续发亮或闪光的亮点 （红、蓝或绿色等）。
LCD 显示屏出现的这些现象有时是由像素缺陷造成的。
本装置使用较长一段时间后可能会出现这些现象。
这些并不是屏幕故障。

使用显示器

- 在使用前请始终确认本机运行正常。无论保修期内外或基于任何理由，Sony 对任何损坏 （包括但不限于）概不负责。由于本机故障造成的现有损失或预期利润损失，不进行退货或赔偿。
- 将本机放置在不通风的位置将会阻碍其冷却。 机器会保持热度。 这样可能引起火灾或损坏机器。 勿将本机放在无法适当冷却的地方。

重新包装

请保存原装的纸箱和包装填料。
它们是搬运本机的理想包装箱。 搬运本机时，请按照纸箱上的图示重新包装。

如果有关于本机的任何问题，请与授权的 Sony 经销商联系。

安装环境的注意事项

本显示器符合国际防尘与防溅标准 IEC60529 IP54，因此可在有大量灰尘颗粒或溅水的地方使用。
IP 后的数字所代表的特性见如下所示。

防尘

IP5_ 防尘保护作用。

定义

尽管不能完全防止灰尘进入，但必须确保进入的灰尘量不足以干扰设备的安全和正常运行。

防溅

IP_4 防溅水保护作用。

定义

从任何方向溅到外壳上的水都不会造成危害。

在显示器周围留出充足的空间

- 为防止因密闭显示器导致内部积热，必须确保在显示器周围至少留出下图所示的最小空间以保证适当的通风。
- 环境温度必须在0 ° C至35 ° C之间。将显示器安装在天花板附近时请小心操作。安装位置附近的温度可能会比室内高度较低处的正常温度高很多。
- 显示器电源打开期间，内部会集聚一定量的热量。这会导致灼伤。在显示器电源打开时或刚进入待机模式时，应避免触摸显示器的顶部或背面。

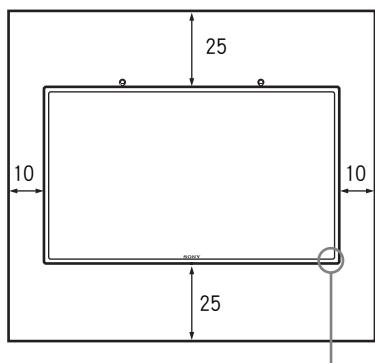
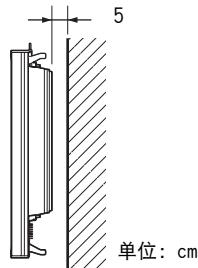
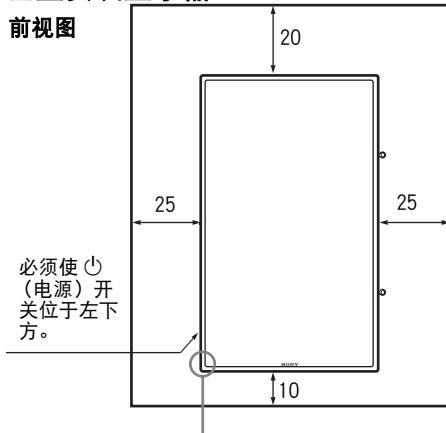
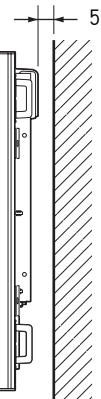
水平安装显示器

前视图

侧视图

垂直安装显示器

前视图

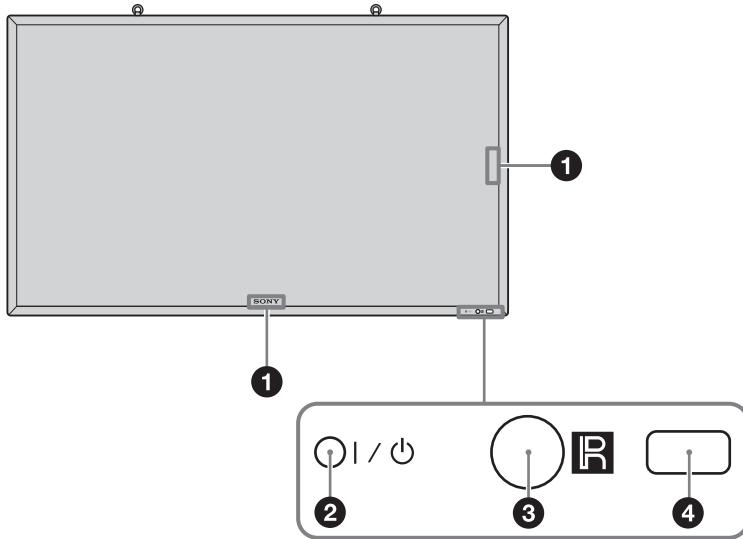
侧视图

避免高温度和高湿度

如果本机在使用时暴露在高温度或高湿度环境下，或是因空调设备等原因而导致温度骤然变化，则显示器的保护玻璃内可能会有结露。

不要遮挡光传感器或遥控传感器

请勿在光传感器或遥控传感器的前面放置任何物品。
否则，可能会妨碍自动亮度调节功能或遥控功能正常工作。

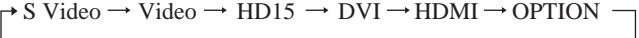
CS

前视图

部件	说明
❶Sony 标识	Sony 标识点亮。 在菜单屏幕上，可以沿水平或垂直方向更改标识的位置。 购买本装置时，将自动检测此位置，且标识被设为点亮。请参阅第 30 页的“Logo”。 **注** 如果不改变安装方向，则相应地将 “Logo”的 “Position”设为 “Landscape”（横向）或 “Portrait”（纵向）。受到振动或撞击时，方向传感器可能无法正常工作。
❷ I / ⏻（电源 / 待机）指示灯	• 当显示器打开时点亮为绿色。 • 当显示器处于待机模式时点亮为红色。 如果信号是从个人电脑输入，则当显示器进入节电模式时将点亮为橙色。 当 I / ⏻ 指示灯以红色闪烁时，参见第 37 页。 **注** 当 “Multi Display”设定中的 “LED”选项设定为 “Off”，并且 “Position”选项未设定到右下方，则即使显示器已打开，该指示灯也不会点亮为绿色，除没有信号或不支持该信号的情况之外。
❸ 🄁遥控传感器	遥控光感器。
❹ 光传感器	这是用于自动调节画面亮度的传感器。 请参阅第 31 页。 **注** 请勿在光传感器前放置任何物品。 否则，可能会妨碍自动亮度调节功能正常工作。

后视图

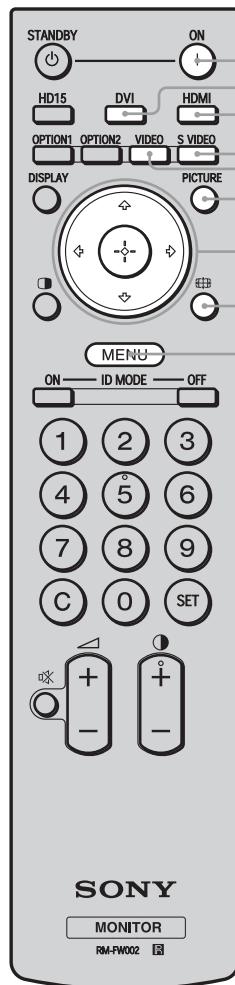
REMOTE
AUDIO
OUT
VIDEO
S VIDEO IN
IN
VIDEO
OUT
AUDIO IN
HD15(RGB/COMPONENT)
IN
AUDIO IN
OUT
DVI
AUDIO IN
IN
IN
AC IN
SPEAKER
R
L
MENU

部件	说明
❶ REMOTE (10BASE-T/100BASE-TX)	此连接器可用 10BASE-T/100BASE-TX LAN 电缆将显示器连接至网络。 您可以通过个人电脑的网络指定各种设定并控制显示器。 **注意** • 将本设备的 LAN 电缆连接到外围设备时，请使用附带的电缆防止电磁噪声造成的故障。 • 为安全起见，请勿将可能有过高电压的外围设备配线用连接器连接到本端口上。按照本端口的说明操作。 **注** 使用此连接器时，请在 “Network Port” 中选择 “Display”。 请参阅第 30 页。
❷ AUDIO （立体声微型插孔）	这是外部设备的音频监视器输出端子。 输出屏幕上当前所显示信号的音频。 在 “P&P” 或 “PinP” 模式中，输出与动态 * 图像一致的音频信号。 **注** • 在 “Sound Mode” 或 “Speaker Out” 中指定的设定将不会被反映出来。 • 由遥控器所设定的降噪状态不会被反映出来。
❸ VIDEO	S VIDEO IN （微型 DIN 4 芯）：连接至视频设备的 S Video 输出。 VIDEO IN （BNC）：连接至视频设备的视频输出。 VIDEO OUT （BNC）：连接至视频设备的视频输入。 将输出从 VIDEO IN 输入的图像。 输出与电源的开关状态 （包括待机）无关。 AUDIO IN （立体声微型插孔）：连接至视频设备的音频输出。
❹ HD15 (RGB/COMPONENT) （D-sub 15 芯）	HD15 (RGB/COMPONENT) IN：连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输出。 参见第 42 页。 AUDIO IN：输入音频信号。 连接至视频设备或个人电脑的音频信号输出。 HD15 (RGB/COMPONENT) OUT：连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输入。 参见第 42 页。将输出从上面的 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 连接器输入的信号。 **注** • 当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至管脚 13 和 14。 否则，可能无法正确显示图像。 • 当显示器未连接至交流电源或处于待机模式时，没有信号从 HD15 (RGB/COMPONENT) OUT 输出。
❺ DVI （DVI-D 24 芯）	DVI IN：连接到视频装置或个人电脑的数字信号输出端子。 支持 HDCP 复制保护。 AUDIO IN：输入音频信号。 连接至视频设备等的音频信号输出。
❻ HDMI IN	HDMI （高清晰度多媒体接口）提供显示器与任何配有 HDMI 的音频 / 视频设备及个人电脑之间的接口。 您可以享受效果增强的或高清晰度的视频，以及双声道数字音频。 将根据所连接的设备自动为音频 / 视频设备或个人电脑选择适当的模式。 **注** 请务必仅使用标有 HDMI 标识的 HDMI 电缆 （非附送）。我们推荐您使用 Sony HDMI 电缆 （高速类型）。
❼ OPTION 插槽 （VIDEO/COM 端口）	此插槽支持视频信号和通信功能。 在此插槽中装入一个选购适配器 （BKM-FW 系列）以扩充监视器功能。 参见第 15 页。
❽ AC IN 插座	将附送的交流电源线连接至此插座和壁装电源插座。 参见第 16 页。 一旦连接了交流电源线，则 I / ⏻ 指示灯将点亮为红色，并且显示器将进入待机模式。
❾ SPEAKER 插座	将扬声器 SS-SPG02 （非附送）连接至此插座。 关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器附带的使用说明书。 关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参见第 18 页。
❿ ⏻ （电源）开关	打开或关闭 （待机）显示器。
⓫ （返回）按钮	按此按钮将返回前一个菜单画面。
⓬ ⊕ （执行）按钮	按此按钮确定选择。

部件	说明
⓭ -/+ （音量 / 光标）按钮	按下可控制扬声器的音量。 当菜单被显示时，按下可移动光标或设置某个值。 按此按钮确定选择。
⓮ MENU 按钮	按此按钮显示菜单。
⓯ ⊸ （输入）按钮	按此按钮选择来自 INPUT 或 OPTION 连接器的信号。 每按一次 INPUT 按钮，输入信号按如下顺序循环切换。 → S Video → Video → HD15 → DVI → HDMI → OPTION 如果 OPTION 插槽没有安装支持视频信号的可选购的适配器，则 OPTION 将被跳过。
⓰ 温度传感器	检测环境温度。
⓱ 扬声器安装位置	安装专用扬声器 SS-SPG02。
⓲ 支架安装孔	符合 VESA 标准的螺孔。 （间距：600mm × 400mm，螺丝：M6）
⓳ 吊环螺栓	利用升降架安装显示器时使用。 安装完后，松开螺钉并取下吊环螺栓。
⓴ 吊环螺栓固定位置（用于垂直安装）	沿垂直方向安装显示器时，吊环螺栓将被固定在此位置。 固定吊环螺栓时，请您的经销商或 Sony 服务中心来协助完成。
㉑ 电缆罩	电缆罩可以防止水或灰尘进入电缆与端子盖之间的空隙。 连接电缆时，请松开螺丝并取下电缆罩。
㉒ 端子盖	端子盖用于防止水和灰尘进入端子区域。 连接电缆时，请松开螺丝并取下端子盖。

* 声音输出及输入信号可以切换时的状态。

CS

遥控器

按钮说明

❶ **POWER ON 开关**
按此按钮打开显示器电源。

❷ **DVI 按钮**
按此按钮选择输入 DVI 端口的信号。

❸ **HDMI 按钮**
按此按钮选择输入 HDMI 端口的信号。

❹ **S VIDEO 按钮**
按此按钮选择从视频设备输入 S VIDEO IN 连接器的信号。

❺ **VIDEO 按钮**
按此按钮选择从视频设备输入 VIDEO IN 连接器的信号。

❻ **PICTURE 按钮**
选择 "Picture Mode"。 每按一次即在 "Vivid"、"Standard"、"Custom"、"Conference" 和 "TC Control" 之间切换。

❼ **⇧/⇩/⇦/⇨/⊕ 按钮**
⇧/⇩/⇦/⇨ 键用于移动菜单光标和设定值等。按 ⊕ 设定所选的菜单或设定项目。
在 "PAP" 模式中，您可以切换双画面设定。 参见第 13 页。

❽ **⊞ 按钮**
按此按钮更改纵横比。 参见第 12 页。

❾ **MENU 按钮**
按此按钮显示菜单。 再按一次可将其隐藏。 参见第 19 页。

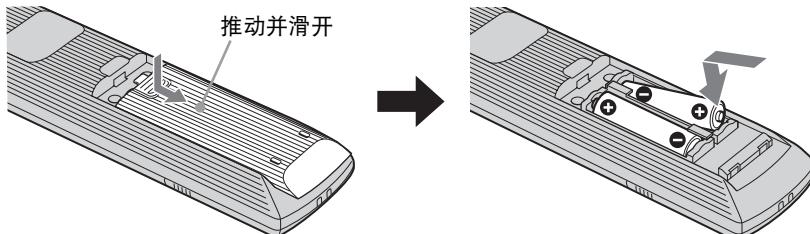
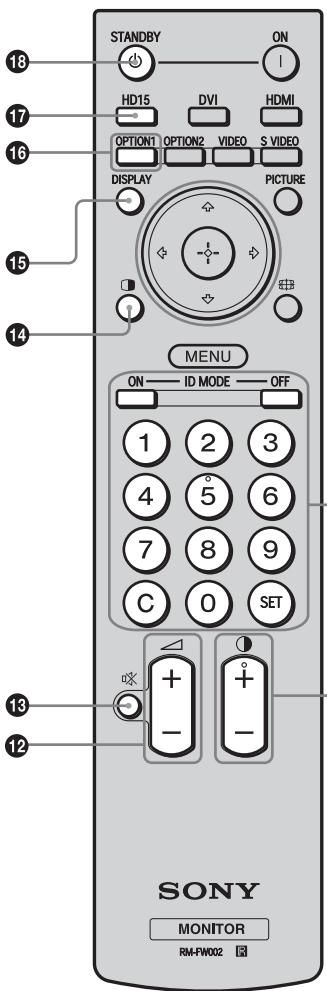
注

- 按钮 5 和 ◑ 按钮各有一个触感圆点。 在操作显示器时可使用触感圆点作为参照。
- 将两节 AA （R6）尺寸锰电池 （附带）装入使电池上的 ⊕ 和 ⊖ 与遥控器电池舱内的图示匹配。

注意

如果更换的电池不正确，就会有爆炸的危险。只更换同一类型或制造商推荐的电池型号。处理电池时，必须遵守相关地区或国家的法律。

注

在本显示器中不可使用 OPTION 2 按钮。

❿ ID MODE （ON/0-9/SET/C/OFF）按钮
可操作某个指定显示器而不影响其它同时安装的显示器。
•ON 按钮：按此按钮可在画面上显示 “Index Number”。
•0-9 按钮：按此按钮输入想要操作的显示器的 “Index Number”。
•SET 按钮：按此按钮设定输入的 “Index Number”。
•C 按钮：按此按钮清除输入的 “Index Number”。
•OFF 按钮：按此按钮返回正常模式。
参见第 14 页。

⓫ ◑ +/- 按钮
调节图像 （对比度）等级。

⓬ ◺ +/- 按钮
按此按钮调节音量。

⓭ 🔇 按钮
按此按钮消音。 再按一次恢复声音。

⓮ ◨ 按钮
选择 “PAP”（双画面）模式。 每按一次即在 “P&P”、“PinP” 和单画面图像之间切换。 请参阅第 13 页。

⓯ DISPLAY 按钮
按此按钮在屏幕上显示当前选定的输入、输入信号的类型以及 “Aspect” 设定。 再按一次可将其隐藏。 如果在短时间内没有动过这些显示的信息，则这些信息会自动消失。

⓰ OPTION 1 按钮
如果安装了选购适配器，可选择来自与选购适配器相连接设备的输入信号。
如果所安装的选购适配器具有多个输入连接器，则每按一次按钮即在输入信号之间切换。

⓱ HD15 按钮
按此按钮选择 HD15 （RGB/COMPONENT）连接器的输入信号。 将根据菜单设定自动或手动选择 RGB 信号或分量信号。

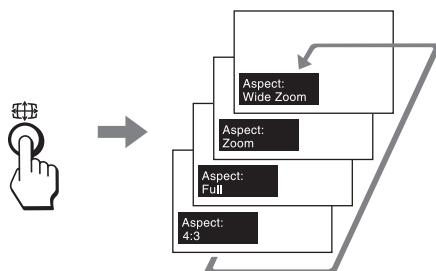
⓲ STANDBY 按钮
按此按钮将显示器变为待机模式。

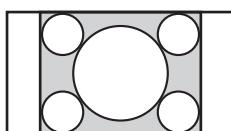
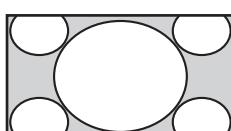
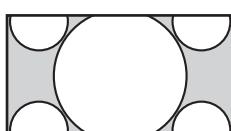
遥控器上的特殊按钮

使用宽模式

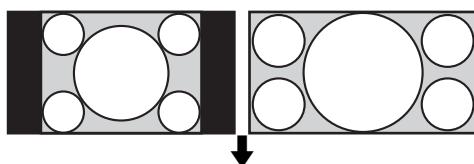
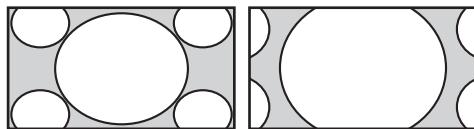
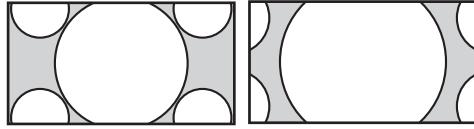
您可改变画面的纵横比。

提示

另外也可访问 “Screen”设定中的 “Aspect”设定。
参见第 26、27 页。

对于从 Video、DVD 等视频设备输入 （个人电脑输入除外）

4:3 原始源

16:9 原始源

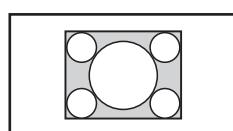
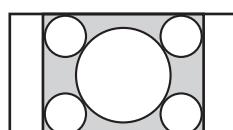
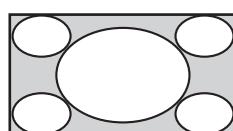
Wide Zoom

Zoom

Full

4:3

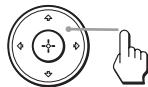
对于个人电脑输入

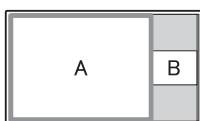
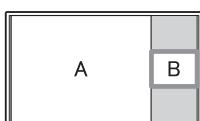
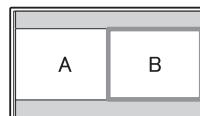
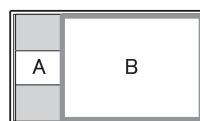
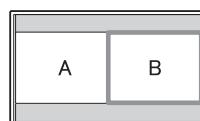
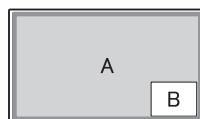
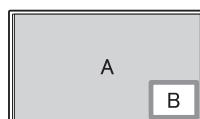
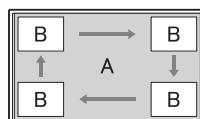
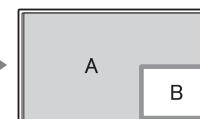
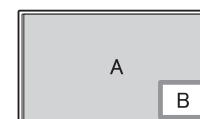
下图表示 800 × 600 输入分辨率

Real

Full 1

Full 2

注

如果输入分辨率比面板分辨率 （1,920 × 1,080）高，则 Real 显示与 Full 1 相同。

使用 PAP 设定

可并排显示两幅来自不同信号源，如个人电脑和视频的图像。
您也可以替换活动图像，或更改图像尺寸的平衡。
另外也可访问 “Screen” 设定中的 “PAP Setting” 设定。参见第 24 页。

光标显示活动图像

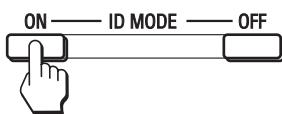
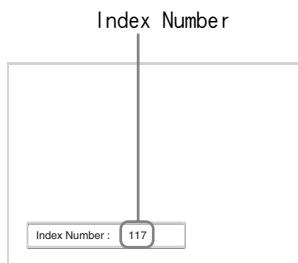
对于 P&P

对于 PinP

提示

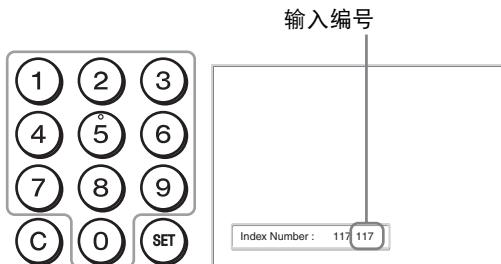
- 5 秒钟后，表示活动图像的光标将消失。
- 图像可以调节成 15 种尺寸。 （对于 P&P）

使用 ID MODE 按钮

可操作某个指定显示器而不影响其它同时安装的显示器。

1 按 ON 按钮。

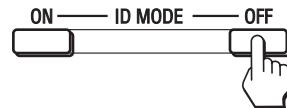
显示器的 “Index Number”在屏幕的左下角菜单中以黑色字符显示。 （每个显示器均分配有从 1 到 255 的单独预设 “Index Number”。）

2 用遥控器上的 0 - 9 键输入想要操作的显示器的 “Index Number”。

输入号码出现在各显示器 “Index Number” 的右边。

3 按 SET 按钮。

所选择的显示器上的字符变为绿色，而其它的则变为红色。

只可操作以绿色字符指示的指定显示器。
同样，仅 POWER ON 开关和 STANDBY/ID MODE-OFF 按钮的操作对其它显示器有效。

4 当完成所有设定变更后，按 OFF 按钮。

显示器返回至正常画面。

若要更正 Index Number

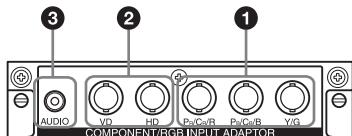
按 C 按钮清除当前输入的 “Index Number”。 返回步骤 2，然后输入一个新的 “Index Number”。

提示

若要改变显示器的 “Index Number”，请参阅第 28 页的 “Control Setting”中的 “Index Number”。

可选购的适配器

设备侧面的 OPTION 插槽 ❼（第 8 页）的端子为内槽型。可以将其连接至以下可选购的适配器（非附送）。
关于安装的详细说明，请咨询 Sony 经销商。
关于系统扩展用选购适配器的详细说明，请参阅其各自的使用说明书及本说明书。

COMPONENT/RGB INPUT 适配器 BKM-FW11

❶ Y/G，P_B/C_B/B，P_R/C_R/R IN（BNC）：连接至视频设备或个人电脑的模拟 RGB 信号或分量信号输出。

❷ HD、VD IN （BNC）：连接至个人电脑的同步信号输出。

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至 HD 和 VD 连接器。否则，可能无法正确显示图像。

❸ AUDIO （立体声微型插孔）：输入音频信号。连接至视频设备或个人电脑的音频输出。

HDMI INPUT 适配器 BKM-FW15

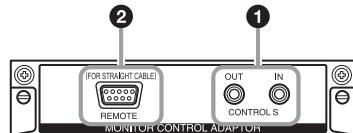
您可以享受效果增强的或高清晰度的视频，以及双声道数字音频。
将根据所连接的设备自动为音频 / 视频设备或个人电脑选择适当的模式。

注

请务必仅使用标有 HDMI 标识的 HDMI 电缆 （非附送）。我们推荐您使用 Sony HDMI 电缆 （高速类型）。

HD-SDI/SDI INPUT 适配器 BKM-FW16

连接至视频设备的 HD-SDI 信号输出。

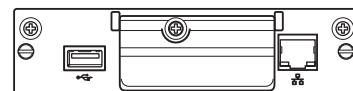
MONITOR CONTROL 适配器 BKM-FW21

❶ CONTROL S IN/OUT （微型插孔）：当显示器连接至视频设备或另一显示器的 CONTROL S 连接器时，可通过单个遥控器控制多个设备。将此适配器上的 CONTROL S OUT 连接器连接至其它设备的 CONTROL S IN 连接器，然后将此适配器上的 CONTROL S IN 连接器连接至其它设备的 CONTROL S OUT 连接器。

❷ REMOTE （D-sub 9 芯）：此连接器允许采用 RS-232C 协议遥控显示器。有关详细说明，请联系授权的 Sony 经销商。

注

- 设备侧面的 REMOTE 连接器和 REMOTE（LAN）连接器 ❶ （第 8 页）不能同时使用。
- 使用 REMOTE 连接器时，请在 “Network Port”中选择 “Option”。 （第 30 页）

STREAMING RECEIVER 适配器 BKM-FW50

CS

此适配器允许将该显示器用于数字信息发布。
只需插入记录介质，即可用指定的数据格式轻松地播放电影、静止图像或背景音乐。此外，您还可以利用网络在该显示器上查看远程计算机上的图像。

注

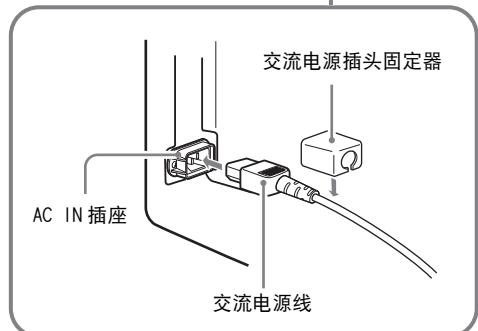
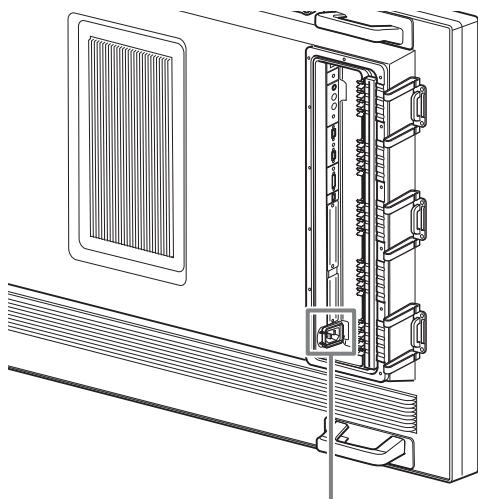
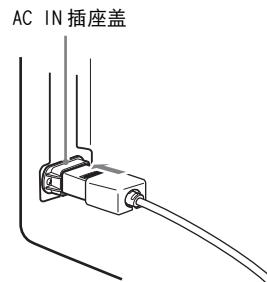
需要有 CompactFlash 卡。

- CompactFlash 是 SanDisk Corporation 在美国的注册商标。

开始之前

- 首先请确认各设备的电源已关闭。
- 请使用适合所要连接设备的电缆。
- 连接电缆，将其完全插入连接器或插孔。 松动的连接可能会引起嗡嗡声和其它噪音。
- 断开电缆的连接时，请捏紧插头拔出。 切勿拉拽电缆。
- 也可参阅所要连接设备的使用说明书。
- 请将插头牢牢插入 AC IN 插座。
- 请使用两个交流插头固定器 （附送）之一以便牢牢固定交流插头。

连接交流电源线和电缆

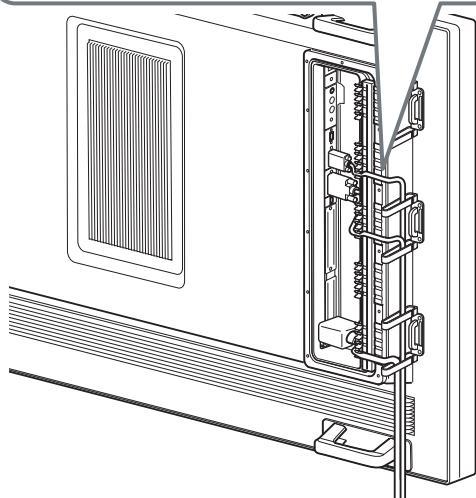
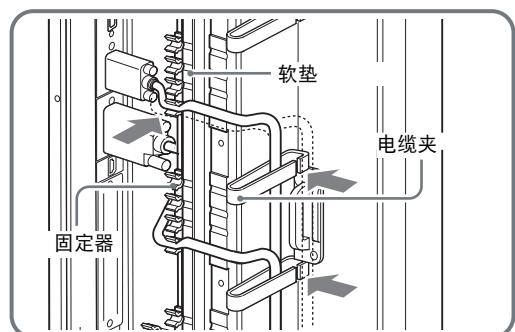
1 将交流电源线插入 AC IN 插座中。然后，将交流电源插头固定器 （附送）装在交流电源线上。

2 将交流电源插头固定器盖住电源线滑动，直至其连接至 AC IN 插座盖上。

若要拔下交流电源线

按压交流电源插头固定器并将其松脱，然后捏紧插头并拔出交流电源线。

3 将电缆连接到端子上，然后将交流电源线和电缆固定好。

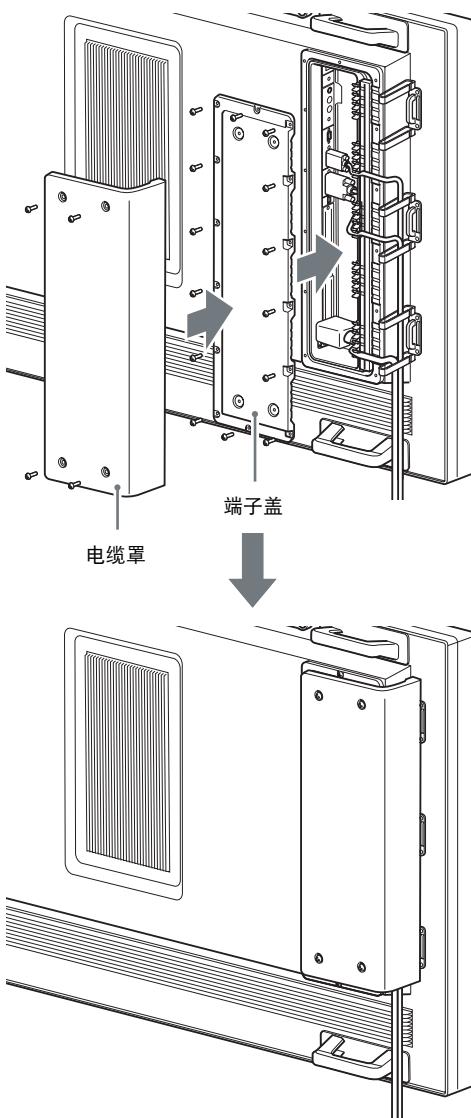
利用固定器和软垫中的凹槽，以正确的角度将电缆推入软垫，并用电缆夹将其固定。

注

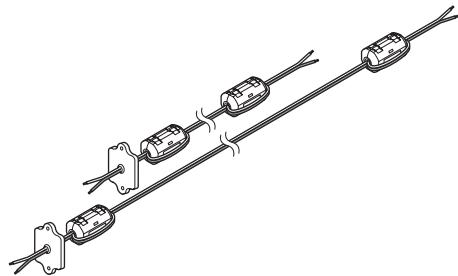
如果使用扬声器 （未附送），则将其连接好。

4 将端子盖和电缆罩安装到显示器上。

在要求符合国际标准 IP54 的场所中使用时，应始终安装端子盖和电缆罩。

注

固定端子盖和电缆罩时，请均匀地拧紧螺钉。如果使用电动螺丝刀，请将扭矩设置在 0.8 N•m 至 1.0 N•m （8 kgf•cm 至 10 kgf•cm）的范围内。

连接扬声器

连接 SS-SPG02 扬声器 （非附送）。 若要连接扬声器，请使用下列由扬声器附带的扬声器电线。

扬声器电线 （有端子盖）

- 左侧和右侧扬声器电线的长度是不同的。 较短的电线用于左侧的扬声器，而较长的电线用于右侧的扬声器。 为确保连接正确，请检查扬声器后面的标签。
- 在要求符合国际标准 IP54 的场所中使用时，应始终安装端子盖。
- 关于连接扬声器的详细说明，请参阅扬声器附带的使用说明书。 关于扬声器电线接线方法的详细说明，请参阅第 18 页。

注

沿垂直方向安装显示器时，扬声器不符合国际标准 IP54。

CS

电缆布置

可用固定在显示器上的电缆夹整齐地捆扎电缆。

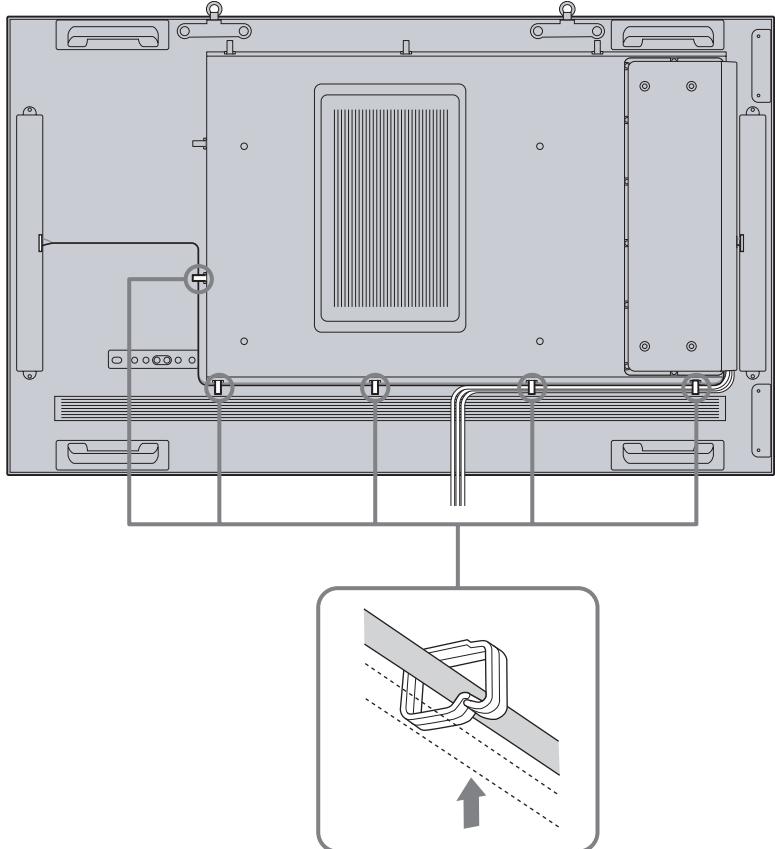
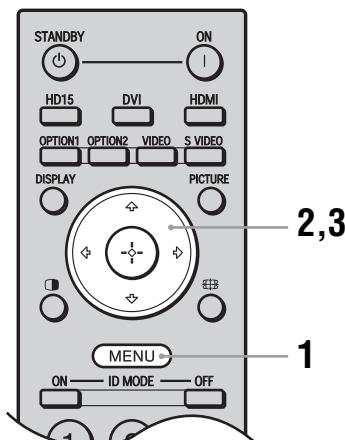
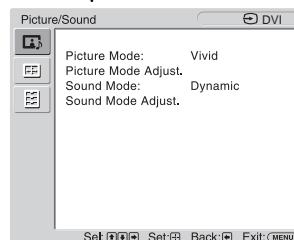
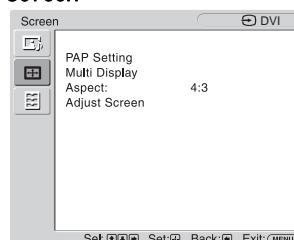
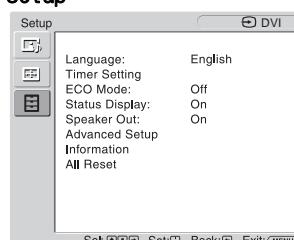
菜单综述

1 按 MENU 按钮。

2 按 ⇧/⇩ 加亮显示所需的菜单图标。

3 按⊕或 ⇨。
若要退出菜单，按 MENU 按钮。

若要改变屏幕显示语言

从 "English"、"Français"、"Deutsch"、"Español"、"Italiano" 或 "日本語" 中选择所要的屏幕显示设定和信息的语言。
"English"（英语）被设置为默认设定。
参见第 28 页。

这些设定使您可以使用以下功能：

设定	使您可以设定 / 更改
Picture/Sound 	Picture Mode:（第 20、22 页） Picture Mode Adjust.（第 20、22 页） Sound Mode:（第 21、23 页） Sound Mode Adjust.（第 21、23 页） **注** 无输入信号时，不能设定或更改 "Picture Mode" 或 "Picture Mode Adjust."。
Screen 	PAP Setting（第 24、27 页） Multi Display（第 25、27 页） Aspect:（第 26、27 页） Adjust Screen（第 26、27 页）
Setup 	Language:（第 28 页） Timer Setting（第 28 页） ECO Mode:（第 28 页） Status Display:（第 28 页） Speaker Out:（第 28 页） Advanced Setup（第 28 页） Information（第 31 页） All Reset（第 31 页）

* 视设定而定，显示于画面底部的菜单图标可能不起作用。

CS

Picture/Sound 设定

对于视频输入

若要加亮显示某个选项并更改设定，按 ⇧/⇩/⇦/⇨。
按⊕确认选择。
“Picture/Sound”设定中包括下列选项：

Picture Mode

“Vivid”：选择此项增强图像对比度和锐度。
“Standard”：选择此项设定为标准图像设定。
“Custom”：可以存储个人喜好的设定。
“Conference”：调节荧光灯下视频会议的图像质量。
“TC Control”： 此设定与 “Vivid”共通。 另外，您可以使用 “True Color Control”功能 （后述）。

提示

若要从 “Picture Mode”的某个选项改变至其另一个选项，也可使用遥控器上的 PICTURE。

注

- 视环境或使用的视频会议系统而定，“Conference”可能无效。 此时，请调节图像质量，并转换至 “Picture Mode”等其它设定。
- 在 “TC Control”中，“Brightness Boost”固定设为 Off。

Picture Mode Adjust.

“Backlight”：调节此项增亮或调暗屏幕。
“Contrast”：调节图像对比度。
“Brightness”：调节此项增亮或调暗图像。
“Chroma”：调节此项提高或降低色彩浓度。
“Phase”：调节图像的色调。
“Sharpness”：调节此项使图像变锐或柔和。
“Noise Reduction”：选择此项降低所连接设备的噪音等级。 从 “Off”、“Low”、“Mid”、“High”中选择以设定噪音等级。
“CineMotion”：选择 “Auto”可通过自动检测影片内容并应用反转 3-2 降格或 2-2 降格处理进而优化画面显示。 移动的图像看上去将显得更为清晰和自然。 选择 “Off”禁用检测。
“Dynamic Picture”：选择 “On”使白色更亮、黑色更黑来提高对比度。
“Gamma Correct”：平衡图像的明暗部分。 从 “High”、“Mid”、“Low”、“DICOM GSDF Sim.”中选择以进行设定。

注

- 当 “Picture Mode”设定为 “Conference”时，不能设定 “Gamma Correct”。
- “DICOM GSDF Sim.”只能在有 DVI 或 HDMI 输入时才能予以设定。
  伽玛设定用 “医学数码成像和通信标准”（Digital Imaging and Communications in Medicine，DICOM）中的 “灰度标准显示函数”（Grayscale Standard Display Function，GSDF）模拟。 但是，此设定仅供参考，不能用于医学诊断。

“Color Temp.”：可根据自己的喜好对白色调进行调节。 出厂默认设定会根据色温作出相应调整。
  “Cool”：选择此项使白色偏蓝。
  “Neutral”：选择此项使白色为中性。
  “Warm”：选择此项使白色偏红。
  “Custom”：允许设定比上面幅度更宽的白色调。

提示
在色调调整画面上选择 “Reset”可恢复默认设定。

“Brightness Boost”：增强图像的亮度。

注

- 当 “Picture Mode”设定为 “Vivid”时，只能设定 “Brightness Boost”。
- 当 “Brightness Boost”设定为 “On”时，不能调整 “Backlight”、“Contrast”、“Brightness”或 “Color Temp.”设定。
- 当 “Brightness Boost”设定为 “On”，“Backlight”设定为 “Max”，且 “ECO Mode”切换到 “Off”时，亮度将达到最大值。

“True Color Control”：您可以调节 4 种颜色：红、绿、黄、蓝各自具体的色调和饱和度，您也可以在图像中加亮显示指定的颜色。
选择您想要调节的颜色，并且您可以查看当前图像中将被调整的部分。 然后您可以用矩阵对话框进行调节。

注

- 当 “Picture Mode”设定为 “TC Control”时，可以调节此选项。
- 在 “PAP”模式中，您不能选择此选项。 即使在单画面屏幕中选择了此选项，此选项的设定也有可能不适用于 “PAP”模式

“Reset”：将 “Picture Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。

注

- 当输入为 Video 或 S Video，且视频信号的色彩制式不是 NTSC 时，不可使用 “Phase”。
- “Dynamic Picture”在 “Picture Mode”设定为 “Conference”或 “TC Control”时不可用。
- 您可以对每个 “Picture Mode”进行设定和调整，但 “Backlight”、“Noise Reduction”和 “CineMotion”设定对于所有 “Picture Mode”而言都是相同的。
- “Dynamic Picture”和 “CineMotion”在 PAP 模式下无效。

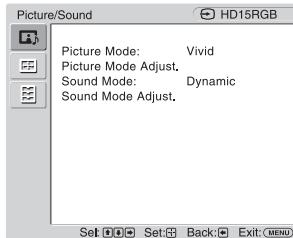
Sound Mode	可使用多种 “Sound Mode”设定调节从 SS-SPG02 扬声器 （非附送）输出的声音。 “Dynamic”：选择此项增强高音和低音。 “Standard”：适中设定。 “Custom”：可以存储个人喜好的设定。
Sound Mode Adjust.	“Treble”：调节此项提高或降低高音的音高。 “Bass”：调节此项提高或降低低音的音高。 “Balance”：调节此项增强左侧或右侧扬声器的平衡。 “Surround”：根据图像类型选择环绕模式。 “Off”：无环绕输出。 “Hall”：当想要让电影或音乐节目的立体声更具现场感时选择此项。 “Simul.”：当想要使用模拟立体声让普通单声道节目或新闻广播节目更具现场感时选择此项。 “Reset”：将 “Sound Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。

提示

- 可为每一 “Picture Mode”更改其 “Picture Mode Adjust.”设定 （“Contrast”、“Brightness”、“Chroma”等等）。
- 当 “Sound Mode”设定为 “Custom”时，可调节 “Sound Mode Adjust.”设定 （“Treble”和 “Bass”）。

注

在 “PAP”模式中，只有关于活动图像的 “Picture/Sound”设定可以调整。

CS

对于个人电脑输入

当输入切换至个人电脑输入源时，应用个人电脑输入专用的 “Picture/Sound”设定。
个人电脑的 “Picture/Sound”设定中包括下列选项:

Picture Mode

“Vivid”: 选择此项增强图像对比度和锐度。
“Standard”: 选择此项设定为标准图像设定。
“Custom”: 可以存储个人喜好的设定。
“Conference”: 调节荧光灯下视频会议的图像质量。
“TC Control”: 此设定与 “Vivid”共通。 另外，您可以使用 “True Color Control”功能 （后述）。

提示

若要从 “Picture Mode”的某个选项改变至其另一个选项，也可使用遥控器上的 PICTURE。

注

- 视环境或使用的视频会议系统而定，“Conference”可能无效。 此时，请调节图像质量，并转换至 “Picture Mode”等其它设定。
- 在 “TC Control”中，“Brightness Boost”固定设为 Off。

Picture Mode Adjust.

“Backlight”: 调节此项增亮或调暗屏幕。
“Contrast”: 调节图像对比度。
“Brightness”: 调节此项增亮或调暗图像。
“Gamma Correct”: 平衡图像的明暗部分。 从 “High”、“Mid”、“Low”、“DICOM GSDF Sim.” 中选择以进行设定。

注

- 当 “Picture Mode”设定为 “Conference”时，不能设定 “Gamma Correct”。
- “DICOM GSDF Sim.”只能在有 DVI 或 HDMI 输入时才能予以设定。
  伽玛设定用 “医学数码成像和通信标准” (Digital Imaging and Communications in Medicine，DICOM) 中的 “灰度标准显示函数” (Grayscale Standard Display Function，GSDF) 模拟。 但是，此设定仅供参考，不能用于医学诊断。

“Color Temp.”: 可根据自己的喜好对白色调进行调节。 出厂默认设定会根据色温作出相应调整。

“Cool”: 选择此项使白色偏蓝。
“Neutral”: 选择此项使白色为中性。
“Warm”: 选择此项使白色偏红。
“Custom”: 允许设定比上面幅度更宽的白色调。

提示

在色调调整画面上选择 “Reset”可恢复默认设定。

“Brightness Boost”: 增强图像的亮度。

注

- 当 “Picture Mode”设定为 “Vivid”时，只能设定 “Brightness Boost”。
- 当 “Brightness Boost”设定为 “On”时，不能调整 “Backlight”、“Contrast”、“Brightness”或 “Color Temp.”设定。
- 当 “Brightness Boost”设定为 “On”，“Backlight”设定为 “Max”，且 “ECO Mode”切换到 “Off”时，亮度将达到最大值。

“True Color Control”: 您可以调节 4 种颜色: 红、绿、黄、蓝各自具体的色调和饱和度，您也可以在图像中加亮显示指定的颜色。
选择您想要调节的颜色，并且您可以查看当前图像中将被调整的部分。 然后您可以用矩阵对话框进行调节。

注

- 当“Picture Mode”设定为“TC Control”时，可以调节此选项。
- 在“PAP”模式中，您不能选择此选项。即使在单画面屏幕中选择了此选项，此选项的设定也有可能不适用于“PAP”模式

“Reset”：将“Picture Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。

注

您可以对每个“Picture Mode”进行设定和调整，但“Backlight”对于所有“Picture Mode”而言都是相同的。

Sound Mode

可使用多种“Sound Mode”设定调节从 SS-SPG02 扬声器（非附送）输出的声音。

“Dynamic”：选择此项增强高音和低音。
“Standard”：适中设定。
“Custom”：可以存储个人喜好的设定。

Sound Mode Adjust.

“Treble”：调节此项提高或降低高音的音高。
“Bass”：调节此项提高或降低低音的音高。
“Balance”：调节此项增强左侧或右侧扬声器的平衡。
“Surround”：根据图像类型选择环绕模式。
  “Off”：无环绕输出。
  “Hall”：当想要让电影或音乐节目的立体声更具现场感时选择此项。
  “Simul.”：当想要使用模拟立体声让普通单声道节目或新闻广播节目更具现场感时选择此项。
“Reset”：将“Sound Mode Adjust.”的全部设定恢复为默认设定。

提示

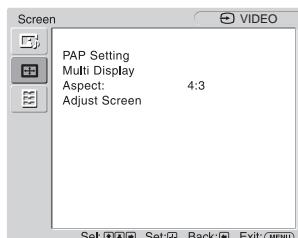
- 可为每一“Picture Mode”更改其“Picture Mode Adjust.”设定（“Contrast”、“Brightness”、“Chroma”等等）。
- 当“Sound Mode”设定为“Custom”时，可调节“Sound Mode Adjust.”设定（“Treble”和“Bass”）。

注

- 对于个人电脑输入，“Chroma”、“Phase”、“Sharpness”、“Noise Reduction”、“CineMotion”和“Dynamic Picture”不可用。
- 在“PAP”模式中，只有关于活动图像的“Picture/Sound”设定可以调整。

CS

Screen 设定

对于视频输入

若要加亮显示某个选项并更改设定，按 ⇧/⇩/⇦/⇨。
按⊕确认选择。
“Screen”设定中包括下列选项:

PAP Setting

可并排显示两幅来自不同信号源，如个人电脑和视频的图像。
“PAP”
“Off”：禁用 “PAP”功能。
“P&P”：同时并排显示两个画面。
“PinP”：以在主画面中插入画面的形式显示两个画面。

对于 P&P

“Active Picture”：选择要操作的画面。
“Left”：可以激活左侧图像进行操作。
“Right”：可以激活右侧图像进行操作。
“Swap”：两个图像并排交换。
“Picture Size”：调节两个并排图像的平衡。 按 ⇦ 或 ⇨ 按钮调节平衡，然后按⊕按钮设定调整值。 （第 13 页）

对于 PinP

“Active Picture”：选择要操作的画面。
“Main”：可以激活主图像进行操作。
“Sub”：可以激活插入图像进行操作。
“Swap”：交换主图像和插入图像。
“Picture Size”：调节插入图像的尺寸。 选择 “Large”或 “Small”。
“Picture Position”：用 ⇧/⇩/⇦/⇨ 调节插入图像的位置，然后按⊕。

注

- 在 “PAP”模式下，“Picture Mode”和 “Sound Mode”会反映在主图像设置中。
- 您无法在 “PAP”模式中改变纵横比。 在选择 “PAP”模式之前，图像以最后使用的纵横比显示。

两幅图像的有效组合

		S Video	Video	RGB/YUV		DVI	HDMI	OPTION			
				RGB	分量			RGB	分量	HDMI	HD-SDI/ SDI
S Video				○	○	○	○	○	○	○	○
Video				○	○	○	○	○	○	○	○
RGB/YUV	RGB	○	○			○	○		○[2)]	○	○
	分量	○	○			○	○	○[1)]		○	○
DVI		○	○	○	○			○	○		
HDMI		○	○	○	○			○	○		

1) 当 “Display”设定为 “YUV”或当在 “RGB/YUV”中将 “Option”设定为 “RGB”时支持。
2) 当 “Display”设定为 “RGB”或当在 “RGB/YUV”中将 “Option”设定为 “YUV”时支持。

提示

在 “PAP”模式中，来自 BKM-FW50 的输出被认为是表中所示的 RGB 输出。

Multi Display

可以对连接多个显示器形成的电视墙进行设定。

“Multi Display”

“Off”：使用单个屏幕。

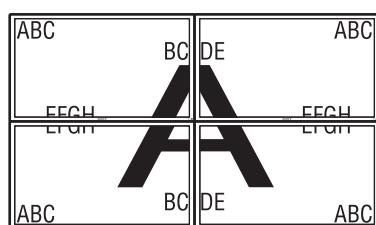
“2 × 2” / **“3 × 3”** / **“4 × 4”**：连接多个显示器时设定此项，比如垂直和水平方向各有 2 个、3 个或 4 个显示器。

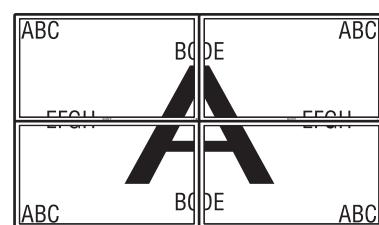
“1 × 2” / **“1 × 3”** / **“1 × 4”**：连接多个显示器时设定此项，比如水平方向有 2 个、3 个或 4 个显示器。

“2 × 1” / **“3 × 1”** / **“4 × 1”**：连接多个显示器时设定此项，比如垂直方向有 2 个、3 个或 4 个显示器。

“Position”：用 ⇧/⇩/⇦/⇨ 选择电视墙排列中每个显示器的位置。 按⊕设定位置。

“Output Format”：如下图所示，有两种图像输出格式可供选择。 只需轻松选择其中一种格式，即可输出合适的图像而无需手动调节水平和垂直偏移。从 “Tiles”或 “Window”中选择其一。

“Tiles”

在各个显示器上显示全部信号。

“Window”

用多个显示器自然地显示一幅大图像。
部分信号会进入面板边框区域后面。

CS

“LED”：“On”使得前面板上的 | / ⏻ 指示灯 （第 6 页）持续打开，而“Off”使得前面板上的 | / ⏻ 指示灯持续关闭。

注

- “Multi Display”可显示放大的图像，使视频输入的当前 “Aspect”设定尽量保持在最大水平，并且可显示 “Aspect”对于个人电脑输入设定为 “Full 2”的放大的图像。
- 仅当 “PAP”功能被禁用时，方可设定 “Multi Display”。
- 当 “Position”设定为右下方时，即使 “LED”被设定为 “Off”，| / ⏻ 指示灯也会点亮。 即使当显示器关闭 （待机）时，此指示灯仍点亮，则说明检测到错误，或显示器处于睡眠模式，包括无信号和不支持该信号的情况在内。

Aspect

“Wide Zoom”：选择此项以最小的失真放大，充满屏幕。
“Zoom”：选择此项放大原始图像而不改变纵横比。
参见第 12 页。
“Full”：选择此项，当原始源为 4:3 （标准清晰源）时水平放大原始图像，充满屏幕。 当原始源为 16:9 （高清晰源）时，选择此模式可以其原始尺寸显示 16:9 图像。
“4:3”：选择此项，将所有原尺寸图像显示为 4:3 纵横比。

提示

- 若要从 “Aspect”的某个选项改变至其另一个选项，您也可使用遥控器上的 ⊞。
- 选择 “Zoom”可使用屏幕上的整个可观看区域带黑带显示电影和其它 DVD 内容。

注

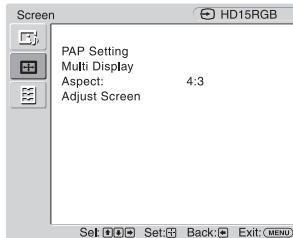
- 您无法在 “PAP”模式中改变纵横比。在选择 “PAP”模式之前，图像以最后使用的纵横比显示。
- 在使用 “Multi Display”功能的同时，无法设定 “Aspect”。

Adjust Screen

“H Size”：可以水平调节图像尺寸。 按 ⇦/⇨ 和⊕选择一项修正。
“H Shift”：可以在窗口中左右移动图像位置。 按 ⇦/⇨ 和⊕选择一项修正。
“V Size”：可以垂直调节图像尺寸。 按 ⇧/⇩ 和⊕选择一项修正。
“V Shift”：可以在窗口中上下移动图像位置。 按 ⇧/⇩ 和⊕选择一项修正。
“Reset”：将 “Adjust Screen”的全部设定恢复为默认设定。

注

- “Adjust Screen”在使用 “PAP”功能时不可用。
- 如果当前没有信号输入，则除 “PAP Setting”和 “Multi Display”之外的任何其它 “Screen”设定选项均无法被选择。

对于个人电脑输入

当输入切换至个人电脑输入源时，应用个人电脑输入专用的 “Screen” 设定。
个人电脑的 “Screen” 设定中包括下列选项：

PAP Setting

请参阅视频输入的 “PAP Setting”（第 24 页）。

Multi Display

请参阅视频输入的 “Multi Display”（第 25 页）。

Aspect

“Full 1”：选择此项放大图像，在垂直方向充满显示区域，保持原始的水平－垂直纵横比。 在图像的四周会出现一个黑框。
“Full 2”：选择此项将图像放大，充满显示区域。
“Real”：选择此项以图像的原始像点数显示图像。

注

- 您无法在 “PAP” 模式中改变纵横比。在选择 “PAP” 模式之前，图像以最后使用的纵横比显示。
- 在使用 “Multi Display” 功能的同时，无法设定 “Aspect”。
- 如果输入分辨率比面板分辨率（1,920 × 1,080）高，则 “Real” 的显示与 “Full 1” 相同。

Adjust Screen

“Auto Adjustment”：选择 “OK”，即可在显示器接收到来自所连接的个人电脑的输入信号时，自动调节图像的显示位置和相位。
请注意，对于某些输入信号，“Auto Adjustment” 可能效果不佳。 此时，请手动调节以下选项。
“Phase”：选择此项，在屏幕抖动时调整相位。
“Pitch”：选择此项，在图像有多余垂直条纹时调节间距。

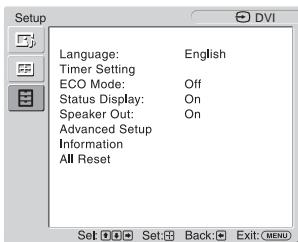
注

- “Auto Adjustment”、“Phase”、“Pitch” 在输入 DVI 或 HDMI 等数字信号时不可用。
- 执行 “Auto Adjustment” 时，请显示一张全亮的图像。 否则，图像的位置可能会调整不当。

“H Size”：可以水平调节图像尺寸。 按 ⇦/⇨ 和⊕选择一项修正。
“H Shift”：可以在窗口中左右移动图像位置。 按 ⇦/⇨ 和⊕选择一项修正。
“V Size”：可以垂直调节图像尺寸。 按 ⇧/⇩ 和⊕选择一项修正。
“V Shift”：可以在窗口中上下移动图像位置。 按 ⇧/⇩ 和⊕选择一项修正。
“Reset”：将 “Adjust Screen” 的全部设定恢复为默认设定。

注

如果当前没有信号输入，则除 “PAP Setting” 和 “Multi Display” 之外的任何其它 “Screen” 设定选项均无法被选择。

CS

目 Setup 设定

若要加亮显示某个选项并更改设定，按 ⇧/⇩/⇦/⇨。
按⊕确认选择。
“Setup”设定中包括下列选项：

Language

选择此项，可用所选择的语言显示所有屏幕上的设定：“English”、“Français”、“Deutsch”、“Español”、“Italiano”或“日本語”。

Timer Setting

可调整时间、显示内置时钟或设定定时器使显示器电源在预设的时间打开 / 关闭。
“Clock Set”：设定星期几和时间。
  “Date Set”：设定日期（年、月、日）。日是自动设定的。
  “Time Set”：设定时间。
“Clock Display”：通过按遥控器上的显示按钮设定为“On”时，在屏幕上显示当前设定的时间。
“On/Off Timer”：设定星期几和时间。

注

如果内置时钟走时不准，内置电池可能已耗尽。请联系经授权的 Sony 经销商来更换电池。

ECO Mode

“Off”：选择此项，以不节电的方式观看图像。
“Low”/“High”：选择此项可以改变背光亮度并减少功耗。

Status Display

“On”使得在显示器电源打开时，输入信号和“Aspect”信息在屏幕上显示 5 秒钟左右，并且当输入信号被切换时，输入信号信息显示 5 秒钟左右，而“Off”则禁用状态信息显示。

提示

不管“Status Display”设定如何，通过使用遥控器上的 DISPLAY，均可显示输入信号和“Aspect”信息。

Speaker Out

“On”：使声音从扬声器发出。
“Off”：使声音无法从扬声器发出。

Advanced Setup

“Control Setting”：此菜单用于操作显示器和遥控器的设定。
  “Index Number”：您可以根据需要更改显示器的索引号码。选择此项，用 ⇧/⇩ 设定显示器的索引号码，然后按⊕（执行）确认设定。

  注

  设定“Index Number”时，可使用显示器上的按钮。无法使用遥控器设定“Index Number”。

  “Control Mode”
    “Display+Remote”：可使用显示器和遥控器上的控制按钮操作显示器。
    “Display Only”：禁用遥控功能。只能使用显示器上的控制按钮进行显示器设定。
    “Remote Only”：禁用显示器上的控制。仅可使用遥控器为显示器进行设定。

注

当操作此项目时，视通过遥控器还是显示器来进行选择的情况而定，可用模式将会有所不同。用遥控器上的⊕设定此项目时，您仅可选择 “Display+Remote”或 “Remote Only”。用显示器上的⊕（执行）设定此项目时，您仅可选择 “Display+Remote”或 “Display Only”。

“Auto Screen Adjust”

“On”：保存每个输入信号的图像尺寸和位置等设定，并且每次切换输入信号时，自动应用最后的设定。

“Off”：即使切换输入信号也禁用 “Auto Screen Adjust”，并应用默认设定。

注

“Auto Screen Adjust”功能仅在 RGB 输入过程中有效。

“Auto Shut Off”：

“On”：当信号未输入 Video 或 S Video 输入连接器约 5 分钟以上，显示器将自动进入待机模式。当约 30 秒以上没有信号输入到 DVI、HDMI 或 HD15 （RGB/ 分量）输入连接器时，显示器自动进入节电模式。

“Off”：即使没有信号输入至任何连接器时，显示器也不会自动关闭。

提示

- 在待机模式中，按显示器上的 ⏻（电源）开关或遥控器上的 POWER ON 开关打开显示器。处于节电模式时，当有信号输入时显示器将自动打开电源。
- 在 “On-Screen Logo”设定为 “On”、启用屏幕保护功能或选定 PAP 时，该功能无效。

“Overscan”：选择是否以过扫描或原样扫描状态显示图像。

“Auto”：将假定为 DTV 的信号图像自动切换为过扫描状态图像。

“On”：以过扫描状态显示图像。

“Off”：以原样扫描状态显示图像。

注

如果 “Overscan”设为 “Off”，DTV 信号图像可能以类似个人电脑信号显示的方式显示。

例如：480P → 720 × 480/60

“Sync Mode”：根据 HD15 （RGB/COMPONENT） IN 连接器的第 13 管脚的输入信号设定模式。

“H/Comp”：当输入水平同步信号或复合同步信号时选择此项。

“Video”：当输入视频信号时选择此项。

注

- “Sync Mode”仅在输入 HD15 连接器的信号为模拟 RGB 信号时可用。
- 视复合同步信号的电平而定，图像可能无法正确显示。此时，请更改 “Sync Mode”设定。
- 有些输入只能选择同步信号。此时，经由连接器的 13 或 14 芯输入水平 / 垂直同步信号。
- 对于通过选购适配器的输入，无法执行 Sync Mode 设定。
- 当在 “Sync Mode”中选择 “Video”时，只能设定 575/50i 和 480/60i 信号。
- 如果您选择同步模式设定的视频信号，则无法使用 PAP 功能。

CS

“RGB/YUV”
“Display” / “Option”：设定与显示器的 HD15 (RGB/COMPONENT) 端子或选购适配器的 5BNC (RGB/COMPONENT) 端子相连接的视频设备或个人电脑的信号类型。
“Auto”：选择此项以选择来自所连接设备的模拟 RGB 输入信号或分量输入信号。
“RGB”：选择此项以选择来自所连接设备的模拟 RGB 输入信号。
“YUV”：选择此项以选择来自所连接设备的分量输入信号。

注

使用复合同步信号选择 “RGB”以输入 RGB 信号。

提示

关于两个图像的可用结合，请参阅第 25 页。

“Color System”：从 “Auto”、“NTSC”、“NTSC4.43”、“PAL”、“PAL-M”、“PAL-N”或 “PAL60”中选择视频信号的色彩制式。 选择 “Auto”自动设定色彩制式。

注

“Color System”对于个人电脑输入无效。

“RGB Signal”：当输入的是 HD15、DVI 或 HDMI 输入端子 1280 × 768/60 或 720 × 480/60 RGB 信号时，此项选择是作为视频信号还是作为个人电脑信号使用。

“Screen Saver”：此设定防止或减少由于屏幕长时间显示同一图像而可能产生的屏幕烧录或残留图像。
“All White”：显示为整个白屏。 (大约 30 分钟后自动停止，显示器进入待机模式。)
“Sweep”：白色条在画面上滚动。
“Standby”：在 “Timer Setting”中所指定的时间内，待机模式下将启动屏幕保护功能 (第 6 页)。 (显示器在屏幕保护功能启动期间为黑屏。) 屏幕保护功能结束时，将恢复为常规待机模式。

“Logo”：在本机前的 Sony 标识点亮。
“Position”：通过从 “Auto”、“Landscape”和 “Portrait”中设定设备的设定方式，此标识可在屏幕的下方持续点亮。 如果选择 “Auto”，将自动选择 Landscape 或 Portrait。
“Illumination”： 选择 “Off”使标识熄灭。 选择 “Low”和 “High”将点亮。

“On-Screen Logo”
“On”：信号未输入时，显示型号名称标识。
“Off”：信号未输入时，不显示型号名称标识。

“Network Port”：设定通过遥控器操作显示器的网络端口。
“Off”：当不使用网络端口时选择。 可以减少待机模式时的功率消耗。
“Option”：允许从与 REMOTE 连接器或 OPTION 插槽的 LAN 连接器相连接的个人电脑进行显示器设定。 (第 34 页)
“Display”：允许从与显示器的 REMOTE (LAN) 连接器相连接的个人电脑进行显示器设定。 (第 34 页)

提示

当将 BKM-FW50 适配器插入 OPTION 插槽时，“Network Port”会自动设定为 “Option”。

“IP Address Setup”：设定 IP 地址，使显示器的 REMOTE (LAN) 连接器或选购适配器与用 LAN 电缆连接的个人电脑等设备之间能够进行通讯。

“Speed Setup”：设定显示器的 REMOTE (LAN) 连接器或选购适配器与用 LAN 电缆连接的个人电脑等设备之间的通讯速度。

提示

关于如何设定 “IP Address Setup”和 “Speed Setup”的详细说明，请参阅 “使用网络功能的准备工作”章节 (第 32 页)。

	"Power On Delay"：调整截至到电源打开之前的时间。请设定为 Off 或 1-120 秒。这样可以防止电源设备在连接多个装置的情况下出现突然的负载变动。 "Light Sensor" "On"：自动调整屏幕亮度，以便与环境亮度相符。 "Off"：不自动调整屏幕亮度。
Information	显示该显示器的 "Date"、"Model Name"、"Serial Number"、"Operation Time"、"Software Version"以及 "IP Address"。在安装选购适配器 BKM-FW50 的情况下，将显示 "Player IP Address"（静止图像或电影播放功能的 IP 地址）。详细说明，请参阅 BKM-FW50 的使用说明书。
All Reset	将所有调节和设定均重置为出厂设定。 **注** "Information"选项中包含的项目以及 "Index Number"不会被重设。

CS

使用网络功能的准备工作

使用前须知

- 如本显示器的软件规格因改进而发生变更，恕不另行通知。
- 应用软件所显示的画面可能与本手册中的插图有细微不同。
- 为确保安全，仅可将本显示器的端口连接至无过高电压或电压浪涌危险的网络。
- 本手册中说明的操作步骤仅适用于以下环境条件。

  操作系统：
  Microsoft Windows XP/Windows Vista

  浏览器：
  Microsoft Internet Explorer6.0 或以上版本
- 为确保网络安全，建议设定用户名和密码。相关的设定信息，请参阅 “设置画面”（第 35 页）。

  关于安全设定，请咨询网络管理员。

设定 IP 地址

使用 10BASE-T/100BASE-TX LAN 电缆可以将显示器连接至网络。
连接到 LAN 时，可以使用以下两种方法之一设定显示器的 IP 地址。 关于 IP 地址选择的详情，请咨询您的网络管理员。

- 为显示器指定一个固定的 IP 地址
  通常应该使用这种方法。请注意，在出厂设定中，显示器设定为自动获取 IP 地址。
- 自动获取 IP 地址
  如果显示器连接的网络具有 DHCP 服务器，您可以让 DHCP 服务器自动指定一个 IP 地址。请注意，在这种情况下，安装显示器后显示器每次打开时，IP 地址都可能会改变。

设定 IP 地址之前，先将 LAN 电缆连接至显示器以建立网络。 约 30 秒钟后，打开显示器，然后开始进行所需的设定。

- Microsoft 和 Windows 是微软公司在美国和 / 或其他国家的注册商标。
- 本手册中提及的所有其他产品名称和公司名称等为其各自所属公司的商标或注册商标。

为显示器指定一个固定的 IP 地址

1 按 MENU 打开主菜单。
2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按⊕。
3 用 ⇧/⇩ 选择 “Advanced Setup”，然后按⊕。
4 用 ⇧/⇩ 选择“IP Address Setup”，然后按⊕。
5 用 ⇧/⇩ 选择 “Manual”，然后按⊕。
6 用 ⇧/⇩ 从 “IP Address”、“Subnet Mask”、“Default Gateway”、“Primary DNS”、“Secondary DNS”中选择所需设定的项目，然后按⊕。
7 用显示器上的 ⇧/⇩ 或遥控器上的数字键为四个方框各设定三位数字 （0-255），然后按⊕或 ⇨。
8 为四个方框各设定三位数字 （0-255），然后按⊕。 重复与步骤 6 相同的操作，用 ⇧/⇩ 选择下一个所需设定的项目，然后按⊕。
9 所有所需项目都设定了数值后，用 ⇧/⇩ 选择 “Execute”，然后按⊕。

选择 “Execute”，然后按⊕。 手动设定了一个 IP 地址。
选择 “Cancel”时，设定将返回原始设定。

自动获取 IP 地址

1 按 MENU 打开主菜单。
2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按⊕。
3 用 ⇧/⇩ 选择 “Advanced Setup”，然后按⊕。
4 用 ⇧/⇩ 选择“IP Address Setup”，然后按⊕。
5 用 ⇧/⇩ 选择 “DHCP”，然后按⊕。

选择 “Execute”，然后按⊕。 自动设定了一个 IP 地址。
选择 “Cancel”时，设定将不会被执行。

注

如果未正确设定 IP 地址，则根据错误原因将显示以下错误代码。
Error 1: 通讯错误
Error 2: 指定的 IP 地址已经被其它设备所使用
Error 3: IP 地址错误
Error 4: 网关地址错误
Error 5: 首选 DNS 地址错误
Error 6: 备用 DNS 地址错误
Error 7: 子网掩码错误

检查自动指定的 IP 地址

1 按 MENU 打开主菜单。
2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按⊕。
3 用 ⇧/⇩ 选择 “Information”，然后按⊕。
4 用 ⇧/⇩ 选择 “IP Address”，然后按⊕。

显示当前获得的 IP 地址。

提示

无法正确获得 IP 地址时，以前获得的 IP 地址就会显示在 “IP Address Setup” 的 “Information” 和 “Manual” 中。

设定通讯速度

1 按 MENU 打开主菜单。
2 用 ⇧/⇩ 选择 “Setup”，然后按⊕。
3 用 ⇧/⇩ 选择 “Advanced Setup”，然后按⊕。
4 用 ⇧/⇩ 选择 “Speed Setup”，然后按⊕。
5 用 ⇧/⇩ 从 “Auto”、“10Mbps Half”、“10Mbps Full”、“100Mbps Half”、或 “100Mbps Full” 中选择所需设定的通讯速度，然后按⊕。

如果选择 “Auto”，则自动设定适合您网络配置的通讯速度。

6 用 ⇧/⇩ 选择 “Execute”，然后按⊕反映出设定。

CS

个人电脑操作

控制显示器

您可以在个人电脑屏幕上进行各项显示器设定。
确认显示器、个人电脑和路由器或集线器均用网络电缆正确连接。然后打开显示器、个人电脑和路由器或集线器的电源。
有四种显示画面，按功能区分：Information 画面、Configure 画面、Control 画面和 Setup 画面。
关于按钮功能的详细说明，请参阅显示器各功能的说明。

1 开启个人电脑浏览器（Internet Explorer 6.0 或更新版本）。

2 输入在上一页中分配到显示器的 IP 地址 "http://xxx.xxx.xxx.xxx"，然后按键盘上的 ENTER 键。
如果已设定用户名和密码，将会出现 "Network Password" 画面。请输入设定的用户名和密码，然后执行下一步。

3 单击屏幕顶部的功能标签，然后选择所需的画面。

设定各画面上的项目

当使用显示器的 LAN 功能时

Information 画面

该画面显示型号名称、序列号和显示器的其它信息，以及电源状态和输入信号选择。
本画面只显示信息。没有可进行设定的项目。

Configure 画面

Timer
使您可以对定时器功能进行设定。
结束时，单击 "Apply"。

Screen Saver
使您可以对屏幕保护功能进行设定。
结束时，单击 "Apply"。

Picture and Picture
使您可以对双画面功能进行设定。
结束时，单击 "Apply"。

注

在设定 "Timer" 功能前，请确保在设置画面（第 35 页）上配置时间设定。

Control 画面

POWER
打开或关闭显示器。

INPUT
使您可以选择输入信号。

PICTURE MODE
使您可以选择图像模式。

ASPECT
使您可以调节图像的纵横比。

Contrast +/- 按钮
调节屏幕对比度。

Brightness +/- 按钮
调节画面亮度。

Chroma +/- 按钮
调节色彩浓度。

Phase +/- 按钮
调节色彩平衡。

Reset 按钮
将从 "Contrast" 到 "Phase" 的设定重设为出厂默认的设定值。

注

- 如果输入信号为Video或S Video，并且视频信号的色彩制式不是NTSC时，“Phase”无效。
- “Chroma”和“Phase”对于个人电脑输入无效。
- “Normal”（ASPECT设定下）对应于视频输入的“4:3”或个人电脑输入的“Real”。

Setup 画面

该画面使您可以设定Network Password。出厂默认设定如下：

Name:　　root
Password: pudadm

当您做任何更改或输入信息后，单击每一画面底部的“Apply”使这些设定生效。
文本字段中不可使用特殊字符。

Owner Information

Owner
在此处输入用户信息。

Display Location
在此处输入有关显示器安装位置的信息。

注

输入信息时，切勿使用空格。否则将会导致文件名显示不正确。

Memo
在此处输入补充信息。

Time

Time
输入时间、年、月和日。

Network

Internet Protocol (TCP/IP)
选择“Specify an IP address”，输入IP地址数字型字符串中的每个数值。
选择“Obtain an IP address (DHCP)”，从DHCP服务器上自动获得IP地址。请注意，在这种情况下，安装显示器后显示器每次打开时，IP地址都可能会改变。

注

可以从显示器的菜单设定IP地址。有关详情，请参阅“IP Address Setup”（第30页）。

Password
在此处输入管理员、用户名和密码信息。管理员的名称固定设为“root”。
每个字符串最长8个字符。
一旦设定了用户名和密码，无论何时调用显示器的显示器控制画面，即出现“Network Password”画面。为确保网络安全，建议设定用户名和密码。

Mail Report

Error Report
如果显示器功能发生错误，系统立即通过电子邮件（错误通知）发送错误报告。

Status Report
显示器的状态可以根据所选择的时间间隔通过电子邮件进行报告。

Address
在此处输入目标电子邮件地址。错误报告可以同时发送到四个指定目的地。每个电子邮件地址最大长度为64个字符。

Mail Account

Mail Address:
在此处输入指定的邮件地址。
地址的最大长度为64个字符。
Outgoing Mail Server (SMTP):
在此处输入邮件服务器的地址。
地址的最大长度为64个字符。
Requires the use of POP Authentication before Send e-mail (POP before SMTP):
连接到SMTP服务器时，当需要POP验证时，勾选该复选框。
Incoming Mail Server (POP3):
当POP验证用于“POP before SMTP”设定时，在此处输入POP3服务器的地址。
Account Name:
在此处输入电子邮件账户的名称。
Password:
在此处输入电子邮件账户的密码。
Send Test Mail:
如要测试邮件是否成功发送到指定的目的地，勾选该复选框并单击“Apply”。将发送测试邮件。

注

如果未设定下列项目或设定不正确，会出现错误讯息且不能发送测试邮件：

- 目的地地址
- 邮件账户的地址和邮件服务器的地址（SMTP）

Advanced
进行高级设定以便使用各种网络应用软件。请按照各种应用软件的要求进行设定。

Advertisement
使您可以对网络上的广告和广播功能进行设定。

ID Talk
使您可以对ID会话功能进行设定。ID会话是一个协议，允许显示器进行基于网络的控制。控制项目包括各种设定和调整，例如色温和伽玛。有关支持的ID会话命令的信息，请咨询您当地的Sony经销商。

SNMP
显示器是一个支持 SNMP （简单网络管理协议）的网络设备。除支持标准的 MIB-II 外，也支持 Sony Enterprise MIB。该画面使您可以对 SNMP 进行设定。
有关支持的 SNMP 命令的信息，请咨询您当地的 Sony 经销商。

返回到默认设定
若要将在 “Setup” 画面中所作的所有设定模式恢复至出厂默认状态，可通过指定 “All Reset” 设定恢复到默认设定，然后重新指定适当的网络设定。

故障排除

检查I/⏻指示灯是否以红色闪烁。

闪烁时

自检功能启用。

1 **检查I/⏻指示灯闪烁的次数和停止闪烁的时间长度。**
例如，指示灯闪烁 2 次，停止闪烁 3 秒，然后再闪烁 2 次。

2 **按显示器上的 ⏻（电源）开关将其关闭，断开电源线的连接。**
将指示灯闪烁的方式 （闪烁次数和点亮的持续时间）告知您的经销商或 Sony 服务中心。

不闪烁时

1 检查下表中的项目。

2 如果问题仍然存在，请将显示器交给有资格的专业人员进行维修。

问题	可能的解决方法
显示器上的电源开关和控制按钮不工作。	• 检查 “Control Setting”（第 28 页）。
HD15 （RGB/COMPONENT） OUT 端子没有输出视频信号。	• 当此设备处于待机状态或关闭交流电源时，不会有 HD15 （RGB/COMPONENT） OUT 输出。
BKM-FW16 的 HD-SDI OUT 端子没有输出信号。	• 当此设备处于待机状态或关闭交流电源时，不会有 HD-SDI OUT 输出。
没有图像。	
没有图像。	• 检查视频设备和显示器之间的连接。 • 检查 “RGB/YUV”的设定 （第 30 页）。 • 用显示器的 INPUT 按钮或遥控器尝试切换输入（第 9、10 页）。
显示器自动关闭。	• 检查 “Timer Setting”是否已启用 （第 28 页）。 • 检查 “Auto Shut Off”功能是否设定为 “On”（第 29 页）。 • 检查室温是否超过 35°C。
图像质量差。	
无彩色 / 图像暗 / 图像太亮 / 色彩不正确 / 图像逐渐变暗 / 图像上出现水平噪点	• 按 PICTURE 选择所需的 “Picture Mode”（第 10 页）。 • 调节 “Picture/Sound”设定中的 “Picture Mode”选项 （第 20 页、22）。 • 检查信号电缆是否完好无损。 • 检查室温是否超过 35°C。 • 检查 “ECO Mode”中的设定 （第 28 页）。 • 未连接视频设备时，请勿将视频电缆或转换连接器连接到VIDEO OUT 端子上。 由于未终止显示器信号，因此图像上的白色区域会显得太亮。 • 检查 “Light Sensor”设定。 请参阅第 31 页。
整个画面呈淡绿或淡紫色。	• 检查 “RGB/YUV”设定是否正确 （第 30 页）。

问题	可能的解决方法
无声音 / 杂音。	
图像显示，但无声音。	• 检查音量控制。 • 按遥控器上的🔇或◢ +，使静音符号从屏幕上消失 （第 11 页）。 • 检查 “Speaker Out”设定 （第 28 页）。
遥控器无法操作。	• 检查电池的极性或更换电池。 • 将遥控器指向显示器上的遥控传感器。 • 保持遥控传感器区域无障碍物阻挡。 • 检查 “Control Setting”（第 28 页）。 • 检查电缆是否连接至 CONTROL S IN 连接器 （BKM-FW21 未附带）。 在显示器经由 CONTROL S 连接进行控制时，遥控器无法使用。 • 荧光灯会干扰遥控器操作；尝试关闭荧光灯。
无法连接至网络。	• 将电缆牢牢插入 REMOTE 连接器。 • 检查个人电脑的网络设定。 • 通过在 “Setup”设定菜单上指定 “All Reset”设定恢复至默认设定，然后重新指定适当的网络设定。 • 检查 “Network Port”中的设定。 （第 30 页）
未出现显示器控制画面 （Web 画面显示显示器的 GUI）。	• 单击 Web 浏览器中的刷新或重新载入按钮。 • 确认 IP 地址正确。 • 使用 Internet Explorer 6.0 或更新版本。 • 清除浏览器缓存。

输入信号参照表

个人电脑信号

	分辨率	水平频率 (kHz)	垂直频率 (Hz)
1	VGA[a] -1 (VGA 350)	31.5	70
2	640 × 480@60 Hz	31.5	60
3	Mac[b] 13"	35.0	67
4	VGA (VGA TEXT)	31.5	70
5	800 × 600@60 Hz (VESA[c] STD)	37.9	60
6	Mac 16"	49.7	75
7	1024 × 768@60 Hz (VESA STD)	48.4	60
8	1024 × 768@75 Hz (VESA STD)	60.0	75
9	1024 × 768@85 Hz (VESA STD)	68.7	85
10	1152 × 864@75 Hz (VESA STD)	67.5	75
11	Mac 21"	68.7	75
12	1280 × 960@60 Hz (VESA STD)	60.0	60
13	1280 × 1024@60 Hz (VESA STD)	64.0	60
14	1600 × 1200@60 Hz (VESA STD) *	75.0	60
15	848 × 480@60 Hz (CVT[d])	29.8	60
16	848 × 480@75Hz (CVT)	37.7	75
17	848 × 480@85Hz (CVT)	43.0	85
18	1280 × 720@60Hz (CVT)	44.8	60
19	1280 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
20	1280 × 768@75Hz (CVT)	60.3	75
21	1280 × 960@60Hz (CVT)	59.7	60
22	1360 × 768@60Hz (CVT)	47.7	60
23	800 × 600@60Hz (CVT)	37.4	60
24	1024 × 768@60Hz (CVT)	47.8	60
25	1280 × 1024@60Hz (CVT)	63.7	60
26	1400 × 1050@60Hz (CVT) *	65.3	60
27	1600 × 1200@60Hz (CVT) *	74.5	60
28	1920 × 1080@60Hz	66.6	60
29	1920 × 1200@60Hz	74.0	60

电视 / 视频信号

	分辨率	可用输入				
		Video	分量 /RGB	DVI	HDMI	SDI
1	480/60i	○	○			○
2	480/60p		○	○	○	
3	575/50i	○	○			○
4	576/50p		○	○	○	
5	720/50p		○	○	○	○
6	720/60p		○	○	○	○
7	1080/50i		○	○	○	○
8	1080/60i		○	○	○	○
9	1080/50p				○	
10	1080/60p				○	
11	1080/24PsF		○			

a) VGA 是美国 International Business Machines Corporation 的注册商标。
b) Macintosh 是 Apple Inc. 的商标，并已在美国及其他国家 / 地区注册。
c) VESA 是 Video Electronics Standards Association 的注册商标。
d) VESA 坐标视频计时器

注

- 对于 HDTV 信号，将三级同步信号输入到 HD15 (RGB/COMPONENT) IN 连接器的第 2 芯。
- 如果将 DVD 信号输入至显示器后色彩显得太淡，可调整 “Picture/Sound” 设定中的 “Chroma”。
- 如果相位经过了重新调整，则分辨率将会降低。
- 不保证来自 Macintosh 计算机的信号一定能够识别数字 RGB 输入。
- 无法将标有 * 的信号输入至 DVI IN。
- 不含彩色脉冲信号的视频信号将不予保证。

输入信号和显示器状态的实际屏幕显示

屏幕显示	含义
640 × 480/60 （例）	所选择的输入信号为个人电脑信号。
480 / 60I （例）	所选择的输入信号为分量视频。
NTSC （例）	所选择的输入信号为视频信号。
非支持信号	所选择的输入信号为不支持的信号。
无信号	无输入信号。
HD15	所选的输入为 HD15。 “RGB/YUV”被设定为 “Auto”。
HD15 RGB	所选的输入为 HD15。 “RGB/YUV”被设定为 “RGB”。
HD15 Component	所选的输入为 HD15。 “RGB/YUV”被设定为 “YUV”。
DVI	所选择的输入信号为 DVI。
HDMI	所选择的输入信号为 HDMI。
Video	选择了复合视频信号。
S Video	选择了 S 视频信号。
Option	选择了 Option 输入。 “RGB/YUV”被设定为 “Auto”。
Option RGB	选择了 Option 输入的模拟 RGB 信号。
Option Component	选择了 Option 输入的分量视频信号。
Option HDMI 1/ Option HDMI 2	选择了 Option 输入的 HDMI 1 或 HDMI 2 信号。
Option HD SDI	选择了 Option 输入的 HD SDI 信号。

规格

视频处理

面板系统	a-Si TFT 主动式矩阵 LCD 面板
显示分辨率	1,920 点（水平）× 1,080 线（垂直）
采样率	13.5 MHz 至 162 MHz
色彩制式	NTSC/PAL/PAL-M/PAL-N/NTSC4.43/PAL60
输入信号	参见第 39 页。
像素间距	0.744（水平）× 0.744（垂直）mm
图像尺寸	1,428.5（水平）× 803.5（垂直）mm
面板尺寸	64.5 英寸（对角线 1,639 mm）

输入和输出

REMOTE 网络端口（10BASE-T/100BASE-TX）

AUDIO 立体声微型插孔（× 1）
500 mVrms，高阻抗

VIDEO S VIDEO IN
微型 DIN 4 芯（× 1）
Y（亮度）：1 Vp-p ± 2 dB 负同步，75 欧姆端子
C（色度）：脉冲
0.286 Vp-p ± 2 dB（NTSC），75 欧姆端子
脉冲 0.3 Vp-p ± 2 dB(PAL)，75 欧姆端子
VIDEO IN BNC（× 1）
复合视频，1 Vp-p ± 2 dB 负同步，75 欧姆
（自动终止）
VIDEO OUT BNC（× 1）环通
AUDIO IN
立体声微型插孔（× 1）
500 mVrms，高阻抗

HD15 (RGB/COMPONENT)
HD15（RGB/COMPONENT）IN
D-sub 15 芯（雌）（× 1）（参见第 42 页。）
HD15（RGB/COMPONENT）OUT
D-sub 15 芯（雌）（× 1）
（参见第 42 页）
AUDIO IN
立体声微型插孔（× 1）
500 mVrms，高阻抗

DVI DVI IN
（与 DVI 规格版本 1.0 兼容）
AUDIO IN
立体声微型插孔（× 1）
500 mVrms，高阻抗

HDMI IN HDMI（1080p）

SPEAKER 扬声器输出（L/R）
6 欧姆 7W + 7W

基本规格

电源要求
100 V 至 240 V 交流，50/60 Hz，5.5 A（最大）

功率消耗
540 W（最大）

工作条件
温度：0 °C 至 35 °C
湿度：20% 至 90%（无结露）

储存 / 搬运条件
温度：-10 °C 至 +40 °C
湿度：20% 至 90%（无结露）

尺寸 1,557 × 931 × 183 mm
（宽 / 高 / 厚，不包括突出部分）

重量 大约 94 kg

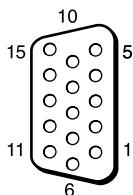
附件
交流电源线（1）
LAN 电缆（1）
交流电源插头固定器（2）
遥控器 RM-FW002（1）
AA 尺寸（R6）锰电池（2）
使用说明书（1）
经销店用安装手册（1）

选购件
扬声器 SS-SPG02
用于系统扩展的选购适配器，BKM-FW 系列

安全规则
UL 60950-1，CSA No. 60950-1-03（c-UL），FCC Class B，IC Class B，EN 60950-1（NEMKO），CE，C-Tick

设计和规格若有变更，恕不另行通知。

管脚分配

HD15 RGB/COMPONENT 连接器 （D-sub 15 芯）

管脚编号	信号
1	红色视频或 C_R/P_R
2	绿色视频或 Y
3	蓝色视频或 C_B/P_B
4	接地
5	接地
6	红色接地
7	绿色接地
8	蓝色接地
9	未使用
10	接地
11	接地
12	SDA
13	H 同步、复合同步或复合视频 （作为同步信号）
14	V 同步
15	SCL

注

当输入分量信号时，切勿将同步信号输入至管脚 13 和 14。否则，可能无法正确显示图像。

索引

CS

Y

Z